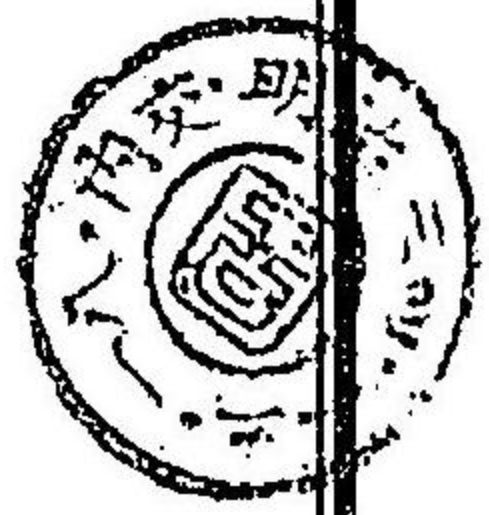


例言



原著ハ農科大學々術報告第四卷第二號ニ載スルトコロ我師河合博士ノ論文タリ邦
 語ニ百餘種ノ潤葉樹ニ付テ各其木材ノ特徴ヲ記述シ肉眼ヲ以テ之等ヲ識別スルノ
 方法ヲ述ベラレタルモノナレバ斯業界ヲ益スルコト頗ル大ナルハ論ヲ俟タズ然レ
 ニ其獨逸語ヲ以テ記述セラレタルノ故ヲ以テ廣ク邦人ノ用ニ供スル能ハザリシハ
 予輩ノ遺憾トセル所ナリ今茲ニ大日本山林會ニ於テ農科大學ノ承認ヲ經之ヲ邦語
 ニ翻譯スルノ舉アリ予ニ此大任ヲ囑セラレ而シテ予淺學不才ヲ願ミズ此任ニ當レ
 ルモノハ大ニ他ヲ利シ併テ自ラ習得スル所アラシコトヲ期シタレバナリ然ルニ譯
 文ノ拙ト譯語ノ不當トハ往々讀者ヲシテ誤解ヲ來サシメントシ今ヤ自ラ益スルコ
 ト頗ル大ニシテ他ヲ利セルコトノ大カラザルヲ覺ユ著者並ニ讀者ニ向テ謝セント
 スルノ情ヤ切ナリ

一、譯文ハ可成的解シ易カラシコトヲ勉メ意ニ從テ字句ニ泥マザルトコロ尠シトセズ
 而シテ譯語ハ可成的先輩ノ既ニ用ヒタル所ニ從ヒタリト雖其未ダ譯語ノ定マラザル
 モノニ付テハ自ラ之ヲ定メタルモノアリ

例言

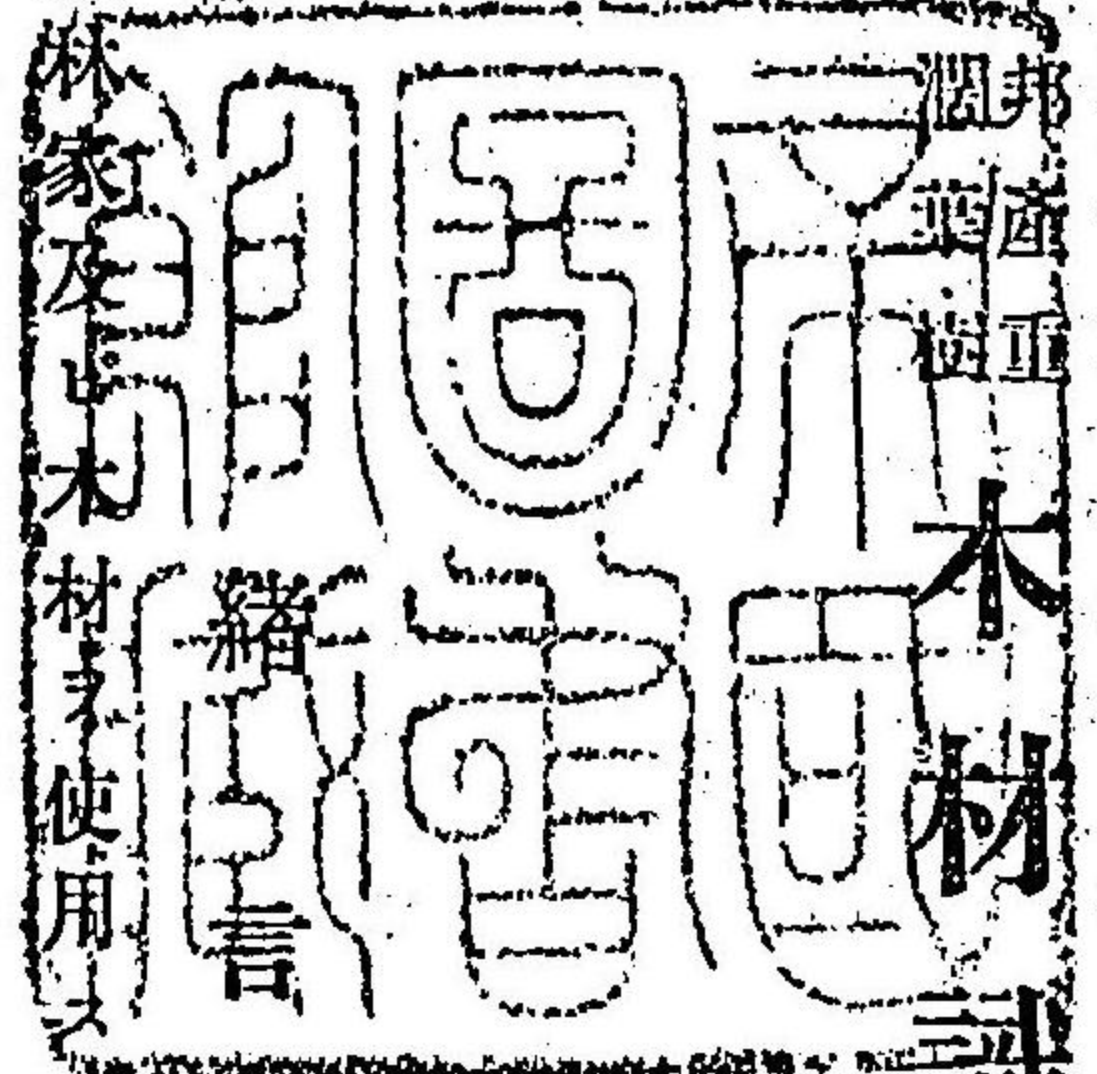
一、本書附録ノ摘要ハ原著ニ於テハ本文ノ如クニ順記セルニ止マリシガ予ハ實用ニ供スルニハ却テ一面ノ圖表ヲ以テ之ヲ概覽シ得ルヲ便利ナリトシ體裁ヲ改メタリ又附録ノ術語略解ト獨和對譯語彙トハ予ガ用ヒタル術語ノ意義ヲ明カニセンガ爲メニ之ヲ附シ殊ニ前者ハ全ク初學者ノ爲メニセリ又索引ニ用ヒタル和名ハ凡テ原著ニ用ヒタルモノノミヲ舉ゲ其異名アルモノト雖別ニ之ヲ掲ゲズ

一、予ハ本書ノ完成ニ付テ諸種ノ有益ナル助言ヲ與ヘラレタル先輩諸先生並ニ學友諸君ニ對テ爰ニ謹ンデ深ク感謝ノ意ヲ表ス

明治三十四年九月

上村勝爾識ス

本邦産木材識別法



林學博士 河合鋪太郎 著
林學士 上村勝爾 譯

森林家及木材使用者ニ技術者ハ木材ヲ正シク判定シ得ザルベカラズ然レモ此事タル彼等ガよくとるゑるはるちひ(Dr. R. Hartig)氏或ハよくとるゑふしゆわるゝ(Dr. F. Schimper)氏ニヨリテ獨逸國産木材ニ就テ確定サレタル夫等ノ如キ木材ノ識別特徴ヲ精密ニ知ルノ後纔ニ之ヲ成シ得ベキノミ獨逸國ニ於テ殊ニ重視サレテ造林及利用サル、トコロノ潤葉樹ハ僅カニ五十餘種ヨリ成ルコトナルガ之ニ反シテ森林植物ニ對シテ頗ル適當ナル氣候ヲ有セル日本國ニ於テハ吾人ハ少クトモ二百種ノ潤葉樹ヲ見ルナリ夫レ逢着スル所ノ樹種ノ數愈々多ケレバ樹種ヲ確定スルコト愈々困難ニシテ且ツ愈々重要ナルハ勿論ニシテ亦其問題タル樹種ヲ其性質ニ顧ミテ最モ有利ニ應用シ得ル所以ナリ。上述ノ理由ニヨリ予亦重要ナル日本産潤葉樹ノ確定方ニ着手シタリ予ハ亦之ニ就テ

木材識別法

はるちひ氏或ハしゆわると氏ガナル如ク、殆ンド全ク此等ノ着眼點ヲ注視シ、特徴ニ從テ木材ヲ分類スルコトニ對シテ全ク固有ナル一方法ヲ開ケリ。即是レ吾人ガ茲ニ掲グルガ如ク斯ク數多ナル木材ヲ確定スルニハ、はるちひ氏或ハしゆわると氏ノ單簡ナル分類法ハ最早充分トスベカラザルガ故ナリ。

予ハ各個木材ノ識別特徴ノ記載ニ入ルノ前、予ガ願慮シタルトコロノ最モ主ナル要點ヲ短簡ニ叙述セント欲ス。

木材ノ識別特徴ハ、一定ノ木材ニ對シテハ全ク固有ナル、簡單ニシテ且ツ容易ニ認識サルベクシテ、而シテ生長ノ關係、年齡等ニヨリテ一ノ變化ヲ受ケザルモノナルヲ要ス。然レモ斯ノ如キ識別特徴ハ例令ハ同シ屬(Gattung)ニ屬スル木材ニ就テ普通起ルガ如ク、之ヲ見出シ得ザルコトアリ。然ルモハ年齡及ビ生長ニヨリテ生シタル一ニノ變化ニ願慮セザルベカラズ、予ハ變化セザルトコロノ特徴ニ付テハ、主トシテ導管(Gefässe)ノ位置及ビ太サ、木材ノ髓線(Markstrahlen)ノ數及ビ幅、及ビ容易ニ見得ベキ柔軟組織線(Parenchymlinien)ヲ算ハシテ變化スベキ特徴ニ付テハ、木材ノ色及ビ樹皮、次ニハ其平滑ト光澤ト、最後ニ細胞管(Zellringe)及ビ其他ヲ擧ゲタルガ、予ハ勿論凡テ予ノ注意ノ前ニ先ズ第一要點ヲ判斷シ、而シテ只必要アル場合ニ於テノ第二ノ要點ヲ判斷シタリ。

木材ノ横斷面ニ於ケル導管ノ位置ハ一定ノ材種ニ對シテ全ク固有ナリ。導管ハ個々ニ分離シ、又ハ線狀ニ、或ハ塊狀ニ集マリ、或ハ紋様ヲナシテ結合スルコトアリ。而シテ此分離ト結合トハ疎鬆ニ又ハ緻密ニ生シ得ベシ。

導管ノ大サモ亦若シ細小ナル差異ヲ省クコトナキニ於テハ、材種ニ對シテ全ク一定セルモノナリ。彼等ハ時トシテ木材ノ横斷面ニ大ナル孔トシテ認メ得ル程太キコトアリ、又或モノハ單顯微鏡(Mikroskop)ヲ以テスラ只纔カニ知り得ル如ク小ナルコトアリ。木材ノ識別ニ際シ、導管ノ大サヲ決定スルコトヲ容易ナラシメンガ爲メニ、予ハ之等ヲ五ツノ階級ニ分テリ、而シテ各級ニ一材種ヲ擇ビ其最大ナル導管ヲ大サノ標準トシ、採ルコトシ、任意ノ或ル材種ヲ之ト比較シ、其導管ノ太サヲ決定シ及ビ記載シ得ルコトセリ。即チ吾人ノ擧グル所下ノ如シ、

- 第一級 (甚ダ廣キ導管)ニハせんたん(Melia japonica Don)
 - 第二級 (廣キ導管)ニハしほじ(Fraxinus, Sieboldiana Bl.)
 - 第三級 (細微ナル導管)ニハたぶのき(Machilus Thunbergii S. et Z.)
 - 第四級 (甚ダ細微ナル導管)ニハまごのき(Syrax japonica S. et Z.)
 - 第五級 (極メテ細微ナル導管)ニハきゆみ(Euonymus europaeus L. var. Hamiltoniana Maxim.)
- 細微ナル導管ハ横斷面上ニ肉眼ヲ以テ猶ホ明カナル孔トシテ見得ベク、甚ダ細微ナル

導管ハ横断面上ニ見ルコト困難ナルモ、縦断面上ニハ能ク窪ミタル線トシテ見得ベク、而
ノ極メテ細微ナル導管ハ横断面上ニモ縦断面上ニモ認メ難シトス。

又髓線ノ數及幅ハ木材ニ對シテ全ク一定スルモノニシテ、時トシテハ數多ク現ハレ、時
トシテハ少ナク現ハル、而シテ一樣ナル幅ヲナスコトアリ、或ハ一樣ナラザルコトアリ。此
ノ髓線ノ幅ニ關シテハ導管ノ如クニ適當ニ五ツノ階級ニ分ツベク、而シテ各級ニ一材ヲ擇
ビテ之ヲ記載シ、其髓線ノ幅ヲ標準トシテ用フルコト、ス。即チ下ノ如シ、

第一級 (甚ダ廣キ髓線)ニハはんの松(*Alnus japonica* S. et Z.)

第二級 (廣キ髓線)ニハぶオ(*Fagus sylvatica* L. var. *Sieboldi* Maxim.)

第三級 (細微ナル髓線)ニハけやき(*Zelkova acuminata* Pl.)

第四級 (甚ダ細微ナル髓線)ニハくす(*Cinnamomum camphora* Nees.)

第五級 (極メテ細微ナル髓線)ニハとす(*Aesculus turbinata* Bl.)

細微ナル髓線ハ横断面上明白ニ見得ベク、甚ダ細微ナルモノハ肉眼ニテ無論知ルヲ得
ルモ、單顕微鏡ヲ以テ始メテ明カニ之ヲ見得ベク、極メテ細微ナルモノハ之ニ反シテ肉眼
的ニハ只幅射狀ノ線條トシテ存スルカ、又ハ最早ヤ認識シ得ザルベシ。

一定ノ色ハ只一定ノ木材ニノミ固有ニシテ、而シテ安全ナル識別特徴ヲ成シ之ヲ他ノ

モノト間違フルコトナキ程ナルガ、最多クハ只心材(Kernholz)ノミ此ノ價値アル色ヲ呈ス
ルモノニシテ、木材構成ノ後一定年限ニ於テ始メテ生ズル所ナリ。邊材(Spitholz)ニ對シテ
ハ色ハ一ノ必要ナク、多クノ木材ニ付テ只帶黃白色ヲ呈スルノミ。材色ハ甚ダ雜多ニシテ
其充分正シキ記載ハ殆ンド不能ノ事タリ、只經驗ニヨリテ各個ノ色ヲ正シク識別シ得ル
ニ至ルノミ。

木材ノ樹皮(Rinde)ハ年齢及ビ生長ト共ニ變化スベキモノナリ。中年又ハ高年ニ於テ木
皮(Borke)ヲ構成スルトコロノ樹木ハ、其幼年ニ於テハ最多クハ只平滑ナル樹皮ヲ有ツノ
ミニシテ、木皮ヲ構成セザルモノト殆ンド區別シ難シトス。然レモ彼等ハ一定ノ木材ニ就
テ、他ノ特徴ガ一モ處理シ得ザル場合ニ、充分注意スベキ識別方便タリ。

細胞管(Zellige)肉眼ニテ見得ベキ柔軟組織線(Parenchymlinien)及ビ其他ノモノハ木材
識別ニ付テ多少用ヒ得ベシ。細胞管ハ一定ノ材種ニハ殆ンド規則正シク現ハル、柔軟組織
線ハ一定ノ木材ニハ凡テノ場合ニ現ハル。

終リニ臨ンデ爰ニ記述シ得ルトコロハ、最主ナル特徴ガ多ク秀ヅル爲メ、識別特徴ノ記
載ハ最モ必要ナルモノニ限ラレ、最モ必要ナラザルモノハ之ヲ省ケルコト是ナリ。

第一類 導管が年輪内ニ内境ニ於テ他ノ材部ト異ナレル分布ヲ
ナス爲メニ著シキ木材(所謂環孔材)。

甲、導管ガ孔圈(Pore-layers)外ニ、即チ年輪ノ内方ナル導管多キ材部ノ外ニ、一樣ニ分
布サル、カ又ハ時トシテ只廣キ年輪ノミニ外境ニ近キ所ニ短カキ周圍線狀又
ハ更ニ斜メナル線ヲ呈スルモノ。

イ、其髓線細微ナルモノ

其一、孔圈内ノ導管甚ダ廣キモノ。

其二、導管ガ年輪ノ外境ニ於テ、線狀ニ連合スルコト殆ンド之ナキモノ。

第一、ちやんちん(*Cedrela chinensis* Juss.)

(第一圖及第九五圖)

邊材ハ狭クシテ黄白色、心材ハ美ナル帶褐紅色ニシテ光澤アリ。孔圈ハ可ナリ嚴シク限
界サル、モ甚ダシク廣カラズ。年輪ハ狭クシテ、各個導管、又ハ周圍線狀ニ並ベル導管ノ全
キ長キ列ガ、黒キ分泌物ニテ填充サル材ハ適重、適硬ニシテ、甚ガ割レ易シ。樹皮ハ褐黝色ノ、

水平ニ割目アル木皮ヲ構成ス。

第二、かなめ(*Spondias* sp. ?)

(第二圖及第九六圖)

邊材ハ黄白色、心材ハ帶黄紅色。導管ノ位置前者ニ似タルモ開ケリ(填充物ナキ義)。材ハ屢
々淡黒色ノ位置ヲ具フルコトアリ。而シテ適重、適硬、割レ易シ。材ノ鉋削面ハ前者ヨリモ平滑
ナラズ。樹皮ハ淡暗紅色ノ、水平ニ割目アル鱗狀木皮ナリ。

第三、ねむのき(*Albizia Julibrissin* Boiv.)

(第三圖)

邊材ノ色ハ帶黄白色、心材ハ固有ノ黄黝褐色ニシテ光澤アリ。孔圈ハ甚ダ幅廣ク、嚴シク限
界サレズシテ、導管ノ太サ及ビ數ヲ減ジツ、漸次導管ノ少ナキ部分ニ移行ケリ。導管ハ
開キ明白ナリ。材輕ク、軟カク、割レ易シ。鉋削面ハ甚ダ平滑ナリ。樹皮ハ平滑ニシテ、灰黝色ヲ
ナシ光澤アリ。

ろ、導管が年輪ノ外境ニ於テ假令短クトモ、殆ンド常ニ線條ニ連合スルモノ。

八

第四、せんだん(Melia japonica Don.)

(第四圖)

邊材ハ甚狭クシテ黄白色、心材ハ鮮黄褐色ナリ。孔圈ハ甚廣ク、漸々導管ノ少ナキ材部ニ移リ行ケリ。年輪ハ甚廣クシテ十五耗以上ニ達スルコト尠カラズ。各個導管ハ屢々黑色ノ分泌物ヲ以テ充タサル、コトアリ。材ハ適硬、適重、割レ易シ。樹皮ハ暗褐色ノ、縦ニ割目アル木皮ヨリ成ル。

第五、けんぼなこ(Hovenia dulcis Thunb.)

(第五圖)

邊材ハ美ナル帶黄白色、心材ハ帶黄褐色乃至帶紅褐色。孔圈ハ可ナリ嚴シク限界サル。導管ハ開キ且ツ判明ナリ。年輪ノ外境ノ近クニ甚ダ細微ナル導管ガ屢々、線條ニ連合セザルモ而モ常ニ近ク相集マレリ。材重ク、硬ク、割レ易シ。樹皮ハ暗褐色ノ、鱗狀木皮ト成ル。

第六、ちじやのき(Ehretia acuminata R. Br.)

(第六圖)

邊材ハ甚ダ狭クシテ帶黄白色、心材ハ黄白色ニシテ、互ニ多ク異ラズ。孔圈ハ甚ダ嚴シク限界サレ、僅カニ一導管ノ幅ノミナルコト甚ダ屢々ナリ。孔圈外ニアル導管ハ甚ダ細微ニシテ且ツ開カズ。年輪ノ周圍線ノ徑路ハ不規則ナリ。材ハ適重、適硬、甚ダ割レ難シ。樹皮ハ鮮黝褐色ニシテ小鱗片狀ナリ。

其二、孔圈内ノ導管ガ廣キモノ。

い、年輪ノ外境ニ於ケル導管ガ殆ンド決シテ線條ニ連合スルコトナキモノ。

第七、うるじ(Rhus vernicifera D. C.)

やまうるじ(Rhus tricoarpa Miq.)

(第七圖ハうるじ)

邊材ハ甚ダ狭クシテ光澤アル白色ヲナシ、心材ハ美ナル帶綠黄色タリ。孔圈ハ嚴シク限界サレザルモ廣シ。孔圈内ノ導管ハ不判明ナリ。秋材部(Herbstholzteil)ニ於ケル導管ハ甚ダ

細微ニシテ最多クハ開カズ、肉眼的ニ僅カニ見ルヲ得ベシ。髓線ハ夥シクシテ平等ニ細微ナリ。材ハ輕ク、軟ク、割レ易シ。樹皮ハ初メハ光澤アル、灰黝色ニシテ、後ニハ水平ニ割目アルモノト成ル。

第八、やまはぜ(*Rhus silvestris* S. et Z.)
はぜ(*Rhus succedanea* L.)

材色及ビ導管ノ位置前者ト甚ダ相似タリ。只邊材甚ダ廣キノミ。やまはぜノ孔圏内ノ導管ハ、屢々此次ノ部類ニ算入シ得ベキホド細微ナルコトアリ。材ハ前者ノモノ、如ク、樹皮モ亦似タレドモ皮孔(Lenticellen)ニ富メリ。

第九、やまはぜカラハ(*Rhus* sp.)
(第八圖)

邊材ハ可ナリ廣クシテ帶黃白色、心材ハ帶紅褐色。孔圏ハ嚴シク限界サレ。孔圏外ノ導管ハ開キテ判然タリ、屢々二三個ヅ、塊集セリ。髓線ハ瞭然善ク見得ベク、前兩者ヨリモ僅少ナリ。樹皮ハ硬キ、割目アル、暗褐色ノ木皮ト成ル。

ろ、年輪ノ外境ニ於ケル導管ガ、假令短カクトハ云ヘ殆ンド常ニ線條ニ連合スルモノ。

第十、ぬるで(*Rhus semiolata* Murr.)
(第九圖)

邊材ハ狭クシテ汚白色、心材ハ固有ナル帶褐黝色ニシテ、時トシテハ稍々黃色ヲ帶ブ。孔圏ハ廣クシテ嚴シク限界サレズ。周圍ノ秩序ナキ導管ハ細微ニシテ且ツ瞭然タリ。髓線ハ光澤ナク又瞭然タラズ。材軟ク、輕ク、割レ難クシテ、其鈍削面ハ平滑ナラズ。樹皮ハ光澤アル黝色ヲナシ、平滑ニシテ、之ニ明瞭ナル紅褐色ノ皮孔ヲ存ス。

第十一、にかき(*Pterisma quassoides* Benn.)
(第十圖)

邊材ハ黃白色、心材ハ帶紅黃色、着色不平均ニシテ美ナル光澤アリ。周圍線ハ年輪ノ外境ノ近クニ於テ種々ナル長サヲナシ、鮮黃色ニ見ユ。孔圏ハ可ナリ嚴シク限界サル。年輪ノ幅

ハ種々ノ廣サヲナシ、且ツ種々ノ方向ニ其厚サヲ異ニス。髓線ハ鮮黄ニ着色サレ、光澤アリテ、うるし類ノモノヨリモ遙カニ僅少ニシテ、而シテ較太シ。材ハ適硬、適重、割レ難クシテ、而メ其中ニ含マル、物質ノ爲メニ其味苦シ。樹皮ハ平滑、暗色ニシテ、稍々紅色ヲ帶ブ。

第十二、かぢの皮(Broussonetia papyrifera Vent.)

邊材甚狹クシテ、帶黄白色、心材ハ鮮黄褐色。孔圏ハ廣クシテ、嚴シキ限界ナシ。他ノ環孔材ニ反シテ、最大ナル導管ガ内境ニ密ニ位置スルコトナク、却テ其ヨリモ較廣ク離レタリ。導管ハ外境ニ於テ、屢々明カナル波狀線ヲ形成ス。材輕ク、軟ク、割レ難シ。樹皮ハ平滑ニシテ、灰褐色ナリ。

第十三、かうぞ(Broussonetia Kasinoki Sieb.)

凡テノ點ニ於テ前者ニ似タリ。孔圏内ノ導管ハ稍々細微ニシテ、且ツ不判明。孔圏モ亦常ニ較々狹シ。樹皮ハ前者ノ如シ。

其三、孔圏内ノ導管ハ細微、孔圏外ノ導管ハ一様ニ散布ス。

第十四、なつぐみ(Elaeagnus uncinata Thunb.)

邊材ハ淡黄色、心材ハ汚黄色。孔圏ハ嚴シク限界サル。孔圏内ノ導管ハ黑色ノ分泌物ヲ以テ填充サル、コト少カラズ。孔圏外ノ導管ハ夥シクシテ、開カズ。肉眼ニテ善ク見得ベカラズ。髓線ノ細微ナルモノト、更ニ細微ナルモノト相互ニ現ハレ、稍々光澤ヲ有シテ、判然タリ。年輪ノ徑路ハ不規則ナリ。材ハ屢々汚暗色ニ着色サレタル位置ヲ示スコトアリテ、重ク、硬ク、割レ難シ。樹皮ハ暗色ノ、小鱗片狀ノ盤狀木皮ヲ構成ス。

第十五、うめ(Prunus Mume S. et Z.)

(第十一圖)

邊材ハ狹クシテ、淡褐色、心材ハ紅褐色ナリ。孔圏ハ屢々甚ダ狹ク、横断面上ニ纒カニ知リ得ベシ。髓線ハ殆ンド一様ナル太サヲナシテ、互ニ密ニ並ビ。年輪ノ徑路ハ不規則ナリ。材ハ重ク、硬ク、且ツ割レ難シ。樹皮ハ光澤アル、暗紅色ノ外皮ニ蔽ハレ、後ニハ割目ヲ生ズ。

第十六、すもも(Prunus communis Huds.)

Prunus Persica S. et Z. var. vulgaris Maxim.)

凡テノ點ニ於テ前者ニ合體スルモ、邊材較々廣ク、孔圈内ノ導管較々大ニ、髓線ハ較々判明ナリ。外皮ハ灰黝色ニシテ光澤アリ。

第十七、*Acanthopanax sciadophylloides* Fr. et Sav.)

(第十二圖)

邊材廣クシテ鮮黝白色、美ナル光澤アリ、心材ハ帶黃黝色ナリ。材ハ屢々汚綠黝色ヲ帶ブル位置ヲ示スコトアリ。孔圈ハ横斷面上ニ纒カニ見得ベク、甚ダ嚴シク限界サレ、而メ只一個導管ノ幅ヲ有スルノミ。髓線ハ一樣ニ細微ニシテ且ツ瞭然タリ。材軟ク、輕ク、割レ易シ。材ノ飽削面ハ平滑ナラズ。樹皮ハ暗色ニシテ、蘇苔類ノ爲メニ綠黝色又ハ淡綠白色ニ着色サル。

第十八、*Dendropanax japonicum* Seem.)

前者ニ甚ダ相似タリ。孔圈外ノ導管少シク多クシテ、且ツ只單顯微鏡ヲ以テ善ク認識シ得ルノミ。

第十九、*Edgeworthia chrysantha* Lindl.)

邊材ハ廣クシテ帶黃白色、心材ハ鮮淡黝褐色。孔圈ハ甚ダ狭クノ不判明ナリ。髓線ハ種々ナル太サヲナシ、細微ナルモノト更ニ細微ナルモノト混シ、甚ダ不判明ナリ。材ハ軟ニシテ且甚ダ輕キモ、割レ難シ。樹皮ハ鮮黃褐色ニシテ淺キ縱皺ヲ有ス。

ロ、髓線甚ダ細微ナルモノ。

其一、孔圈内ノ導管廣ク、年輪ノ外境ニ於ケル導管ハ屢々線條ニ連合ス。

第二十、*Frasinus Sieboldiana* Bl.)

(第十三圖)

邊材甚ダ廣クシテ帶黃白色、心材ハ淡鮮褐色。孔圈ハ可ナリ嚴シク限界サレ、孔圈外ノ較々細微ナル導管ハ屢々二個ヅ、集マル。周圍線ハ年輪ノ外境ノ近傍ニ於テ、只廣キ年輪ニノミ之ヲ見ルヲ得ベシ。材ハ適硬、適重割レ易シ。樹皮ハ鮮黃褐色ノ、深キ割目ナキ木皮トナル。

第二十一、やまだま(*Fraxinus mandshurica* Rupr.)

前者ニ甚ダ相似タレモ、心材ノ色前者ヨリモ暗色ニシテ、材亦前者ヨリモ硬シ。

第二十二、きんらん木(*Catalpa Kaempferi* S. et Z.)

(第十四圖)

邊材ハ甚ダ狭クシテ帶黝褐色、心材ハ黝褐色、瞭ラカナル區別ナシ。孔圈内ニ導管ガ密ニ集マリ、全圍海綿狀ニ見ユル程ナリ。年輪ノ徑路ハ往々規則正シ。孔圈外ノ導管ハ僅少ナルモ、判然孔トシテ見ユ。材ハ屢々淡黄ニ着色サレタル位置ヲ示スコトアリテ、軟ク、輕ク、且ツ割レ易シ。暗褐色ノ、縦ニ割目アル木皮ヲ構成ス。

第二十三、いぬまかじ木(*Robinia pseudacacia* L.)

邊材甚ダ狭クシテ帶黄白色、心材黄褐色。狭キ孔圈内ノ導管ハ填充細胞(Füllzellen)ニヨリテ充塞サレ、只黄色判明ナル點トシテ見ユルノミ。孔圈外ノ導管ハ周圍ニ整列シ、且ツ甚ダ細微ナリ。材重ク、硬ク、而シテ割レ易シ。樹皮ハ鮮褐黄色ニシテ深キ割目アリ。

其二、孔圈内ノ導管細微ナルモノ。

第二十四、とねり木(*Fraxinus Bungeana* D. C. var. *pubinervis* Wg.)

(第十五圖)

邊材ハ甚廣クシテ鮮黄白色、心材ハ鮮淡黄褐色乃至鮮褐色ナリ。孔圈ハ嚴シク限界サル、モ、而シテ其幅一定セズシテ、年輪ノ狭キ木材ニアツテハ通例一導管ノ廣サヲ有シ、且ツ其導管ハ細微ナルモ、年輪ノ廣キ木材ニアツテハ多數導管ノ廣サヲ有シ、且ツ其導管ハ屢々廣シ。

終リノ場合ニ於テハ其材ヲやちだもニ類集スルヲ得ベシ。孔圈外ノ導管ハ最多クハ二三個ヅ、稀ニ四五個ヅ、結合ス、但シ年輪ノ境界ニ近キ所ヨリ周圍線マデニアリ。材重ク、硬ク、割レ易シ。樹皮ハ平滑ニシテ鮮黝色、薛苔之ヲ帶綠黝色ニ着色ス。

第二十五、いぼたのき(*Ligustrum Iboia* Sieb.)

邊材ハ汚白色乃至白色、心材ハ黝褐色。孔圈ノ導管ハ横断面上ニハ單顯微鏡ナクシテハ最早善ク見ルヲ得ズ。孔圈外ノ導管ハ極メテ細微ニシテ、縦断面上ニスラ最早認め難キ程

ナリ材重ク硬ク割レ難ク樹皮ハ鮮黝色水平ノ割目アル鱗狀木皮トナリ強ク發育セル石細胞巢(Steinzelnestern)ヲ有ス。

ハ、髓線極メテ細微孔圈内ノ導管廣キモノ。

第二十六、あかめがしほ(Mallotus japonicus Muel. Arg.)

(第十六圖)

邊材帶黃白色心材黃白色ニシテ其區別著シカラズ孔圈ハ廣クシテ且ツ嚴シク限界サレズシテ漸次細微ナル孔アル材層へ移リ行ケリ孔圈内ノ導管ハ開キ且ツ密ニ集マラズ孔圈外ノ導管ハ二個乃至四個ツ、輻射方向ニ連合シ而シテ年輪ノ外境ニ對シテ其太サヲ減ズ材輕ク軟ク割レ難シ樹皮ハ小サキ木皮ヲ構成シ鮮黝褐色ニシテ淺キ皺ヲ有ス、蘇苔之ヲ帶綠白黝色ニ着色スルコト通例ナリ。

第二十七、あぶらざり(Aleurites cordata Muel. Arg.)

邊材廣クシテ鮮淡褐色心材ハ帶紅鮮褐色髓線ハ淡紅ニ着色サレ平滑ナル飽削横断面

上ニハ其經路ヲ輻射線トシテ認識シ得ルホドナリ嚴シク限界サレザル孔圈内ノ導管ハ開ケルモ全ク明瞭ナラズ孔圈外ノ更ニ細微ナル導管ハ最多クハ單一ニ存シ密ニ集マラズ材輕ク適硬ニシテ割レ易シ樹皮ハ平滑ニシテ黝褐色ナリ。

乙、孔圈外ノ導管ガ連合シテ周圍的波狀線ヲナシ時トシテハ稍々分岐スルコトアリ。

イ、髓線廣キモノ。

其一、孔圈内ノ導管廣キモノ。

第二十八、あをざり(Sterculia plataniifolia L.)

邊材甚狹クシテ帶黃白色心材ハ薄綠色乃至帶黝綠色孔圈ハ可ナリ廣ク且ツ可ナリ嚴シク限界サル波狀線内ノ導管ハ見難クシテ波狀線ハ可ナリ厚ク判明ニシテ長カラズ並行シテ走レリ材軟ク輕ク割レ易ク樹皮ハ平滑ニシテ綠色ナリ。

第二十九、えのき(Celtis sinensis Pers.)

木材識別法

(第十七圖)

邊材ハ甚廣クシテ帶綠白色、心材ハ汚黝色ナリ。孔圈ハ甚狹クシテ、漸々外方ニ小導管トナリテ移リ行キ、遂ニ其代リニ長キ最多クハ眞直ニシテ並行セル、波狀孔列ヲ呈スルニ至ル。波狀線ノ導管ハ細微ナレドモ、開キ且ツ全ク明瞭ナリ。髓線ハ前者ノ如クニハ廣カラザルモ較々數多シ。年輪ハ幅廣クシテ二十五耗以上ニ達スルヲ尠カラズ。材軟ク、輕ク、割レ難ク。樹皮ハ暗灰黝色ナリ。

其二、孔圈内ノ導管ハ細微ナリ。

第三十、めぞ(Berberis Thunbergii D. C.)

(第十八圖)

邊材ハ非常ニ黃色ニシテ、心材ナシ。孔圈ノ導管ハ甚ダ細微ニシテ、而シテ孔圈ハ只一個導管ノ幅アルノミ。孔圈外ノ波狀線ハ甚ダ細微ニシテ短カク、且ツ並行セズシテ走レリ。彼等ハ單顯微鏡ナシニハ最早見得ベカラズ。材重ク、硬ク、且ツ割レ難シ。樹皮ハ暗黝色ニシテ、縦ノ割目アル。栓質ニ富メル木皮トナル。

第三十一、ぶより(Tamarix juniperia Bge.)

邊材ハ狹クシテ黃白色、心材ハ血紅色。孔圈ハ嚴シク限界サレズシテ而シテ廣ク、其内ノ導管ハ數多ク密ニ集マリ存シ、波狀線内ノモノハ細微ナルモ善ク孔トシテ見得ベシ。波狀線ハ並行ニ走り、且ツ相互ニ密ナラズ。材軟ク、輕ク、且ツ割レ難シ。樹皮ハ暗色ノ、縦ニ割目アル木皮ヲ構成ス。

ロ、髓線ハ細微ニシテ、孔圈内ノ導管廣キモノ。

第三十二、けろき(Zelkova acuminata Pl.)

(第十九圖)

邊材甚廣クシテ帶黃白色、心材ハ鮮帶黃褐色乃至褐色ナリ。孔圈ハ、狹キ年輪ニアツテハ常ニ一導管ノ廣サルモ、廣キ年輪ニアツテハ猶ホ一個若クハ二個ノ細微ナル導管ニヨリテ擴メラル、而シテ其内ニアル導管ハ開キ且ツ明瞭ナリ。波狀線ハ細微ナルモ判明ニシテ、其長サ一定セズ、一様ニ並行セリ。材重ク、硬キモ、割レ易シ。樹皮ハ始メハ平滑ニシテ帶綠黝

色後ニハ厚キ大ナル木皮鱗ヲ剝離ス。

第三十三 はりざり(Acanthopanax richiiifolium S. et Z.)

(第二十圖)

邊材ハ鮮帶黃白色、心材ハ鮮帶黝白色、強キ光澤アリ。孔圍ハ年輪ノ幅ノ如何ニ拘ハラズ、常ニ一個導管ノ廣サアリ。孔圍内ノ導管ハ細微ニシテ開キ、且ツ甚ダ判明ナリ。波狀線ハ前者ノ如ク形成スルモ、其經路ハ較々粗ナリ。髓線ハ前者ヨリモ較々細微ニシテ、而シテ其間隔一樣ナラス。材適硬、適重、割レ易シ。樹皮ハ暗黝褐色ノ、深キ割目アル木皮ヲ構成ス。

第三十四 はるにれ(Ulmus campestris Sm. var. laevis Pl.)

(第二十一圖)

邊材ハ廣クシテ帶黝白色、必材ハ帶白黝色ナリ。孔圍ハ通例二個導管ノ廣サアルモ、常ニ一、二個ノ較々細微ナル導管ニヨリテ攪メラル。波狀線ハ厚クシテ、最多クハ相互ニ密ナルガ故ニ不判明ナリ。髓線ハ淡紅色ニ着色サル、モ而モ不明瞭ナリ。之ヲ前者ノ材ニ比スルニ、板目ノ上ニ見得ベキ髓線ノ高サハ、前者ノモノ、二倍高シ。材適硬、適重、割レ易ク、光澤ナ

シ。材ノ鉋削面ハ指ヲ以テ觸ル、キハ甚ダ粗糲ニ感ズ。樹皮ハ鮮黝褐色ノ、水平ニ割目アル鱗狀木皮ヲ構成ス。

第三十五 をひょう(Ulmus montana Sm. var. laciniata Prantl)

邊材ハ帶黃白色、心材ハ鮮褐色乃至暗褐色、廣キ年輪ノ孔圍ハ二個又ハ三個導管ノ廣サアリ、且ツ嚴シク限界サル。波狀線ハ細微ニシテ、而シテ短カク、只二、三個導管ノ並ベルダケ長キコト屢々ナリ。髓線ハ淡紅色ニ着色ス。材甚硬ク、重ク、割レ易シ。樹皮ハ大ナル、暗色ノ、板狀鱗片トナリテ剝離ス。

第三十六 あきにれ(Ulmus parvifolia Jacq.)

(第二十二圖)

邊材ハ鮮黃色、心材ハ帶黃褐色。孔圍ハ鮮黃色ニ見エ、其内ノ導管ハ前者ヨリモ較々細微ニ、且ツ較々數多クシテ、而シテ波狀線ハ前者ヨリモ較々長シ。髓線ハ淡黃色ノ着色アリ。材重ク、甚硬ク、割レ難シ。樹皮ハ暗色、小鱗片狀ノ、盤狀木皮トナリ、數多ノ鐵銹褐色ノ皮孔ヲ有ス。

第三十七 *S. m. m. j. y.* (*Chadrasia amurensis* B. et H. var. *floribunda* Maxim.)

邊材ハ甚狭クシテ帶黃白色、心材ハ帶黑褐色、導管ノ位置ハ前者ノモノト甚ダ相似タリ、只波狀線ハ較々細微ニシテ、孔圈ハ稍々廣シ材重ク、硬ク、割レ易ク、其飽削面ハ甚平滑ナリ、樹皮ハ帶暗綠黝色ノ成層外皮ニヨリテ蔽ハレ、其外皮ハ疹(Pustule)ヲナシテ裂ク。

第三十八 *s. m. j. y.* (*Sophora japonica* L.)

邊材ハ一樣ニ狭クシテ帶黃白色、心材ハ前者ノモノニ似タレ、較々鮮明ナリ、孔圈及波狀線ノ位置ハをひようニ酷似シ、只波狀線ノ較々廣キコトノ區別ヲ存スルノミ、髓線ハ紅色ニ着色サレズシテ、をひようニ於ケルヨリモ較々著シ、是レ兩材ノ重要ナル識別特徴ナリ、材重ク、硬ク、割レ易ク、其飽削面ハ甚シク平滑ナラズ、樹皮ハ暗黝色ノ、縦ニ割目アル木皮ヲ構成ス。

第三十九 *s. j. y.* (*Sophora platycarpa* Maxim.)

(第二十三圖)

邊材ハ廣クシテ鮮淡黃色、心材ハ美黃色、孔圈ハ前者ニ於ケルガ如シ、孔圈外ノ導管ハ只

年輪ノ境界ノ近傍ニ一ノ波狀線ヲ形成シ、其線ハ前者ノモノヨリモ厚シ、髓線ハ明瞭ナリ、材硬ク、重ク、割レ易シ、樹皮ハ平滑ニシテ黃色ナリ。

第四十 *s. j. y.* (*Phellodendron amurense* Rupr.)

(第二十四圖)

邊材ハ甚狭クシテ帶綠黝白色、心材ハ黃綠黝色、美ナル光澤アリ、暗綠色又ハ暗褐綠色ヲナスコト甚屢々アリ、孔圈ハ可ナリ嚴シク限界サル、モ其内ノ導管ハ判然ト開カズ、波狀線ハ短カクシテ、屢々只二個又ハ三個導管ノ廣サアリ、髓線ハ細微ナルモ明瞭、材軟、輕、甚割レ易シ、樹皮ハ暗黃黝色ニシテ甚ダ栓質ニ富ミ、深キ割目アリ。

第四十一 *s. i. y.* (*Gleditschia japonica* Miq.)

邊材ハ廣クシテ黃白色、心材ハ美ナル喬微紅色、孔圈ハ廣ケレ、可ナリ嚴シク限界サレ、其内ノ導管ハ孔圈外ニ個々ニ存スルモノト殆ンド同大ナリ、導管ハ凡テ開ク、波狀線ハ纒カニ年輪ノ外境ニ於テ之ヲ見ル、之等ハ猶多ク斜ニ走レリ、髓線ノ太サ種々アリ、年輪甚ダ廣ク、屢々十五耗以上ニ達スルコトアリ、材適硬、適重、甚ダ割レ難シ、樹皮ハ黝色ニシテ、永

キ間平滑ニシテ、其後板狀ノ木皮ヲ生ズ。

第四十二、やまぐは (*Morus alba* L. var. *stylosa* Bur.)

邊材甚狭クシテ帶黃白色、心材ハ淡黃色乃至黃褐色ニシテ光澤アリ。孔圍内ノ導管ハ其大サ一定セズ、多クハ細微ニシテ時トシテハ廣キモノアリ。孔圍ノ幅モ亦一定セズ、時ニハ一個又ハ二個導管ノ廣サアリ、時ニハ三個乃至五個ノ廣サアリ。波狀線ハ通例細微ニシテ且ツ短カキモ、時トシテハ厚ク且ツ長シ、導管ハ各個皆黃色ノ分泌物ニヨリテ閉塞ナル。髓線ハ一樣ニ細微ナルモ、而モ稍々厚キモノト混シテ現ハル、コト尠カラズ。材硬ク、重ク、割レ難ク。樹皮ハ鮮褐色ニシテ縦ノ割目アリ。

第四十三、しんじゆ (*Ailanthus glandulosa* Desf.)

邊材ハ淡黃色、心材ハ帶黃白色、美ナル光澤アリ。孔圍ハ狭キ年輪ニアツテハ一個又ハ二個導管ノ廣サアリ、其廣キモノニアツテハ四個又ハ五個ノ廣サアリ。細微ニシテ開ケル導管ハ只年輪ノ外境ノ近クニ於テ波狀線ニ連合ス。髓線ハ光澤ヲ有シ、判明ニシテ細微ナルガ、或部分ニハ較々大ナルモノト混シテ現ハル。材適硬、適重、割レ易シ。樹皮ハ平滑、暗黝色ニシテ、後ニハ少シク割ル。

シテ、後ニハ少シク割ル。

第四十四、きり (*Paulownia tomentosa* H. Bn.)

(第二十五圖)

邊材甚狭ク、帶白黝色ニシテ淡褐色ヲ帶ブ。心材ハ稍々淡紅色、兩者ノ間認知シ難シ。孔圍ハ嚴シク限界サレズ。波狀線ハ廣ク且ツ短カシ。髓テノ導管ハ明白ニ開カズ。髓線ハ一樣ニ細微ニシテ可ナリ明瞭ナリ。年輪ハ生長ノ速カナル材ニハ甚廣クシテ、二十耗以上ナルコト尠カラザルモ、此ノ如キハ性質稍々劣レリ。材甚輕ク、甚軟カキモ、割レ難シ。樹皮ハ鮮黝褐色ナリ。

第四十五、くさぎ (*Clerodendron tricoctatum* Thunb.)

邊材ハ廣クシテ帶黃白色、心材ハ鮮黃色、孔圍ハ多クハ一個導管ノ廣サアリテ、而シテ其導管ハ細微ニシテ密ニ並バズ。其他ノ部分ニ於テハ、導管ガ周圍ニ沿フテ殆ント眞直ナル長短ノ線ニ排列サル、此線ハ年輪ノ外境ニ近キ所ニ於テ甚ダ細微ナリ。材ハ適硬、適重、割レ易シ。樹皮ハ初メハ平滑ニシテ暗黝色、後ニハ小鱗片狀ノ盤狀木皮ヲツクル。

ハ、髓線ハ甚ダ細微ナリ。

第四十六、むくのき(*Aphananthe aspera* Planch.)

邊材鮮黝色、心材ハ暗黝色。孔圈ハ甚ダ廣クシテ、疎ニ並ベルトコロノ細微ナレドモ開ケル導管ヨリ成立シ、而シテ嚴シク限界サレズ。孔圈外ニ、波狀線ガ或ハ短カク或ハ長ク存シ、其長キモノハ殆ンド真直ニ且ツ並行ニ走ル。髓線ハ一様ニ細微ニシテ、且ツ可ナリ判然タリ。材硬ク、重ク、甚ダ割レ難シ。樹皮ハ初メハ帶褐黝色ニシテ、可ナリ粗キ皺ヲ現ハシ、後ニハ鱗狀木皮ヲ構成ス。

第四十七、むくるぎ(*Sapindus Mukurosi* Gaertn.)

(第二十六圖)

邊材ハ廣クシテ帶黃白色、心材ハ鮮黃色ニシテ稍々褐色ヲ帶ブ。孔圈ハ可ナリ嚴シク限界サレ。孔圈内ノ導管ハ廣クシテ、淡黃色ノ分泌物ヲ以テ填充ナル。波狀線ハ多クハ長クシテ且ツ殆ンド真直ニ走リ、其幅厚シ。材ハ暗黝色又ハ淡黑色ノ位置ヲ現ハスコト屢々ニシ

テ、適硬、適重、割レ易シ。樹皮ハ平滑ニシテ暗綠黝色ナリ。

丙、孔圈外ニ導管ガ連合シテ輻射方向ニ走レル線ヲナシ、其線屢々又分岐スルコトアリ。

イ、特別ナル髓線ハ甚廣キモ、他ハ極メテ細微ナリ。

第四十八、くぬぎ(*Quercus serrata* Thunb.)

(第二十七圖)

邊材ハ廣クシテ黝白色、心材ハ暗淡褐色ニシテ稍々赤色ヲ帶ベリ。孔圈ハ最多クハ一個導管ノ廣クサアリテ、其導管ハ較々細微ナルモノヨリ導カル、コト屢々ナリ。孔圈内ノ導管ハ廣クシテ、又甚ダ廣キコト屢々アリ、其最多クハ開キ且ツ密ニ並バズ。波狀線内ノ導管ハ、假令甚ダ細微ナルトモ、而モ一部分ハ猶ホ孔トシテ認メ得ベシ。柔軟組織ノ細微ナル線ハ、夥シク周圍ニ沿テ並行ニ走レリ。甚廣キ髓線ハ數多クシテ而シテ稍々光澤アリ、板上ニ見ユルトコロノ其高サハ二乃至二十耗ノ間ニ變通セリ。材甚硬ク、甚重ク、且ツ割レ易シ。樹皮ハ暗褐色ノ石化セル深キ割目アル木皮ヲ構成スルモ、決シテ粗キ割目ヲナサズ。

第四十九、あへまき(Quercus variabilis Bl.)
材前者ニ甚相似タリ、然レモ心材ノ色ハ較々多ク紅ヲ帶ビ、而シテ髓線ハ最多クハ較々低シ。材粗ニシテ較々悪シキ性質ヲ有ス。樹皮ハ厚キ栓質殼(Korkkrusten)ニテ蔽ハル。

第五十、かじは(Quercus dentata Thunb.)
(第二十八圖)

邊材ハ廣クシテ黝白色、心材ハ暗黝淡褐色。孔圈ハ最多クハ二個導管ノ廣サアリ。孔圈内ノ導管ハ前者ヨリモ稍々小ニシテ、而シテ密ニ並ベリ。材ハ價値ニ於テあへまきトクぬぎトノ間ニアリ。樹皮ハ紅褐色ノ木皮ヲ構成シ、其木皮ハくぬぎノ如ク深キ割目アルモ、而シテ石化スルルコト僅カナリ。

ロ、特別ナル髓線ハ廣キモ、他ハ極メテ細微ナリ。

第五十一、こなき(Quercus glandulifera Bl.)

(第二十九圖)

邊材ハ黝白色、心材ハ鮮黝褐色ニシテ綠色ニ傾ケリ。孔圈ハ最多クハ只一個導管ノ廣サアルモ、少數ノ遙カニ小ナル導管ニ伴ハル、コト屢々ナリ。輻射線内ノ甚細微ナル導管ハ單顯微鏡ナシニハ只甚ダ纒カニ孔トシテ認メ得ベキノミ。廣キ髓線夥シクシテ、其高サハくぬぎノモノニ比シテ著シク大キク、四十耗以上ニ達スルコト少カラズ。柔軟組織ノ周圍線ハ可ナリ善ク認メ得ベシ。材甚硬ク、甚重ク、割レ易シ。樹皮ハ始メハ平滑、灰黝色ニシテ光澤アリ、後ニハ深カラザル割目アル木皮ヲ構成ス。

第五十二、おほなら(Quercus grosserrata Bl.)

(第九十七圖、第九十八圖)

前者ニ甚相似タリ、邊材ハ甚廣ク、心材ハ鮮帶黃褐色ナリ。孔圈ハ通例二個導管ノ廣サアリテ屢々猶ホ一個又ハ二個ノ隨伴セル導管ニヨリテ擴メラル、コトアリ、而シテ只狹キ年輪ニ於テハ一個導管ノ廣サアルノミ。樹皮ハ暗色ノ粗キ且ツ深キ割目アル木皮ニシテ、或ハ水平ノ割目アルコトアリ。

註、此ノ水平ニ割目アル樹ハ、確カニ之ト甚ダ近縁ナル他樹種トスルヲ得ン。

ハ、髓線甚ダ細微ナリ。

第五十三、*Platygyria strobilacea* S. et Z.

(第三十圖)

邊材廣クシテ帶黃白色、心材ハ暗黃褐色、孔圈ハ廣クシテ、漸々導管ノ少ナキ材層中ニ移リ行ケリ、孔圈外ノ導管ハ、連合シテ獸尾狀ニ分岐セル線ヲナシ、而シテ最早孔トシテ見得ズ、只黝白色ヲ帶ビテ見ユルノミ、材適硬、適重、割レ易シ、樹皮ハ帶紅黝褐色ノ深カラザル割目アル木皮ヲ構成ス。

ニ、髓線ハ極メテ細微ナリ。

第五十四、*Castanea vulgaris* Lam. var. *japonica* D. C.

(第三十一圖)

邊材甚狹クシテ汚黝黃色、心材ハ鮮褐色ニシテ淡黑色ニ傾ケリ、孔圈ハ二個乃至三個導

管ノ廣サアリ、最多クハ嚴シキ境界ナシ、孔圈内ノ導管ハ甚廣シ、而シテ獸尾狀ヲナシテ、最多ク輻射方向ニ走レル線ハ細微ナルモ、部分ニヨリテハ孔トシテ認メ得ベシ、材適硬、適重、割レ易シ、樹皮ハ始メハ平滑ニシテ暗紅褐色、後ニハ水平ノ割目アリ。

第二類、導管ガ全年輪内ニ平等ニ散在スルトコロノ木材(所謂散

孔材)。

甲、髓線ノ一部類ハ甚廣キモ、其他ハ極メテ細微ナルモノ。

第五十五、*Alnus japonica* S. et Z.

(第三十二圖第九十九圖)

新鮮ナル材ハ白色ナルモ、乾燥材ハ帶褐紅色ニシテ、固有ナル心材ナシ、廣キ髓線數多アリテ、嚴シク限界サレズシテ光澤ナク、是ガ爲ニ不判明ナリ、年輪ノ境界ハ細微ナル不判明ナル線ニヨリテ表ハサレ、其線ハ、廣キ髓線ノ側方ニアツテハ外方ニ彎曲シ、其中間ニアツテハ内方ニ屈曲ス、導管ハ甚ダ細微ニシテ、肉眼ヲ以テ辛フジテ之ヲ認メ得ベシ、細胞管ハ甚ダ稀ナリ、材ハ軟カク、輕ク、甚ダ割レ易シ、樹皮ハ早ク暗色ノ縦ニ割目アル木皮ヲ構成ス。

第五十六、やまはんのき(Alnus incana Willd. var. glauca Ait.)

(第三十三圖、第百圖)

材色前者ノ如シ、廣キ髓線ハ前者ニ於ケルヨリモ其數稍々少ナキモ、較々嚴シク表ハサル。而シテ年輪ノ境界ハ較々判明ニシテ、較少シク彎曲セリ。細胞管ハ亦稀ナリ。樹皮ハ高齡マデ平滑ニシテ、後ニハ少シク割ル。

第五十七、みやまはんのき(Alnus viridis D. C. var. sibirica Regel.)

材色前者ノモノ、如シ、廣キ髓線ハ前者ニ於ケル如ク數多キモ、遙カニ細微ニシテ、且ツ較々嚴シク限界サル。春材圈(Frühjahrsbolzzone)ヨリモ緻密ナルトコロノ秋材圈(Herbstbolzzone)ハ廣クン、而シテ年輪ノ境界ハ強ク彎曲セリ。樹皮ハ黝色ニシテ平滑ナリ。

第五十八、かはらはんのき(Alnus glutinosa Willd.)

材色空氣中ニ於テ永ク白色タリ、遂ニ帶褐紅色トナル。髓線ハ前者ニ似タルモ、光澤アリ、且ツ其數遙カニ僅少ナリ。年輪ノ境界ハ判明ニシテ、僅カニ彎曲セリ。材ハ前記はんのき類

ヨリモ較々硬ク、較々緻密ナリ。樹皮ハ暗色ニシテ後ニ鱗狀トナル。

乙、髓線ノ一部類ハ廣シ。

イ、廣キ髓線ハ甚ダ數多ク存シ、光澤ナク、且ツ稍々曲線ヲナシテ走り、其間ニ稍々細微ナルモノ進入セルモ、最細微ナルモノヲ缺ク。

第五十九、もくたちばな(Ardisia Sieboldi Miq.)

(第三十四圖)

材色黝黄色ニシテ、心材ナシ。導管ハ細微ニシテ、而シテ淡褐色ノ分泌物ヲ以テ充塞サル。髓線ハ嚴シク限界サレズ。材適硬、適重、割レ難シ。樹皮ハ暗色ナリ。

第六十、ひちのき(Myrsine capitelata Wall.)

其材前者ニ似タレド、導管僅少ニシテ開キ、且ツ判明ナリ。年輪ノ境界ハ髓線間ニ、稍々彎曲ス。樹皮ハ前者ノモノ、如シ。

第六十一、あまき(Aucuba japonica Thunb.)

邊材ハ甚狭クシテ帶黝白色心材ハ黒褐色導管ハ極メテ細微ニシテ年輪ノ内境ニ於テハ連絡シテ周圍線トナリ其他ノ材部ニ於テハ三個又ハ四個ヅ、連結ス導管ハ孔トシテ認ムルヲ得ズ髓線ハ嚴シク限界サル材重ク硬ク割レ易シ樹皮ハ始メハ綠色ニシテ平滑後ニハ栓質様ニナル。

ロ、廣キ縷子様光澤アル髓線ヲ存スルコト屢々アリテ而シテ眞直ニ走り、夫等ノ間ニ稍々細微ナルモノト、最細微ナルモノト進入セリ。

第六十二、ぶち(Ragus sylvatica L. var. Sieboldii Maxim.)

(第三十五圖第百一圖)

其材鮮淡紅色ニシテ稍々褐色ヲ帶ビ、固有ナル心材ヲ缺キ、病理的原因ヨリ成立セル偽心材アルコト屢々ナリ、髓線ヲ板目上ニ紡錘狀ニ甚ダ判明ニ見ル、導管ハ秋材圈ニ於テ遙カニ僅少ナリ、此故ニ材稍々緻密ナリ、材重ク硬ク割レ易シ、樹皮ハ綠黝色ニシテ平滑ナリ、

第六十三、S. ぬぶな(Ragus japonica Maxim.)

(第三十六圖第百二圖)

其材前者ニ似タルモ其色較々多ク黝色ニシテ且ツ汚レタリ、導管ノ少ナキ秋材圈ハ弱ク發達ス、即チ材ハ前者ノモノニ比シテ密度少シ、髓線ハ較々細微ニシテ、最多クハ較々屈曲シテ走レリ、樹皮ハ始メハ平滑ニシテ暗色ナルガ、而シテ早ク水平ニ裂ク。

丙、髓線ノ最多クハ細微ナルモ判明、即チ其經路ヲ横断面上ニ容易ニ肉眼ヲ以テ追跡スルヲ得。

イ、髓線ハ板目上ニ紡錘狀ニ判然認メ得ラル。
其一、髓線ハ一部ハ高ク一部ハ低シ。

第六十四、ふさびく(Liquidambar polyandra S. et Z.)

(第三十七圖第三十八圖第三十九圖)

邊材ハ黝白色心材ナシ、最高キ髓線ハ四耗迄ノ高サアリ、導管ハ細微ニシテ且ツ甚ダ數多ク、全年輪内ニ平等ニ分布サル、然レモ彼等ハ只單顯微鏡ヲ以テ知り得ラル、ノミ、年輪

ノ境界ハ細微鮮明ナル線ニヨリテ表ハサル。材適硬ニシテ割レ難シ。樹皮ハ暗色ニシテ、數多ノ褐色ノ皮孔ヲ有ス。

第六十五、*やまびは*(*Meliosma pungens* Wall.)

其材黝紅色、心材ナシ。最も高キ髓線其高サ八耗ニ至ルハ、一部分ハもくたちばなニ於ケルガ如ク太クシテ、之ヲ其類ニ編入シ得ベキ程ナリ。導管ハ甚僅少ナルモ、單顯微鏡ナシニハ見ルヲ得ズ。年輪ノ境界ハ知り難シ。材ハ適重ニシテ硬ク、割レ易シ。樹皮ハ灰黝褐色ナリ。

其二、髓線ハ低クシテ、且ツ殆ンド等高ナリ。

第六十六、*やまぼうじ*(*Cornus Kousa* Buerger.)

(第四十圖 第四十一圖 第四十二圖)

其材美淡紅色、心材ナシ。髓線ハ嚴シク限界サレ、光澤アリ。導管ハ細微ニシテ開キ、平等ニ分布サレ、單顯微鏡ヲ以テ孔トシテ見得ベシ。材重ク、硬ク、割レ難ク、其鉋削面甚ダ平滑ナリ。暗紅褐色ノ樹皮ガ早ク圓形ヲ帯ビタル板狀鱗片ヲ剝離ス。

第六十七、*いぬじげ*(*Ilex crenata* Thunb.)

材帶綠白色、心材ナシ。最高髓線ハ高サ二耗ニ至リ、屈曲シテ走り、光澤ナシ。導管ハ僅少ニシテ甚細微、屢々輻射列ニ置カレ、最多クハ開カズ。單顯微鏡ナシニハ知り難シ。年輪ノ境界ハ見ルニ困難ナリ。材重ク、硬ク、割レ難シ。樹皮ハ暗黝綠色ニシテ、不判明ナル皮孔ヲ有ス。

第六十八、*もちのき*(*Ilex integra* Thunb.)

くろがねもみ(*Ilex rotunda* Thunb.)

たちやう(*Ilex latifolia* Thunb.)

(第四十三圖ハもちのき)

此等ノ材ハ前者ト頗ル相似タリ、然レモ樹皮ハ互ニ稍々異ナル所アリ。即チもちのきハ、始メハ平滑ニシテ暗灰黝色、後ニハ稍々帶褐黃色。くろがねもちハ帶綠黝色ニシテ光澤アリ。たちやうノハ灰黝色ナリ。

第六十九、*あをはだ*(*Ilex macrospora* Miq.)

其材美帶綠白色、心材ナシ。髓線ハ縞子ノ如キ光澤アリテ、殆ンド一樣ニ太キモ其數前ノ樹種ニ於ケルヨリモ稍々少シ。導管ハいぬつげノモノ、如ク屢々輻射方向ニ列序スルモ、較々細微ニシテ稍々數多シ。年輪ノ境界ハ知ルニ困難ナリ。材質いぬつげノモノニ等シ。樹皮ハ平滑暗綠黝色ニシテ、強ク發達シタル石細胞巢ヲ有ス。

第七十、うよユ(*Flex pedunculosa* Miq.)

材色前者ノソレノ如シ。髓線ハ較々少シク光澤アリテ、稍々細微ナリ。導管ノ位置前者ノモノ、如シ。樹皮ハ暗綠色ニシテ、石細胞巢甚僅カニ發達セリ。

第七十一、こんクサク(*Euscaphis japonica* Pax.)

材汚黝色、心材ナシ。髓線ハ光澤アルモ、年輪ノ境界ノ邊ニハ較々不判明ニシテ、恰モ其處ニ於テ中斷サレタル如クニ見ユ。導管ハ細微ナルモ僅少、而シテ秋材圈ニ於テハ更ニ細微ニシテ、之カ爲メニ其部分ハ較々緻密ナリ。導管ハ開キオレドモ、肉眼的ニ認ムルコト困難ナリ。材ハ適硬、適重、割レ難シ。樹皮ハ暗褐色ニシテ、皺ノアル表面ヲ具有ス。

ロ、髓線ハ之ヲ板目上ニ認知スルコト甚ダ困難ナリ。

其一、導管ハ僅少ニシテ細微ナルモ、横断面上ニ善ク見得ベシ。

ス、髓線ハ殆ンド一樣ニ細微ナリ。

第七十二、あはぶアキキ(*Meliosma myriantha* S. et Z.)

(第四十四圖、第四十五圖、第四十六圖)

邊材ハ鮮黃褐色、心材ハ褐色。導管ハ、最多クハ二個乃至四個ツ、輻射的ニ連合シ、開キ、且ツ淡黃色ノ縁アリ、單顯微鏡ヲ以テ夫等ヲ明カニ開ケル孔トシテ見得レドモ、肉眼ヲ以テハ只黃色ノ點トシテ之ヲ見ルノミ。材ハ屢々不規則ナル暗色ニ着色サレタル位置ヲ現ハス。コトアリ。材適硬ニシテ重ク、割レ難シ。樹皮ハ暗黝色ナリ。

ろ、最多クノ髓線ハ細微ニシテ、其間ニ甚細微ナルモノヲ認メ得。

第七十三、じきジんンはハ(*Morus indica* L.)

(第四十七圖)

邊材狭クシテ帶黃白色、心材ハ種々ニ着色サレ、鮮黃色、黃褐色、乃至ハ暗褐色タリ。導管ハ僅少ニシテ、淡黃色ノ分泌物ヲ以テ充タサル。特別ナル髓線ハ時トシテハ廣キコアリ。材甚重ク、甚硬ク、割レ難シ。

第七十四、えんじゆノ一種ナランカ(Sophora sp.?)

(第四十八圖)

邊材鮮淡黃色、心材ハ鮮黃色、美ナル光澤アリ。導管ハ、僅少ニシテ一様ニ散在シ、開キ、且ツ判明ナリ。髓線ハ細微ニシテ銳ク、前者ニ於ケルヨリモ較々數多シ。年輪ノ境界ハ細微ナル鮮黃色ノ線ニヨリテ表ハサル。材軟ク、輕ク、割レ易シ。樹皮ハ黃黝色ニシテ平滑ナリ。

第七十五、からすざんせう(Zanthoxylum ailanthoides S. et Z.)

(第四十九圖)

邊材狭クシテ黃白色、心材ハ鮮帶黃色、導管ハ年輪ノ外境ニ對シテ漸次小サクナレリ。髓線ハ前者ヨリモ稍々僅カ判明ナリ。細胞管ハ少ナシ。材輕ク、軟ク、割レ易シ。樹皮ハ褐黝色ニシテ、太キ刺アリ。

其二、導管ハ細微ニシテ、横断面上ニハ、之ヲ見ルニ困難ナルカ、又ハ殆ンド最早見得ズ、之ニ反シテ、縦断面上ニハ、窪ミタル線トシテ見得ベシ。
5、心材ナシ。

第七十六、いたやかへで(Acer pictum Thunb. var. Mono Maxim.)

(第五十圖、第五十一圖、第五十二圖、第百三圖)

材帶黃白色ニシテ、光澤アリ、空氣中ニ於テ淡褐色トナル。髓線ハ判明ニシテ、光澤アリ、眞直ニ走ル。導管ハ細微ニシテ、單顯微鏡ヲ以テ、開キタル細微ナル少孔トシテ認メ得ベシ。年輪ノ境界ハ細微ナル線ニヨリテ表ハサル。此等ノ爰ニ記載セル特徴ハ、下ニ述ブルカヘで類(Acer-arten)ニ共通ナリトス。年輪ノ境界ハ、可ナリ美ナル圓形ヲナシ、細胞管ハ稀ナリ。材ハ適硬、適重、割レ易シ。樹皮ハ鮮黃褐色ノ、小サキ、水平ナル割目アル木皮トナル。

第七十七、やまのみぢ(Acer palmatum Thunb.)

(第百四圖)

材ハ前者ノモノ、如シ。年輪ノ境界ハ、最多クハ美ナル圓形ヲナサズ。樹皮ハ永ク平滑ニシテ暗帶綠黝色、後ニ淺キ縦ノ割目ヲ得。

第七十八、かぢかへび(Acer purpurascens Fr. et Sav.)

(第百五圖)

材前者ニ相似タリ。髓線ハ甚ダ判明ナリ。樹皮ハ暗黝色ニシテ、甚小ナル鱗片狀ヲナス。

第七十九、ちどりのき(Acer carpinifolium S. et Z.)

(第百六圖)

材ハ同様ナリ。髓線ハ甚ダ判明ナリ。若シ其材空氣中ニ於テ暗色ニ變ズル時ハ、髓線ハ板上ニ善ク認め得ベシ。斯ノ如キ場合ニハ其材ハ亦前ノ部類ニ算へ得ヘシ。樹皮ハ蘚苔ニヨリテ綠黝色又ハ淡綠白色ニ着色サル。

第八十、ちやうじやのき(Acer nicoense Maxim.)

(第百七圖)

髓線ハ前者ノモノヨリモ稍々細微ナリ。年輪ノ境界ハ僅カニ判明ナリ。細胞管ハ稀ナリ。樹皮ハ前者ノモノ、如シ。

第八十一、あさのはかへび(Acer argutum Maxim.)

髓線ハ甚ダ判明ニシテ、光澤アリ。年輪ノ境界ハ判然セズ。細胞管ハ甚夥シ。樹皮ハ平タキ鱗片狀ナリ。

第八十二、うりかへび(Acer rufoerve S. et Z.)

(第百三圖、第百八圖)

髓線ハ、特別ナル光澤アリテ、平等ニ細微ナリ。年輪ノ境界ハ波狀ニシテ判明。樹皮ハ黒綠色ニシテ、稍々硬キ栓質層(Korkschicht)ヨリ成立テ、淡白色ヲナシテ増厚セル部分アリ。

第八十三、めうりかへび(Acer crataegifolium S. et Z.)

前者ニ甚ダ相似タリ、只樹皮ハ更ニ緑ナリ。

第八十四、はうちばかへで(Acer japonicum Thunb.)

こほうちばかへで(Acer Sieboldianum Miq. var. microphyllum Maxim.)

(第五十四圖、第百九圖)

髓線ハ前者ノモノ、如キモ稍々光澤アリ。細胞管數多アリ。年輪ノ境界ハ、其粗キ波狀ヲナセル線ニヨリテ表ハサル、モ、判明ナラズ。材ハ前ノかへで類ノ材ヨリ稍々疎ニ構成サレ、樹皮ハ早ク、縦ノ割目アル厚キ木皮ヲ構成ス。

第八十五、まるばかへで(Acer distylum S. et Z.)

(第百十圖)

髓線ハ平等ニ細微ニシテ光澤ナシ。年輪ノ境界ハ美ナル圓形ヲナシ、且ツ判明ナリ。細胞管ハ稀ナリ。樹皮ハ暗黝色ニシテ、水平ノ割目アリ。

第八十六、さなのさ(Ailia cordata Mill. var. japonica Miq.)

ほだしのさゆ(Ailia Miqueliana Maxim.)

材ハ帯紅白色ニシテ、屢々暗黝色又ハ汚白色ヲ帯ビタル位置ヲ存ス。髓線ハ、平等ニ細微

ニシテ光澤ナク、板目上ニ單顯微鏡ヲ以テ、細微ナル紡錘狀ヲナシテ善ク見得ベシ。導管ハ數多クシテ、平等ニ分布サル。年輪ノ境界ハ、不判明ナル、圓滑ナル線ニヨリテ表ハサル。材軟ク、輕ク、割レ易シ。樹皮ハ永ク平滑ニシテ、後ニハ水平ノ割目アリ。

第八十七、みづき(Cornus macrophylla Vahl.)

(第五十五圖)

材ハ白色ニシテ、空氣中ニ於テ汚淡紅白色トナル。髓線ハ細微ニシテ、可ナリ判明ナルモ、板目ノ上ニハ單顯微鏡ヲ以テ、纒カニ認メ得ヘシ。導管ハ細微ニシテ、甚ダ數多ク、肉眼ヲ以テ、平滑ナル鈍削横断面上ニ、猶ホ孔トシテ之ヲ見得ベシ。年輪ノ境界ハ、暗色ノ所々小波狀ニ屈曲セル線ニヨリテ表ハサル。材ハ屢々暗色ニ着色サレタル位置ヲ現ハシ、軟ク、輕ク、割レ易シ。樹皮ハ薄キ黝色ヲ呈シ、鮮明ニ見ユルトコロノ、縦ノ割目ヲ有ス。

第八十八、さばみづき(Cornus ignorata C. Koch.)

材ハ前者ニ甚ダ相似タルモ、其色稍々紅色ヲ帶ブ。樹皮ハ割目ニ於テ紅色ヲ帶ブ。

ろ、心材ヲ有ス。

第八十九、みつぼうつゝ(Staphylea Bumalda S. et Z.)

邊材ハ黃白色ニシテ、心材ハ更ニ黃色ヲ帶ブ。髓線ハ光澤アリテ且ツ判明ナルモ、最多クハ閉ヂタリ。材硬ク、重ク、割レ易シ。樹皮ハ黝褐色ニシテ小鱗片狀ナリ。

第九十、やまぢく(Prunus pseudo-cerasus Lindl. var. spontanea Maxim.)

よじ(Prunus pseudo-cerasus Lindl. var. Sieboldi Maxim.)

(第五十六圖、第一百十一圖)

邊材ハ鮮淡褐色、心材ハ褐色、材ハ屢々不規則ナル。淡褐色ニ着色サレタル位置ヲ現ハス。トアリ。髓線ハ明瞭ナルモ特別ナル光澤ナシ。導管ハ横斷面上ニ、一部分ハ肉眼ヲ以テ猶ホ孔トシテ見得ヘシ。彼等ハ連合ノ波狀線ヲナス。ト屢々アリ。殊ニ著シキハ年輪ノ内境ニ於テ、周圍的ニ走レル導管列ナリ。然レモ之レニ只單顯微鏡ヲ以テ明カニ認知シ得ラル、ノミ、此線ヲ又下記ノさくら類(Prunus-arten)ニ就テモ之ヲ見ル。細胞管ハ通例稀ナルモ、時トシテハ可ナリ夥シ。材適硬、適重、割レ易シ。樹皮ハ光澤アル暗紅色ノ成層外皮ニヨリテ蔽ハル。

第九十一、うはみ(Prunus Grayana Maxim.)

(第一百十二圖)

材前者ノモノニ甚ダ相似タリ。心材ノ色ハ帶紅褐色。導管ハ較々明瞭。細胞管ハ稀ナリ。樹皮ハ暗褐色ノ厚キ木皮鱗ヲ剝離ス。

第九十二、いぢ(Prunus Buergeriana Miq.)

(第一百十三圖)

心材ハ鮮褐色ナリ。導管ハ細微ニシテ、周圍的ニ中斷シツ、走レル細微ナル線ヲ形成シ、其線ハ肉眼ヲ以テ可ナリ善ク見得ルモ、其導管自身ハ最早單顯微鏡ナシニハ見得ベカラズ。細胞管ハ甚ダ數多シ。材ハ較々劣等ノ形質ヲ有ス。樹皮ハ鮮黝色ノ光澤アル成層外皮ニヨリテ蔽ハル。

第九十三、めじろ(Prunus cerasoides Maxim.)

邊材ハ廣ク、心材ハ汚淡黃綠褐色ナリ。甚ダ細微ニシテ、縦カニ單顯微鏡ヲ以テ見得ベキ

導管ハ最多クハ放射的ニ走レル線ヲ成セドモ其線ハ通例一度斜ニ折ル。髓線ハやまざくらノモノヨリハ較々細微ナリ。細胞管ハ數多シ。材質前者ノモノ、如ク樹皮ハやまざくらノモノニ似タリ。

第九十四、まめざくら (*Prunus incisa* Thunb.)

材前者ニ等シ。心材帯紅褐色。髓線ハ明瞭。細胞管ハ甚數多シ。樹皮ハ前者ノモノ、如シ。

第九十五、をがたまのき (*Michelia compressa* Maxim.)

邊材ハ狭クシテ淡黄色。心材ハ特有ナル帶褐色ニシテ、美ナル光澤アリ。髓線ハ最多クハ短カキ線條ニ終リ。導管ハ屢々斜ナル線ニ排列サレ、單顯微鏡ヲ以テ、孔トシテ判然之ヲ認メ得。横断面上ニ又周圍的ニ走レル黄色ノ細微ナル線ノ、年輪ト並行セルヲ見ル。材適硬、適重、割レ難シ。樹皮ハ平滑ニシテ暗灰黝色ナリ。

第九十六、にはさ (*Sambucus racemosa* L.)

邊材ハ黄白色。心材ハ只較々多ク褐色ヲ帶ブルノミ。髓線ハ判明。導管ハ數多クシテ、單顯

微鏡ヲ以テモ亦判明ナラズ。年輪ノ境界ハ鮮カニ着色サレタル線ニヨリテ顯ハサレ、其線ハ全ク細微ナル導管ヨリ成立セリ。材適硬ニシテ割レ易シ。樹皮ハ黄黝色ノ、栓質ニ富メル、深キ割目アル木皮トナル。

第九十七、うづき (*Deutzia scabra* Thunb.)

材ハ前者ノモノニ似タリ。導管ハ只單顯微鏡ヲ以テ見得ベキノミニシテ、屢々周圍線又ハ斜線ニ排列サル。材硬ク、重ク、割レ易シ。樹皮ハ鮮黄色ノ、平タキ鱗片狀ノ木皮トナル。

丁、最多クノ髓線ハ甚ダ細微ナリ。

イ、導管ハ廣ク、時トシテハ甚ダ廣シ。横断面上ニ明カニ孔トシテ見得ベク、且ツ密ニ集マラズ。

第九十八、かき (*Diospyros Kaki* Lf.)

(第五十七圖)

邊材ハ新鮮ナル情態ニ於テハ黄色ニシテ、空氣中ニ於テ黝白色トナリ、心材ハ汚帶褐黒

色ナリ。材ハ局所的ニ心材化スルコト (Verharung) 尠ナカラズ。導管ハ廣クシテ、且ツ甚ダ僅少、年輪ノ外境ニ近ツクニ從テ、其太サト數トヲ減ス、此等ノ導管ハ、一般ニハ四個ヅ、稀ニハ四個以上ヅ、輻射方向ニ連合シ、人ヲシテ輻射導管線 (Radiale Gefässlinie) アル木材譯者曰第三類ヲ指スナリ) ナラント思ハシムルコトアリ。材重ク硬ク、割レ難シ。樹皮ハ暗褐色ノ、小鱗片狀ノ盤狀木皮ヲ構成ス。

第九十九、まめがき (Diospyros Lotus L.)

前者ニ甚相似タルモ、導管ハ遙カニ細微ナリ。心材ハ深黑色ニシテ、且ツ較々重シ。

第百、をにぐるみ (Juglans Sieboldiana Maxim.)

(第五十八圖)

邊材ハ帶黝白色、心材ハ帶紅褐色ニシテ、時トシテハ黑褐色ナリ。導管ハ開キ且ツ明カナリ一般ニ斜ナル線ニ整列サレテ、而シテ年輪ノ外境ニ近ツクニ從テ、大ヒニ其太サヲ減ズ。柔軟組織 (Parenchym) ヨリ成立セルトコロノ、甚ダ細微ニシテ、纒カニ見得ベキ線アリテ、周圍的ニ且ツ並行ニ走レリ。材適硬、適重、割レ易シ。樹皮ハ灰黝色ノ、深キ割目アル木皮トナル。

第百一、さばぐるみ (Pterocarya rhoifolia S. et Z.)

(第五十九圖)

材ハ美ナル黄白色、心材ナシ。導管ハ、前者ニ於ケルガ如ク、斜ナル線ニ排列サル、然レモ此等ノ線ハ明カニ表ハレ、而シテ其線内ノ導管ハ等大ナリ。柔軟組織ヨリ成リテ、周圍的ニ走レル細微ナル線ヲ纒カニ平滑ナル横斷面上ニ、單顯微鏡ヲ以テ注意シ得ベキノミ、材適硬、適重、甚ダ割レ易シ。樹皮ハ暗褐色ノ、可ナリ深キ割目アル木皮ヲ構成ス。

第百二、はすのはざり (Hernandia pelata Meisn.)

其材黄白色ニシテ、心材ハ鮮綠色乃至暗綠色ニシテ、不齊ニ着色サル。材ハ通例鮮黄色乃至淡綠色ニ燦クトコロノ條紋ヲ現ハス。導管ハ僅少ニシテ不判明ナリ。材重ク、甚ダ硬ク、割レ難シ。

第百三、くま (Cinnamomum Camphora Nees.)

(第六十圖)

邊材黝白色、心材ハ帶褐紅色、導管ハ屢々三乃至四個ヅ、ナレドモ塊集シテ存ス。此等ノ導管ハ判然限界サレズ、且ツ年輪ノ外境ニ近ツクニ從テ僅少トナル。材ハ著名ナル樟腦質ヲ含ミ、是ガ爲メニ強キ愉快ナル香氣ヲ有シ、甚ダ永ク之ヲ失ハズ、材軟ク、輕ク、割レ易シ。樹皮ハ黝褐色ノ、水平ニ割目アル木皮ナリ。

第百四、たぶのき(Machilus Thunbergii S. et Z.)

返材ハ黝白色、心材ハ褐紅色、導管ハ屢々二三個稀ニ數個ヅ、塊集ス。之等導管ハ可ナリ判然限界サル。材ハ香氣ヲ有セズシテ、軟ク、輕ク、割レ難シ。樹皮ハ始メハ平滑ニシテ暗色、後ニハ栓質ノ、鮮黃黝色ノ木皮トナル。

第百五、がっき(FIGUS rehusa L. var. nitida Miq.)

(第六十一圖)

其材褐色ニシテ、心材ナク、導管ハ甚ダ僅少ニシテ、孤立シテ存ス。甚ダ厚キ淡褐色ニ着色サレタル柔軟組織的圈ハ、周圍的ニ並行シテ走り、其間ニ判然ト木纖維(Dolzasen)ヨリ成レル層ヲ見ル。年輪ノ境界ハ之ヲ知ルニ甚困難ナリ。材硬ク、重ク、割レ難シ。樹皮ハ暗色ニシテ

平滑ナリ。

ロ、導管ハ、横断面上ニハ肉眼ヲ以テ只辛フジナ孔トシテ見得ベキモ、縦断面上ニハ窪ミタル線トシテ善ク見得ベシ。

第百六、さびのき(Syrax japonica S. et Z.)

(第六十二圖、第六十三圖、第六十四圖、第百十四圖)

新タニ伐採セル材ハ帶黃白色ニシテ、永ク空氣ニ曝サレタルモノハ淡紅色ナリ、心材ナシ。導管ハ最多クハ三個以下宛連合ス。柔軟組織ヨリ成レル、周圍的ニ走レル長キ線ハ、横断面上ニ善ク見得ベシ。年輪ノ境界ハ判明ナリ。材ハ硬ク、適重ニシテ、割レ難シ。樹皮ハ始メハ平滑ニシテ暗褐色、後ニハ小鱗片狀ノ木皮ヲ構成ス。

第百七、はくうんぼく(Syrax Obassia S. et Z.)

(第百十五圖)

其材前者ニ甚ダ相近シ、周圍的ニ走レル柔軟組織線ハ、較々細微ニシテ較々不判明ナリ。

樹皮ハ永キ間平滑ナリ。

五十六

第百八、いんざり(*Ilex polycarpa* Maxim.)

材ハ白色ニシテ、殆ンド常ニ淡黝色ノ位置ヲ現ハシ、心材ナシ。導管ハ數多クシテ、單顯微鏡ヲ以テモ亦明カニ見得ベカラズ。年輪ハ常ニ前者ノモノヨリモ稍々廣シ。年輪ノ境界ハ不判明ナリ。材ハ軟カク、輕ク、割レ難シ。樹皮ハ暗灰黝色ニシテ、而シテ平滑ナリ。

第百九、ほうのき(*Magnolia hypoleuca* S. et Z.)

(第六十五圖、第百十六圖)

邊材ハ狭クシテ、帶黝白色。心材ハ黝綠色乃至暗綠色。年輪ノ境界ハ、細微ナル美ナル圓形ヲナセル、鮮明ナル線ニヨリテ表ハサル。髓線ハ只鮮明細微ナル條紋トシテ見得ベシ。導管ハ數多キモ容易ニ集ラズ。材輕ク、軟カク、甚ダ割レ易シ。樹皮ハ暗黝色ナリ。

第百十、こぶし(*Magnolia Kobus* D. C.)

(第百十七圖)

前者ニ以タリ、心材ハ鮮綠色ニシテ、而シテ年輪ノ境界ハ、暗綠色ノ緻密ナル秋材圈ニヨリテ認知スベシ。髓線ハ不判明ナリ。樹皮ハ帶白綠色ニシテ、愉快ナル香氣アリ。

第百十一、たむじま(*Magnolia salicifolia* Maxim.)

(第百十八圖)

前者ニ似タリ。心材ハ帶綠白色。樹皮ハ暗黝色ニシテ、其表面粗ナリ。

第百十二、さんせう(*Zanthoxylum piperitum* D. C.)

いぬさんせう(*Zanthoxylum schinifolium* S. et Z.)

さんせうノ材ハ非常ニ黃色ニシテ、いぬさんせうノ材ハ鮮黃色ナリ。心材ナシ。數多ノ細胞管アリ。導管ハ僅少。樹皮ハ暗褐色ニシテ、刺ノ如キ栓質殼ヲ有ス。

第百十三、まると(*Stewartia monadelphæ* S. et Z.)

(第六十六圖、第百十九圖)

邊材甚ダ廣クシテ、鮮褐色。心材ハ帶褐紅色。導管ハ、横斷面上ニ猶ホ肉眼ヲ以テ見得ベキ

モ單顯微鏡ヲ以テスレバ判明ニシテ且ツ開ケリ。年輪ノ境界ハ不判明ニシテ、其樹軸ノ方
向ニ於ケル經路ハ眞直ナラズ。材ハ硬ク重ク、甚ダ割レ難シ。樹皮ハ鮮褐色ノ、薄キ、圓形ノ木
皮板ヲナシテ剝離ス。

第百十四、*なつては* (Stewartia pseudocamelia Maxim.)

(第百二十圖)

材ハ前者ノモノニ近シ、心材ハ褐色ニシテ、邊材ハ甚狭シ。導管ハ前者ノモノヨリモ較々
細微ニシテ、之ガ爲メニ材ハ較々密ニシテ較々重シ。年輪ノ境界ハ較々密ナル秋材圈ニヨ
リテ善ク認知サル。樹皮ハ莖青褐色ニシテ、可ナリ厚キ木皮板トシテ剝離ス。

第百十五、*やじ* (Alnus firma S. et Z.)

材ハ褐色ニシテ稍々紅色ヲ帶ブ、心材ナシ。導管ハ前者ノモノニ比スレバ較々疎ニ分布
サル。材ハ通例汚淡白色又ハ淡黑色ノ位置ヲ顯ハス。年輪ノ境界ハ不判明ナリ。材軟ク、輕ク、
割レ易シ。樹皮ハ厚キ、硬キ、鱗狀木皮ヲ構成ス。

第百十六、*かじ* (Cercidiphyllum japonicum S. et Z.)

(第六十七圖)

邊材ハ鮮淡褐色、心材ハ帶黝褐色。導管ハ數多クシテ甚ダ密ニ集マリ、單顯微鏡ヲ以テモ
甚ダ見難シ。年輪ノ境界ハ暗色ノ較々密ナル秋材圈ニヨリテ認知サル。材ハ均一ニ構成サ
レ、軟ク、輕ク、甚ダ割レ易シ。樹皮ハ暗色ノ、深カラザル割目アル木皮ヲ構成ス。

第百十七、*はりばり* (Machilus Thunbergii S. et Z. var. japonica Yatabe.)

材ハ帶綠黃褐色、心材ナシ。導管ハ密ニ集マラザルモ、只單顯微鏡ヲ以テ見得ベシ。年輪ノ
境界ハ圓形ヲナセル暗色ノ線ニヨリテ表ハサル。材ハ軟ク、輕ク、割レ易シ。樹皮ハ鮮帶褐黝
色ニシテ平滑ナリ。

第百十八、*いぬび* (Ficus erecta Thunb.)

がづまるニ甚ダ相似タリ、然レモ導管ハ遙カニ細微ニシテ、横断面上肉眼ヲ以テ纔カニ
之ヲ知り得ベシ。樹皮ハ光澤アリテ帶黝白色ナリ。

第一百十九、しろだも(*Liriodendron glaucum* Sieb.)

材ハ帶白黝色、心材ナシ。導管ハ最多クハ二個ツツ連合シ、而シテ淡黄色ノ縁アリ、肉眼ニハ只鮮カナル點トシテ見得ベキノミ。細胞管ハ稀ナリ。年輪ノ境界ハ可ナリ判明ナリ。材軟ク、割レ難シ。樹皮ハ暗色ニシテ、圓キ大ナル皮孔ヲ有ス。

第一百二十、こがのき(*Achinodaphne lanceolata* Meisn.)

邊材ハ鮮帶褐白色、心材ハ紅褐色。導管ハ最多クハ孤立シテ存シ、且ツ判然見ルヲ得ベシ。材軟ク、割レ難シ。樹皮ハ莖青褐色ニシテ、圓形ヲナセル鱗狀板トシテ剝離ス。

第一百二十一、やぶにんじり(*Cinnamomum pedunculatum* Nees.)

材ハ帶緑白色、空氣中ニ於テ淡紅黝色トナル。導管ハ前兩者ノモノヨリモ遙カニ數多クシテ、且ツ較々細微ナリ、而シテ横断面上ニハ、只纒カニ孔トシテ認識シ得ベシ。年輪ノ境界ハ暗色ナル線ニヨリテ知り得ベシ。材軟ク、割レ難シ。樹皮ハ暗紅色ニシテ、大ニシテ僅少ナル、鐵銹褐色ノ皮孔ヲ有シ、或ル強キ香氣ヲ發ス。

第一百二十二、あぶらぢやん(*Lindera praecox* Bl.)

材ハ暗黝色ニシテ、心材ナシ。導管ハ亦單眼微鏡ヲ以テ纒カニ知ルヲ得ベシ。暗褐色ノ細胞管アリ。材重クシテ硬シ、樹皮ハ薄キ黝色ニシテ、而シテ平滑ナリ。

第一百二十三、くろもじ(*Lindera sericea* Bl.)

材鮮黝色ニシテ、特有ノ愉快ナル香氣ヲ有ス、心材ナシ。細胞管ハ稀ナリ。材ハ輕ク、軟ク、割レ易シ。樹皮ハ平滑ニシテ暗綠色ナリ。

第一百二十四、しろもじ(*Lindera triloba* Bl.)

材ハ前者ニ似タルモノ、而モ一ノ香氣ヲ有セズ。細胞管ハ數多シ。樹皮ハ暗黝色ナリ。

第一百二十五、かなくき(*Lindera umbellata* Thunb.)

材ハ淡紅色ニシテ、心材ナク、細胞管多シ。

六、導管ハ肉眼ヲ以テハ横断面上ニモ縦断面上ニモ見ルヲ得ズ。

第二百二十六、*Myrica rubra* S. et Z.)

(第六十八圖)

邊材ハ甚ダ廣クシテ鮮帶褐紅色、心材ハ暗紅色ニシテ光澤ナシ。髓線ハ板目上ニ能ク見得。年輪ノ境界ハ之ヲ知ルニ困難ナリ。材硬ク、重ク、甚ダ割レ難シ。樹皮ハ始メハ平滑ニシテ帶綠黝色、後ニハ淺キ縦ノ割目ヲ得。

第二百二十七、*Ernststroemia japonica* Thunb.)

(第六十九圖)

邊材ハ狭クシテ鮮紅色、心材ハ深紅色、髓線ハ、横断面上ニ、又前者ノモノ、如ク、善ク見ルヲ得ベクシテ、其高サハ較々大ナリ、之ガ爲メニ容易ニ前後兩者ヲ區別シ得。材ハ重ク、硬ク、甚ダ割レ難ク、樹皮ハ暗色ナリ。

第二百二十八、*Thea japonica* Nois.)

(第二百二十一圖)

材ハ鮮淡褐色ニシテ、心材ナシ。髓線ハ光澤ナク、且ツ板目上ニハ最早見ルヲ得ズ。春材圈ハ鮮明ニ見ヘ、材甚ダ重ク、甚ダ硬ク、甚ダ割レ難シ。樹皮ハ平滑ニシテ鮮黃褐色ナリ。

第二百二十九、*Thea Sasanqua* Nois.)

(第二百二十二圖)

材ハ帶褐紅色、心材ナシ。髓線ハ光澤アリテ判明ナリ。其他ハ前者ノ如シ。樹皮ハ黃褐色ナリ。

第三百十、*Clethra barbinervis* S. et Z.)

(第七十圖)

材色つばきニ似タリ、心材ハ之ヲ缺ク。導管ハ、單顯微鏡ヲ以テ熟視スレバ、横断面上ニハ甚ダ細微ナル孔トシテ判然見ルヲ得ベク、縦断面ニハ前者ト區別シ得ベキホド較々判明ナリ。材重ク、硬ク、甚ダ割レ難シ。樹皮ハ黝褐色ノ鱗狀木皮ヲ構成シ、而シテ圓狀板トシテ剝離ス。

第三百三十一、くわりん(*Gydonia sinensis* Thunb.)

(第二百二十三圖)

材色前者ニ似タリ、髓線ハ紅色ニ着色サル。平滑ナル横断面上ニ、細微ナル細胞纖維層ヲ見ルベシ。樹皮ハ前者ノモノニ似タルモ、莖青褐色ナリ。

第三百三十二、かじをじみ(*Lyonia ovalifolia* Don.)

(第二百二十四圖)

材色つばきニ似タリ、髓線ハ判明、淡紅色ニシテ光澤アリト雖、板面上ニハ最早肉眼ヲ以テ見得ベカラズ。細胞管ハ稀ナリ。材硬ク、重ク、甚ダ割レ易シ。樹皮ハ光澤アル褐色ノ、小環状ノ木皮ヲ構成ス。

第三百三十三、じやくなき(*Rhododendron Metternichii* S. et Z.)

(第二百二十五圖)

前者ニ甚ダ相似タリ。髓線ハ、板目上ニハ、淡紅色ニ着色サレタル小點トシテ善ク見得ベ

シ。樹皮ハ鮮黝褐色ノ、小鱗片状木皮ヲ構成ス。

第三百三十四、みつばつゝ(*Rhododendron dilatatum* Nig.)

材前者ノモノト頗ル相似タリ。秋材圈ハ能ク發達シ、暗色ニ着色サル。樹皮ハ暗紅褐色ノ鱗状木皮トナル。

第三百三十五、うじころじ(*Ponthea villosa* Dene.)

材ハ淡紅色乃至淡褐色ニシテ、心材ナシ。髓線ハ數多ク存スルモ、板目上ニハ最早見得ベカラズ。導管モ亦横断面上ニ單顯微鏡ヲ以テ見ルヲ得ズ。材硬ク、重ク、甚ダ割レ難シ。樹皮ハ暗黝色ニシテ、縦ニ走レル皺ヲ有ス。

第三百三十六、ねずみもち(*Ligustrum japonicum* Thunb.)

材ハ白黝色、髓線ハ只辛フジテ見得ルノミ。導管ハ數多ク、且ツ内部ノ年輪ノ境界ニ於テ可ナリ判明ニシテ、單顯微鏡ヲ以テ孔トシテ見得ベシ。即チ此種ヲ散孔材ノ環孔材ニ移リ行キノ状態ヲナスモノトシテ、注意シ得ベキガ如シ(第二十五、いぼたのきノ部ヲ見ヨ)。材重

ク、硬ク、樹皮ハ暗色ナリ。

第三百三十七、さんごじゆ(Viburnum odoratissimum Ker.)

新鮮ナル材ハ白色ニシテ、空氣中ニ於テ汚淡褐色トナル。導管ハ數多クシテ、且ツ全年輪内ニ平等ニ分布サレ、其一部ハ單顯微鏡ヲ以テ孔トシテ見得ベシ。髓線ハ淡紅色ニ着色サレ、判然能ク見得ベシ。年輪ノ境界ハ不判明ナリ。材硬ク、重ク、甚ダ割レ難シ。樹皮ハ暗帶紅褐色ニシテ、後ニ脆弱ナル鱗片狀ノモノトナル。

第三百三十八、がまざみ(Viburnum dilatatum Thunb.)

ねほかめのき(Viburnum foveatum Bl.)

材ハ新鮮ナル情態ニ於テハ帶黃白色ニシテ、空氣中ニ於テハ鮮褐色乃至褐色トナル。髓線ハ判然タリ。導管ハ、横断面上ニ、單顯微鏡ヲ以テ細微ナル孔トシテ猶ホ見得ベシ。年輪ノ境界ハ可ナリ判明ナリ。材重ク、硬ク、樹皮ハ暗褐色ニシテ小鱗片狀ヲナス。

戊、凡テノ髓線極メテ細微ニシテ、單顯微鏡ナクシテハ、最早見ルヲ得ズ。

イ、導管ハ廣クシテ、横断面上ニ判然孔トシテ見得ベク、且ツ密ニ集マラズ。

第三百三十九、りうがん(Nephelium Longana Camb.)

材鮮紅褐色ニシテ光澤アリ。導管ハ不均ニ分布シ、且ツ屢々輻射的方向ニ整列ス。彼等ハ屢々淡白色ノ分泌物ヲ以テ填充サル。年輪ノ境界ハ不判明ナリ。材重ク、硬ク、割レ難シ。樹皮ハ黄褐色ノ栓質ノ、厚キ鱗狀木皮ヲ構成ス。

ロ、導管ハ、肉眼ヲ以テ横断面上ニハ孔トシテ見ルコト甚ダ困難ナルモ、而モ縦断面上ニハ善ク窺メル線トシテ見得ベシ。

其一、導管ハ單顯微鏡ヲ以テ熟視スルニ、僅少ニシテ而シテ明カナリ、密ニ集マラズ。

シ、材硬シ。

第四百十、おさだ(Ostrya japonica Sargent.)

(第七十一圖、第七十二圖、第七十三圖)

邊材ハ甚廣クシテ、光澤アル鮮黝色ヲナシ、心材ハ深褐色ナリ。導管ハ、屢々輻射的方向ニ整列スルトコロナルガ、單顯微鏡ヲ以テ、橫斷面上ニ可ナリ善ク開キタル孔トシテ見得ベシ。秋材圈ハ廣キ割目アル材ニハ可ナリ強ク發達シ、且ツ暗色ニ見ユルコトナルガ、其内ニ細微ナル導管ヨリ成レル淡白色ノ、獸尾狀ノ紋様ヲ見ル。柔軟組織ヨリ成レル甚ダ細微ナル線ハ、橫斷面上ニ肉眼ヲ以テ猶ホ知ルヲ得ベシ。細胞管ハ可ナリ夥シ。材ハ硬ク、重ク、割レ難シ。樹皮ハ暗黄褐色ノ、淺キ縦ノ割目アル木皮ヲ構成ス。

第四百十一、なつめ (*Zizyphus vulgaris* Lam. var. *hierunis* Bge.)

邊材ハ帶黄白色、心材ハ紅褐色。導管ハ、屢々斜線ニ排列サレ、單顯微鏡ヲ以テ開キタル孔トシテ明カニ見得ベシ。年輪ノ境界ハ、細微ナル線ニヨリテ之ヲ顯ハシ、其線ハ單顯微鏡ヲ以テ善ク認識シ得ベシ。材甚ダ重ク、甚ダ硬ク、割レ難シ。樹皮ハ深キ割目ノアル小鱗片狀ノ木皮トナル。

第四百十二、からたま (*Cleus trifoliata* L.)

邊材ハ狭クシテ黄白色、心材ハ鮮帶綠黄色ナリ。導管ヲ、單顯微鏡ヲ以テ、明カナル開キタ

ル、黄緑アル孔トシテ見得ベシ。而シテ通例二個宛、稀ニハ三個宛、連合シテ存ス。長キ距離ヲ周圍的ニ斷續シツ、走レル、細微ニシテ黄色ナル線ヲ、判然橫斷面上ニ見ルベシ。年輪ノ經路ハ甚ダ不規則ナリ。材硬ク、重ク、甚ダ割レ難シ。樹皮ハ帶黑褐色ナリ。

第四百十三、ひやくじつこ (*Lagerstroemia indica* L.)

材鮮黝色ニシテ、心材ハ缺ケタリ。導管ノ位置ハ前者ノソレト相似タリ。橫斷面上ニ、單顯微鏡ヲ以テ、周圍的ニ波狀ニ走レル、短カケレドモ可ナリ厚キ柔軟組織線ヲ見ル。樹皮ハ鮮黄褐色ノ、薄キ圓形ヲナセル鱗狀板ヲ剝離ス。

第四百十四、をのをれ (*Betula Bhojpattara* Wall. var. *typica* Kgl.)

ぢやうかんば (*Betula globispica* Shirai.)

(第七十四圖、第二百二十六圖)

邊材ハ帶黄白色、心材ハ褐色。導管ハ、全年輪ニ平等ニ分布サレ、圓形ニシテ且ツ不判明ナリ。年輪ノ境界ハ、不判然タル細微ナル線ニヨリテ表ハサル。此兩特徴ハ又下記ノ樺類 (*Betula-arten*) ニモ共通ナリ。材甚ダ硬ク、甚ダ重クシテ、割レ難シ。樹皮ハ暗莖青紅色ノ、厚キ鱗狀木

皮ヲ構成ス。

第四百十五、よぐそみねばり(*Betula nana* S. et Z.)

材帯黄白色ニシテ、心材ナシ。細胞管ハ稀ナリ。材硬ク重ク割レ難シ。樹皮ハ暗紅色ノ成層外皮ニヨリテ蔽ハレ、其外皮ハ容易ニ離脱ス。

第四百十六、うらじろかんば(*Betula corylifolia* Rgl. et Max.)

みづめ(*Betula grossa* S. et Z.)

材ハ前者ノモノト殆ンド區別ナシ。樹皮ノ成層外皮ハ光澤アル黝色ニシテ、可ナリ容易ク剝離ス。

ろ、材軟ナリ。

第四百十七、さいはだ(*Betula Maximowicziana* Rgl.)

材ハ此屬ノ標準タル状ヲ示ス。心材ハナシ。細胞管ハ數多カラズ。材軟カク、輕クシテ、割レ

難シ。樹皮ハ帶褐白色ノ成層外皮ヲ具フ。

第四百十八、しらかんば(*Betula alba* L. var. *vulgaris* D. C.)

(第七十五圖、第二百二十七圖)

材帯黄白色、心材ナシ。細胞管數多アリ。材甚ダ軟カク、甚ダ輕ク割レ難シ。成層外皮ハ雪白色ニシテ、甚ダ容易ニ剝離スベシ。

第四百十九、まかんば(*Betula alba* L. var. *complanata* Rgl.)

材前者ノモノ、如シ。細胞管ハ數多カラズ。成層外皮ハ鮮黄淡褐色ニシテ、甚ダ容易ニ剝離ス。

第四百五十、あかかんば(*Betula alba* L. var. *cordifolia* Rgl.)

材ハ同様ナリ。細胞管數多シ。成層外皮ハ帶黄紅色ナリ。

其二、導管ハ、單顯微鏡ヲ以テ熱視スルニ、其數多クシテ且ツ密ニ集マレリ。

5. 材硬シ。

七十二

第百五十一、じろこび(*Symplocos carnegoides* Ham. var. *pallida* Fr. et Sav.)

(第七十六圖)

材白色ニシテ心材ナシ。材ハ屢々汚淡黑色ノ位置ヲ現ハス。トアリ。導管ハ開キ且ツ判明ニシテ、肉眼ヲ以テ猶ホ善ク孔トシテ認識スベシ。年輪ノ境界ハ殆ンド知リ難シ。細胞管ハ可ナリ數多ナリ。材硬ク、重ク、割レ易シ。樹皮ハ黄黝色ノ、小環狀ノ木皮ナリ。

ろ、材軟ナリ。

第百五十二、やまならじ(*Populus tremula* L. var. *villosa* Wesm.)

(第百二十八圖)

材淡白色ニシテ稍々光澤アリ、心材ナシ。年輪ノ境界ハ美麗ニ圓形ヲナセリ。細胞管ハ夥シクシテ、鮮褐色ニ着色サル。材軟ク、輕ク、割レ易シ。樹皮ハ始メハ平滑黝色ニシテ、菱形ノ疹ヲ具ヘ、後ニハ水平ノ割目アルモノトナル。

第百五十三、びろ(*Populus balsamifera* L. var. *suaveolens* Loud.)

(第七十七圖、第百二十九圖)

材ハ美ナル白色ニシテ心材ナク。樹皮ハ永ク平滑ニシテ、後ニ縦ノ割目アルモノトナル。

第百五十四、さるやなぎ(*Salix Caprea* L.)

(第七十八圖)

邊材ハ帶紅白色、心材ハ鮮紅色乃至褐色ニシテ光澤アリ。數多ノ細胞管ヲ存ス。材ハ軟ク輕ク、割レ易シ。樹皮ハ帶黝褐色ノ、深キ割目アル木皮ヲ構成ス。

第百五十五、あかやなぎ(*Salix Urbaniana* v. *Seemann*)

邊材ハ白色、心材ハ帶紅褐色、稍々光澤アリ。細胞管ハ夥シ。樹皮ハ暗紅色ノ、甚ダ深キ割目アル木皮トナル。

第百五十六、あやがぶ(*Halesia corymbosa* B. et H.)

木材識別法

七十三

たほぼちがら (*Halesia hispida* B. et H.)

(第七十九圖、第三百十圖)

邊材ハ甚ダ廣クシテ白色、心材ハ鮮褐色、光澤ナシ。細胞管ハ全ク之ヲ缺ク、年輪境界ハ粗キ波狀ナリ。材軟ク、甚輕ク、割レ易シ。樹皮ハ鮮褐色ノ、栓質ノ、深キ割目アル木皮ヲ構成ス。

第五百五十七、かんぼく (*Viburnum Opulus* L.)

材美白色ニシテ光澤アリ、心材ナク、細胞管ナシ。年輪ノ境界ハ圓ク走ル。材軟ク、輕ク、割レ易シ。樹皮ハ暗褐色ノ、水平ニ割目アル木皮トナル。

ハ、導管ハ肉眼ヲ以テハ、横断面上ニモ又縦断面上ニモ見ルヲ得ズ。

シ、材硬シ。

第五百五十八、いな (*Distylium racemosum* S. et Z.)

(第八十圖、第八十一圖、第八十二圖)

邊材ハ狭クシテ黝色、心材ハ特有ノ暗黝紅色ニシテ、鋭キ區別ナシ。導管ハ、較々強度ノ單

顯微鏡ヲ以テ、一部猶ホ孔トシテ認識スベシ。周圍的ニ走レル柔軟組織線ハ、單顯微鏡ヲ以テ善ク見得ベシ。年輪ノ境界ハ之ヲ知ルニ甚ダ困難ナリ。材甚硬ク、甚ダ重ク、且ツ甚ダ割レ易シ。樹皮ハ暗色ノ、粗キ、平タキ鱗狀木皮ヲ構成ス。

第五百五十九、はこねうし (*Dierilla grandiflora* S. et Z.)

邊材ハ帶白黄色、心材ハ美ナル蔷薇紅色、稍々光澤アリ。材ハ屢々深紅色ノ位置ヲ現ハス。年輪ノ境界ハ不判然タル、鮮明ナル線ニヨリテ認めラル。導管ハ甚ダ屢々分泌物ヲ以テ填充ナル。材硬ク、重ク、割レ易シ。樹皮ハ黝褐色ノ、栓質木皮ナリ。

第六十、のりの (*Hydrangea paniculata* Sieb.)

前者ニ相似タリ、然レモ心材ハ帶黄紅色ナリ。樹皮ハ暗褐色ノ、水平ニ割目アル木皮ナリ

第六十一、ひは (*Eriobotrya japonica* Lindl.)

邊材甚狭クシテ鮮褐色、心材ハ暗褐色ナリ。導管ハ單顯微鏡ヲ以テ善ク見得ズ。年輪ノ境界ハ狭キ鮮明ナル春材圈ニヨリテ善ク知ルベシ。樹皮ハ暗色ノ、鱗狀木皮ヲ構成シ、而シテ

板状トナリテ剝離ス。

七十六

第百六十二、かなめも (*Photinia glabra* Thunb.)

材ハ前者ノモノニ似タリ、只其色較々鮮明ナルノミ。細胞管ハ夥シ、樹皮ハ暗色ニシテ、平タキ鱗状ヲナセリ。

第百六十三、さかき (*Eurya ochracea* Sisy.)

ひさかき (*Eurya japonica* Thunb.)

(第八十三圖ハさかき)

材ハ褐色ニシテ、屢々淡黄白色ノ位置ヲ具ヘ、甚ダ均一ニ構成サル、心材ナシ年輪ノ境界ハ認知スルニ難キモ、而モ常ニ狭シ。材ハ適硬、適重、割レ難シ。さかきノ樹皮ハ暗紅褐色、ひさかきノハ褐色更ニ濃シ。

第百六十四、じきみ (*Illicium Anisatum* L.)

材ハ暗褐色、心材ハ缺ケタリ、髓線ハ淡紅色ヲ着色サル、細胞管ナシ。材重ク、硬ク割レ難シ、

樹皮ハ暗紅褐色ニシテ、甚ダ強キ香アリ。

第百六十五、あせび (*Andromeda japonica* Thunb.)

新ニ伐採サレタル材ハ美白色ニシテ、空氣中ニ於テ淡褐色トナル。春材圈ハ鮮明ニ見ユ。髓線ハ淡紅色ニシテ、且ツ曲線状ニ走ル。材硬ク、重ク、而シテ割レ難シ。樹皮ハ紅褐色ノ小環状木皮トナル。

第百六十六、やみ (*Pinus Formosa* Sieb.)

(第百三十一圖)

材褐色ニシテ、心材ナシ。年輪ノ境界ハ鮮明ナル、狭キ春材圈ニヨリテ細胞管ハ甚ダ數多シ。材硬ク、重ク、甚ダ割レ難シ。樹皮ハ暗灰黝色ニシテ、水平ノ割目アリ。

第百六十七、なご (*Pinus sinensis* Lindl.)

前者ニ似タリ、細胞管ハ其數多カラズ。材重ク、硬ク、割レ難シ。樹皮ハ暗黝褐色ノ、小鱗片状ノ、盤状木皮ヲ構成ス。

木材識別法

七十七

第百六十八、こなむ(*Pirus Calleryana* Dene.)

(第百三十二圖)

材前者ニ似タリ。心材ナキモ屢々偽心材ヲ見ルコトアリ。細胞管數多シ。樹皮ハ暗色ノ板狀木皮ヲ構成ス。

第百六十九、まゆみ(*Euonymus europaea* L. var. *Hambroiana* Maxim.)

(第八十四圖、第百三十三圖)

材ハ美ナル帶黃白色。心材ナシ。年輪ノ境界ハ只辛フジテ知り得ベキノミナルモ、而モ可ナリ善ク圓形ヲナセリ。材ハ硬ク重ク、割レ難クシテ、均一ニ構成ナル。樹皮ハ褐黝色ノ栓質ノ、縦ニ割目アル木皮ヲ構成ス。

第百七十、つりばな(*Euonymus oxyphylla* Miq.)

(第百三十四圖)

凡テノ點ニ於テ前者ニ似タルモ、樹皮ハ薄キ黝褐色ニシテ、且ツ平滑ナリ。

第百七十一、きりぎりす(*Euonymus japonica* Thunb.)

邊材ハ狭クシテ鮮黃色、心材ハ鮮褐色。年輪ノ境界ハ、少許密ナル細微ナル秋材圈ニヨリテ現ハサル。材ハ前兩者ノモノ、如キモ、形質較々劣等ナリ。樹皮ハ暗色ニシテ、稍々割目アルモノトナル。

第百七十二、つげ(*Buxus sempervirens* L.)

(第八十五圖)

材鮮黃色ニシテ心材ナシ。年輪ノ經路ハ不一様ニシテ、且ツ不明瞭ナリ。材ハ甚ダ均一ニ構成ナル、甚ダ硬ク、甚ダ重ク、且ツ甚ダ割レ難シ。樹皮ハ薄キ黝黃色ノ木皮トナル。

第百七十三、ゆづりは(*Daphniphyllum macropodum* Miq.)

材汚黝色ニシテ心材ナシ。春材圈ハ、只少許鮮明ナルノミ、材軟ク、輕ク、割レ易シ。樹皮ハ黝色ニシテ而シテ平滑ナリ。

第七十四、まんなく(*Hamamelis japonica* S. et Z.)

材ハ白色ニシテ、空氣中ニ於テ淡褐色トナル、心材ナシ。細胞管ハ可ナリ夥シ、材適硬ニシテ、割レ難シ。樹皮ハ褐黝色ニシテ、光澤アリ、蘚苔之ヲ帶綠白色ニ着色ス。

第七十五、なぐかま(*Pinus aeneoparia* Gaertn. var. *japonica* Maxim.)

(第三十五圖)

材ハ帶黃白色ニシテ、空氣中ニ曝サレテ鮮褐色トナル。年輪ノ境界ハ、較々暗色ノ秋材圈ニヨリテ現ハサル。細胞管ハ數多シ。材ハ適硬。樹皮ハ帶褐灰黝色ニシテ、而シテ厚シ、蘚苔之等ヲ帶綠白色ニ着色ス。

第七十六、あじきま(*Pinus Miyabei* Sargent.)

(第三十六圖)

材前者ニ等シ、然レモ髓線ハ稍々判然シ、此類ヲ亦前ノ部類ニ算ヘ得ベキ程ナリ、細胞管ハ夥シ、樹皮ハ暗黝色ニシテ、深褐色ノ夥シキ皮孔ヲ有シ、其皮孔ハ縦ノ方向ニ排列サル。

第七十七、みやまなじずみ(*Pinus Tschonoskii* Maxim.)

材前者ノモノニ似タリ。樹皮ハ光澤アル帶綠灰黝色ニシテ、深褐色ノ僅少ナル皮孔ヲ有ス。

第七十八、うらじろ(*Pinus arlia* Ehrh. var. *kamaonensis* Wall.)

邊材ハ新鮮ナル情態ニアツテハ帶黃白色ニシテ、空氣中ニ於テ褐色トナル、心材ハ紅褐色。細胞管ハ夥シ、樹皮ハ帶綠灰黝色ニシテ、菱形ノ疹ヲ有シ、光澤アリ、後ニ鱗狀木皮ヲ成立ス。

ろ、材軟ナリ

第七十九、さす(*Aesculus turbinata* Bl.)

(第八十六圖)

材ハ淡黃色乃至淡紅白色。髓線ハ、桎目上ニハ規則正シク並行シテ走り、少シク曲線ヲナシ、板目上ニハ規則正シキ波狀線トシテ見得ベシ。材軟ク、輕ク、割レ難シ。樹皮ハ始メハ平滑

ニシテ黝褐色、後ニハ栓質ノ割目アル、扁平ノ鱗狀木皮ヲ構成ス。

第三類 材ニ於テ、凡テノ導管集マリテ輻射線ヲナシ、而シテ其線ハ分岐スルコト稀ナラズ。吾人ハ此線ニ輻射導管線 (radiale Gelfassline) ト命名セント欲ス。

甲、特別ノ髓線ハ甚ダ廣ク、其餘ノ最多クハ極メテ細微ニシテ殆ンド見ルヲ得ズ。

第八十、あかび (Quercus acuta Thunb.)

(第八十七圖)

邊材ハ甚ダ狭クシテ鮮褐色、心材ハ暗紅褐色ナリ。材ハ屢々淡黒色ノ位置ヲ現ハス。導管ハ細微ニシテ而シテ開キ、輻射導管線ハ最多クハ一個又ハ二個稀ニハ三個導管ノ廣サアリテ、長カラズ、屢々分岐セリ。年輪ノ境界ハ太キ髓線ノ間ニ稍々外方ニ彎曲シテ存シ、之ヲ知ルニ困難ナリ。柔軟組織ヨリ成レル、周圍的ニ走レル、細微ナル線ハ、次記ノかむ類 (Quercus) 及ビしび類 (Pasania) ニ共通ナリ。材甚ダ硬ク、甚ダ重ク、割レ難シ、樹皮ハ暗色ノ石化セル木皮ヲ構成シ、其木皮ハ板狀ヲナシテ剝離ス。

第八十一、いちひがし (Quercus gilva Bl.)

前者ニ相似タリ、鮮褐色ノ邊材甚ダ廣ク、心材ハ鮮紅乃至帶褐紅色ナリ。輻射導管線内ノ導管ハ前者ニ於ケルヨリハ較々太ク、且ツ較々夥シ、而シテ其線自身ハ前者ニ於ケルヨリハ著シク長シ。導管線ハ通例年輪全數ヲ通シテ延長ス、然ルニ前記ノあかびニアツテハ、通常斯ノ如クナラス。材ハ屢々淡黒色ノ位置ヲ現ハス。材甚ダ硬ク、甚ダ重キモ、割レ易シ。樹皮ハ暗色ノ、甚ダ厚カラザル木皮板ヲナシテ自ラ落ツ。

第八十二、しらかじ (Quercus Vibrayana Fr. et Sav.)

(第八十八圖)

邊材甚ダ狭クシテ汚白色乃至白色、心材ハ殆ンド邊材ト區別シ難クシテ、而シテ只較々黝色ナルノミ。導管ハ細微ニシテ開ケリ。輻射導管線ハ、通例一個導管ノ廣サアリ、其ノ線内ノ導管ハ、年輪ノ外境ニ對シテ漸次小トナル、年輪ノ境界ハ少許密ナル秋材圈ニヨリテ記サル。髓線ハ前者ノモノヨリモ較々狭クシテ且ツ絹光アリ。周圍的ニ走レル柔軟組織線ハ善ク見得ベシ。材ハ前者ノモノヨリモ較々軟ナルモ、而モ同様ニ重ク、且ツ割レ易シ。樹皮ハ

暗色ニシテ石化シ、永ク平滑ナルガ、後ニハ全ク小ナレトモ厚キ鱗片狀トナルコト屢々ナリ。

第百八十三、うらじろがし(Quercus myrsinaefolia Bl.)

前者ニ甚ダ相近シ。輻射導管線ハ通例數個導管ノ廣サアリ、且ツ多クノ年輪ヲ通シテ延長セリ。材白色ニシテ心材ナシ。樹皮ハ暗緑黝色ニシテ平滑ナリ。

第百八十四、うばめがし(Quercus phyllinoidea A. Gr.)

邊材ハ廣クシテ黝白色、心材ハ暗褐色、導管ハ甚ダ細微ニシテ、肉眼ヲ以テハ可ナリ見難シ。輻射導管線ハ、最多クハ一個又ハ二個、稀ニ數個導管ノ廣サアリ、而シテ最多クハ二個稀ニ數個ノ年輪ヲ通シテ延長ス。年輪ノ境界ハ之ヲ知ルニ難シ。樹皮ハ暗色ノ、割目アル木皮ヲ構成ス。

第百八十五、あらかし(Quercus glauca Thunb.)

材ハ帶黝白色ニシテ汚レ、心材ナシ。甚ダ屢々淡黄色又ハ汚暗色ノ位置ヲ具フ。導管ノ位

置ハしらかしニ於ケルト同様ナリ、然レモ材ハ形質較々劣等ナリ。樹皮ハ暗黝白色ニシテ、永キ間平滑タルカ、或ハ既ニ早ク小ナレモ厚キ鱗片狀トナル。

第百八十六、しりふかがし(Quercus himalastica Hce.)

材ハ前者ニ甚ダ相似タレモ、價值ニ於テ劣レリ。樹皮ハ平滑ナリ。

第百八十七、つくばねがし(Quercus sessilifolia Bl.)

邊材ハ狭クシテ汚白色、心材ハ暗褐色、導管ノ位置ハしらかしニ似タリ。材ハ價值ニ於テ較々劣ル。

第百八十八、しひ(Pasania cuspidata Oerst.)

(第百八十九圖、第九十圖、第三百三十七圖)

邊材ハ廣クシテ汚鮮淡黄褐色、心材ハ鮮黄褐色ニシテ、銳キ區別ナシ。導管ハ、年輪ノ内境ニ於テ甚ダ廣ク、而シテ内方ヨリ外方ヘ行クニ從ヒ、著シク其太サヲ減少シ、遂ニ消失スルマデ小トナル。輻射導管線ハ、一個導管ノ廣サアレモ密ニ並ビ進メリ。大ナル髓線ハ甚ダ不平

均ニ分布シ、光澤ナクシテ、而ノ判然タラズ。廣キ髓線ヲ全ク缺如セル材ヲ見ルコト渺カラズ。斯カル材ハヒビ類ノ此種ニ近縁ナル、一他種ノモノナルヤ否ヤニ就テハ、予ハ今之ヲ云ハズ。年輪ノ境界ハ、較々密ナル秋材圈ニヨリテ表ハサレ、且ツ互ニ廣ク離レタル大髓線ノ間ニ、外方ニ屈曲セリ。材ハ屢々淡黄色ノ位置ヲ現ハス。材硬ク、重ク、割レ難シ。樹皮ハ始メハ平滑ニシテ、暗色後ニハ深キ割目アル木皮ヲ成立ス。

第百八十九、 まてばしひ (*Pasania glabra* Verst.)

(第百三十八圖)

材色前者ノ如クシテ、邊材ハ狭シ。導管ハ、前者ノモノヨリモ較々細微ナルモ、開キ且ツ判明ナリ。輻射導管線ハ、數個ノ年輪ヲ通ジテ延長シ、且ツ最多クハ一個時トシテハ二個又ハ其以上ノ導管ノ廣サアリ。大ナル髓線ハ、前者ニ於ケルガ如ク判明ナルモ、數多クシテ且ツ平等ニ分布ス。材較々硬ク、且ツ較々重シ。樹皮ハ平滑ニシテ石化シ、暗緑黝色ナリ、後ニハ淺キ割目ヲ得。

乙、 髓線ハ極メテ細微ナリ。

第百九十、 むくげ (*Hibiscus sylvicus* L.)

材黝褐色ニシテ、屢々暗黝色ノ位置ヲ現ハス。導管ノ位置ハ、ヒビニ於ケルト甚ダ相似タルモ、輻射導管ハ甚ダ密ニ存シ、而シテ其導管ハ較々細微ナリ。周圍的ニ走レル柔軟組織線ナシ。年輪ノ境界ハ圓形ヲナシテ存シ、只所々粗キ波狀ヲナス。材軟ク、輕ク、割レ難シ。樹皮ハ暗黝色ナリ。

丙、 廣キ髓線ハ、數多ノ狭キ髓線ガ聯合シテ一トナリタル、所謂偽髓線 (*falschen Markstrahlen*) ニシテ、光澤ナク、且ツ判然タル限界ナシ。

第百九十一、 あかじ (*Carpinus laxiflora* Bl.)

(第百三十九圖)

材ハ鮮帶黄白色ニシテ、髓線ハ判明ナリ。鮮明ナル點線ニヨリテ表ハサル、所ノ年輪ノ境界ハ、大ナル髓線ノ間ニ於テ強ク彎曲ス。細胞管ハ可ナリ夥シク存シ、次記ノ如ク類 (*Carpinus*) ニ於テモ亦同様ニ夥シ。導管ハ甚ダ細微ニシテ、單顯微鏡ナシニハ之ヲ知ルニ困

難ナリ。輻射導管線ハ短カシ。材重ク、硬ク、割レ難シ。樹皮ハ平滑ニシテ、薄キ黝色ヲナシ、緊背狀 (Spanning) ノ表面ヲ具フ。

第百九十二、*S. yedoensis* (Maxim.)

(第百四十圖)

材ハ帶黃黝色ナリ。導管ハ細微ニシテ、横斷面上ニ肉眼ヲ以テ猶ホ見得ルホド判然タリ。其他ハ前者ニ於ケルガ如シ。樹皮ノ表面ハ強ク緊背狀ヲナス。

第百九十三、*Carpinus japonica* Bl.

(第百四十一圖)

材色及ヒ導管ノ大サハあかしでニ似タリ。髓線ハ明瞭ニシテ、可ナリ判然限界サレ、加之稍々光澤アリ。年輪ノ境界ハ較々僅カ彎曲ス。樹皮ハ多クノ大ナル褐色ノ皮孔ヲ有ス。

第百九十四、*Carpinus cordata* Bl.

(第百四十二圖)

細微ナル髓線ガ偽髓線ヲ成セル聯合ノ模様前ノ種類ニ於ケルガ如ク密ナラズ。材ガ只偽髓線ヲ構成セントスル大傾向ヲ有スルノミナルコト屢々ナリ。其他ノ點ニ於テハ、材ハあかしでノ材ニ頗ル相似タリ。只材色較々紅色ヲ帶ブルアルノミ。樹皮ハ數多ノ、深褐色ノ大ナル皮孔ヲ有シ、平滑ナラズ。

第百九十五、*Corylus heterophylla* Fisch.

材帶紅白色ニシテ心材ナシ。偽髓線ハ淡紅色ニ着色サレテ、可ナリ判然タリ、即チ甚ダ細微ナル髓線ガ聯合シテ偽髓線トナルコトヲ、只單顯微鏡ヲ以テ明白ニ知り得ル程ナリ。之等ハ板上ニモ全ク判然見得ベシ、然ルニしで類ニアツテハ、只不判明アル、朦朧タル條線トシテ知り得ベキノミ。導管ハ極メテ細微ニシテ、單顯微鏡ナシニハ全ク知ルベカラズ。

第四類、導管相結合シテ紋様ヲナシ、而シテ横斷面上ニ只鮮明ナル紋様トシテ見得ベキ材種ニシテ、其髓線ノ極メテ細微ナルモノ。

ナルモノ。

第九十六、ひまわり(Osmanthus Aquifolium B. et H.)

(第九十三圖)

材帶黃白色ニシテ、時トシテハ稍々綠色ヲ添フ、心材ナシ。年輪ノ境界ハ、細微ナル鮮淡紅色ノ線ニヨリテ表ハル、モ、而モ其線ハ、只善ク縱斷面上ニ知り得ベキノミ。導管モ亦單顯微鏡ヲ以テ見得ズ。材ハ甚ダ硬ク、甚ダ重ク、割レ難シ。樹皮ハ始メハ光澤アリ、後ニハ暗色ノ小鱗片狀ノ栓質木皮トナル。

第九十七、もくせ(S Osmanthus fragrans Lour.)

凡テノ點ニ於テ前者ニ似タレ、導管ノ結合ノ紋様較々粗クシテ、且ツ其導管ハ單顯微鏡ヲ以テ、猶ホ不判明ナル孔トシテ見得ベシ。樹皮ハ前者ノモノ、如キモ、較々早ク鱗片狀トナリ、且ツ栓質ナルコト較々少シ。

第九十八、さへら(Pithecolobium Tobira Ait.)

材帶黃白色ニシテ、稍々綠色ヲ帶ヘルモ、永ク空氣中ニ曝セバ帶黃黝色トナル。紋様線ハ甚ダ細微ニシテ、不規則ニ走り、忽チ斜行シ、忽チ波狀トナル。導管ハ單顯微鏡ヲ以テ見ルヲ

得ズ。年輪ノ境界ハ、細微鮮明ナル線ニヨリテ表ハサル。材硬クシテ割レ難ク、新鮮ナル状態ニ於テハ甚ダ不愉快ナル臭氣アリ。樹皮ハ暗褐色ナリ。

第九十九、こくさ(Orixa japonica Thunb.)

材ハ帶黃白色ナリ、心材ナシ。紋様ハひまわりニ似タルモ、遙カニ細微ニシテ、而シテ單顯微鏡ヲ以テ緊密ニ並ベル導管トシテ、不判明ニ見得ベシ。年輪ノ境界ハ、細微ナル不判明ナル線ニヨリテ表ハサル。材硬クシテ割レ難シ。

第五類 後生ノ材ニハ一ノ導管ヲ有セザル材。

第二百、やまぐさ(Trichodendron aralioides S. et Z.)

(第九十四圖)

材帶黃白色、心材ナシ。軟キ春材圈ハ、密ナル秋材圈ヨリ甚ダ判然ト分離サル。是レ予ガ日本産ノ他ノ針葉樹、及潤葉樹ニ殆ンド認メザリシ所タリ。髓線ハ鮮淡褐色ニ着色サレ、細微ナレドモ全ク判明ナリ。是レ針葉樹ニ存セザル如キ情況ニシテ、此情況ニヨリテ、此材ヲ針

葉樹ヨリ容易ニ識別シ得ル所以ナリ。

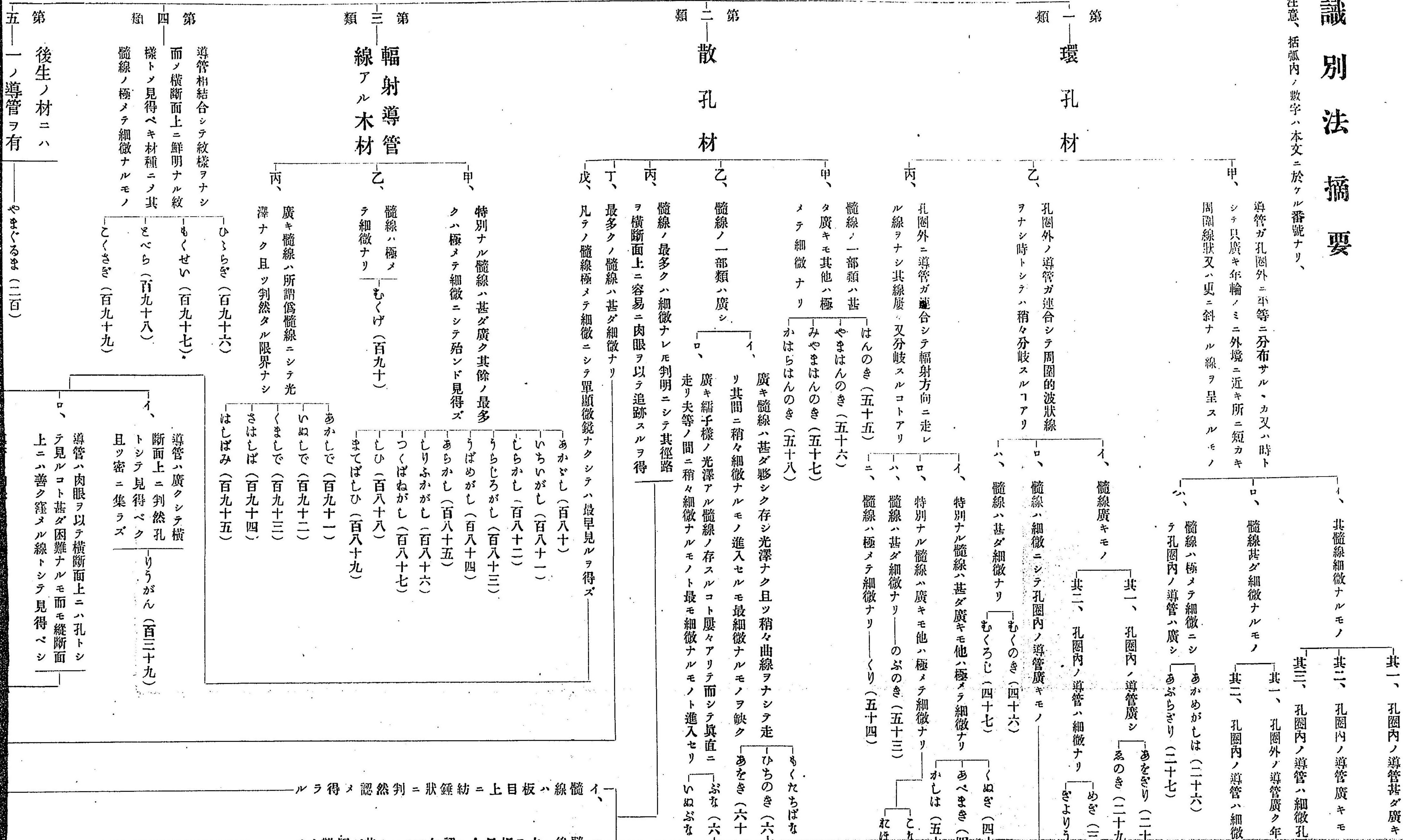
木材識別法畢

潤葉樹材

識別法摘要

注意、括弧内ノ数字ハ本文ニ於ケル番號ナリ、

潤葉樹材



ルヲ得メ認然判ニ状鍾紡ニ上目板ハ線髓イ

リナ難因ダ甚トコルス知認ニト目板ヲシハ線髓

潤葉樹材

第二類 散孔材

廣キ髓線ハ甚ダ夥シク存シ光澤ナク且ツ稍々曲線ヲナシテ走ル。其間ニ稍々細微ナルモノ進入セルモ最細微ナルモノヲ缺ク。あをき(六十一) 廣キ縞子様ノ光澤アル髓線ノ存スルコト屢々アリテ而シテ眞直ニ走リ夫等ノ間ニ稍々細微ナルモノト最モ細微ナルモノト進入セリ。いぬぶな(六十)

第三類 輻射導管線アル木材

甲、特別ナル髓線ハ甚ダ廣ク其餘ノ最多クハ極メテ細微ニシテ殆ンド見得ズ。うらじろがし(百八十三) うばめがし(百八十四) あらかし(百八十五) しりふかがし(百八十六) つくばねがし(百八十七) しひ(百八十八) まてぼしひ(百八十九) 乙、髓線ハ極メテ細微ナリ。むくげ(百九十) 丙、廣キ髓線ハ所謂偽髓線ニシテ光澤ナク且ツ判然タル限界ナシ。あかじ(百八十) いちいがし(百八十一) しらかし(百八十二) うらじろがし(百八十三) うばめがし(百八十四) あらかし(百八十五) しりふかがし(百八十六) つくばねがし(百八十七) しひ(百八十八) まてぼしひ(百八十九) 丁、最多クノ髓線ハ甚ダ細微ナリ。凡テノ髓線極メテ細微ニシテ單顯微鏡ナクシテハ最早見ルヲ得ズ。あかじ(百八十) いちいがし(百八十一) しらかし(百八十二) うらじろがし(百八十三) うばめがし(百八十四) あらかし(百八十五) しりふかがし(百八十六) つくばねがし(百八十七) しひ(百八十八) まてぼしひ(百八十九) 戊、凡テノ髓線極メテ細微ニシテ單顯微鏡ナクシテハ最早見ルヲ得ズ。あかじ(百八十) いちいがし(百八十一) しらかし(百八十二) うらじろがし(百八十三) うばめがし(百八十四) あらかし(百八十五) しりふかがし(百八十六) つくばねがし(百八十七) しひ(百八十八) まてぼしひ(百八十九)

第四類 導管相結合シテ紋様ヲナシ而シテ横断面上ニ鮮明ナル紋様トシテ見得ベキ材種ニシテ其髓線ノ極メテ細微ナルモノ

ひららぎ(百九十六) もくせい(百九十七) どりべら(百九十八) こくさぎ(百九十九) 導管ハ廣クシテ横断面上ニ判然孔トシテ見得ベク且ツ密ニ集ラズ。りうがん(百二十九) 導管ハ肉眼ヲ以テ横断面上ニハ孔トシテ見ルコト甚ダ困難ナルモ而シテ縦断面上ニハ善ク窪メル線トシテ見得ベシ。ハ、導管ハ肉眼ヲ以テ横断面上ニモ之ヲ見ルヲ得ズ。イ、導管ハ廣クシテ横断面上ニ判然孔トシテ見得ベク且ツ密ニ集ラズ。ロ、導管ハ肉眼ヲ以テ横断面上ニハ孔トシテ見ルコト甚ダ困難ナルモ而シテ縦断面上ニハ善ク窪メル線トシテ見得ベシ。モ、導管ハ肉眼ヲ以テ横断面上ニモ之ヲ見ルヲ得ズ。

第五類 後生ノ材ニハ一ノ導管ヲ有セザル材

其一、導管ハ單顯微鏡ヲ以テ熟視スルニ僅少ニシテ而シテ明ナリ密ニ集ラズ。シ、材硬シ。あさだ(百四十) なつめ(百四十一) からたち(百四十二) ひやくじつこう(百四十三) をのをれ、ぢぎうかんば(百四十四) よぐりみねばり(百四十五) うらじろかんば、みづめ(百四十六) さいはだ(百四十七) しらかんば(百四十八) まかんば(百四十九) あかかんば(百五十) しろつげ(百五十一) やまならし(百五十二) しろ(百五十三) さるやなぎ(百五十四) あかやなぎ(百五十五) あさがら、おほばあさがら(百五十六) かんぼく(百五十七) 其二、導管ハ單顯微鏡ヲ以テ熟視スルニ其數多クシテ且ツ密ニ集マレリ。イ、材硬シ。いす(百五十八) はこねうつき(百五十九) のりのき(百六十) びは(百六十一) かなめもち(百六十二) さかき、ひさかき(百六十三) しきみ(百六十四) あせび(百六十五) ずみ(百六十六) なし(百六十七) こなし(百六十八) まゆみ(百六十九) つりばな(百七十) まさき(百七十一) つげ(百七十二) ゆづりは(百七十三) まんさく(百七十四) なまかまど(百七十五) あづきなし(百七十六) みやまなし(百七十七) うらじろのき(百七十八) 導管ハ廣クシテ横断面上ニ判然孔トシテ見得ベク且ツ密ニ集ラズ。導管ハ肉眼ヲ以テ横断面上ニモ之ヲ見ルヲ得ズ。導管ハ廣クシテ横断面上ニ判然孔トシテ見得ベク且ツ密ニ集ラズ。導管ハ肉眼ヲ以テ横断面上ニモ之ヲ見ルヲ得ズ。

ろ、材軟ナリ。どち(百七十九)

孔管内ノ導管其ノ廣キモノ
 い、導管ガ年輪ノ外境ニ於テ線狀ニ連合スルコト殆ンド之ナシ
 ろ、導管ガ年輪ノ外境ニ於テ假令短クトモ殆ンド常ニ線條ニ連合ス

孔管内ノ導管廣キモノ
 い、年輪ノ外境ニ於ケル導管ガ殆ント決シテ線條ニ連合スルコトナシ
 ろ、年輪ノ外境ニ於ケル導管ガ假令短クトモ殆ンド常ニ線條ニ連合ス

孔管内ノ導管ハ細微孔管外ノ導管ハ平等ニ散布ス

孔管外ノ導管廣ク年輪ノ外境ニ於ケル導管ハ屢々線條ニ連合ス

孔管内ノ導管ハ細微ナリ
 とねりこ (二十四)
 いぼたのき (二十五)

あをぎり (二十八)
 えのき (二十九)
 めぎ (三十)
 ぎよりう (三十一)
 けやき (三十二)
 はりぎり (三十三)
 はるにれ (三十四)
 をひよう (三十五)
 あきにれ (三十六)
 いぬえんじゆ (三十七)
 えんじゆ (三十八)
 ふじき (三十九)
 きはだ (四十)
 さいかち (四十一)
 やまぐは (四十二)
 しんじゆ (四十三)
 きり (四十四)
 くさぎ (四十五)
 しほじ (二十)
 やちだも (二十一)
 きさくげ (二十二)
 いぬあかじや (二十三)

くぬぎ (四十八)
 あへまき (四十九)
 かしは (五十)
 こなら (五十一)
 ねほなら (五十二)
 なつぐみ (十四)
 うめ (十五)
 すもゝ、もゝ (十六)
 こしあぶら (十七)
 かくれみの (十八)
 みつまた (十九)
 ぬるで (十)
 にがき (十一)
 かちのき (十二)
 かうが (十三)

もくたちばな (五十九)
 ひちのき (六十)
 あをき (六十一)
 ぶな (六十二)
 いぬぶな (六十三)
 せんだん (四)
 けんぼなし (五)
 ちじやのき (六)
 ちゃんちん (一)
 かなめ (二)
 ねむのき (三)

イ、髓ノ線ハ板目上ニ紡錘狀ニ判然メ得ル
 ロ、髓ノ線ハ之ヲ板目上ニ認知スルコト甚ダ困難ナリ

其一、
 導管ハ僅少ニシテ細微ナル
 モ横斷面上ニ善ク見得ベシ

其二、
 導管ハ細微ニシテ横斷面上ニハ之ヲ見ルニ困難ナルカ又ハ殆ンド最

髓線ハ殆んど一様ニ細微ナリ
 あはぶき (七十二)
 しまぐは (七十三)
 えんじゆノ一種 (七十四)
 からずざんせう (七十五)

最多クノ髓線ハ細微ナルモノヲ認メ得
 いたやかへで (七十六)
 やまもみぢ (七十七)
 かちかへで (七十八)
 ちぢりのき (七十九)
 ちやうじやのき (八十)
 あさのはかへで (八十一)
 うりかへで (八十二)
 めうりかへで (八十三)
 はうちかへで (八十四)
 まるばかへで (八十五)
 しなのき、ぼだいじゆ (八十六)
 みづき (八十七)

心材ナシ

走
もくたちばな (五十九)
ひちのき (六十)
あをき (六十一)
真直ニ
ぶな (六十二)
入セリ
いぬぶな (六十三)

なつぐみ (十四)
うめ (十五)
ずも、も (十六)
こしあぶら (十七)
かくれみの (十八)
みつまた (十九)

ぬるで (十)
にがき (十一)
かちのき (十二)
かうず (十三)

うるし
やまうるし (七)
やまはぜ (八)
はぜ類ノ一種 (九)

せんだん (四)
けんぼなし (五)
ちしやのき (六)

ちやんちん (一)
かなめ (二)
ねむのき (三)

イ、 髓ハ線ハ板上目上ニ紡錘ニ判然メ得ル
ロ、 髓ハ線ハ之ヲ板上目上ニ認知スルコトニ甚ク困難ナリ

其一、 導管ハ僅少ニシテ細微ナル
モ横断面上ニ善ク見得ベシ

其二、 導管ハ細微ニシテ横断面上ニハ之ヲ見ルニ困難ナルカ又ハ殆ンド最早見ルヲ得ズ之ニ反シテ縦断面上ニハ窪ミタル線トシテ見得ベシ

其三、 導管ハ横断面上ニハ肉眼ヲ以テ只辛フジテ孔トシテ見得ベキモ縦断面上ニハ窪ミタル線トシテ善ク見得ベシ

其一、 髓線ハ一部ハ高ク一部ハ低ク
其二、 髓線ハ低クノ且ツ殆ンド等高ナリ

ろ、 心材アリ
り、 心材ナシ

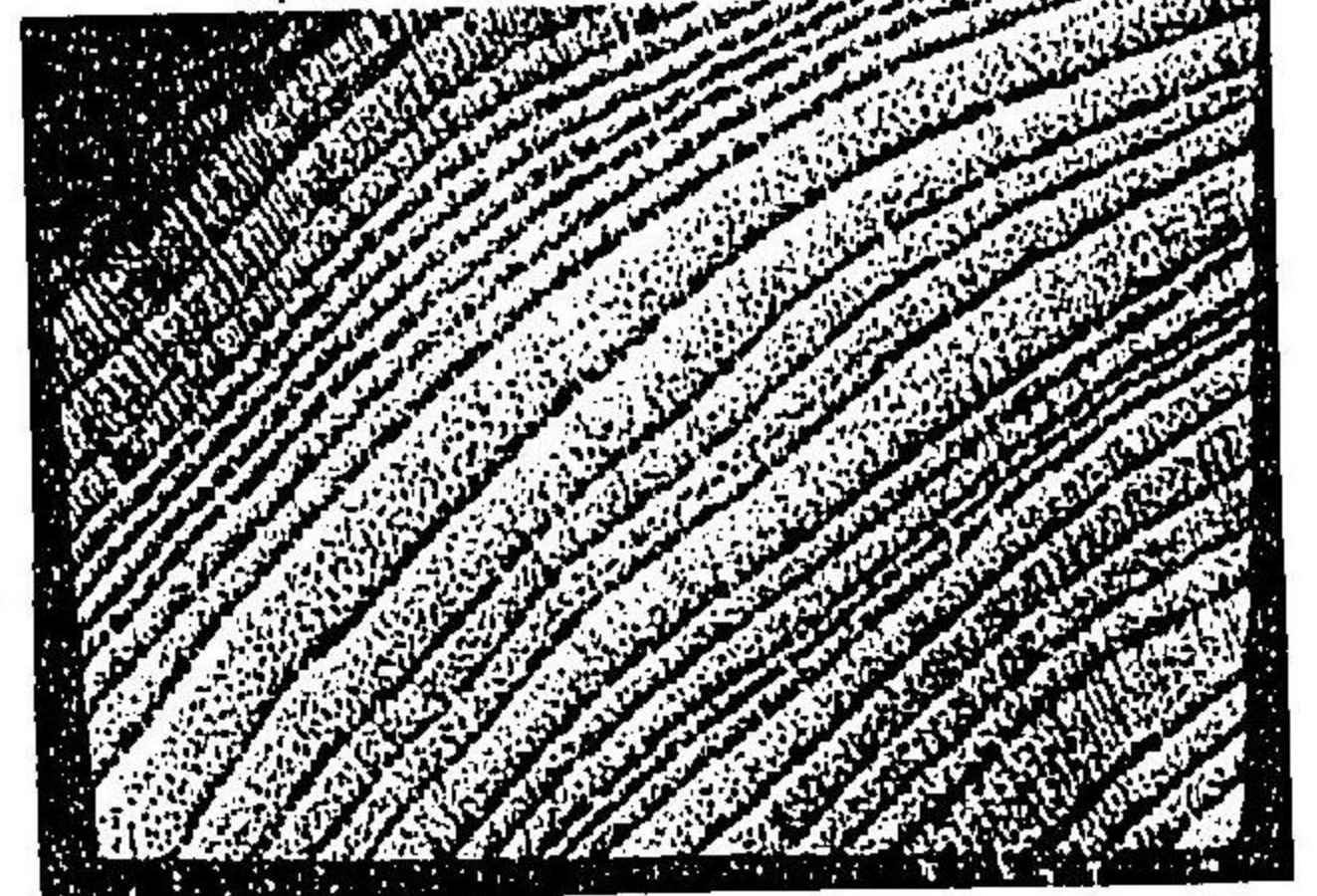
いたやかへで (七十六)
やまもみち (七十七)
かぢかへで (七十八)
ちぢりのき (七十九)
ちやうじやのき (八十)
あさのはかへで (八十一)
うりかへで (八十二)
めうりかへで (八十三)
はうちかはかへで、こほうちはかへで (八十四)
まるぼかへで (八十五)
しなのき、ぼだいじゆ (八十六)
みづき (八十七)
さはみづき (八十八)
みつばうづき (八十九)
やまざくら、よしのざくら (九十)
うはみづざくら (九十一)
いぬざくら (九十二)
めじろざくら (九十三)
まめざくら (九十四)
をがたまのき (九十五)
にはとこ (九十六)
うづき (九十七)
かき (九十八)
まめがき (九十九)
をにぐるみ (百)
さはぐるみ (百一)
はすのはぎり (百二)
くす (百三)
たぶのき (百四)
がづまる (百五)
やまも (百二十六)
もつこく (百二十七)
つばき (百二十八)
さざんくは (百二十九)
りやうぶ (百三十)
くわりん (百三十一)
かしをしみ (百三十二)
しやくなき (百三十三)
みつばつじ (百三十四)
うしころし (百三十五)
ねずみもち (百三十六)
さんごじゆ (百三十七)
がますみ、おほかめのき (百三十八)

導管ハ廣ク時トシテハ甚ク廣シ横断面上ニ明カニ孔トシテ見得ベク且ツ密ニ集マラズ

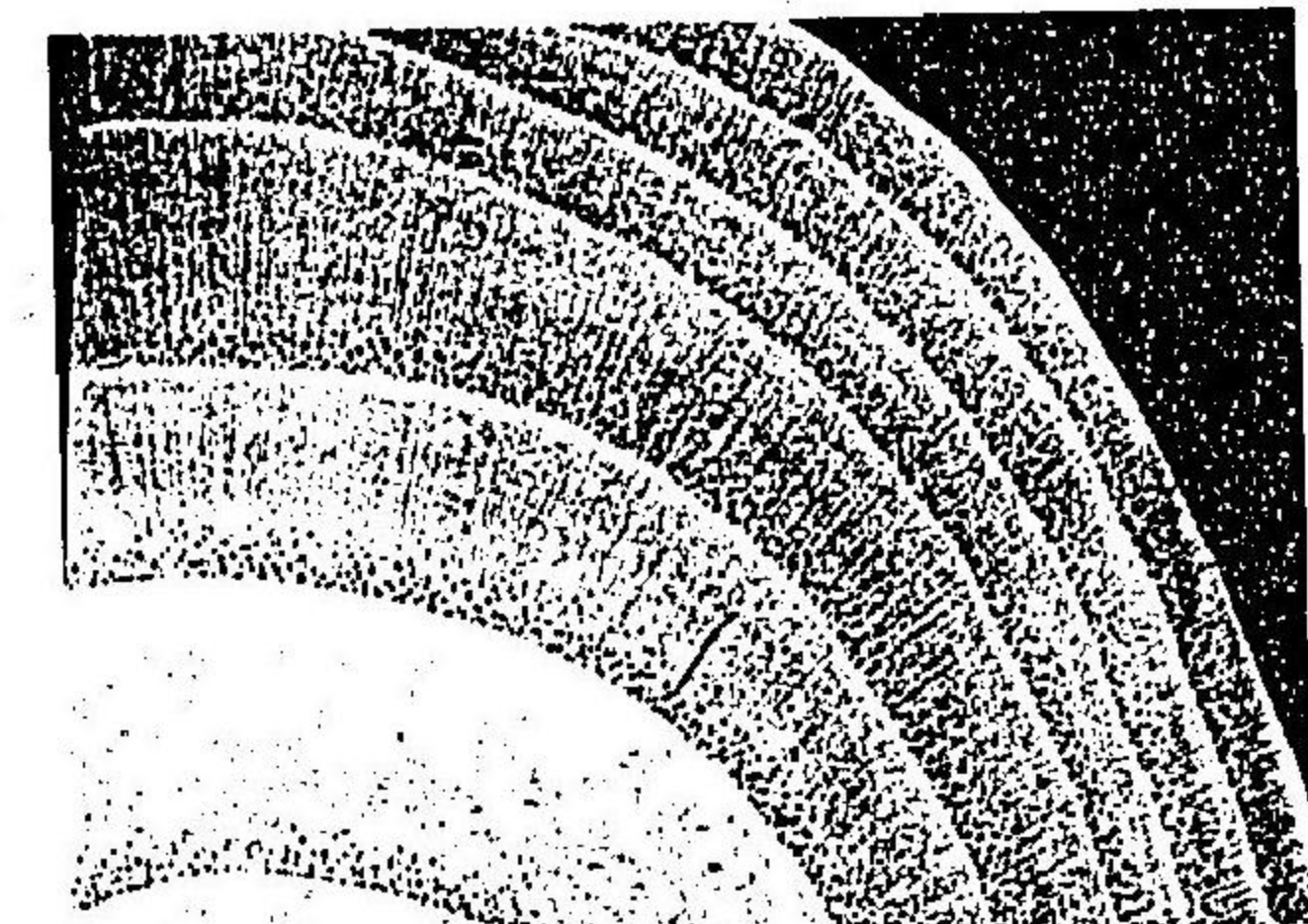
えごのき (百六)
はくうんぼく (百七)
いざざり (百八)
ほうのき (百九)
こぶし (百十)
たむしは (百十一)
さんせう、いぬざんせう (百十二)
さるた (百十三)
なつづばき (百十四)
やじやぶし (百十五)
かつら (百十六)
ぱりぱり (百十七)
いぬびは (百十八)
しろだも (百十九)
こがのき (百二十)
やぶくけい (百二十一)
あぶらちやん (百二十二)
くろもじ (百二十三)
しろもじ、たんこうば (百二十四)
かなくぎ (百二十五)

導管ハ肉眼ヲ以テハ横断面上ニモ縦断面上ニモ見ルヲ得ズ

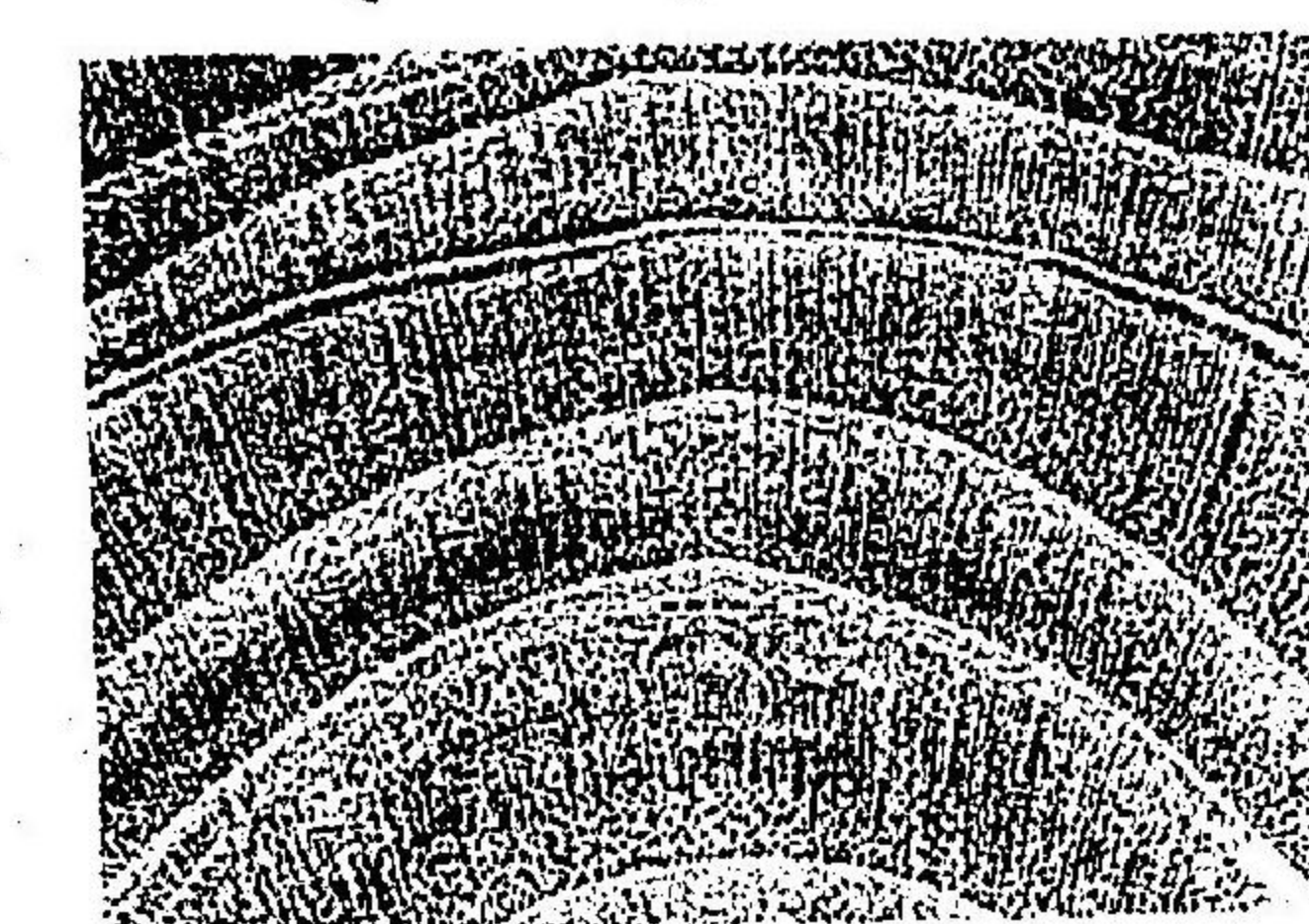
第一圖
ちんやちん



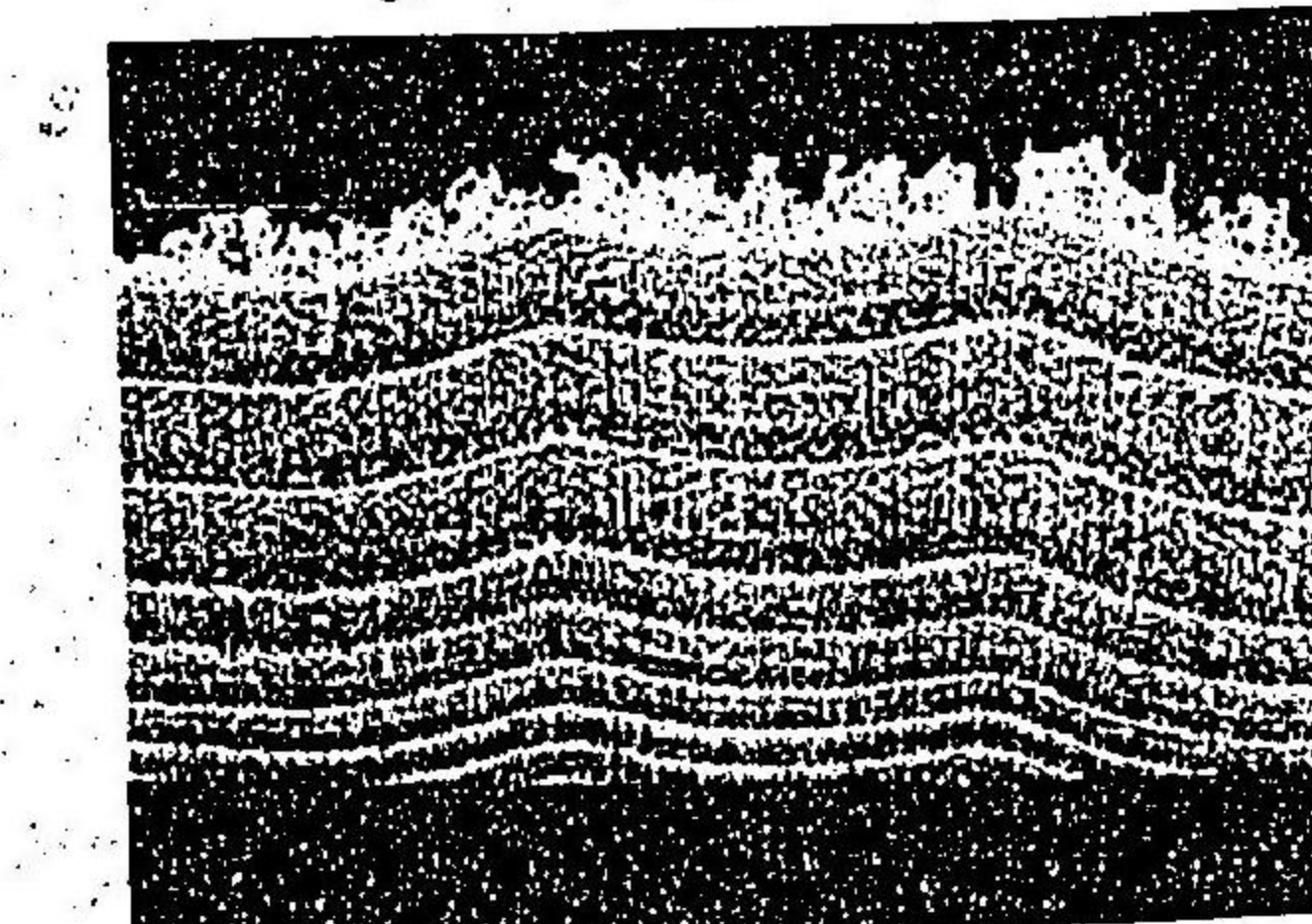
第五圖
ぼんげ



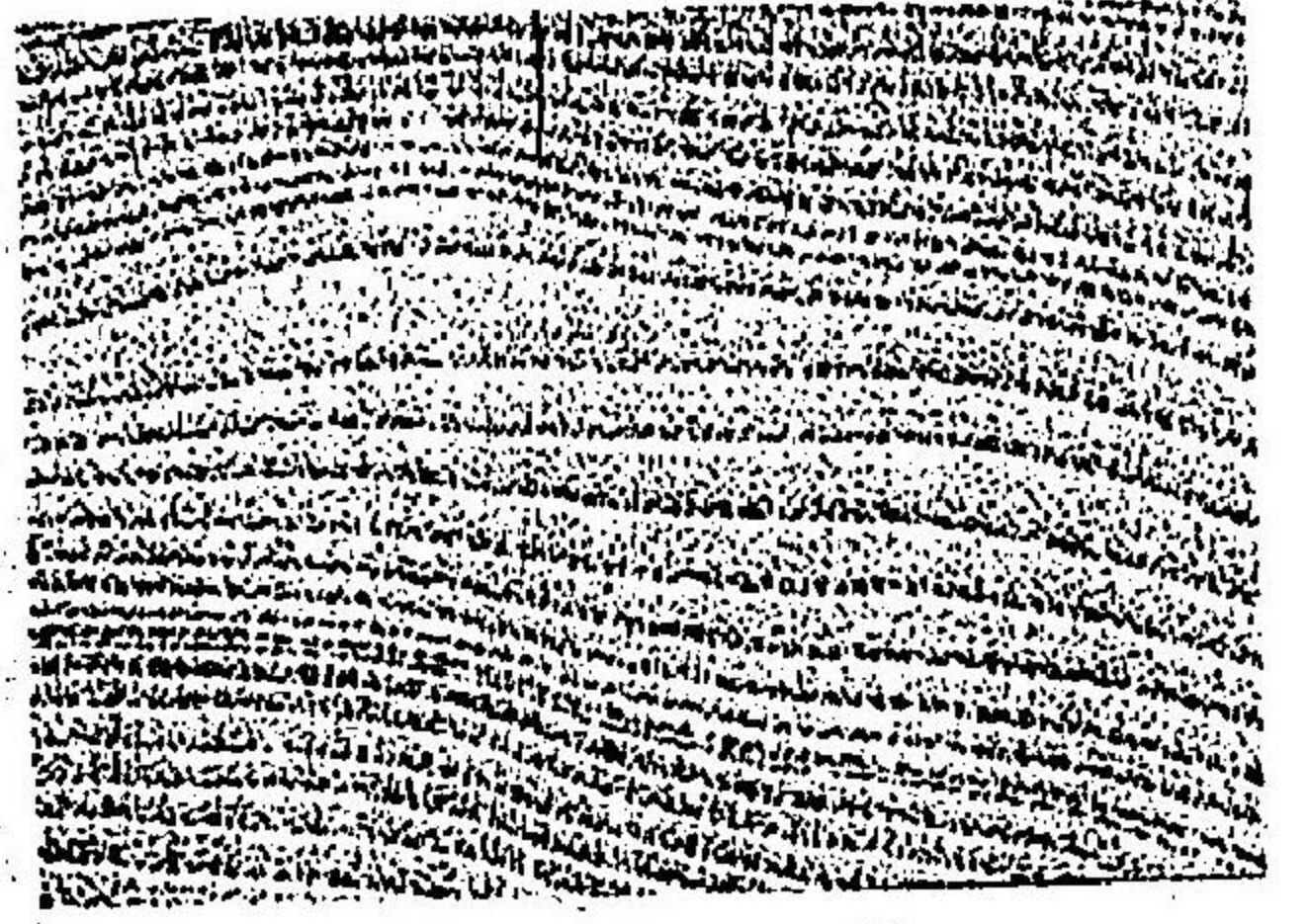
第九圖
ぬ



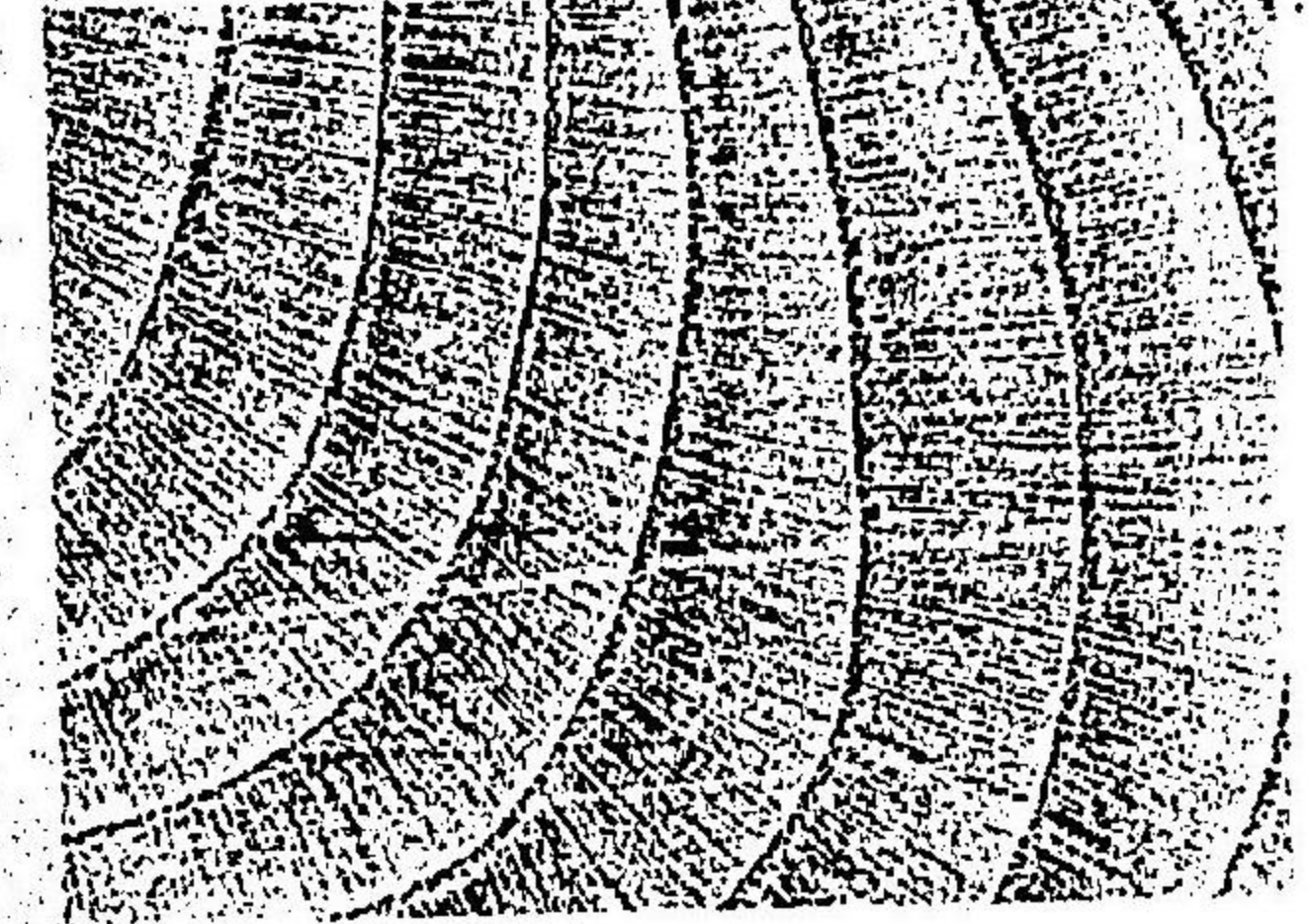
第三十圖
しほ



第二圖
か



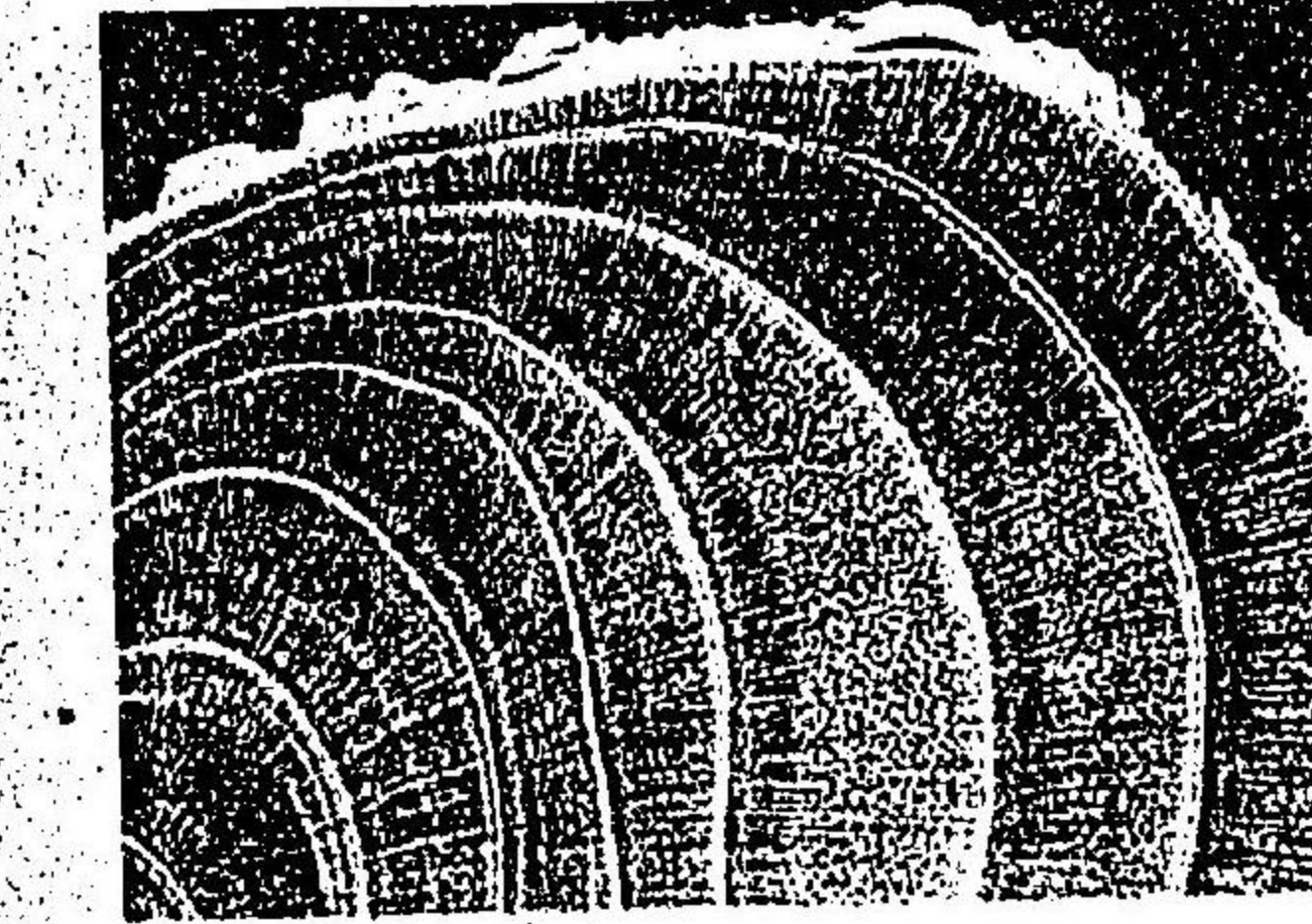
第六圖
ち



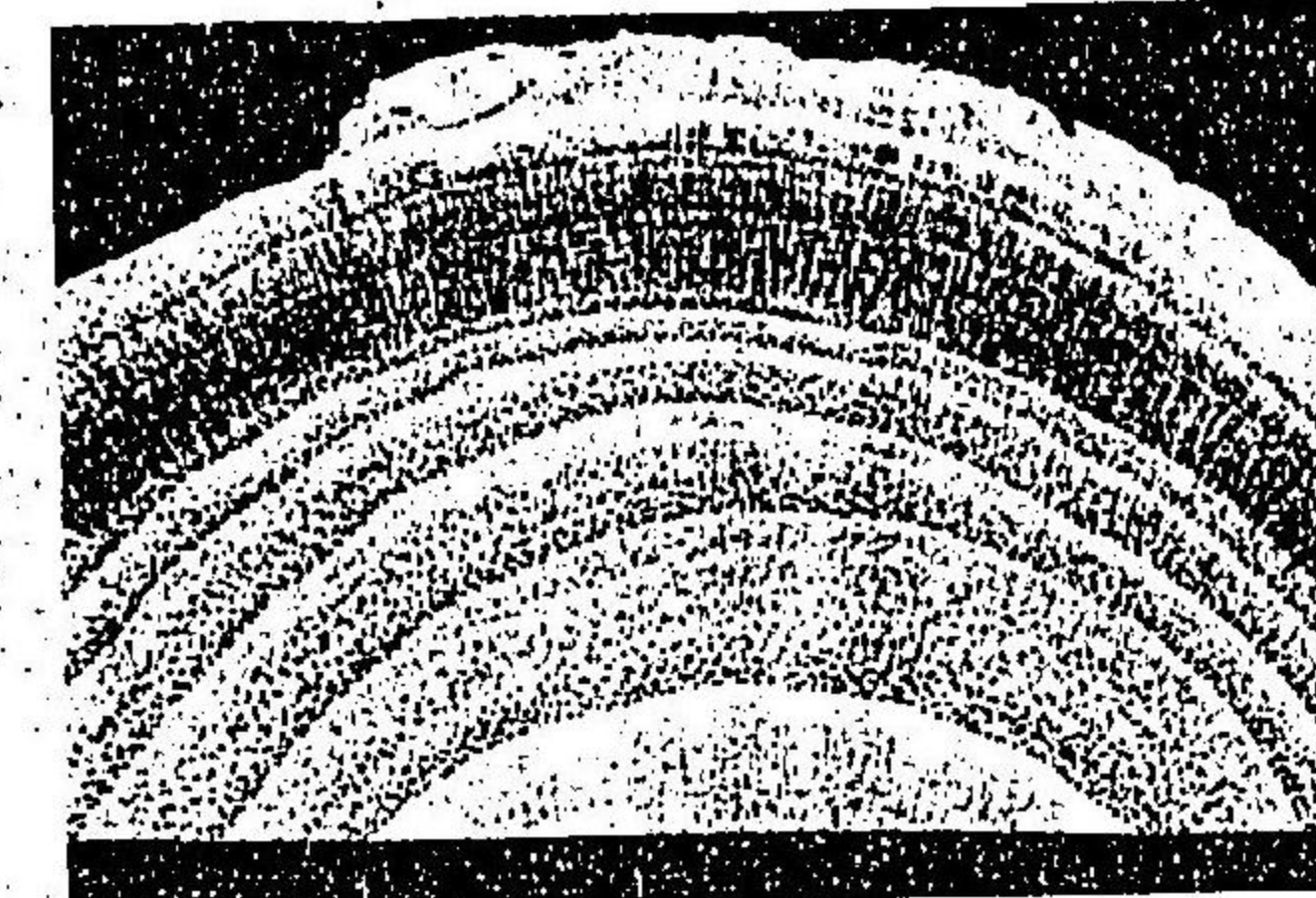
第十圖
に



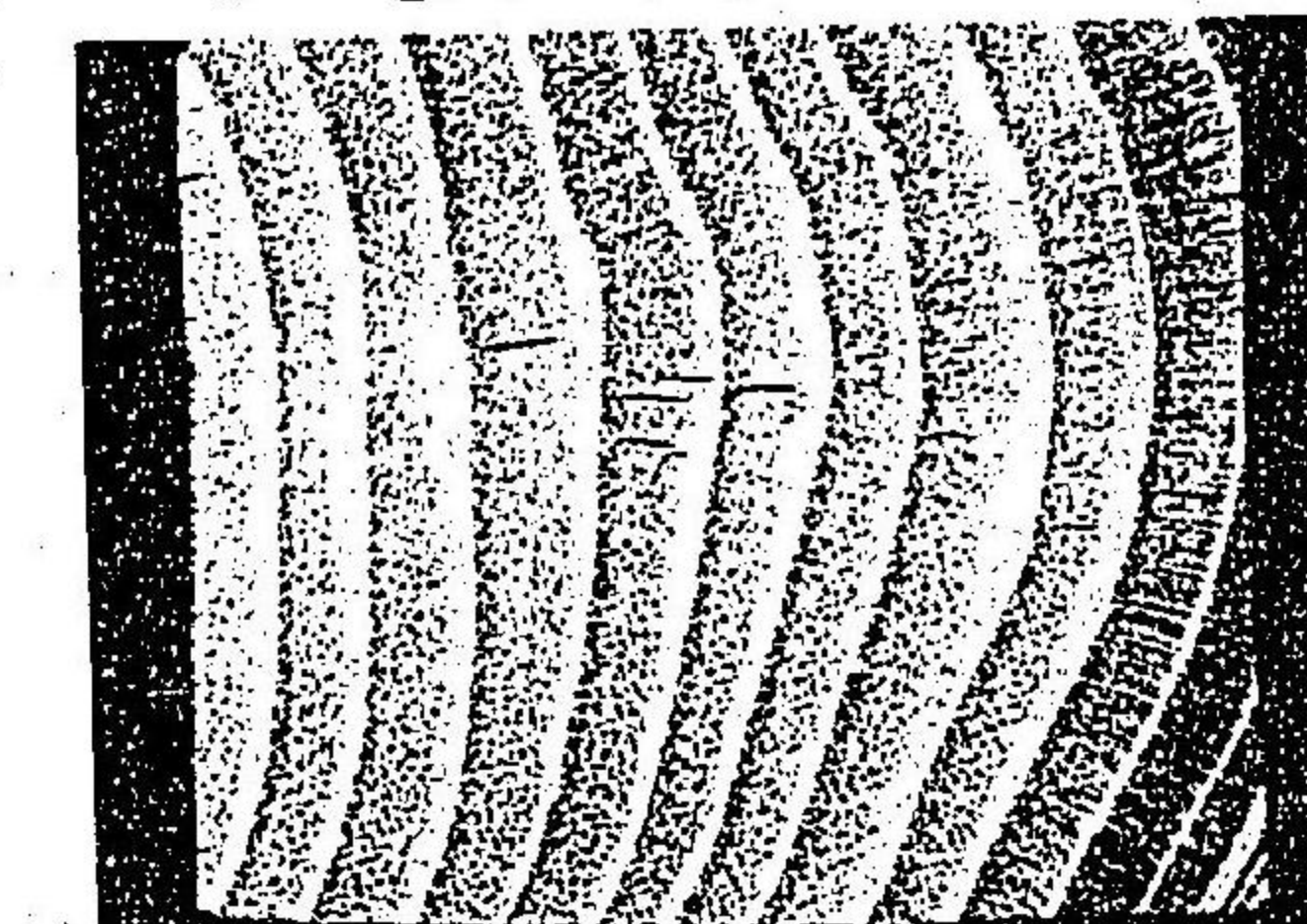
第四十圖
き



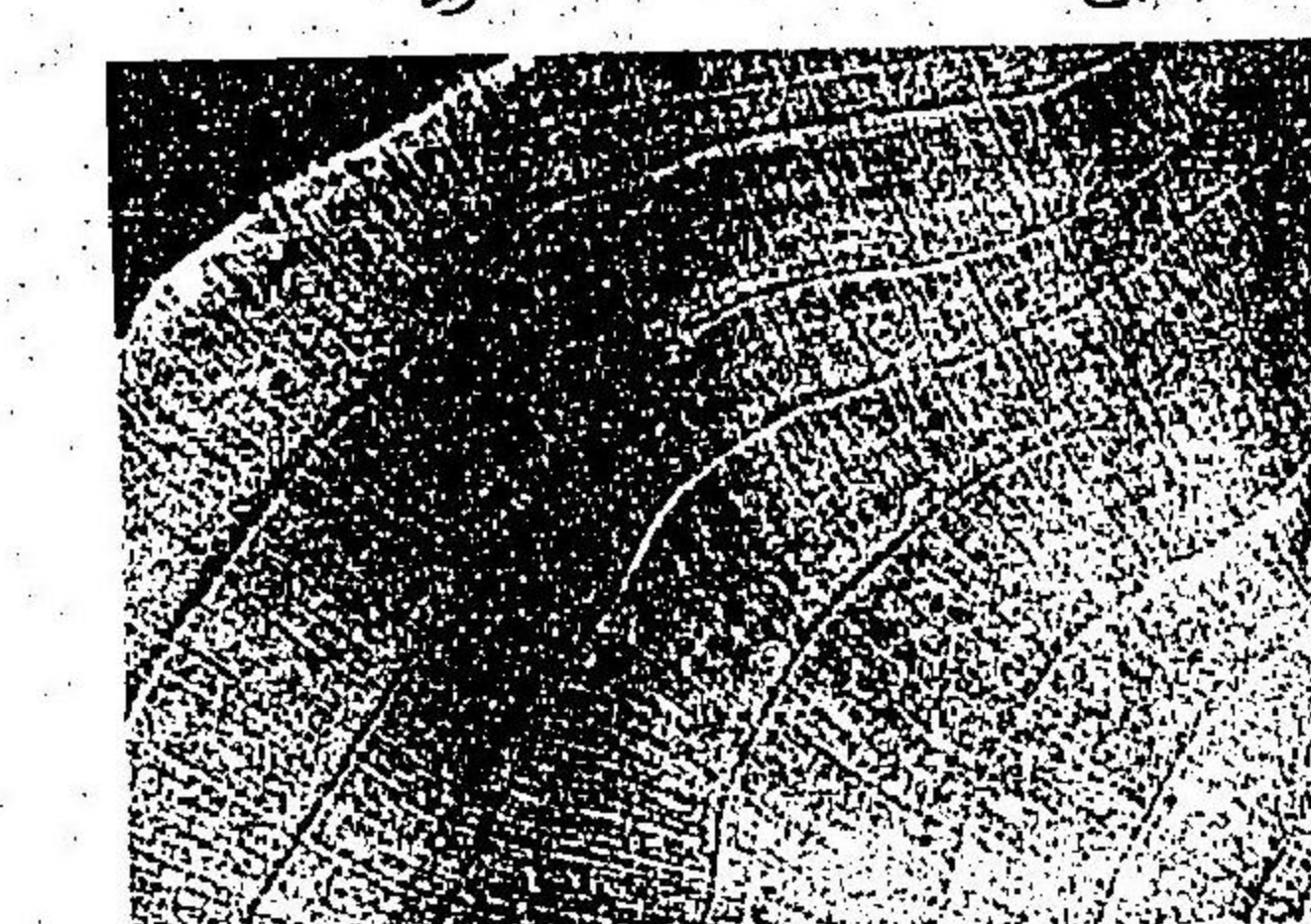
第三圖
ね



第七圖
う



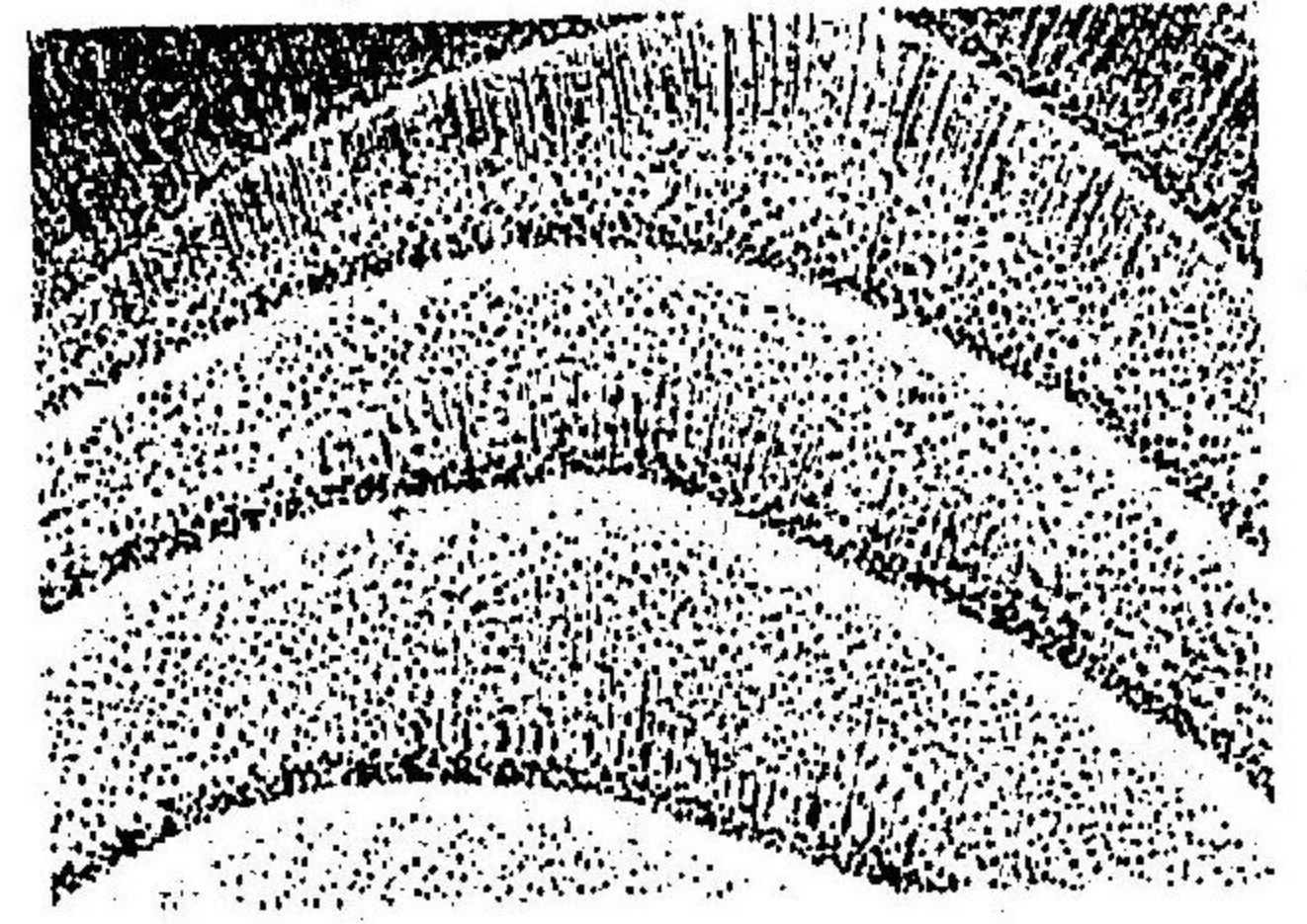
第十一圖
も



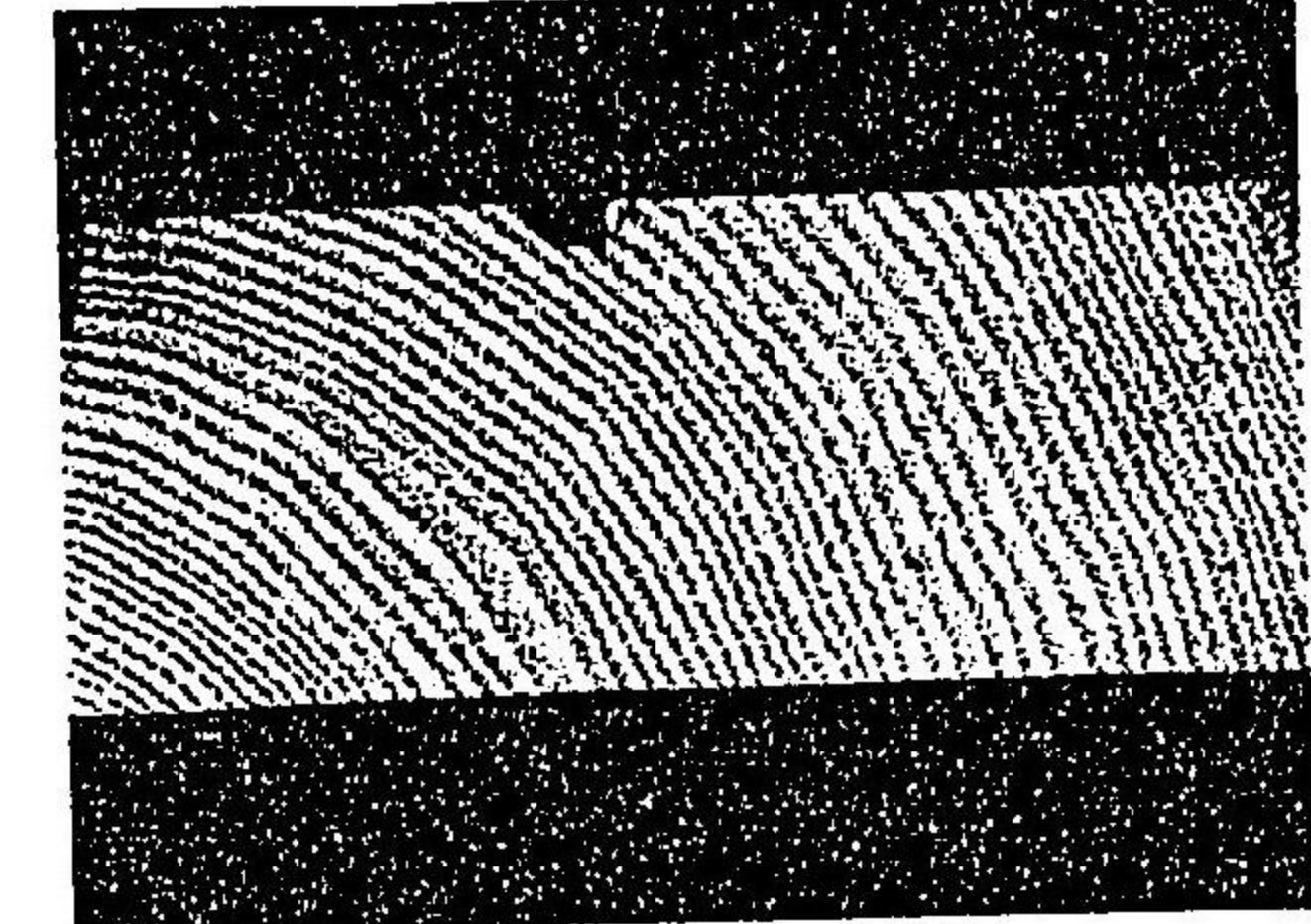
第五十圖
と



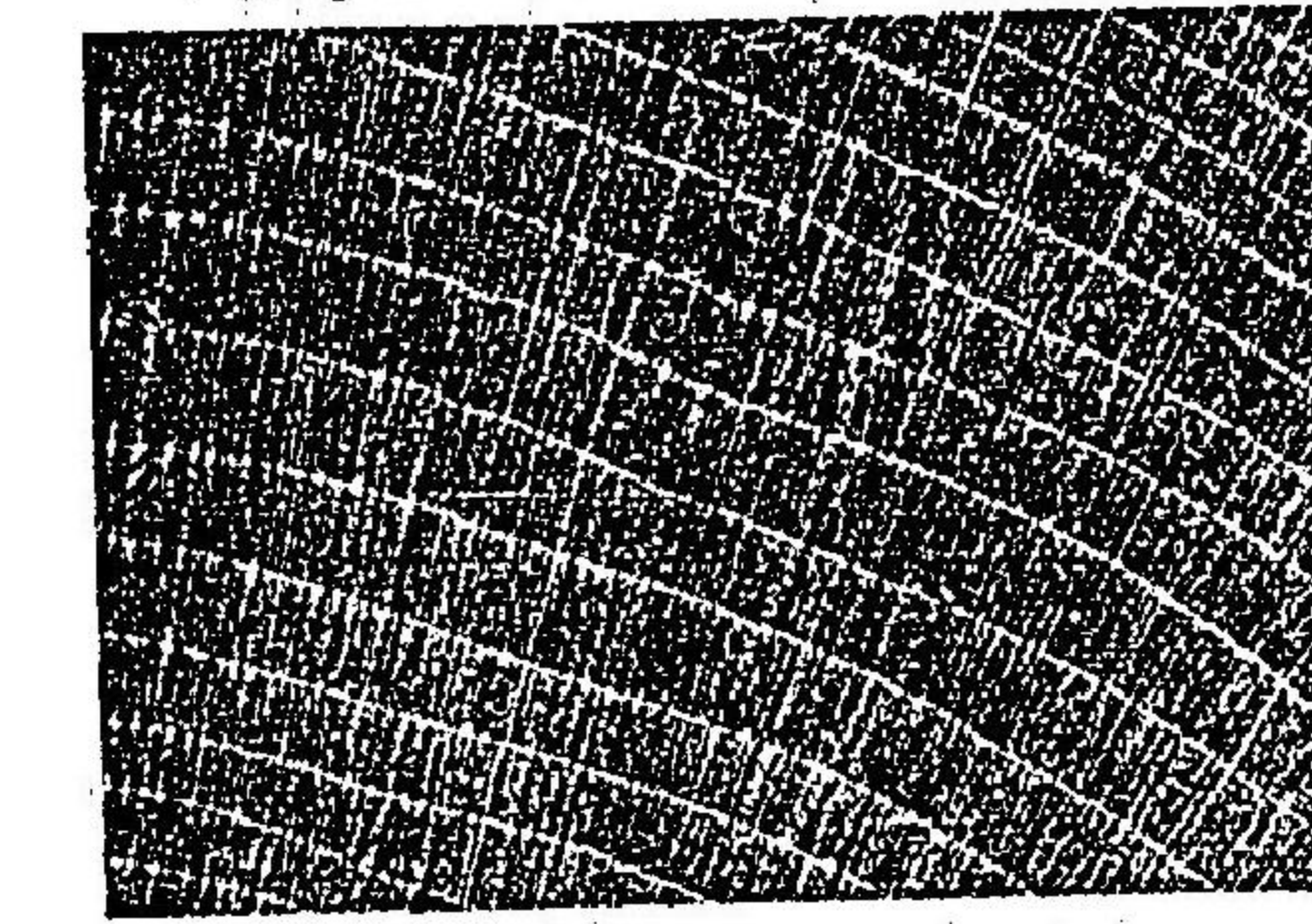
第四圖
せ



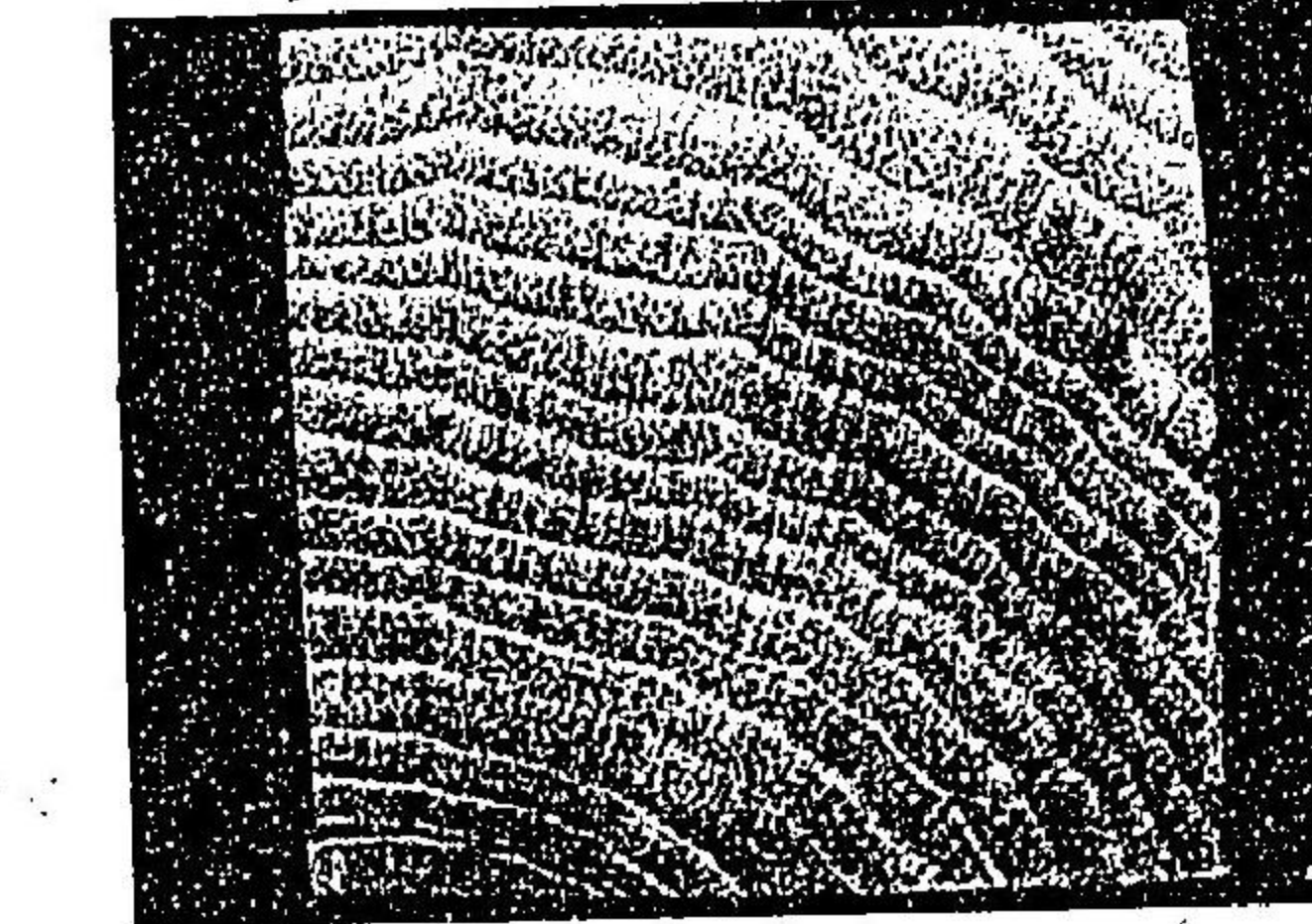
第八圖
う



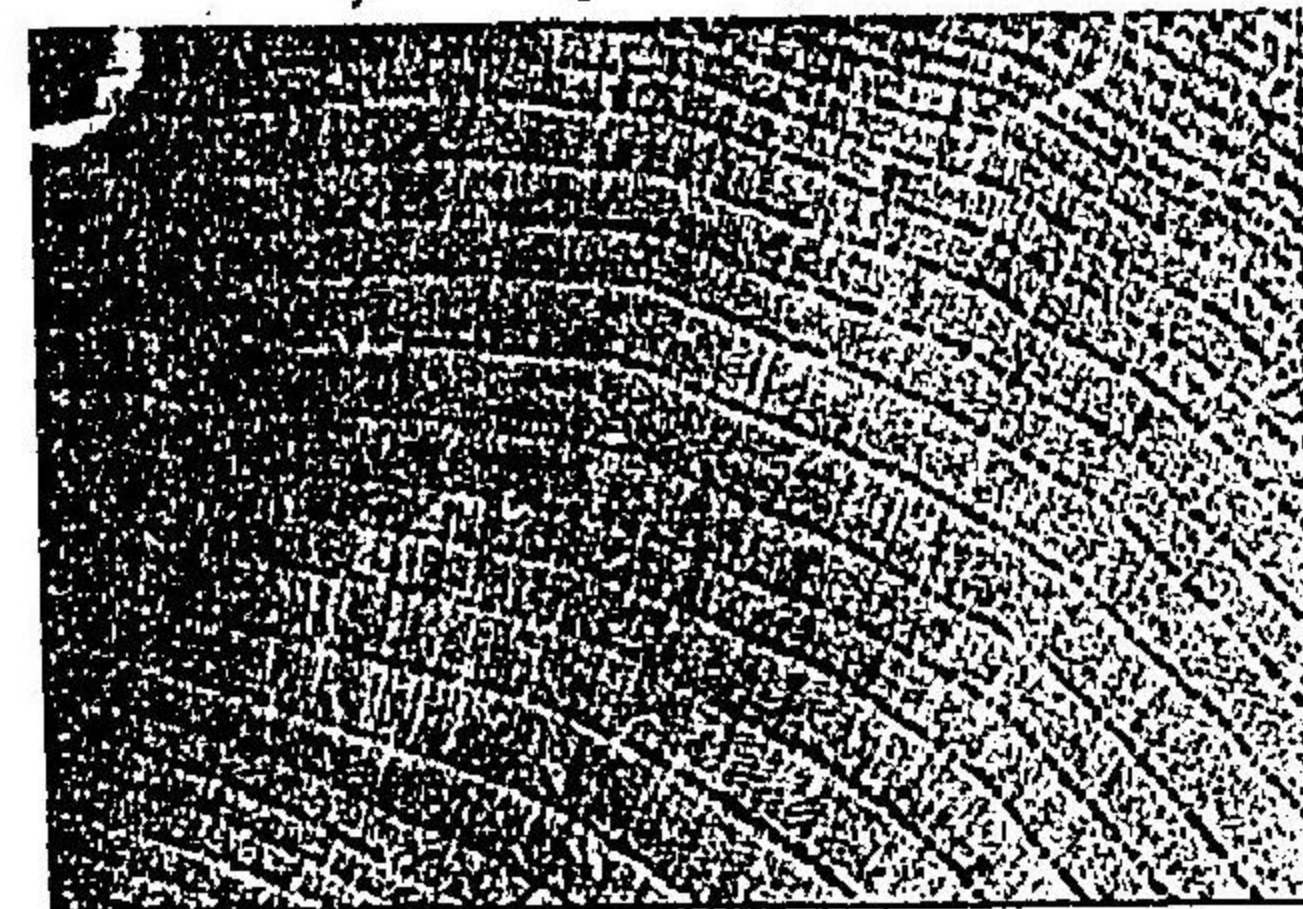
第二十圖
こ



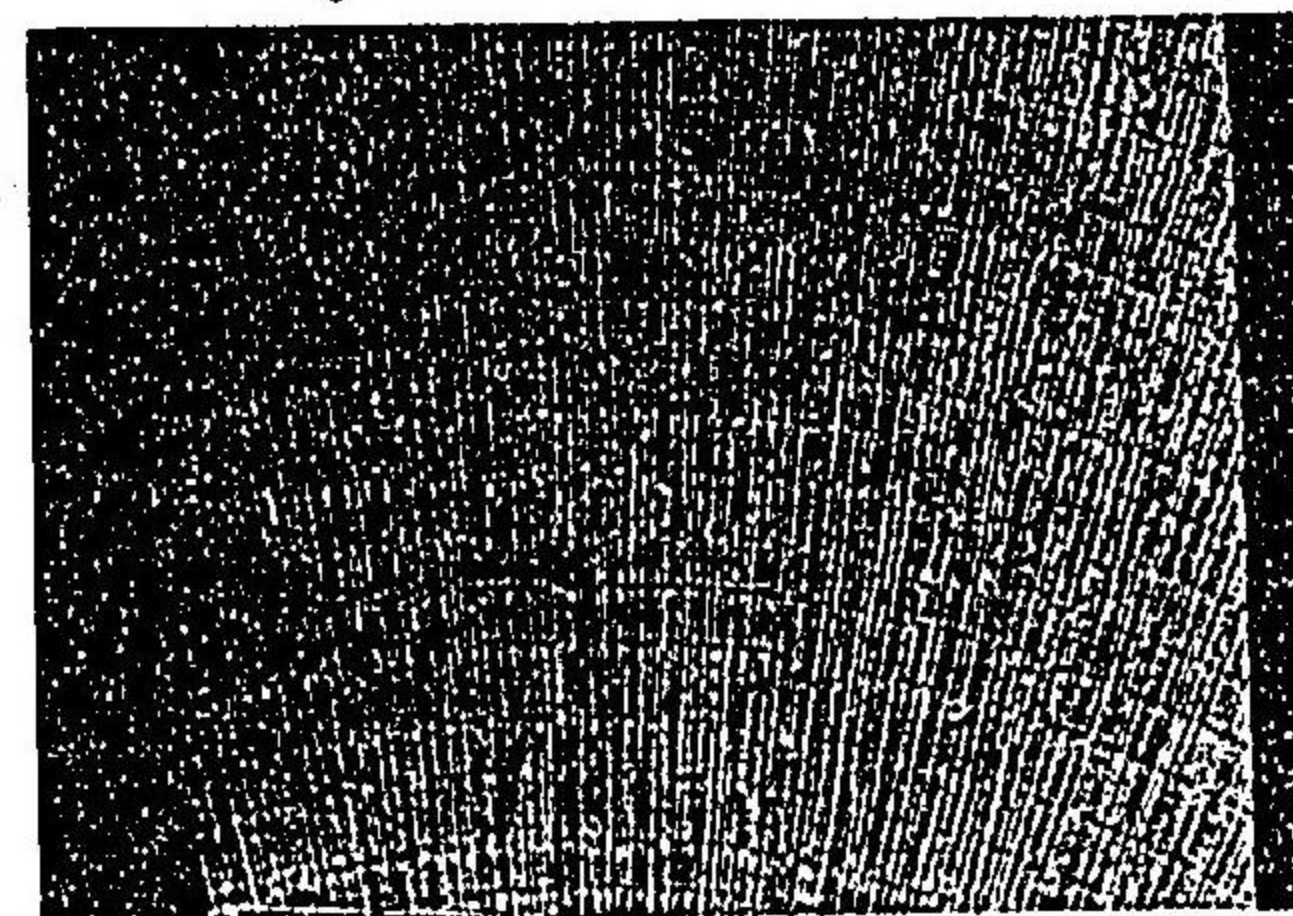
第六十圖
あ



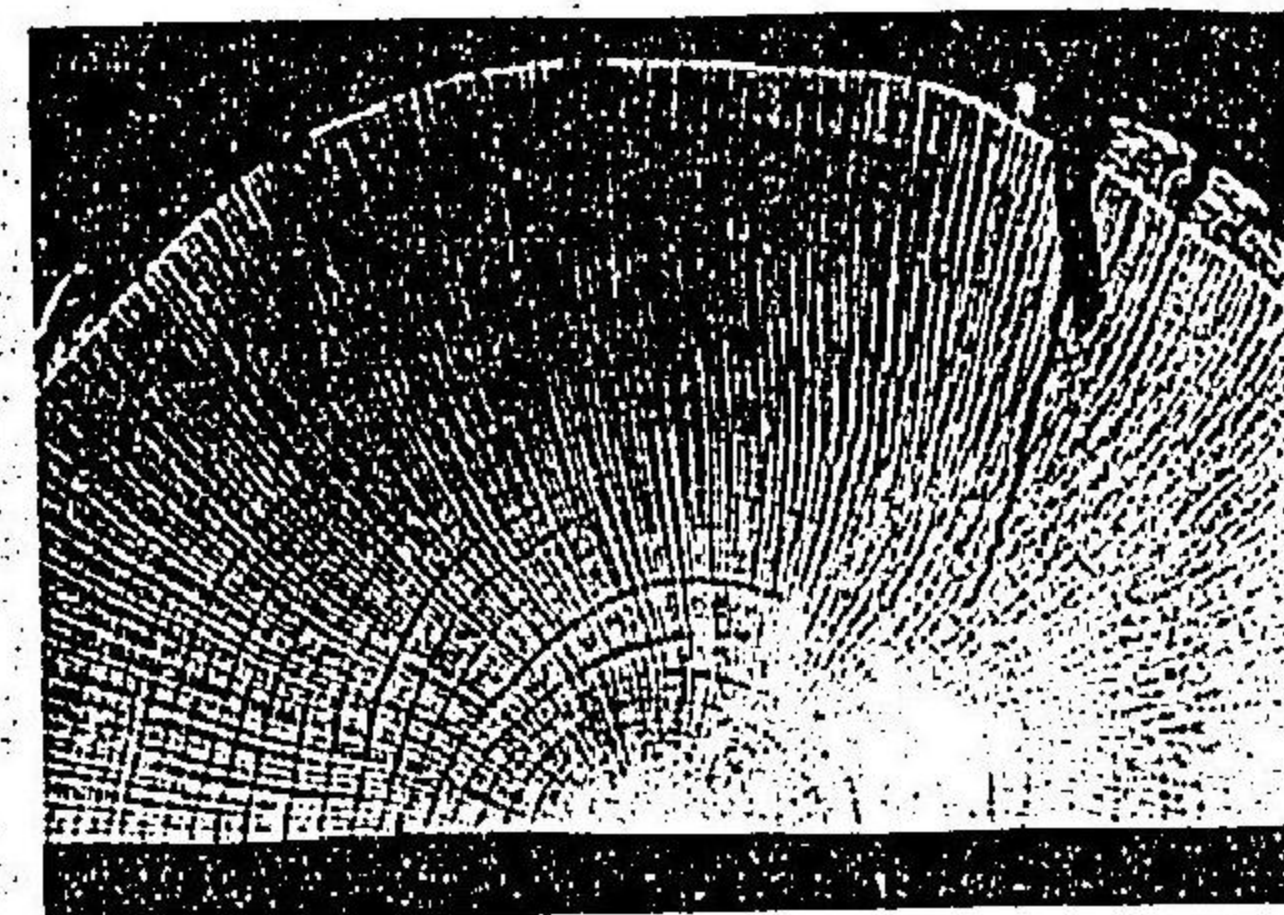
第 二 十 二 圖
は り き り



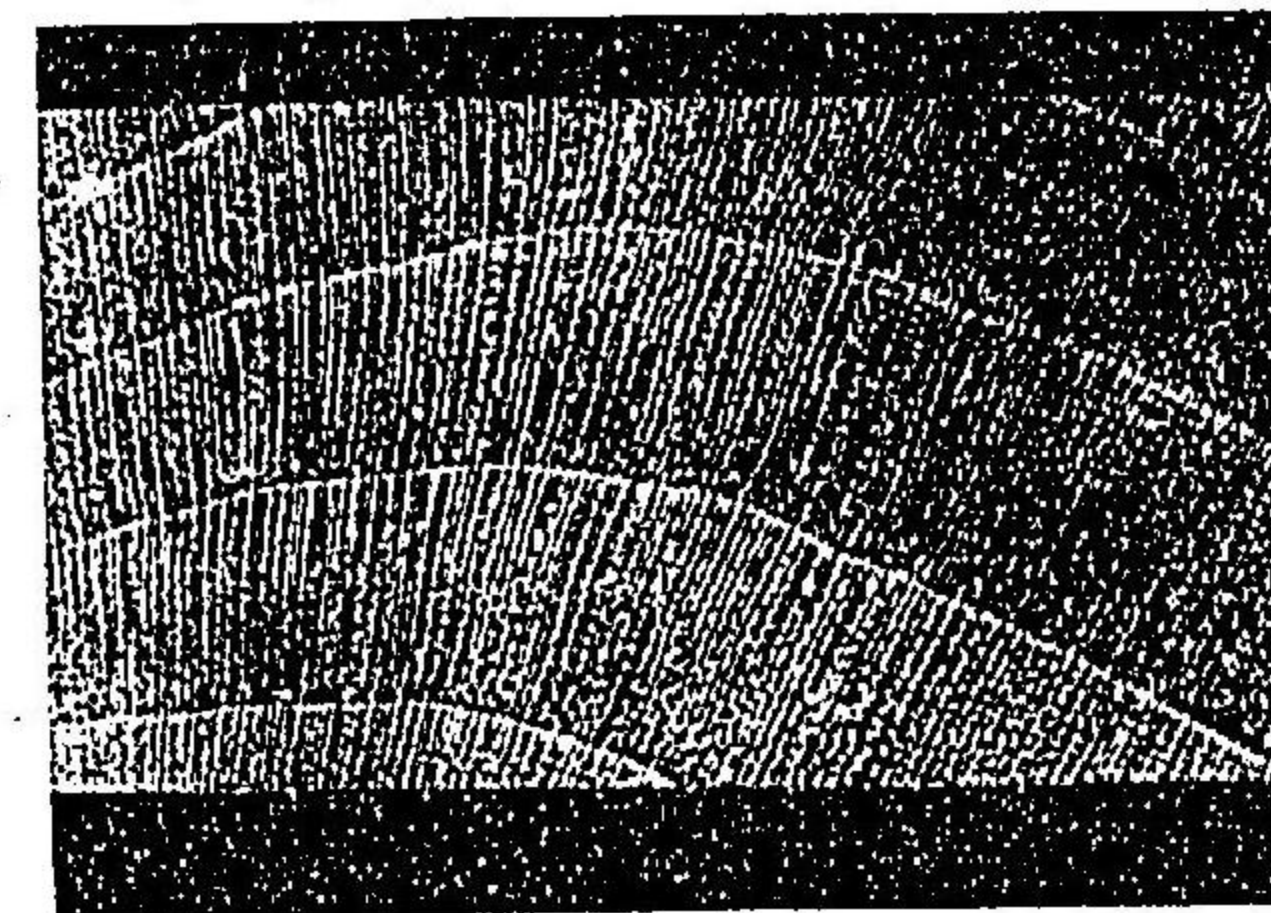
第 十 九 圖
け や き



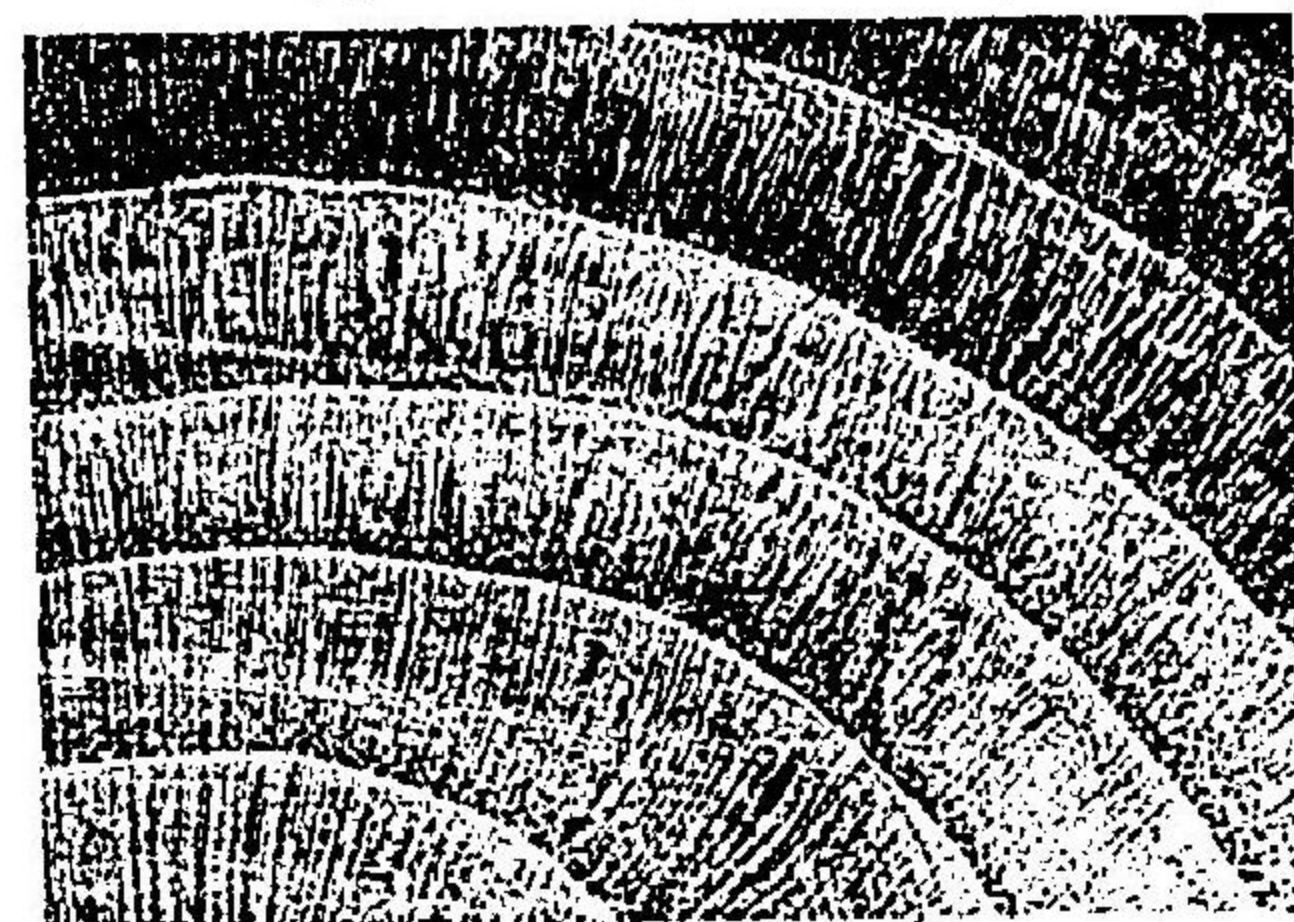
第 十 八 圖
め き



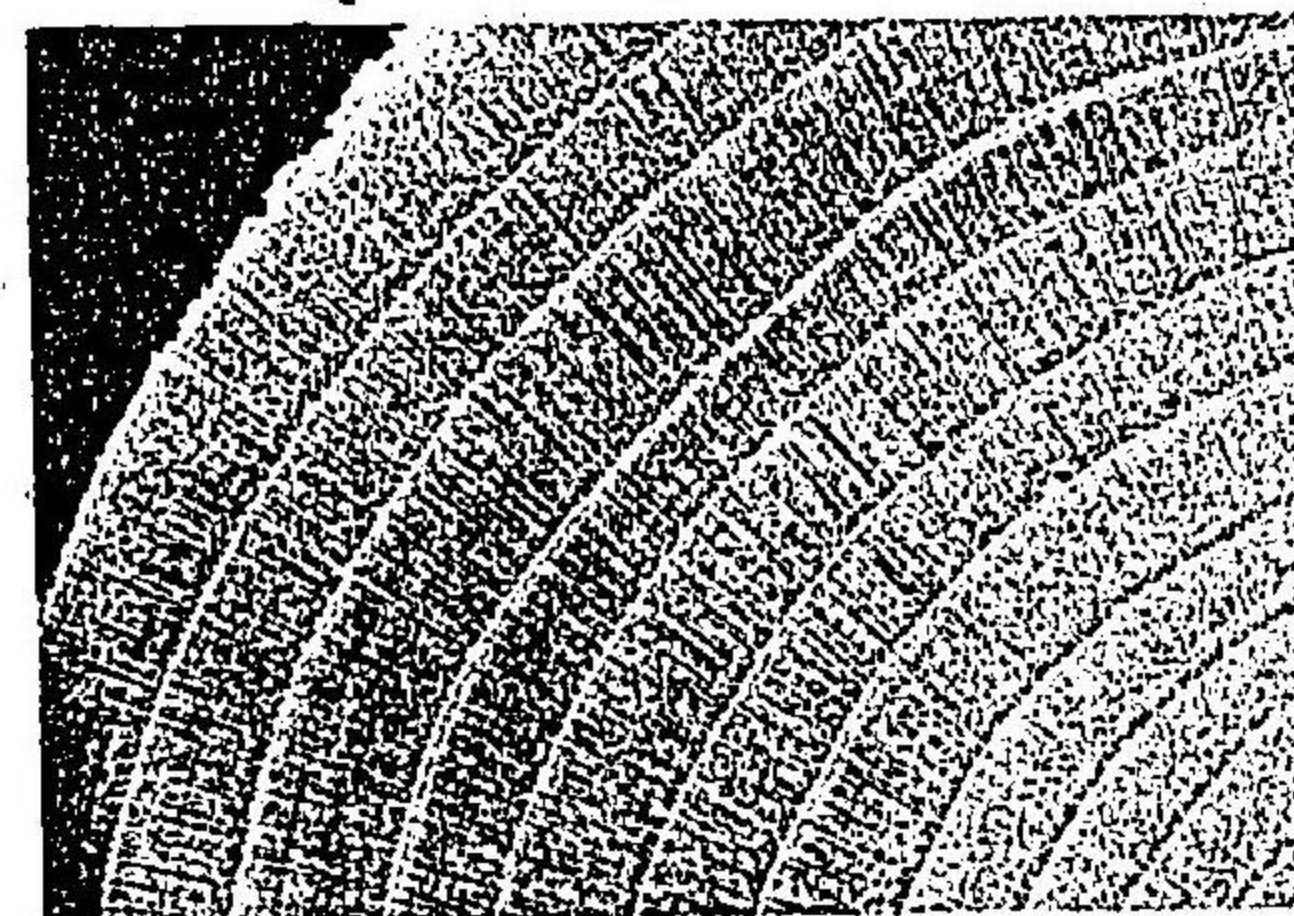
第 十 七 圖
え の き



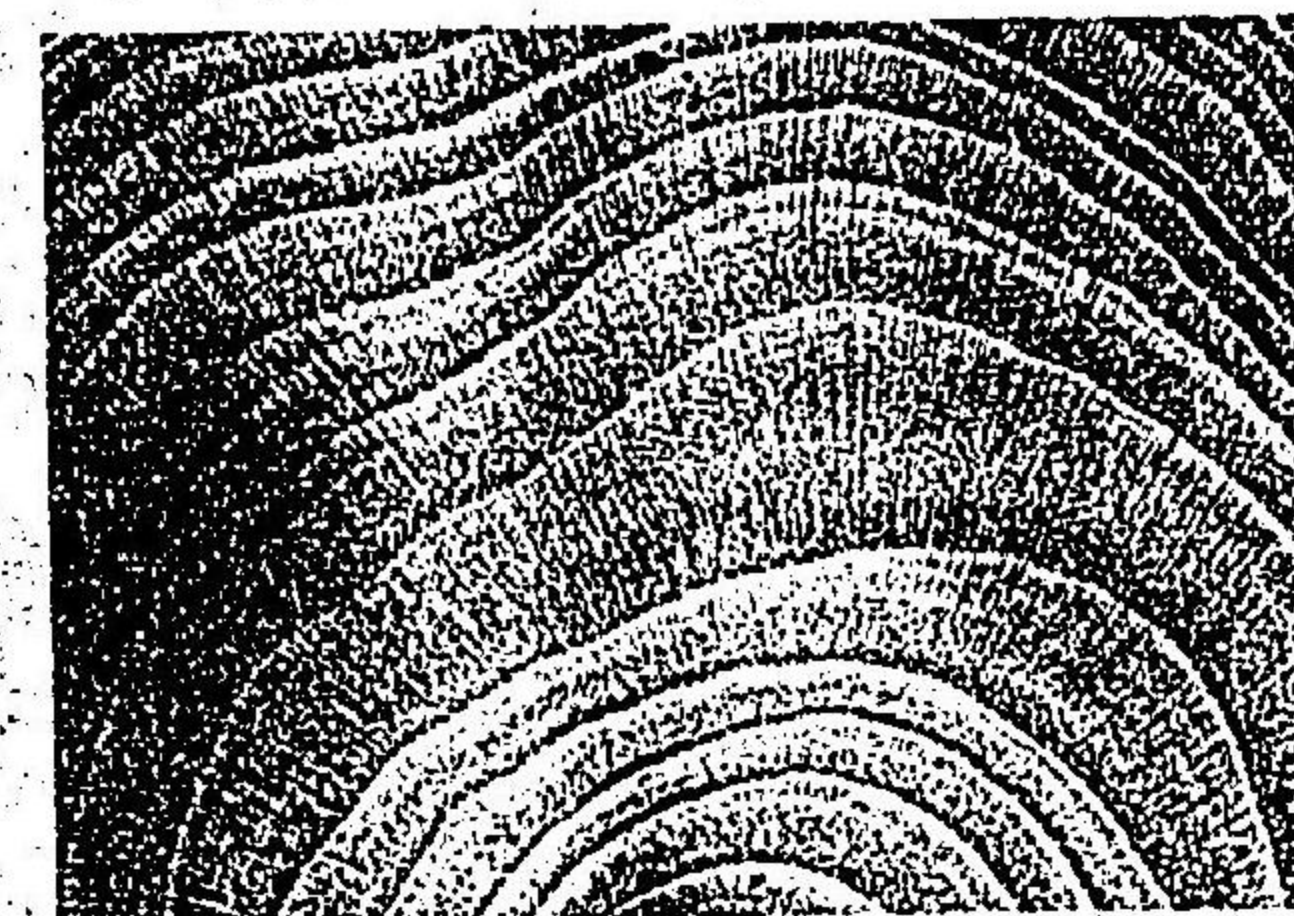
第 四 十 二 圖
き は だ



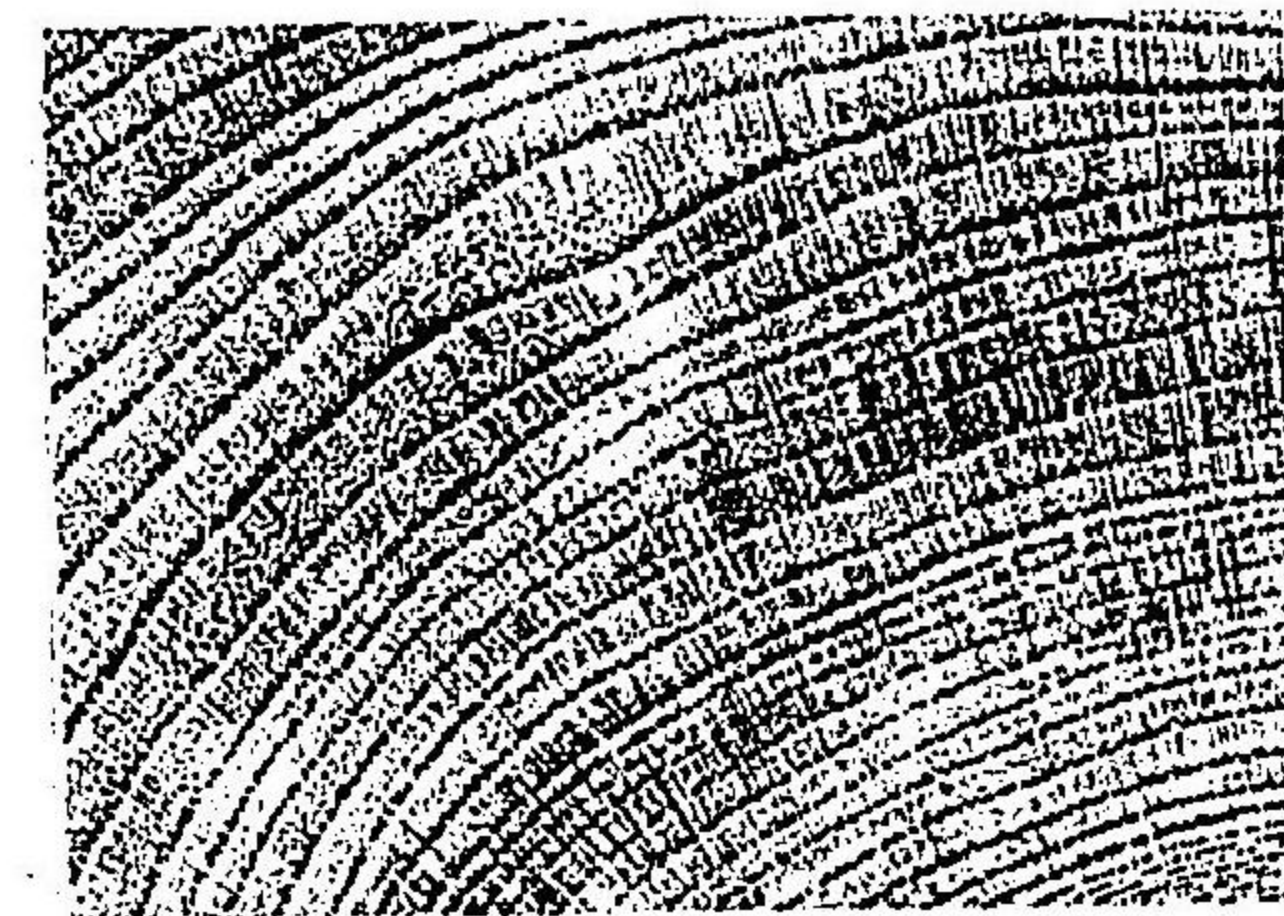
第 三 十 二 圖
ふ ち き



第 二 十 二 圖
あ き れ



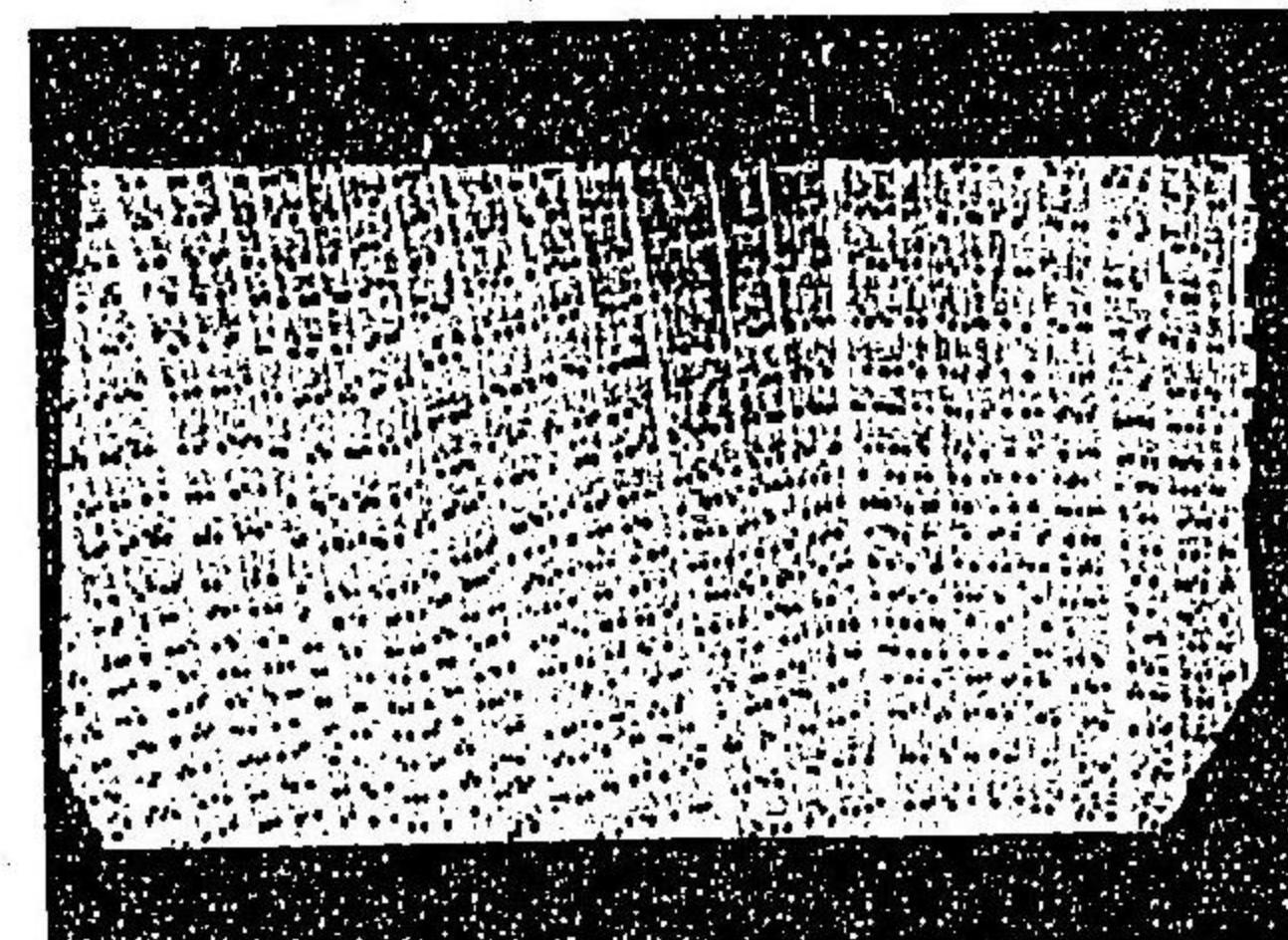
第 一 十 二 圖
は れ に



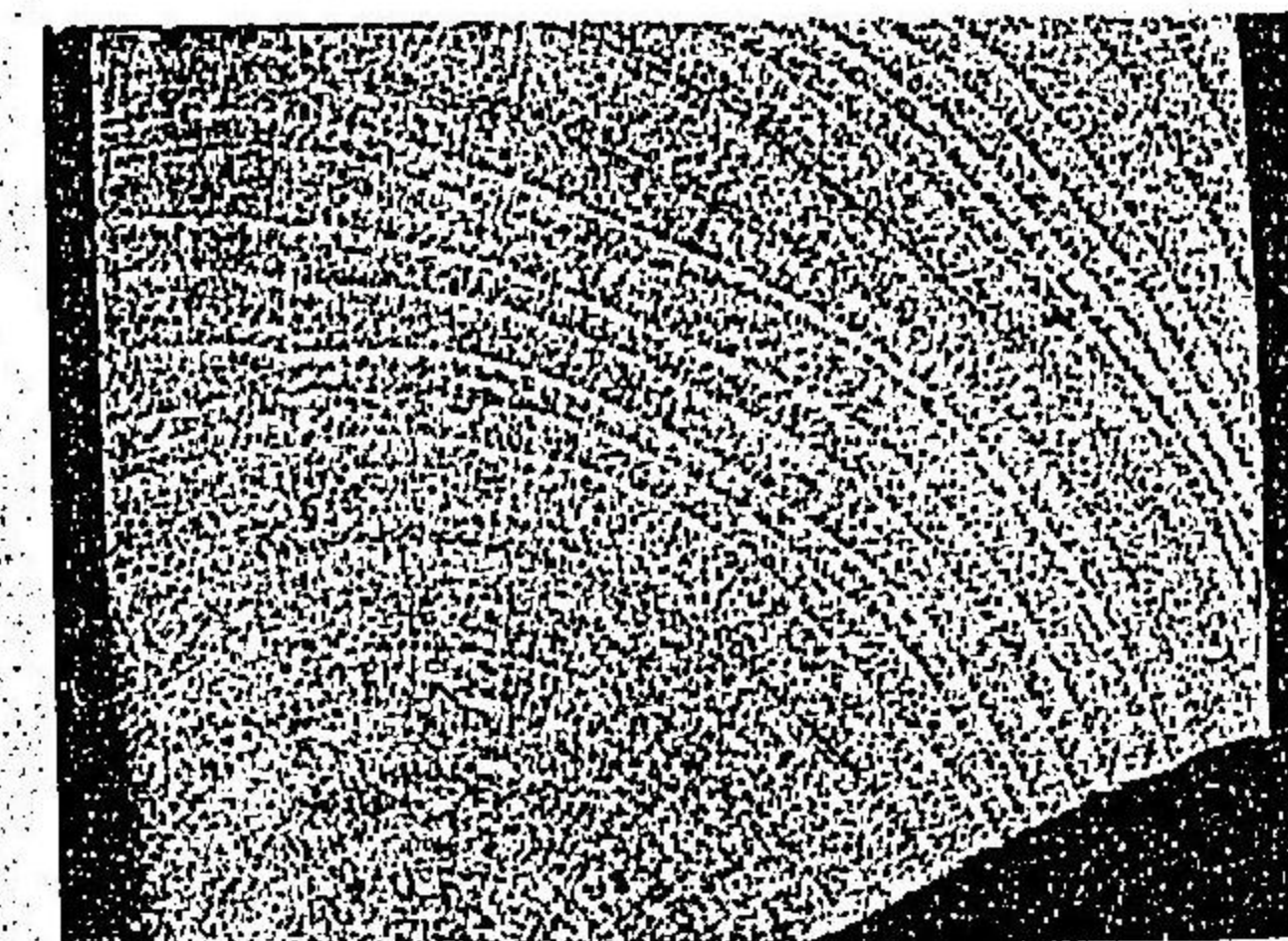
第 八 十 二 圖
か し は



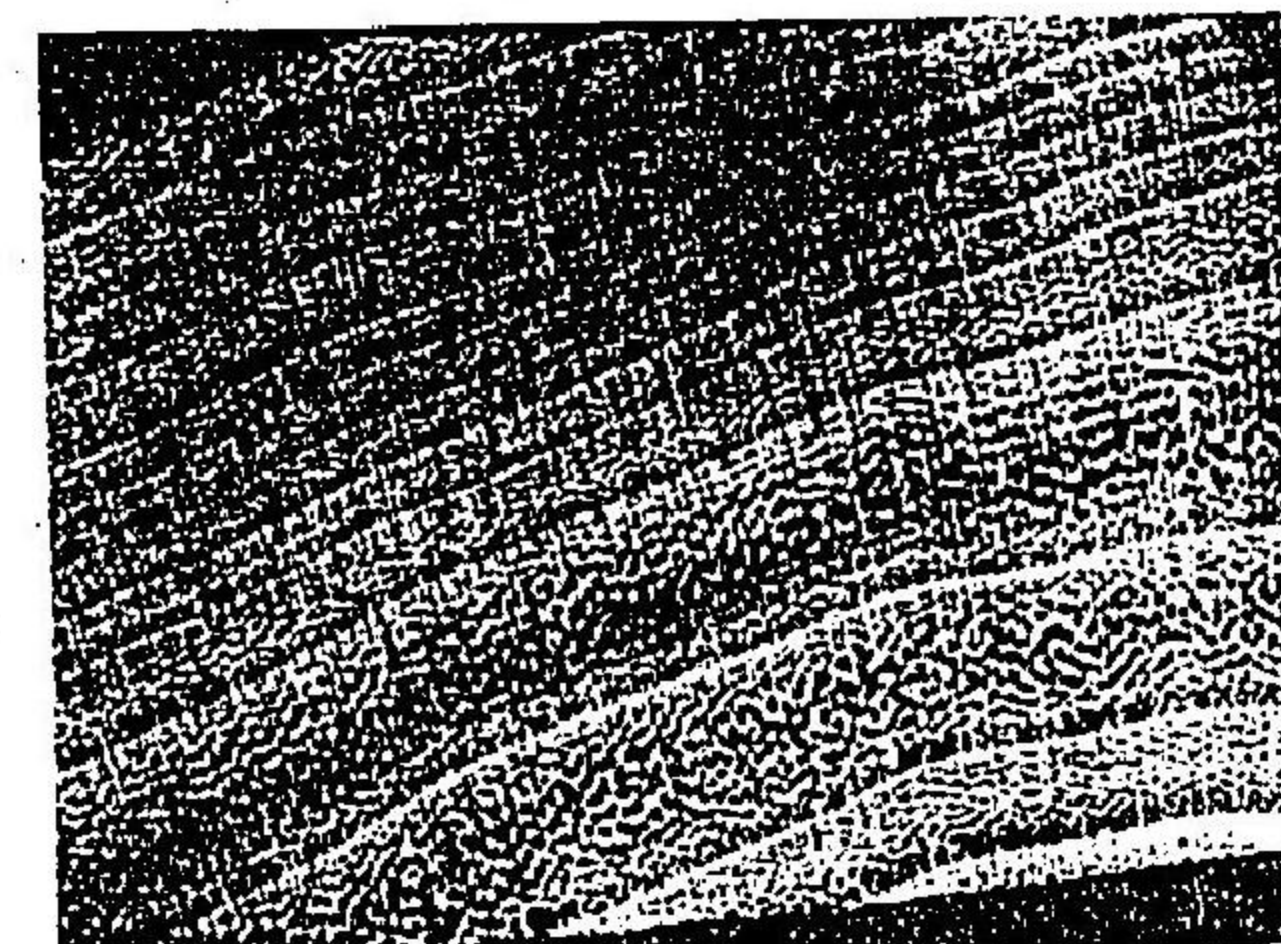
第 七 十 二 圖
く ぬ き



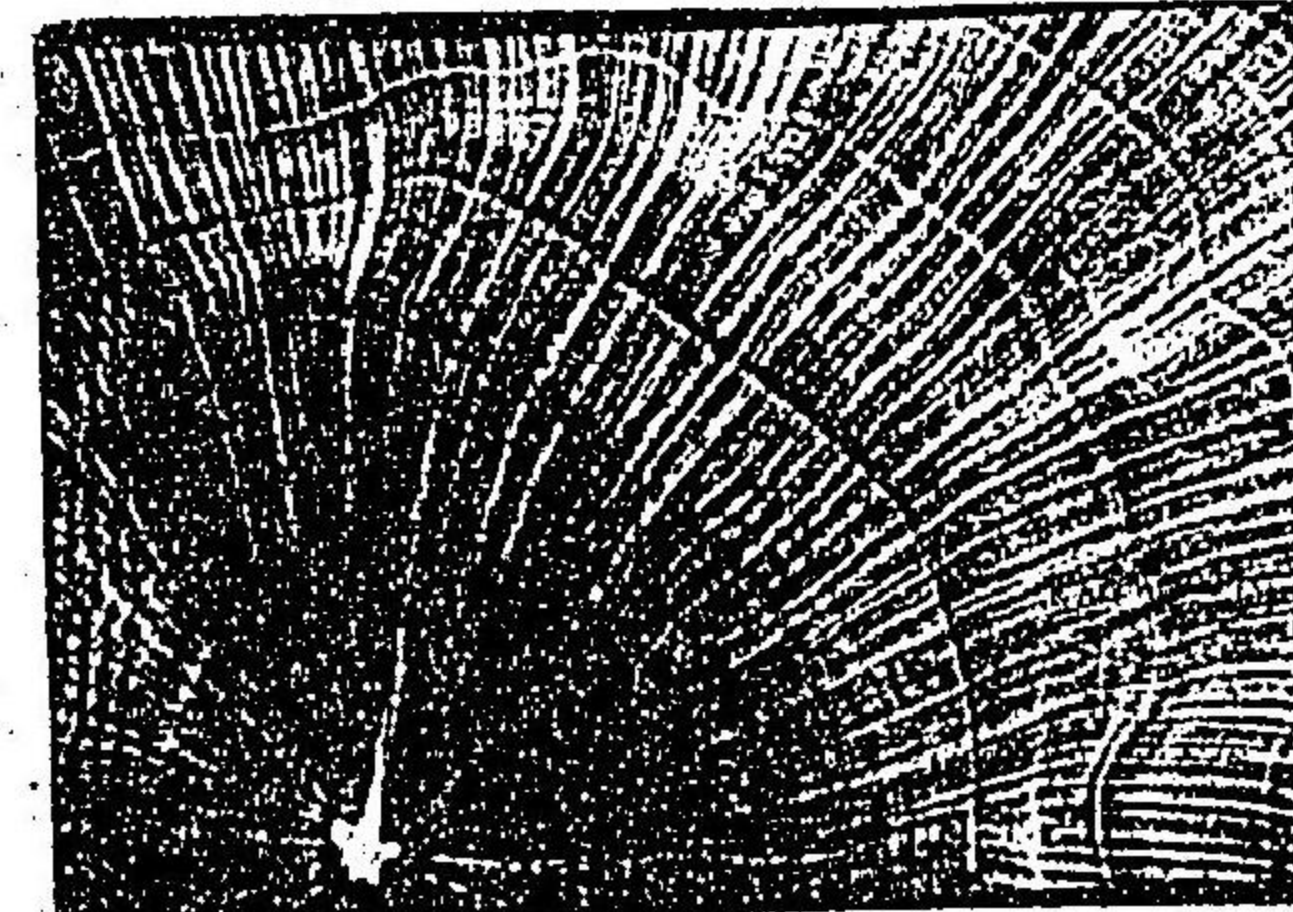
第 六 十 二 圖
む く ろ じ



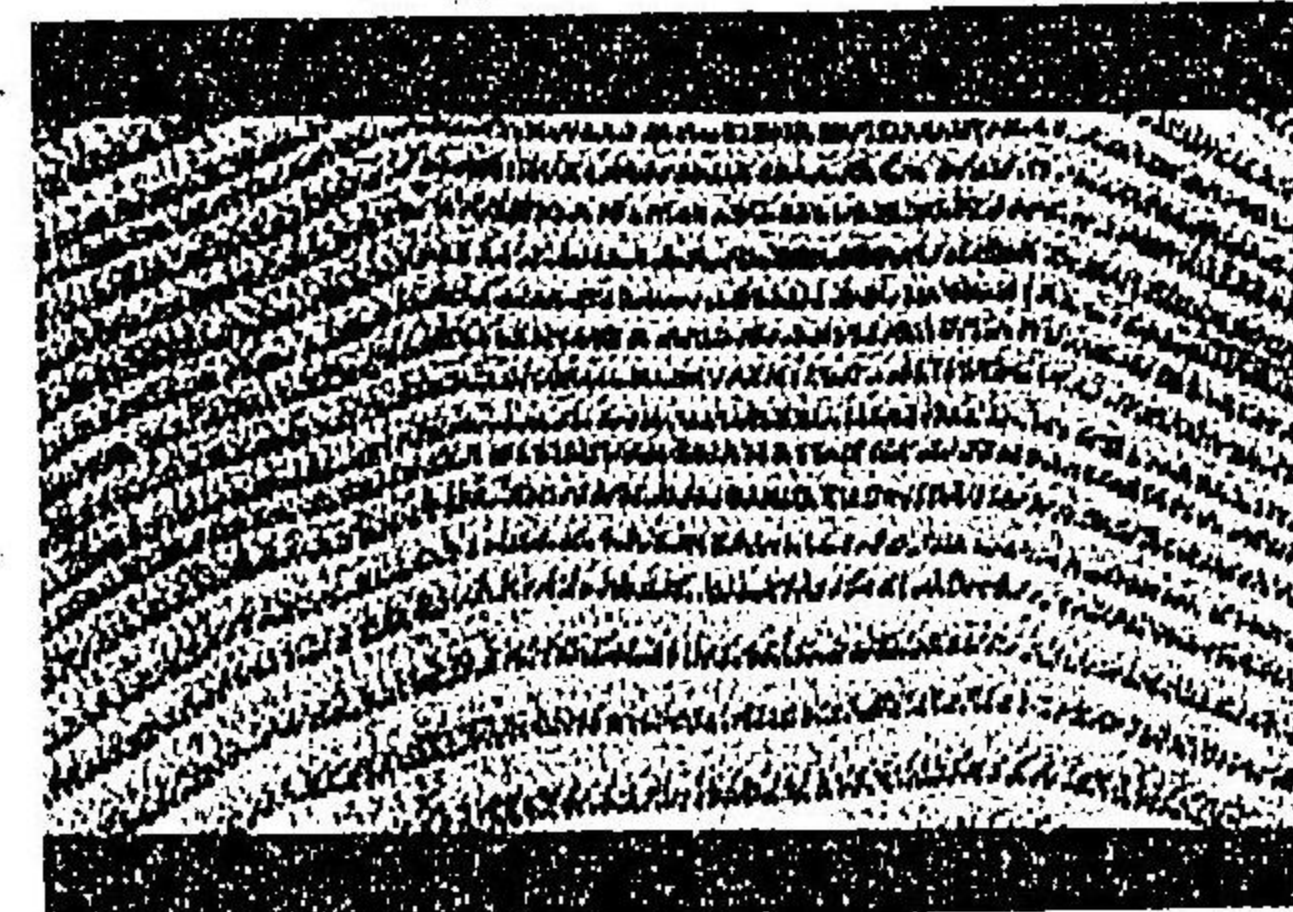
第 五 十 二 圖
き り



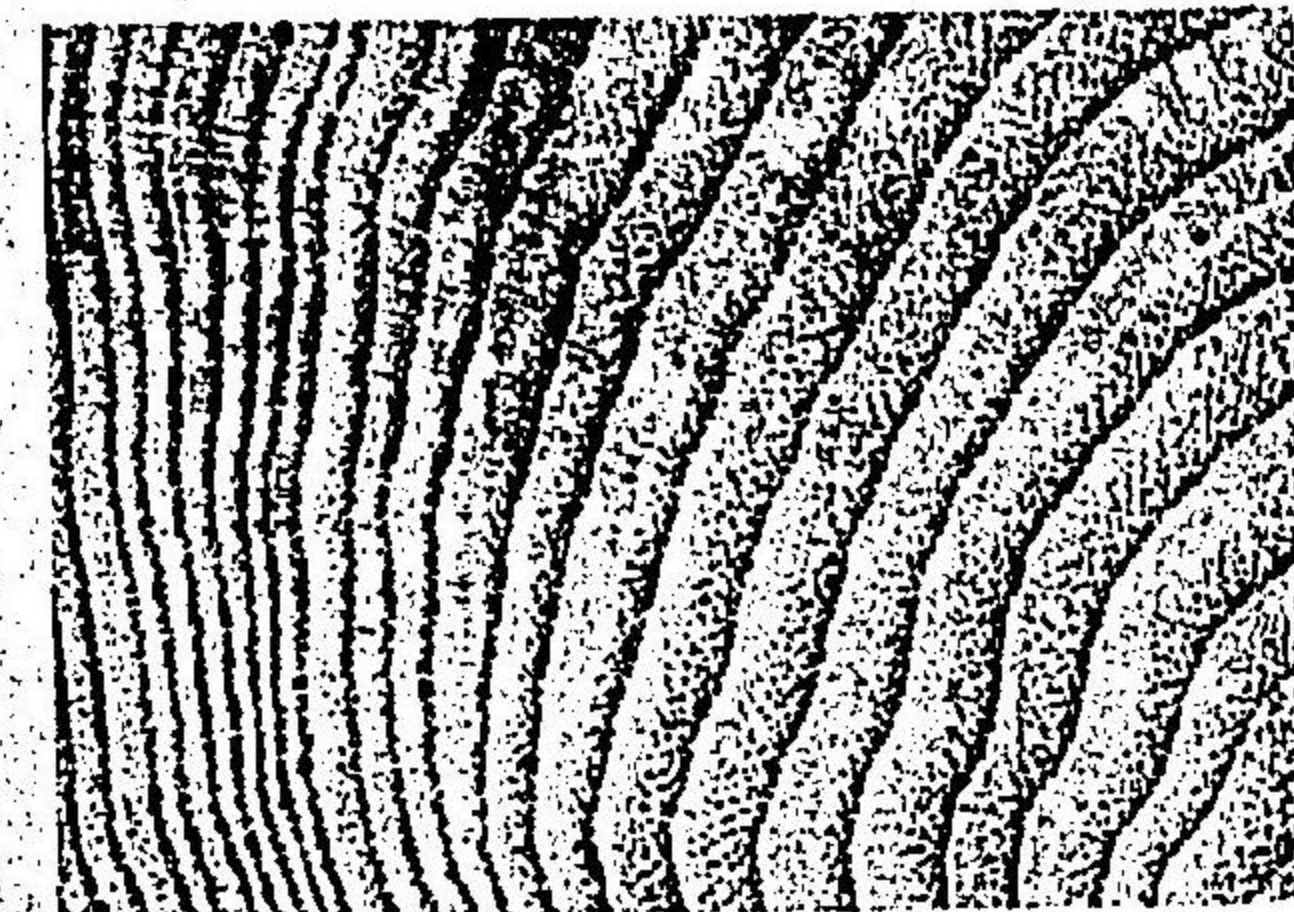
第 三 十 二 圖
は ん の き



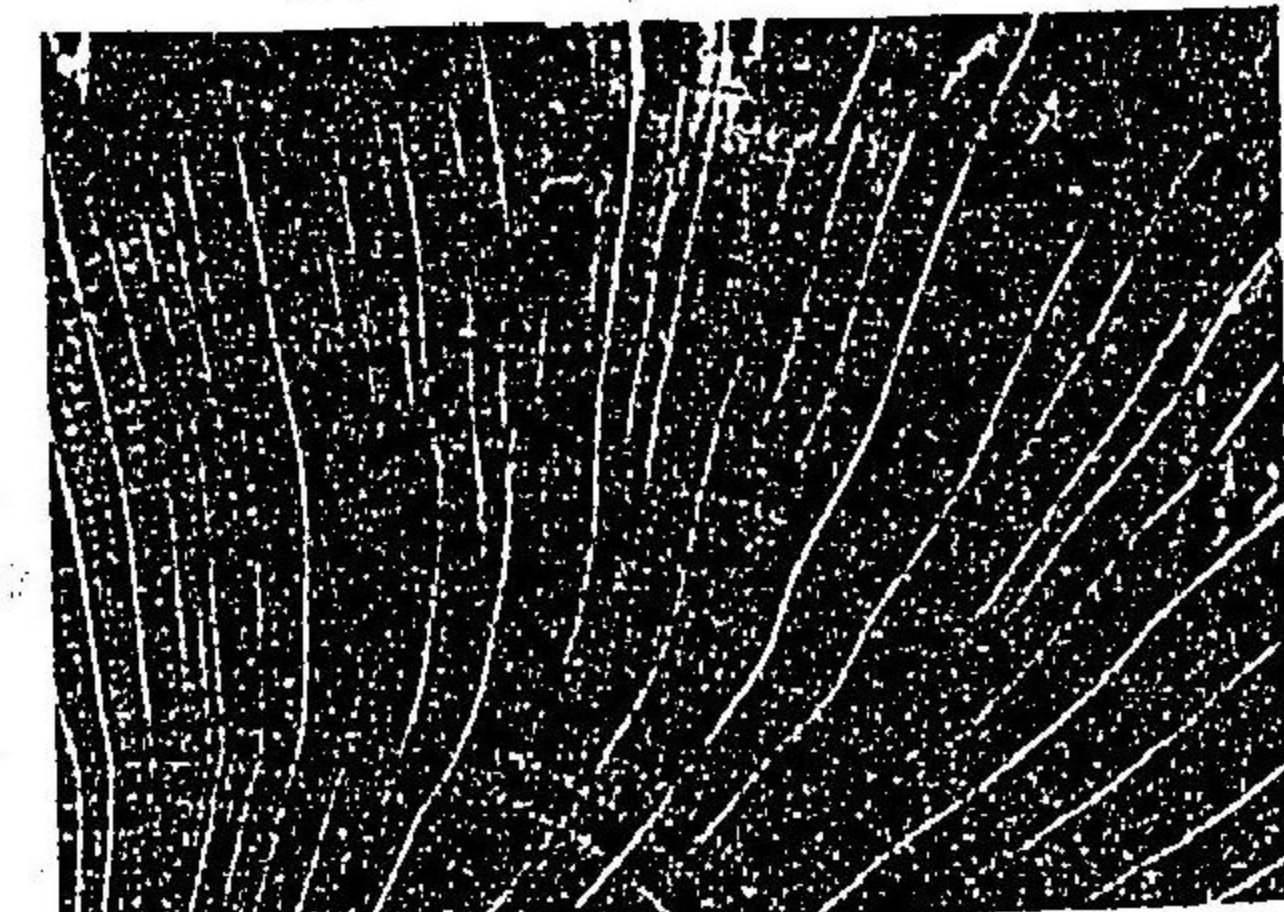
第 一 十 三 圖
く り



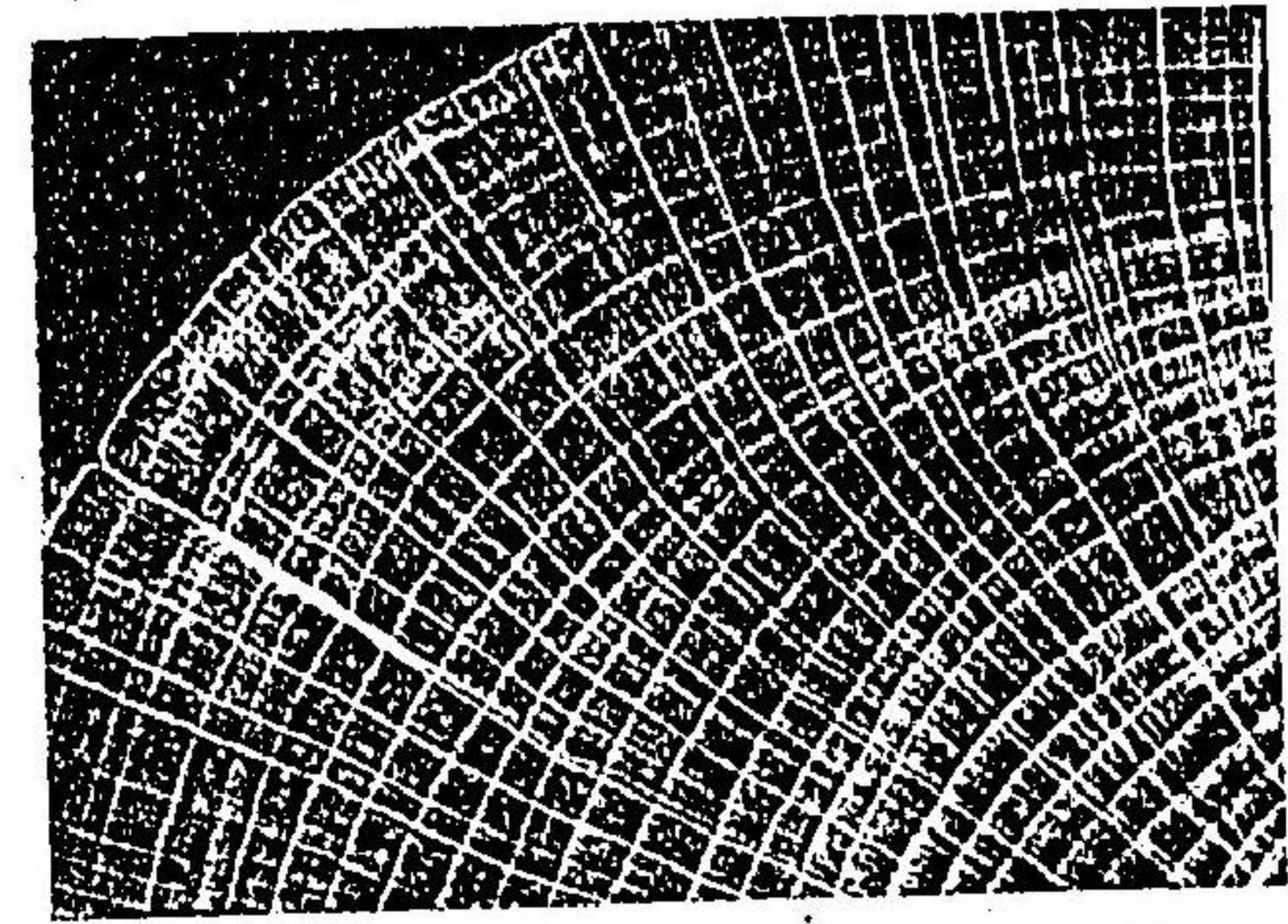
第 十 三 圖
の め の き



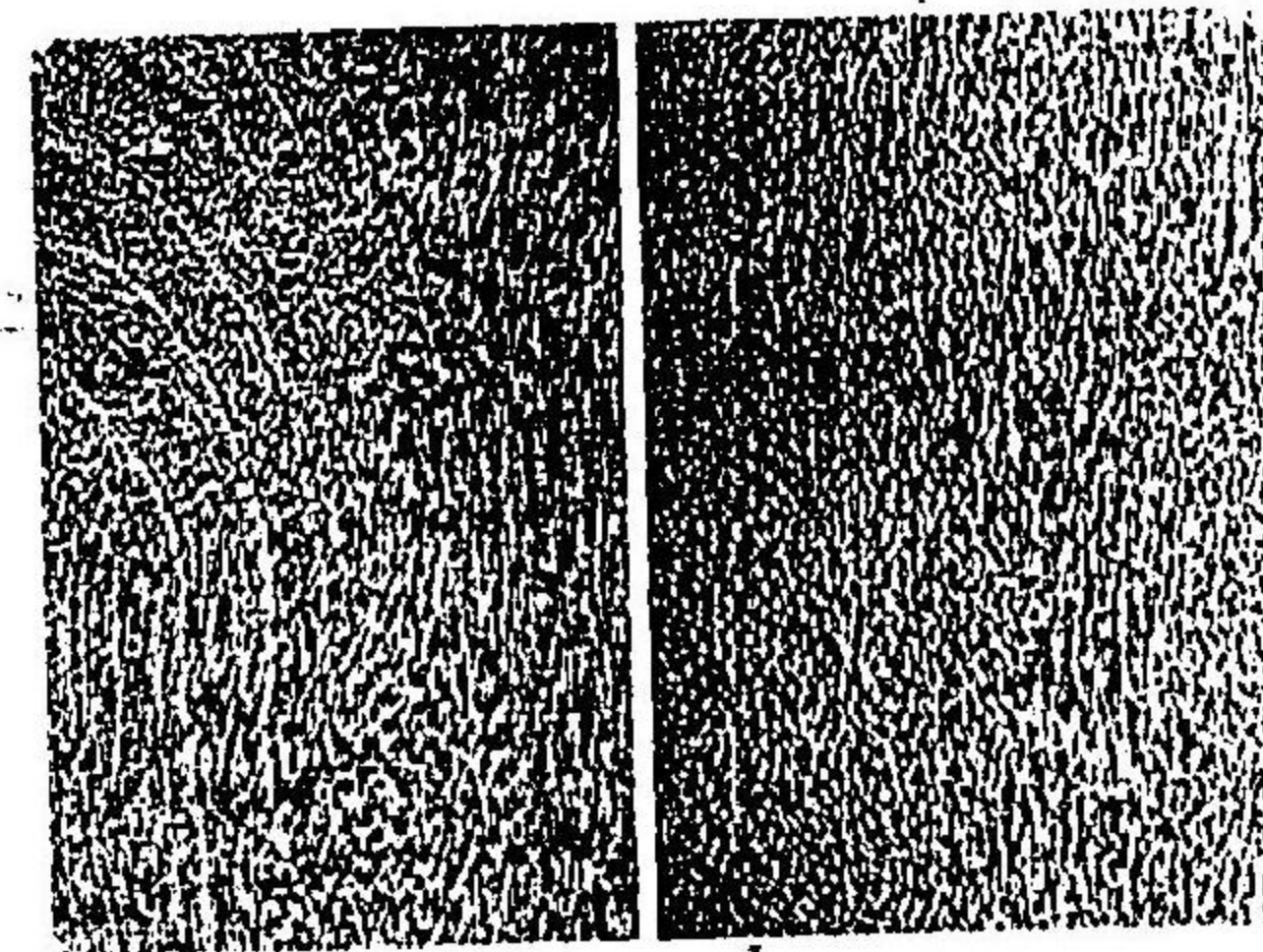
第 九 十 二 圖
こ な ら



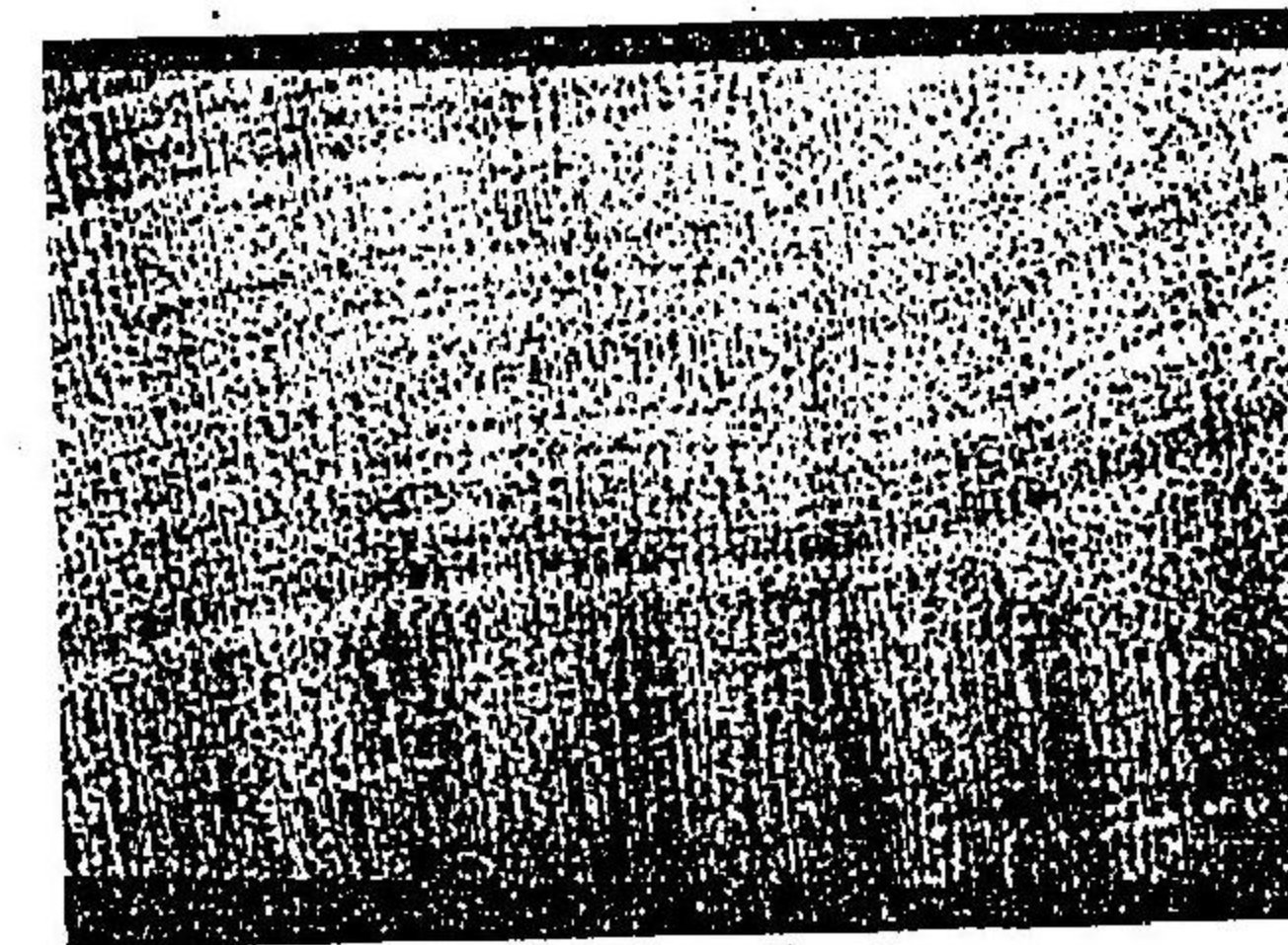
圖六十三第
なぶぬい



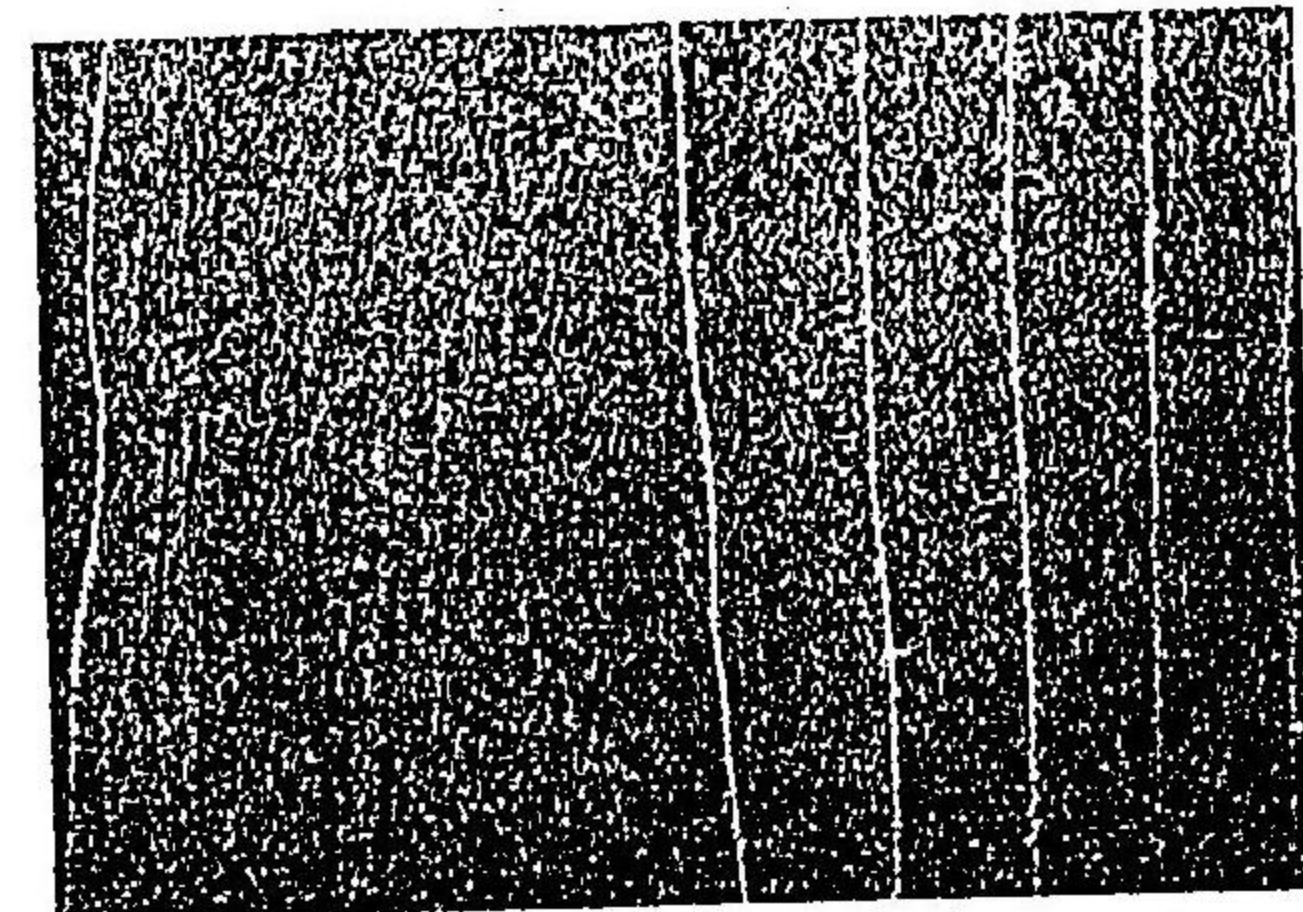
圖二十四第 圖一十四第
全 全



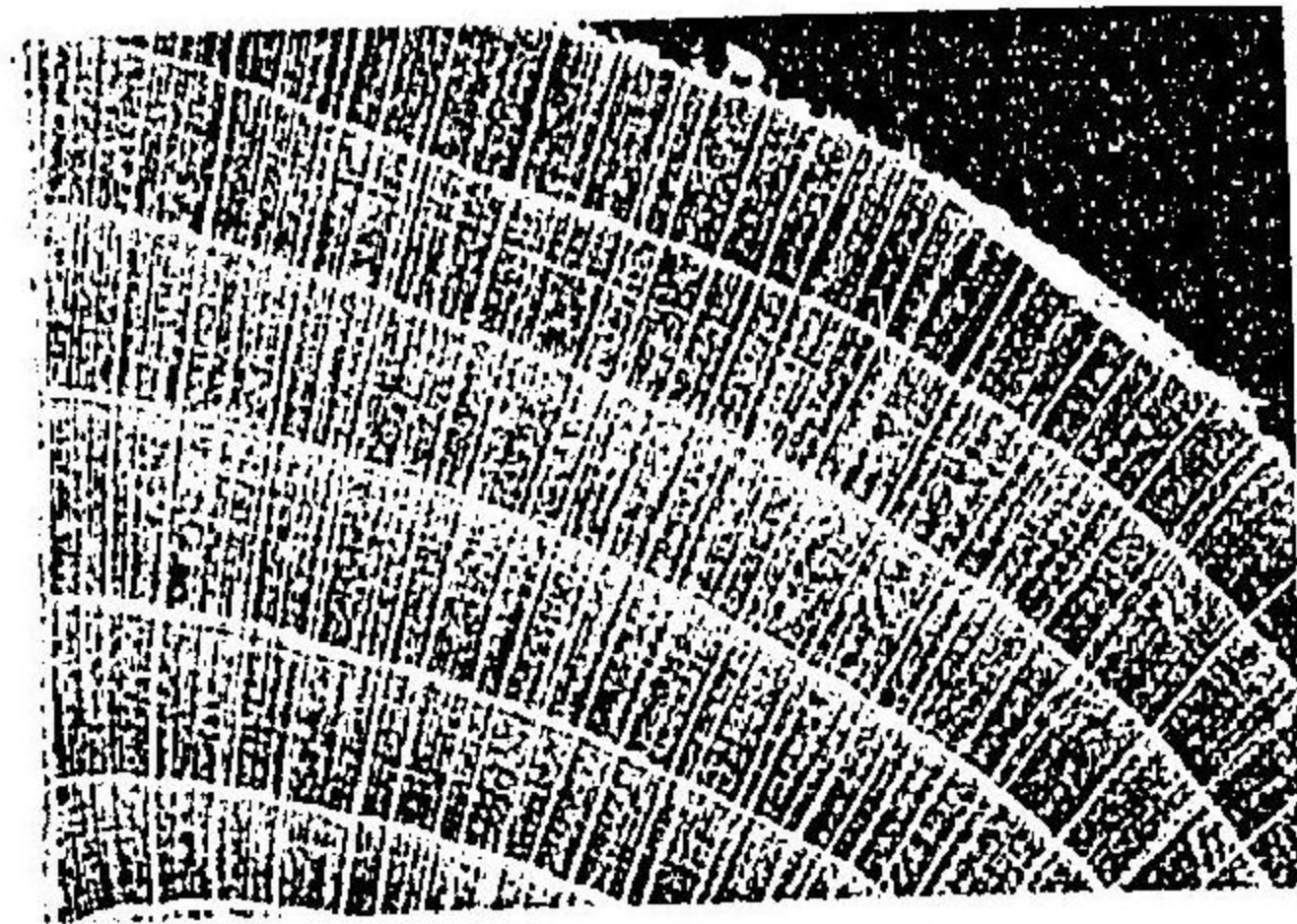
圖七十四第
ほぐまし



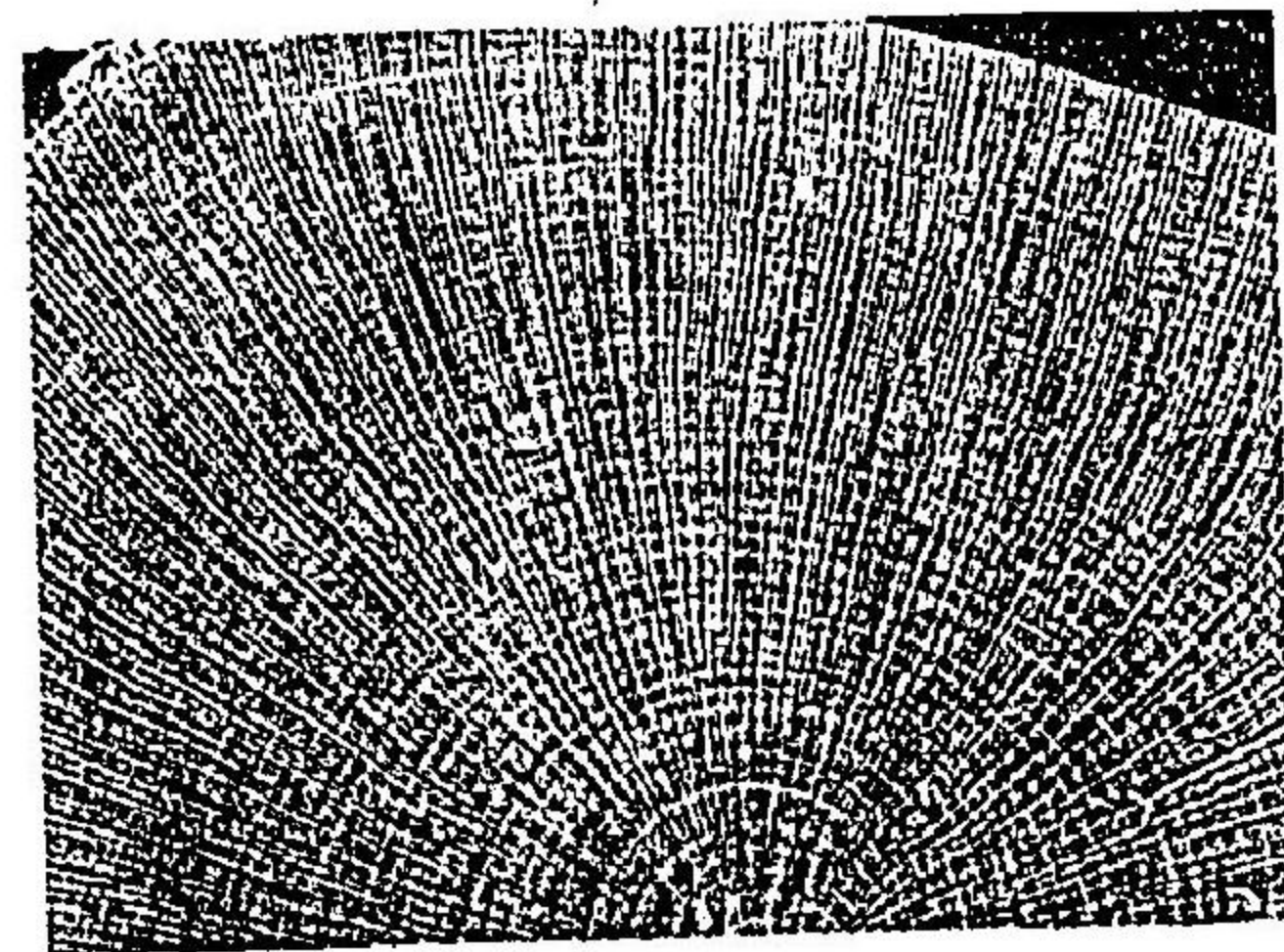
圖二十五第 圖一十五第
全 全



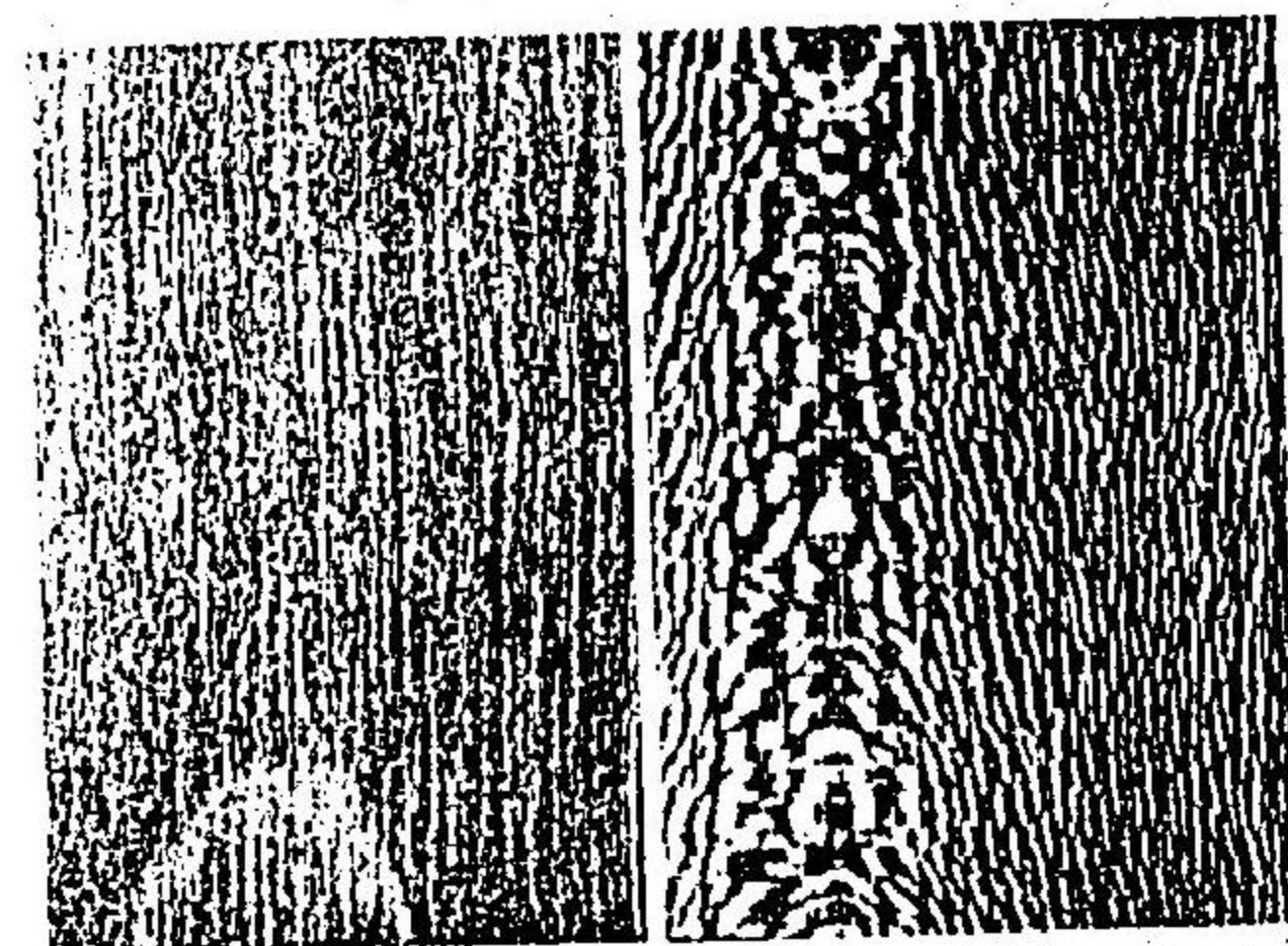
圖五十三第
なぶ



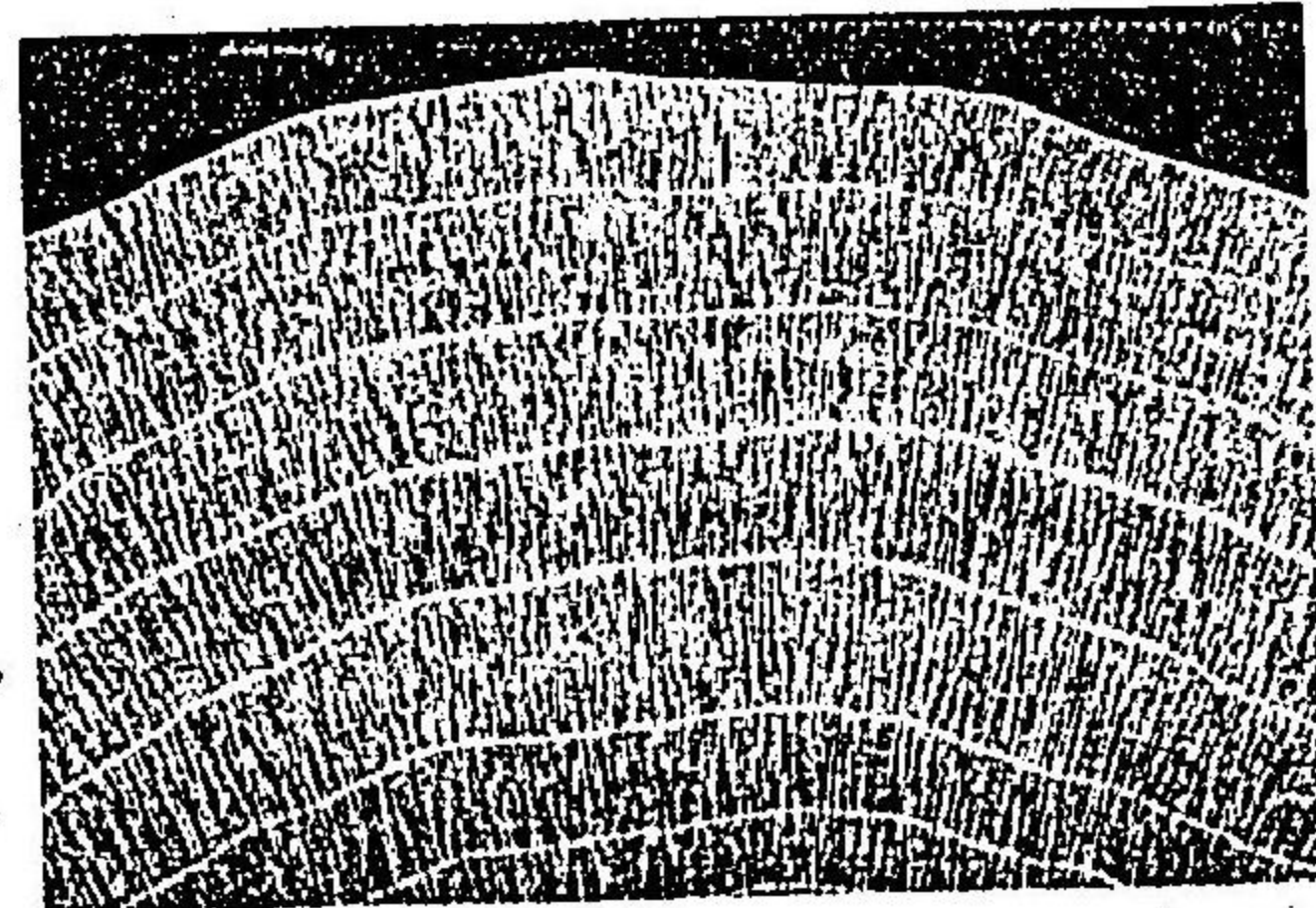
圖十四第
しうばまや



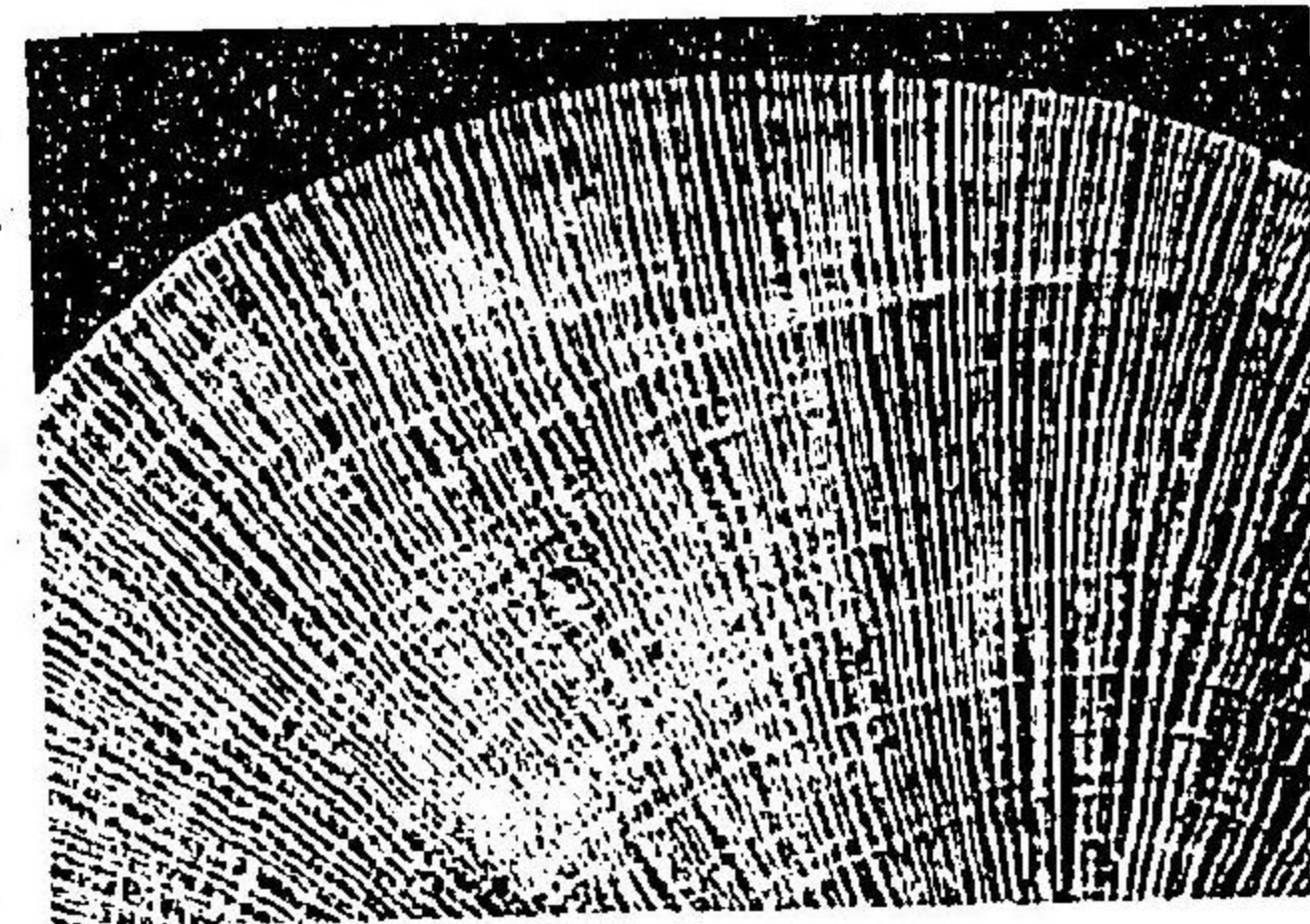
圖六十四第 圖五十四第
全 全



圖十五第
でへかやたい



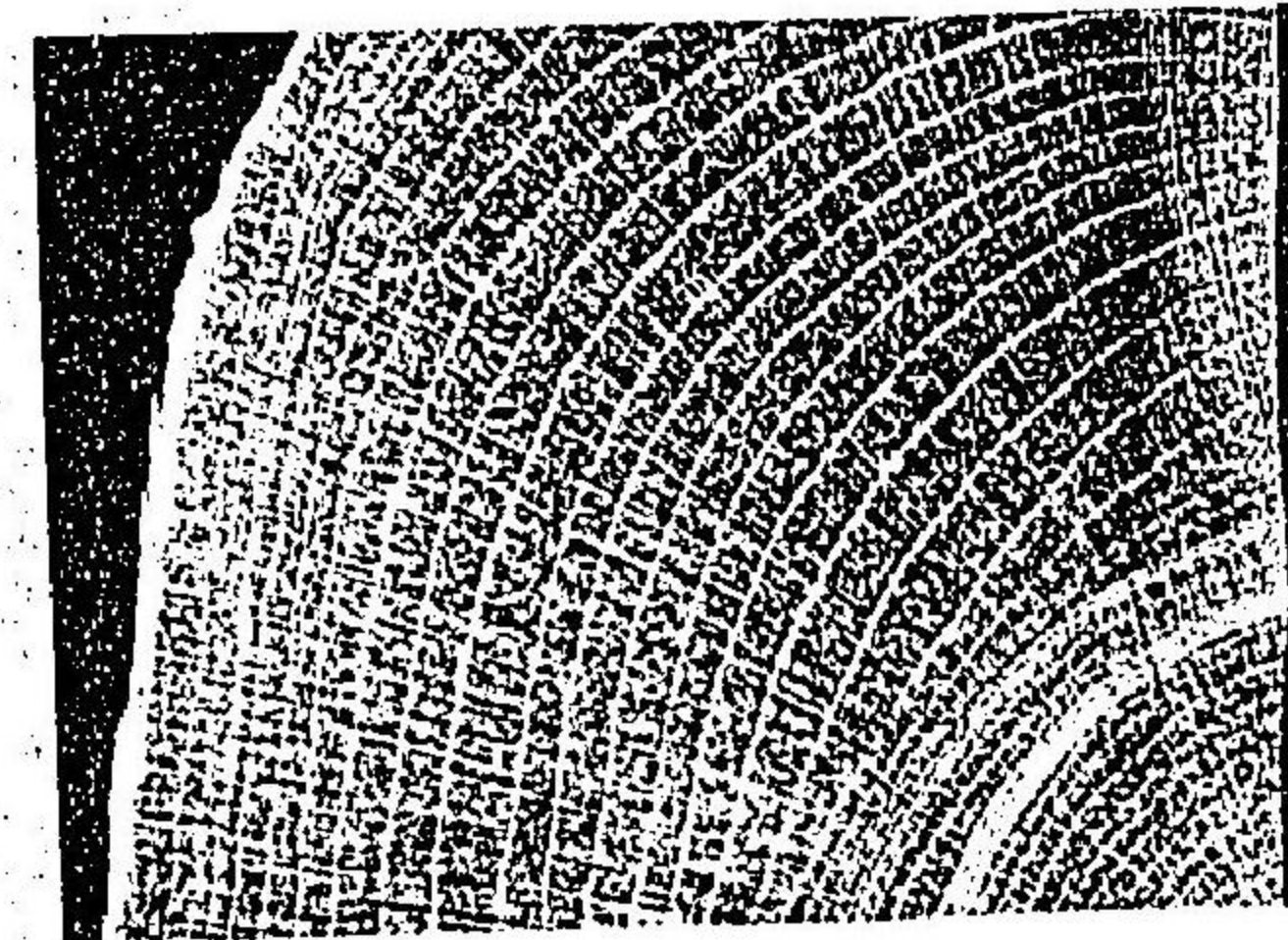
圖四十三第
なばちたくも



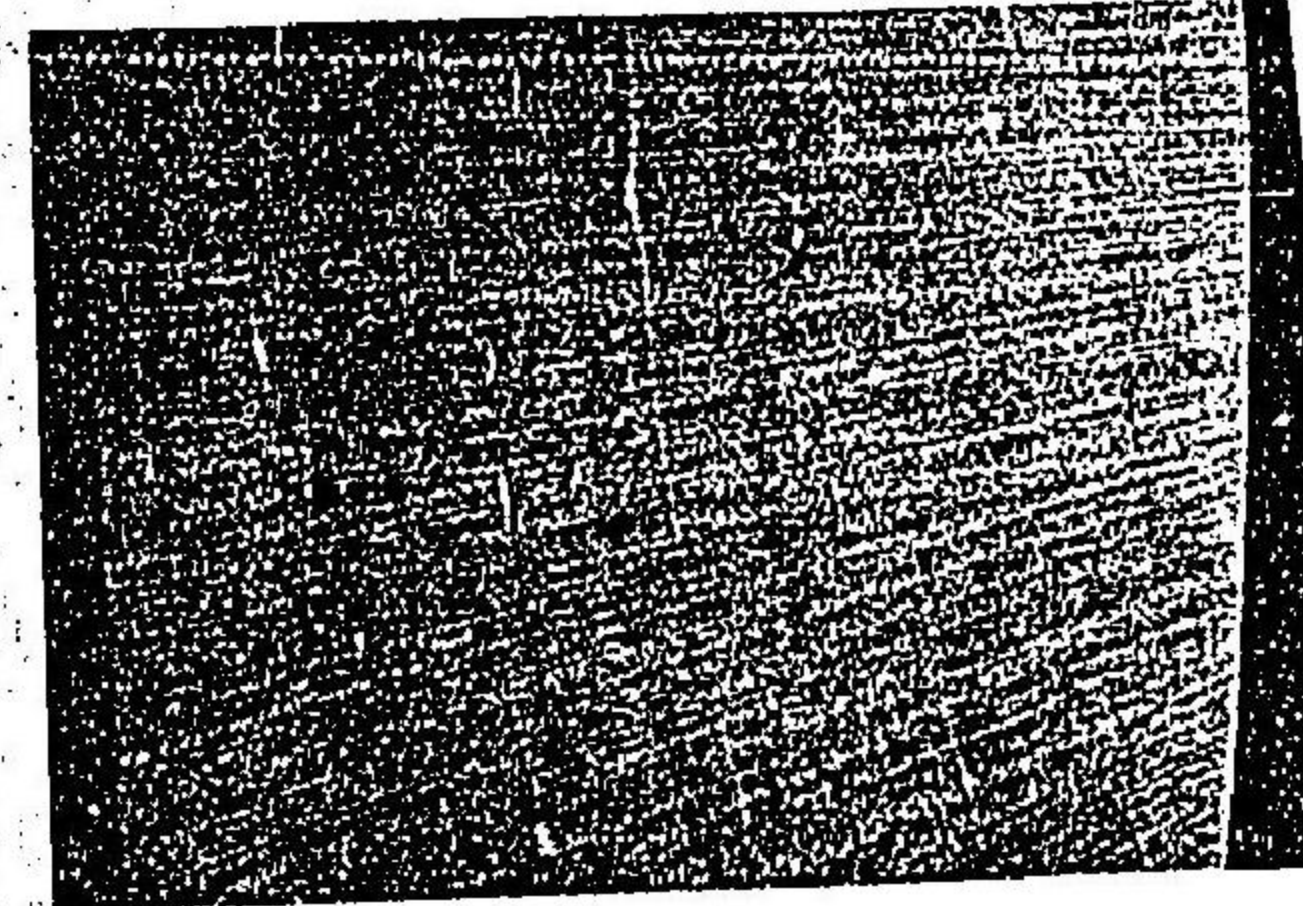
圖九十三第 圖八十三第
全 全



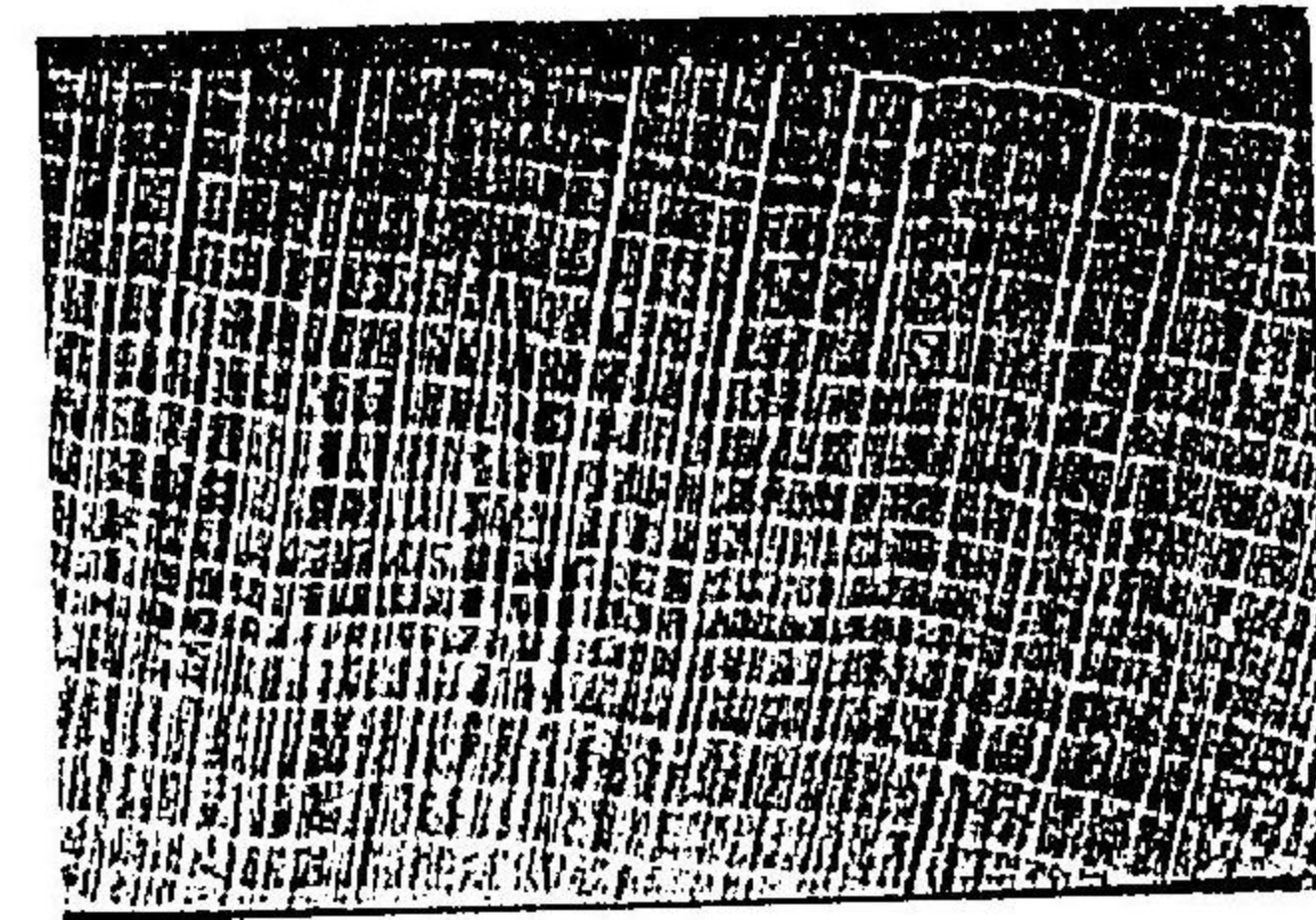
圖四十四第
きぶはま



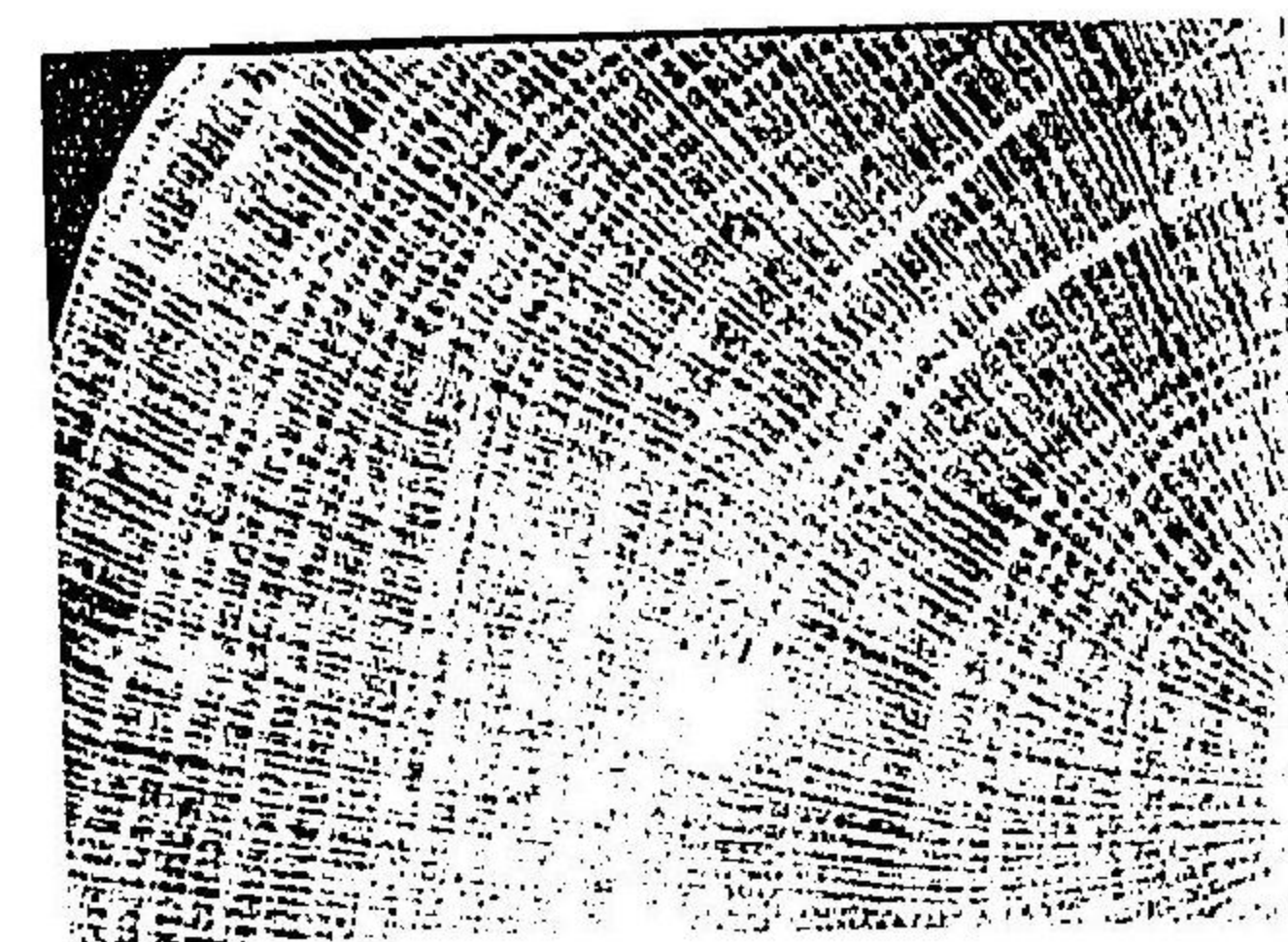
圖九十四第
うせんさずらか



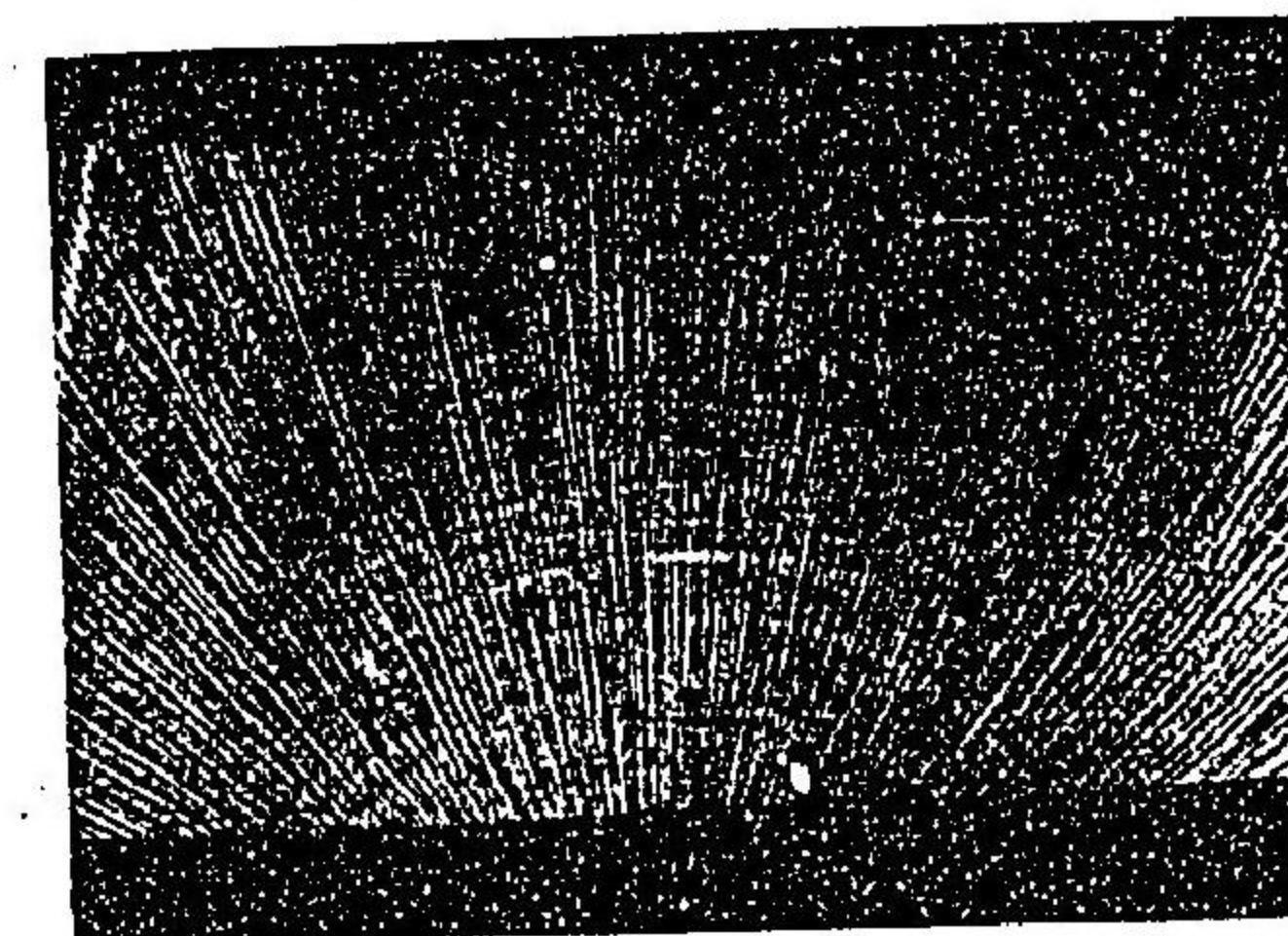
圖三十三第
きのんはまや



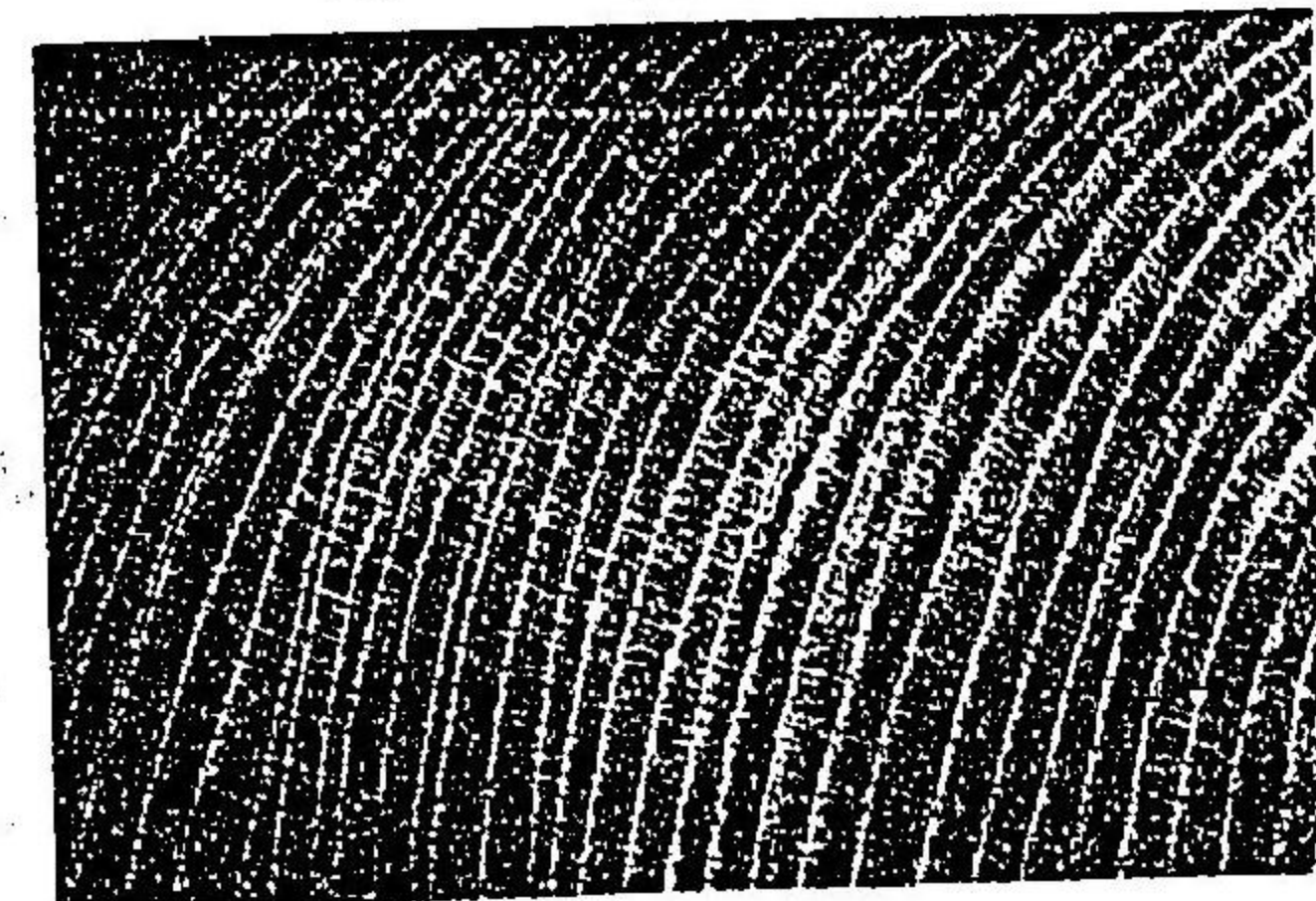
圖七十三第
らくささふ



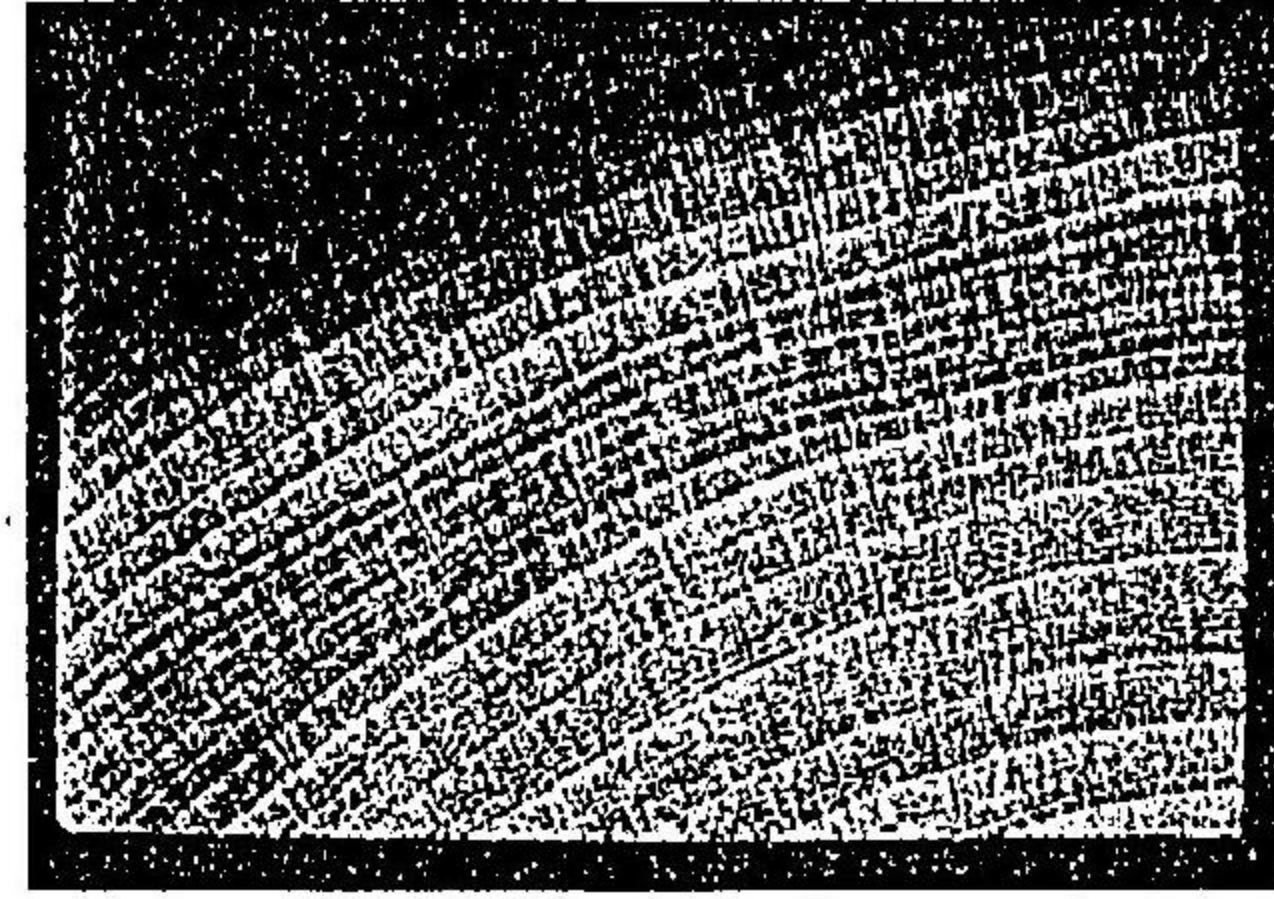
圖三十四第
きのちも



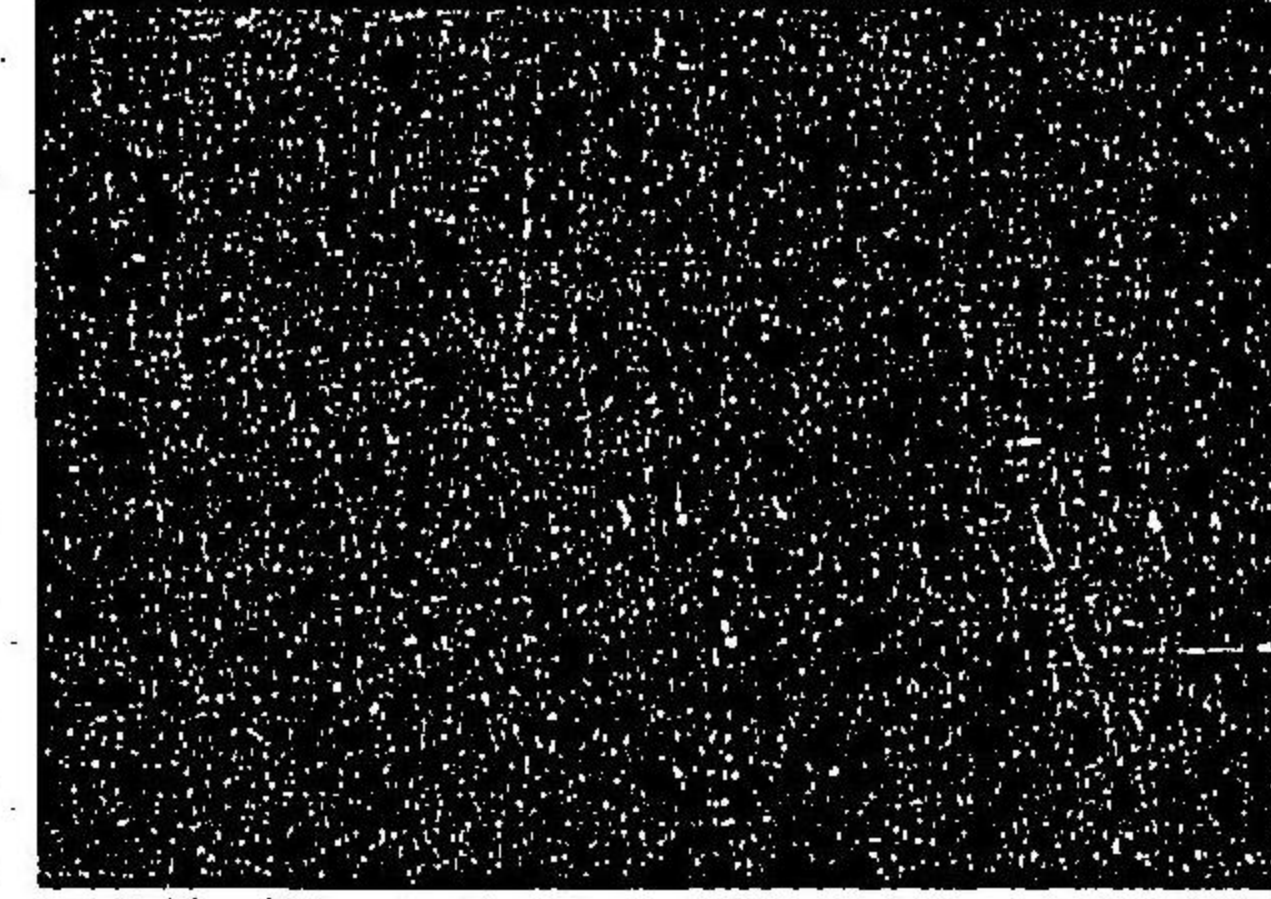
圖八十四第
種一ノ屬ゆじん



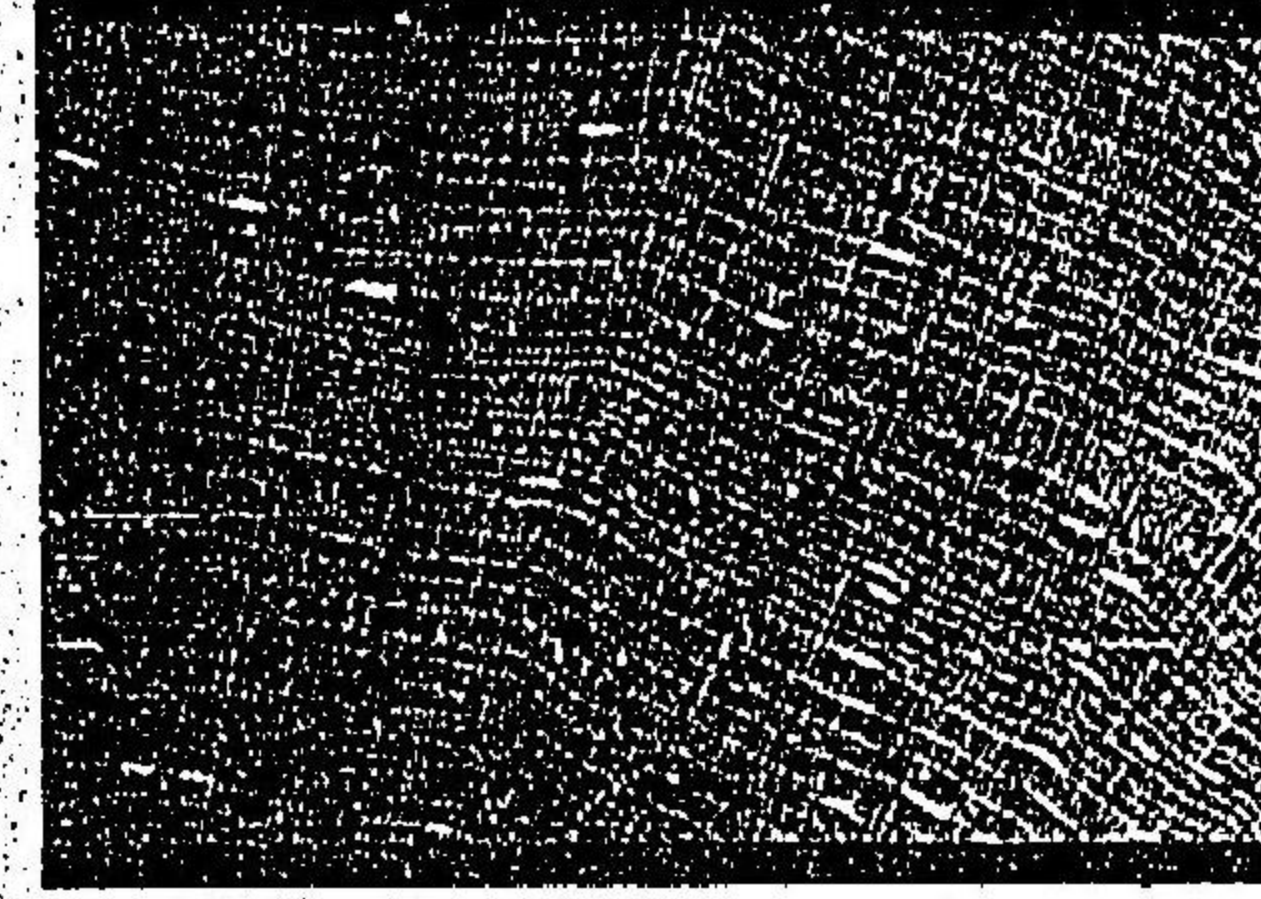
圖六十五第
らくごのしよ及らくごまや



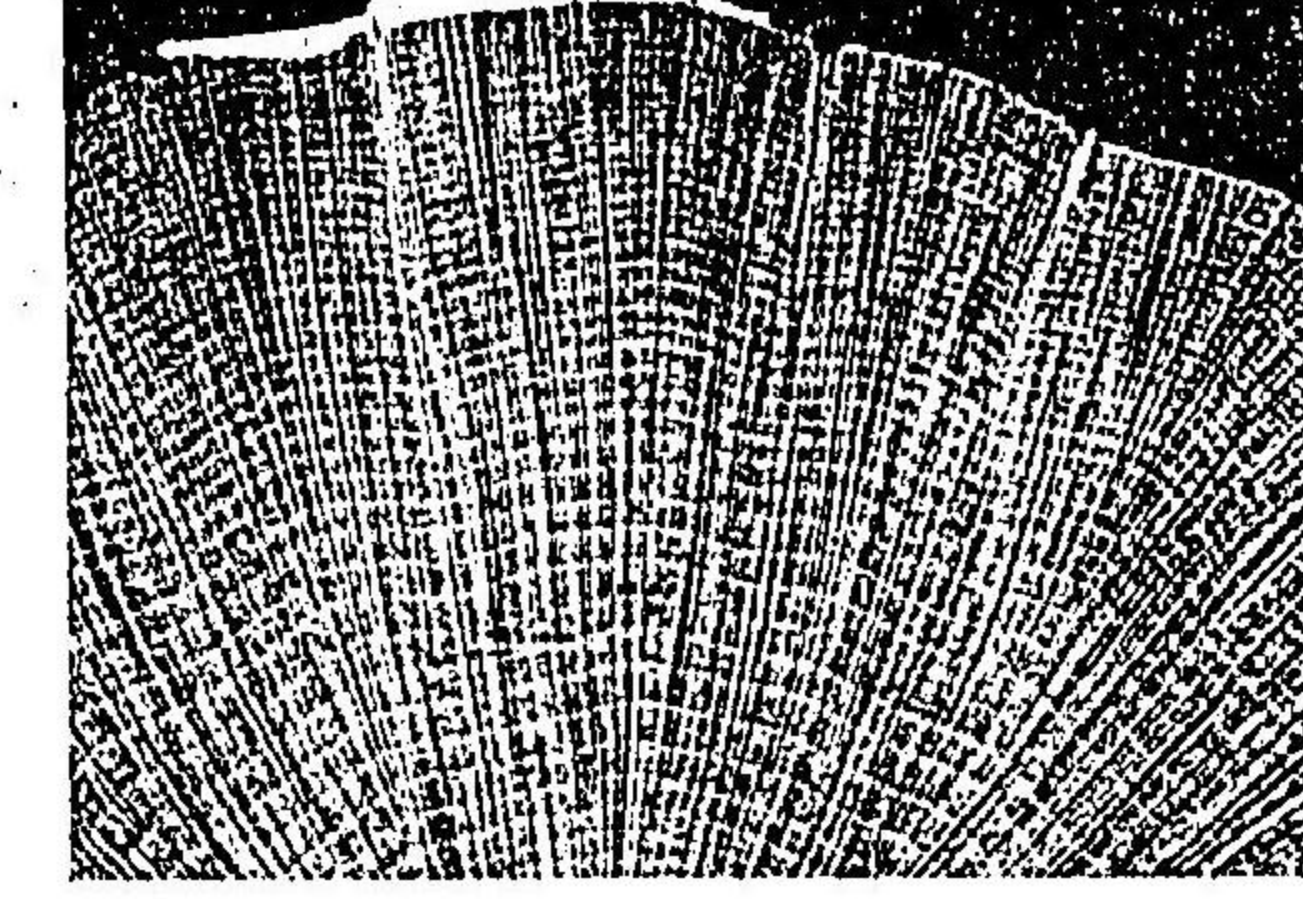
圖五十五第
きづみ



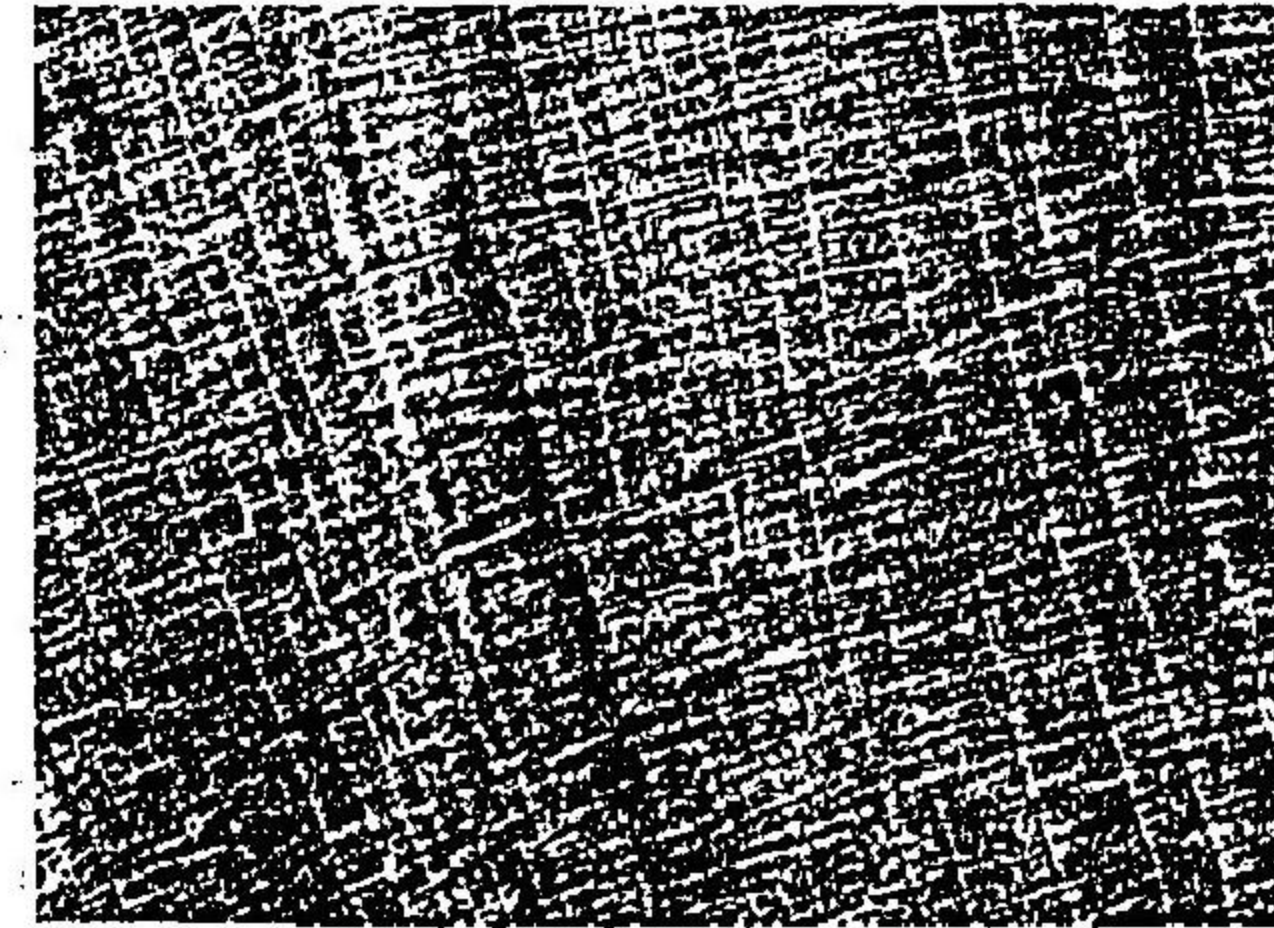
圖四十五第
でへかわちうは



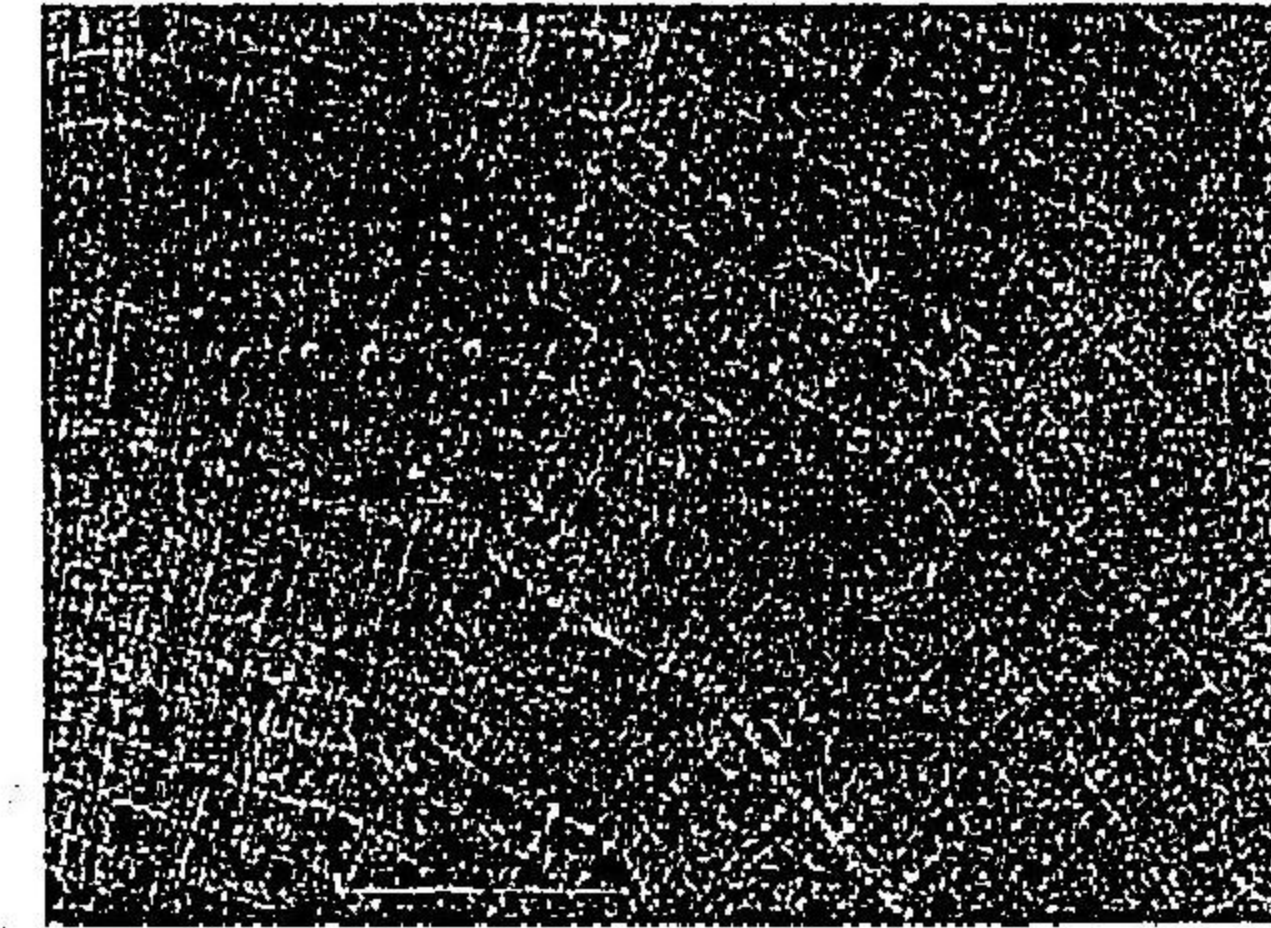
圖三十五第
でへかりう



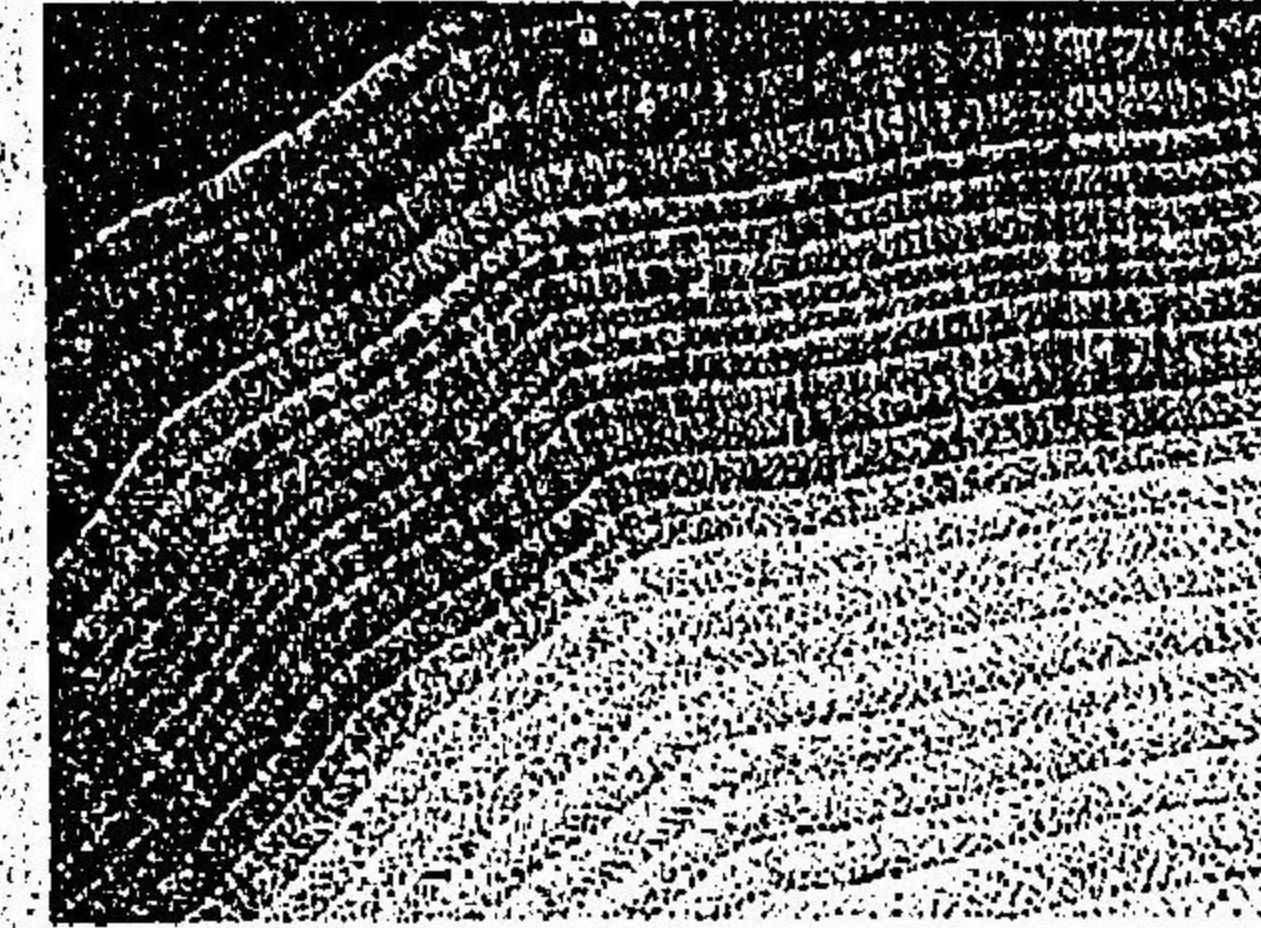
圖十六第
すく



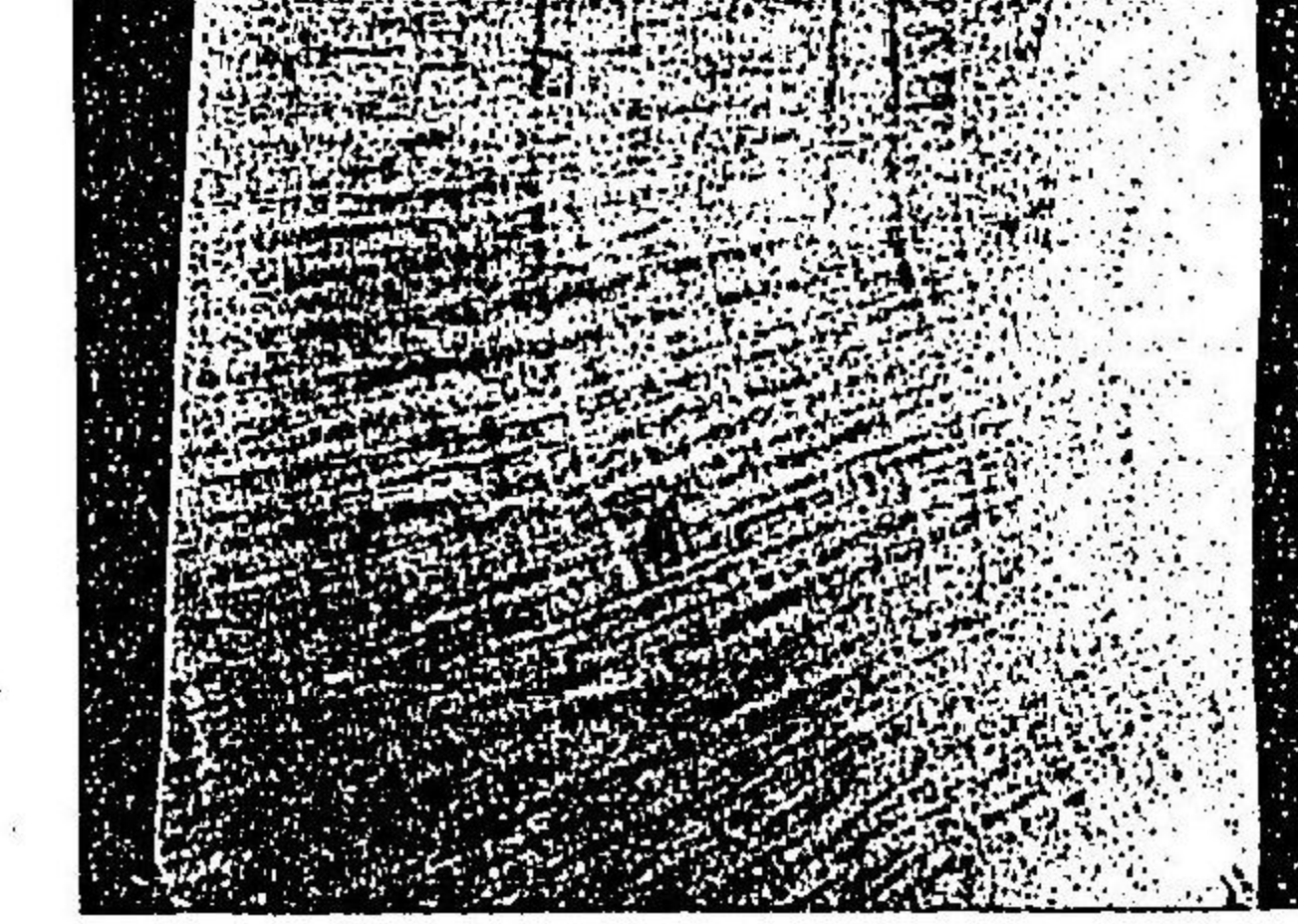
圖九十五第
みるぐはさ



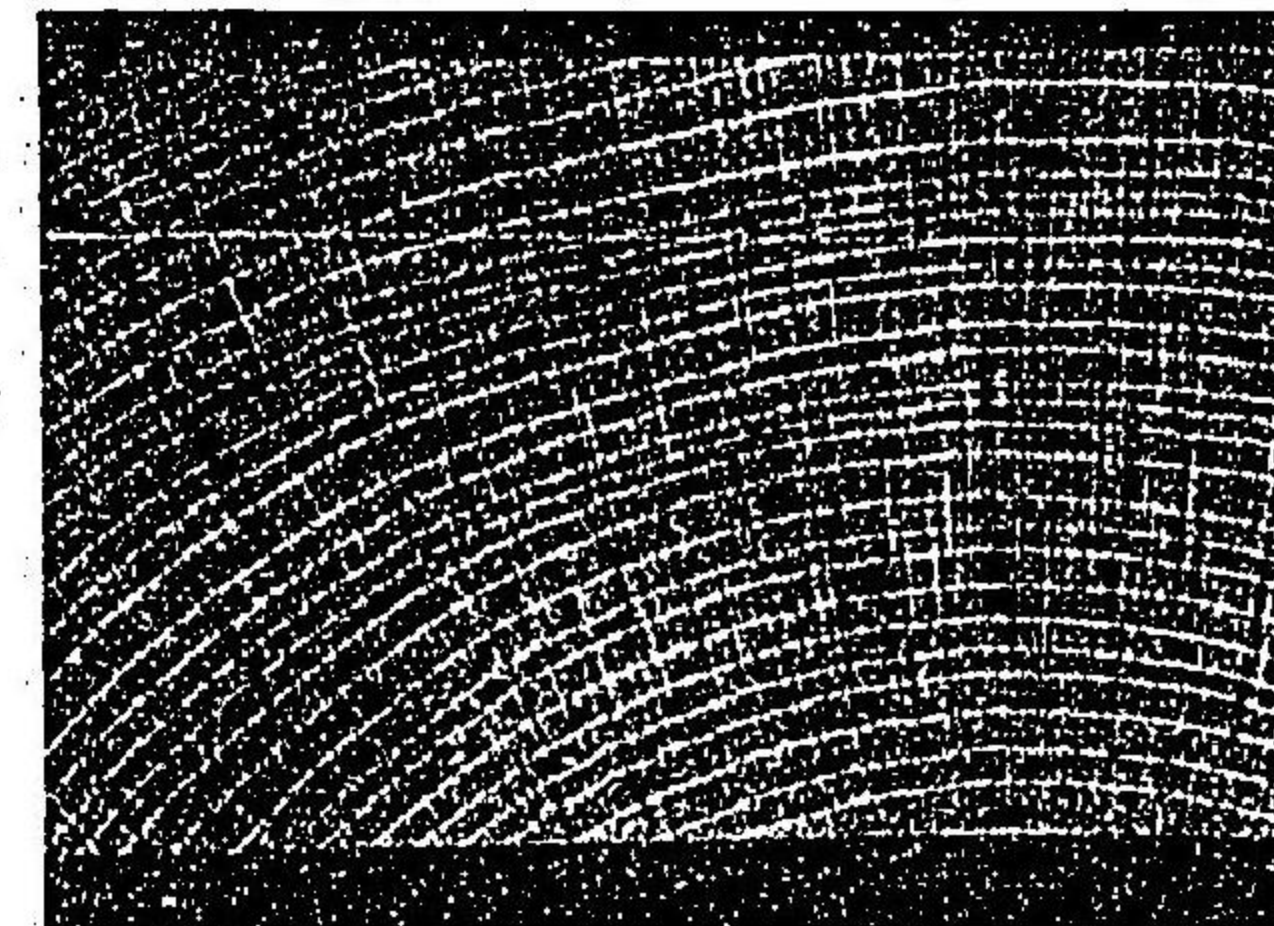
圖八十五第
みるぐにね



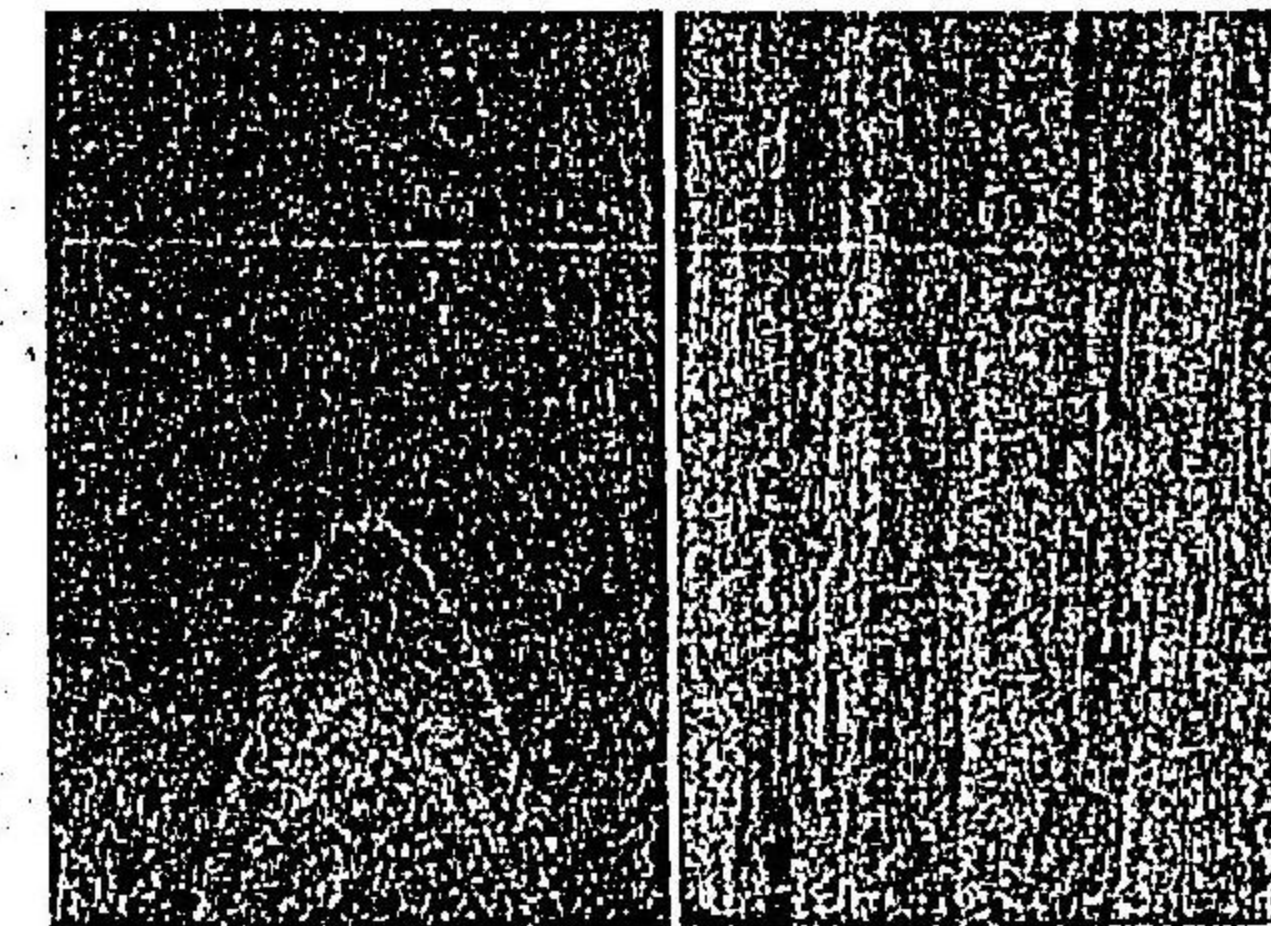
圖七十五第
きか



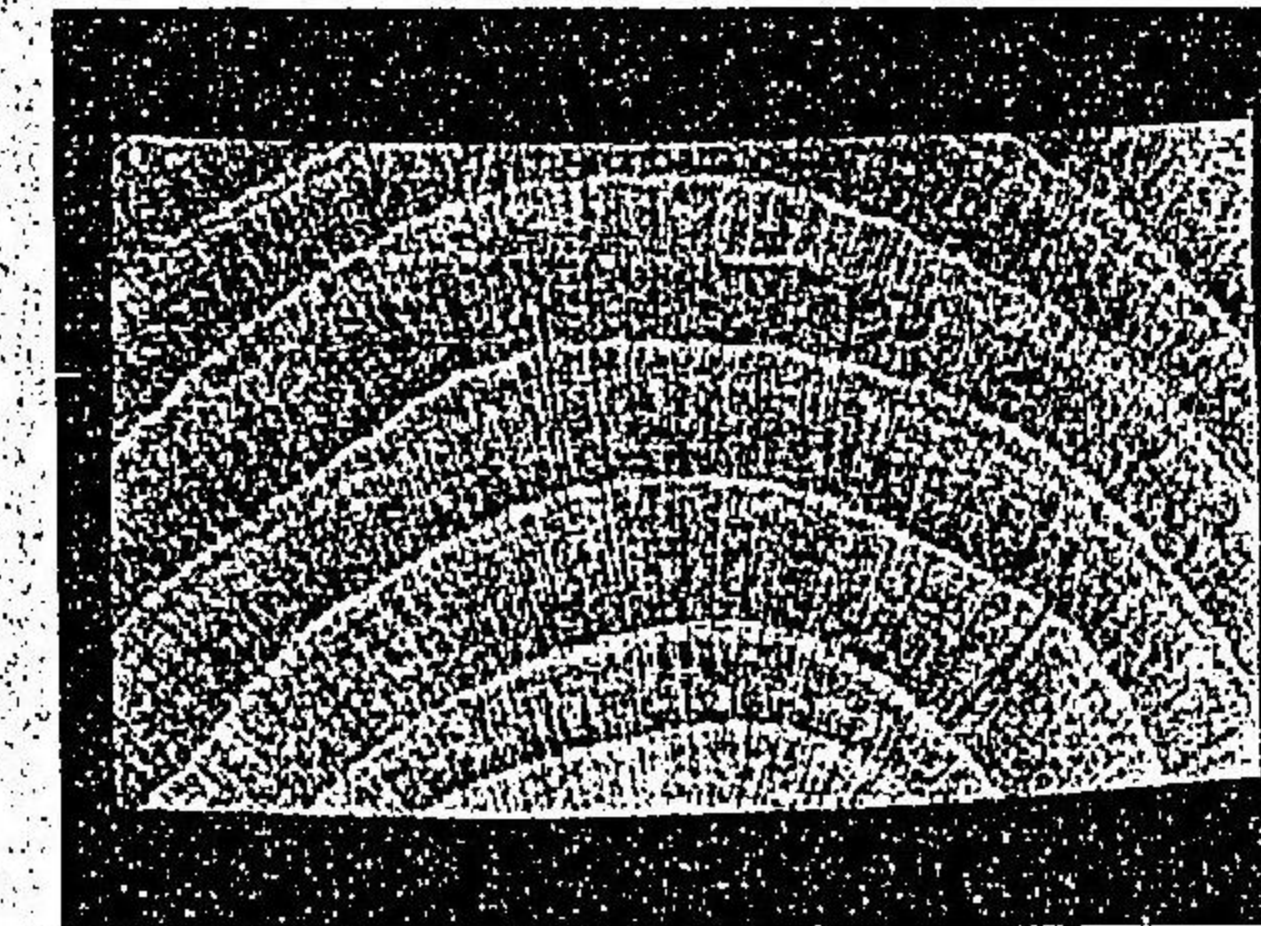
圖五十六第
きのほほ



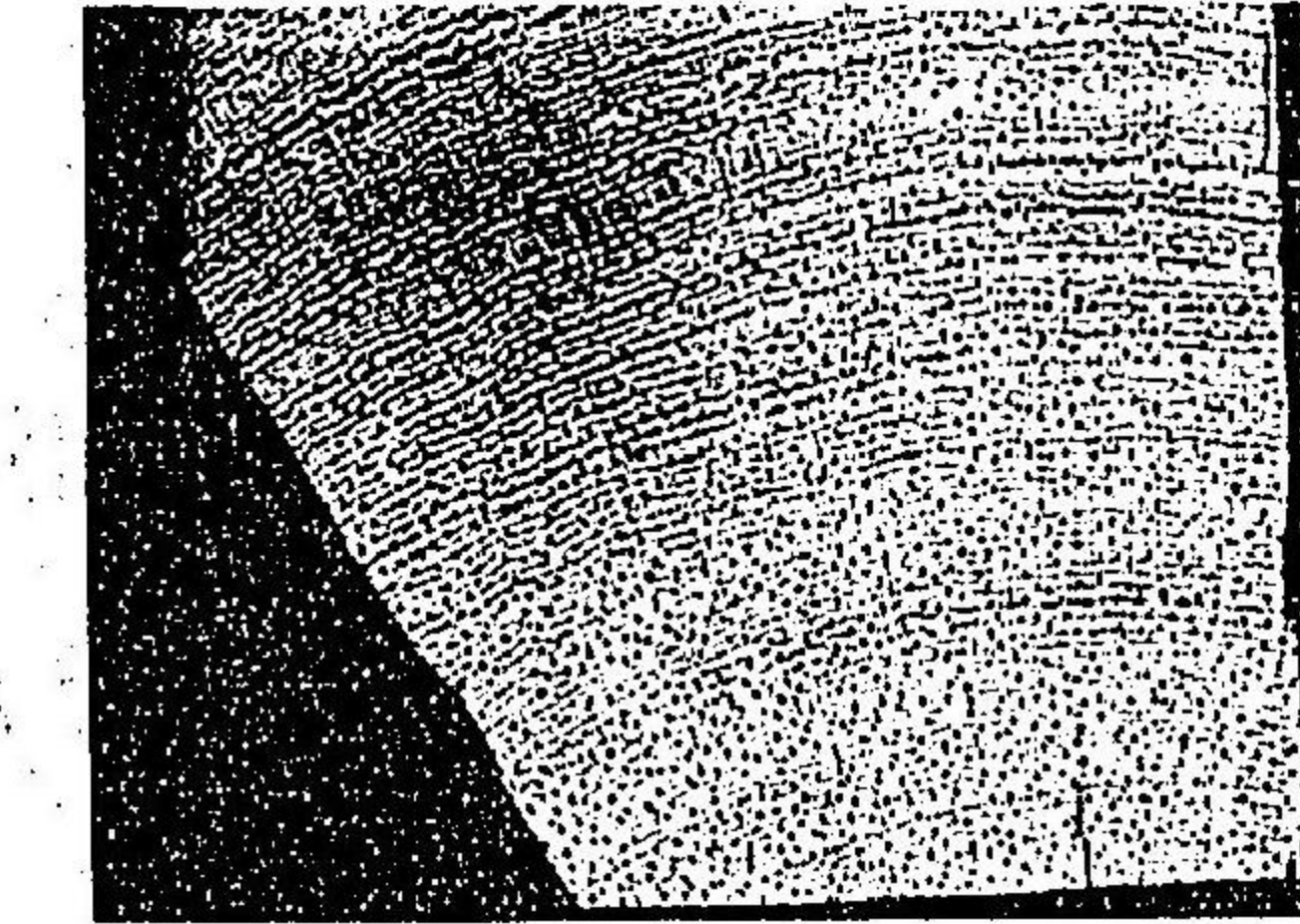
圖四十六第 圖三十六第
全 全



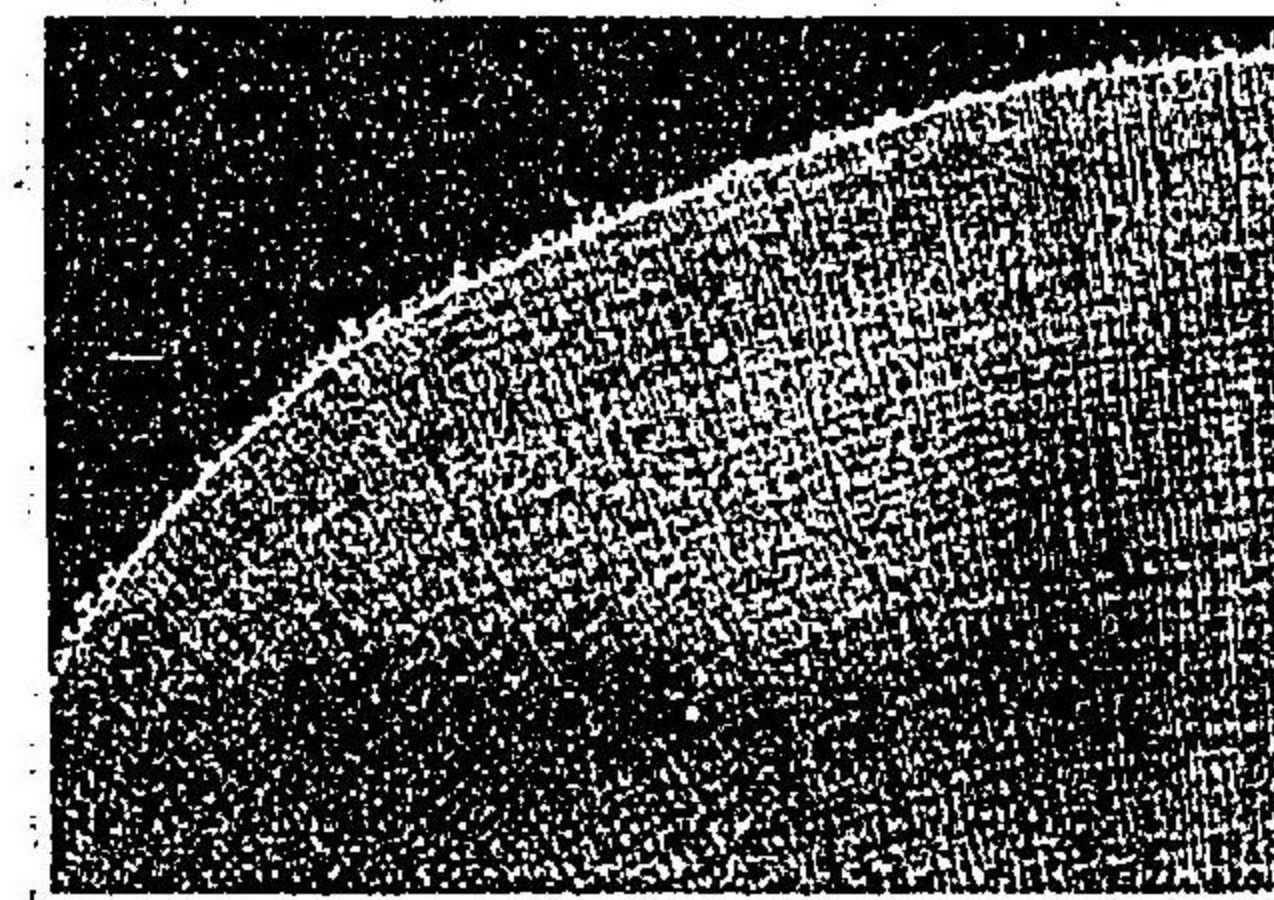
圖二十六第
きのごね



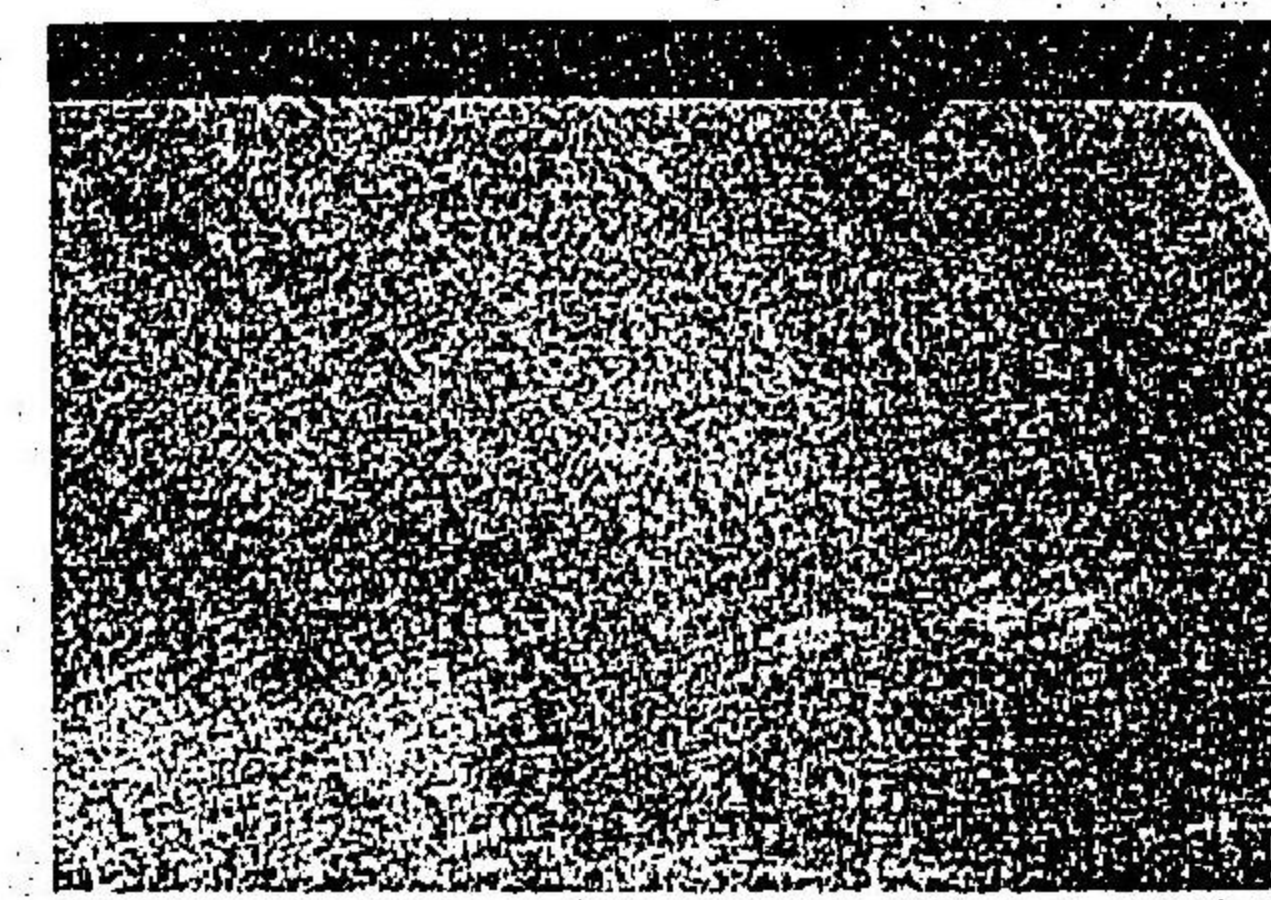
圖一十六第
るますが



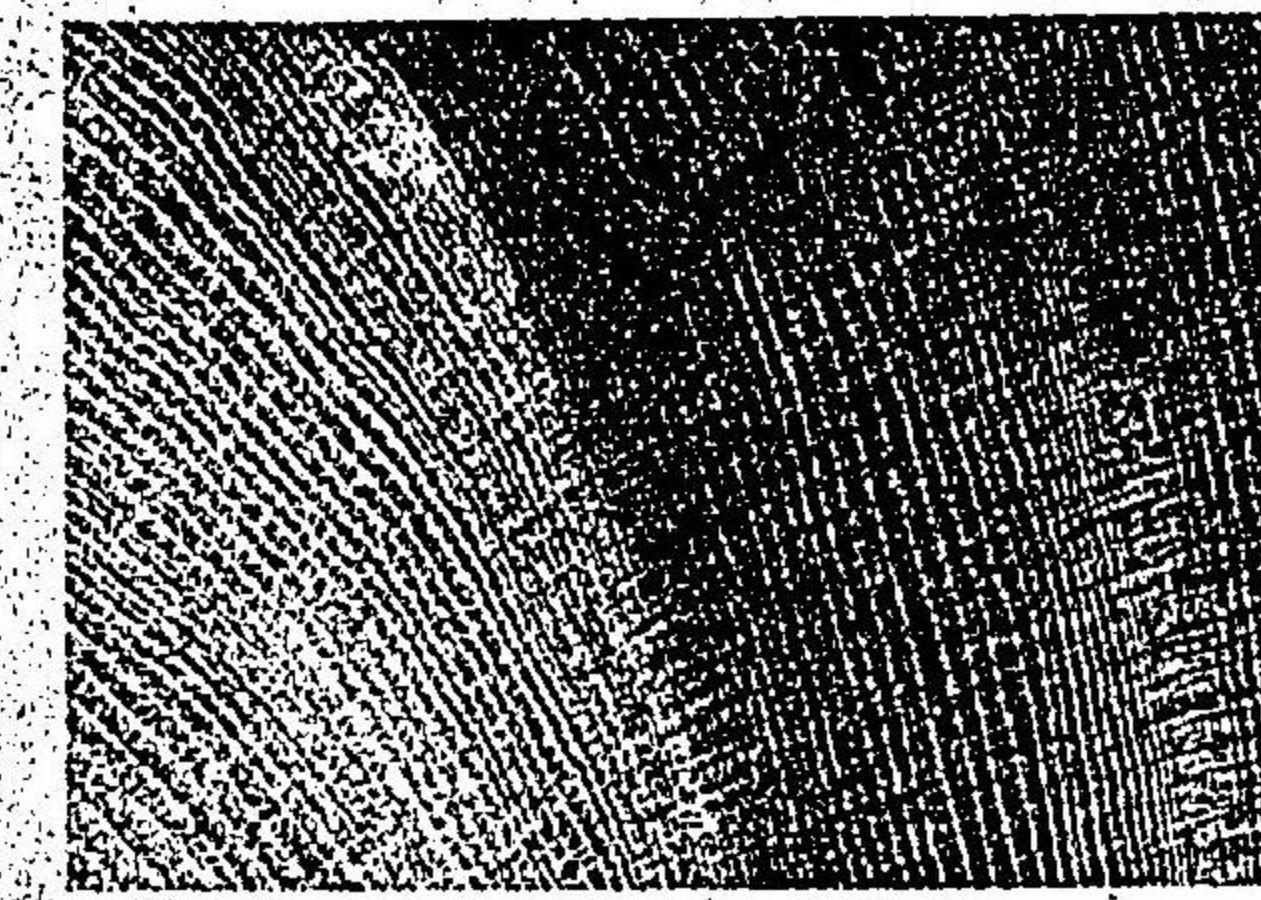
圖九十六第
くこくも



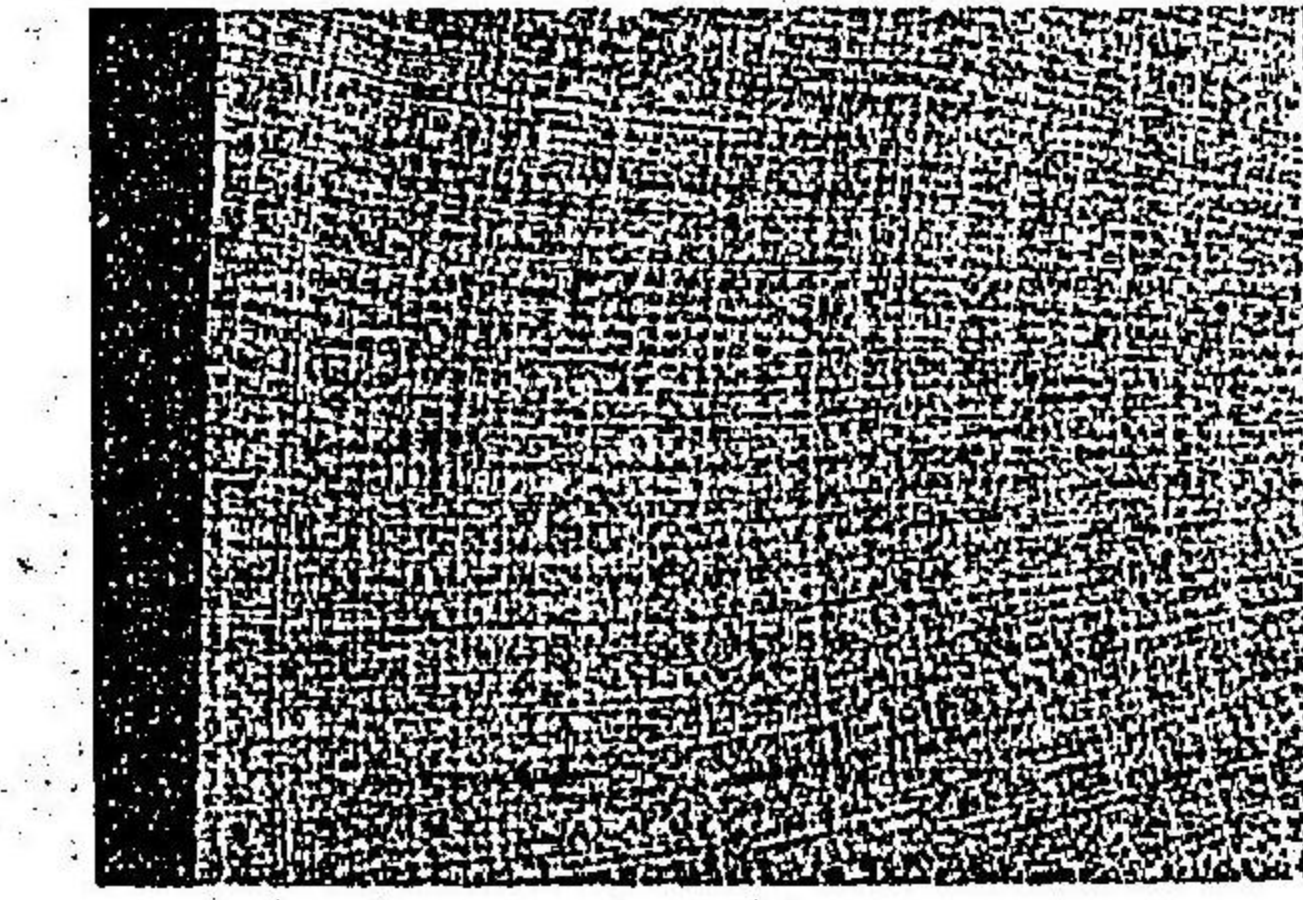
圖八十六第
ももまや



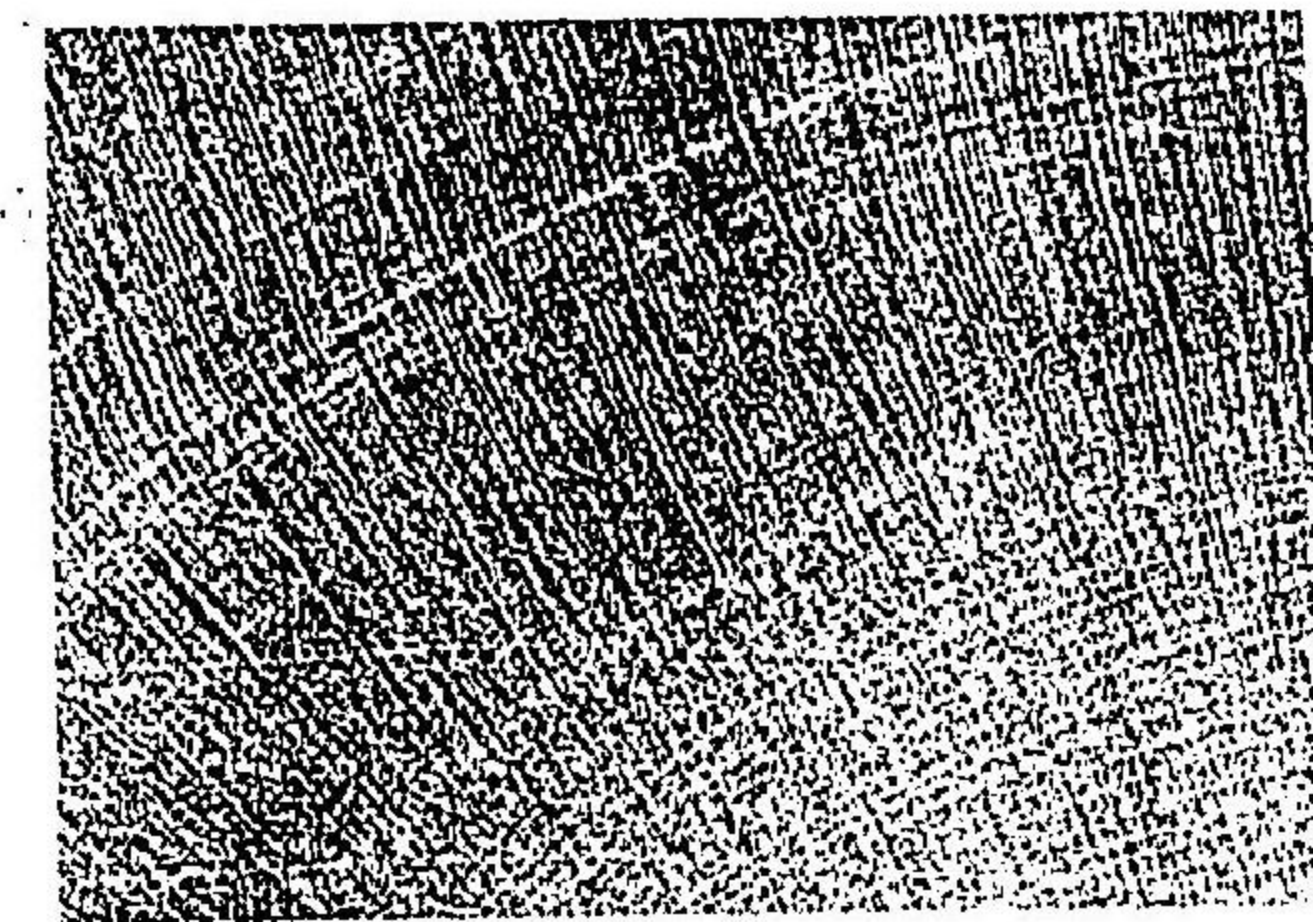
圖七十六第
らつか



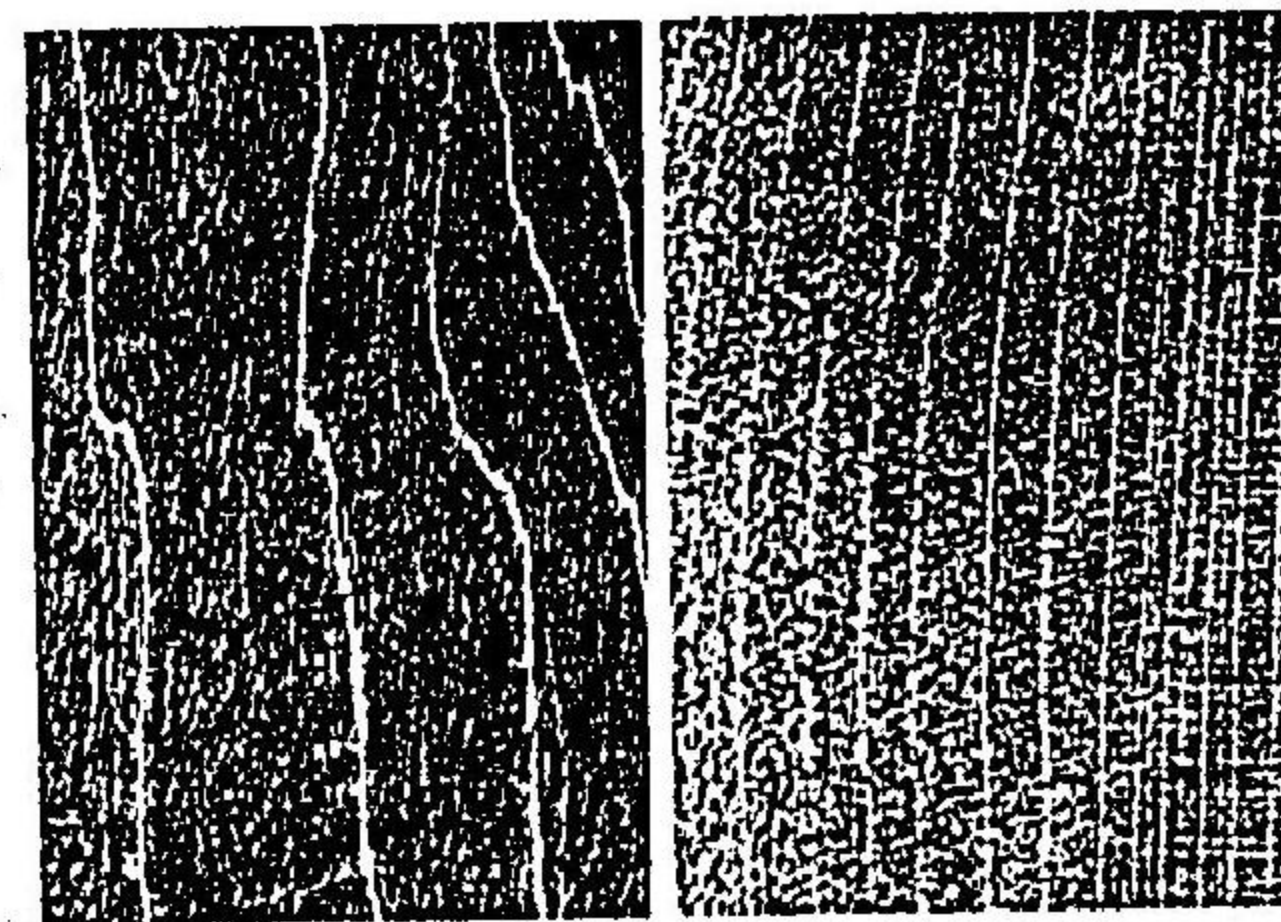
圖六十六第
たるさ



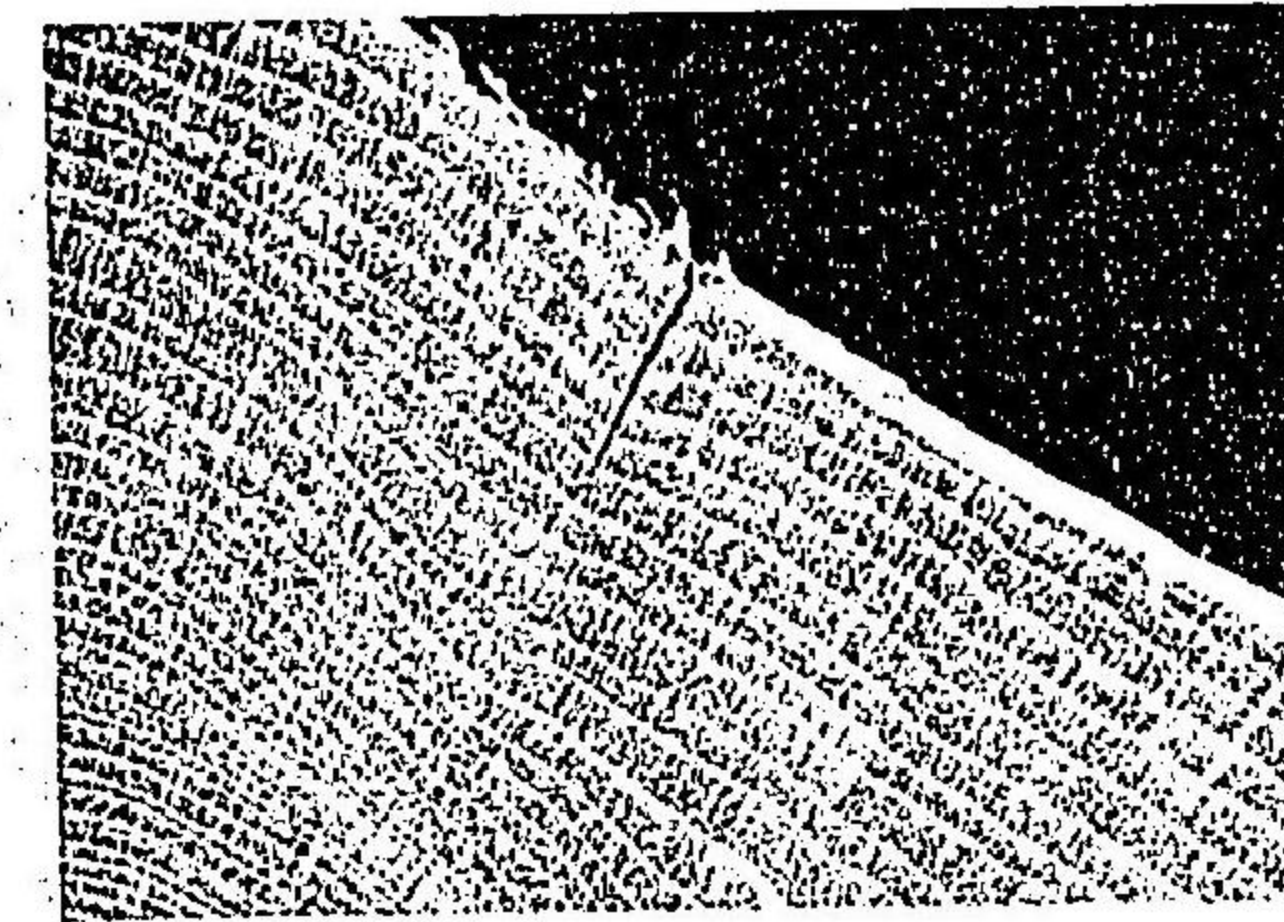
圖四十七第
ばんかうぎじ及れれのね



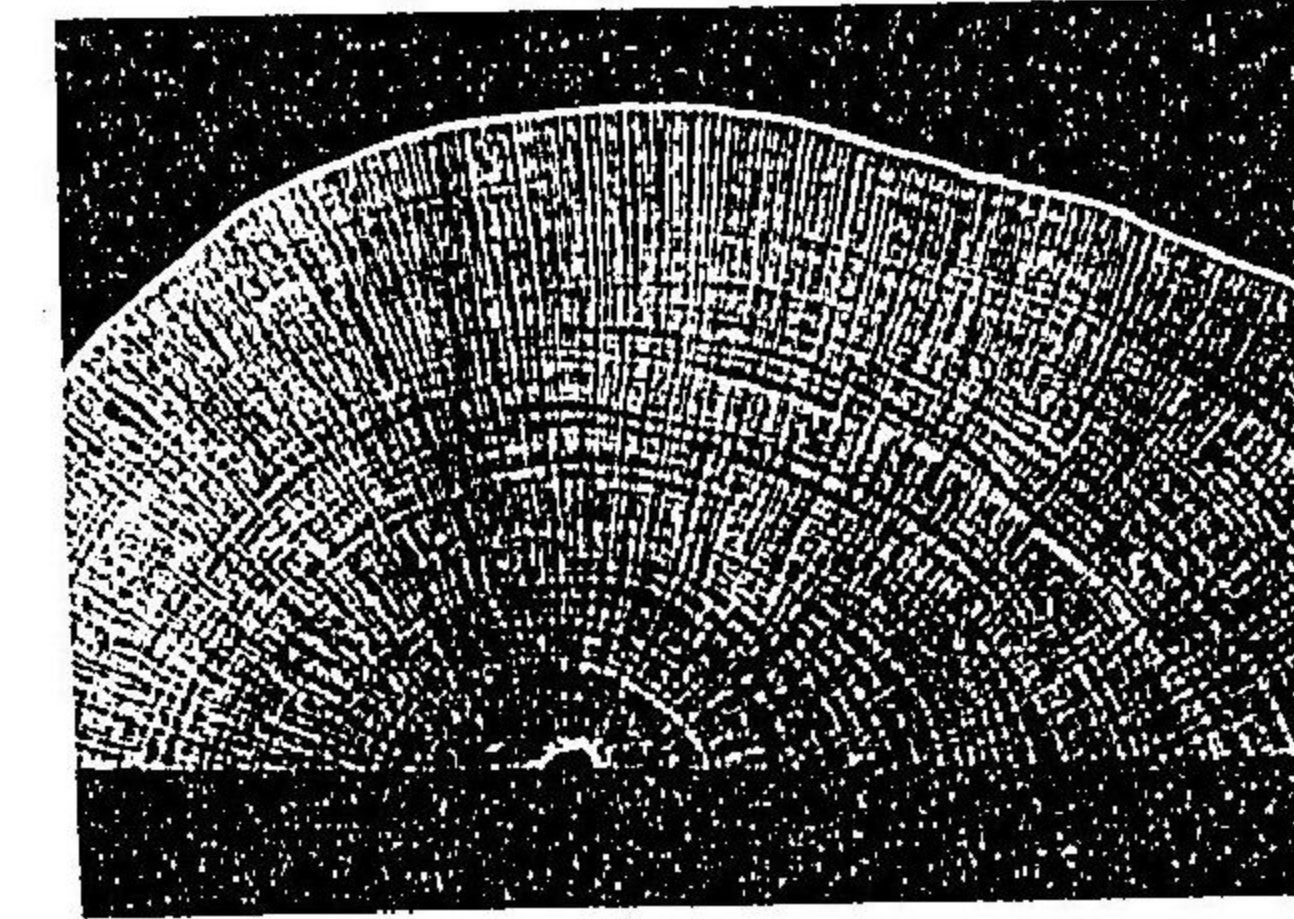
圖三十七第 圖二十七第
全 全



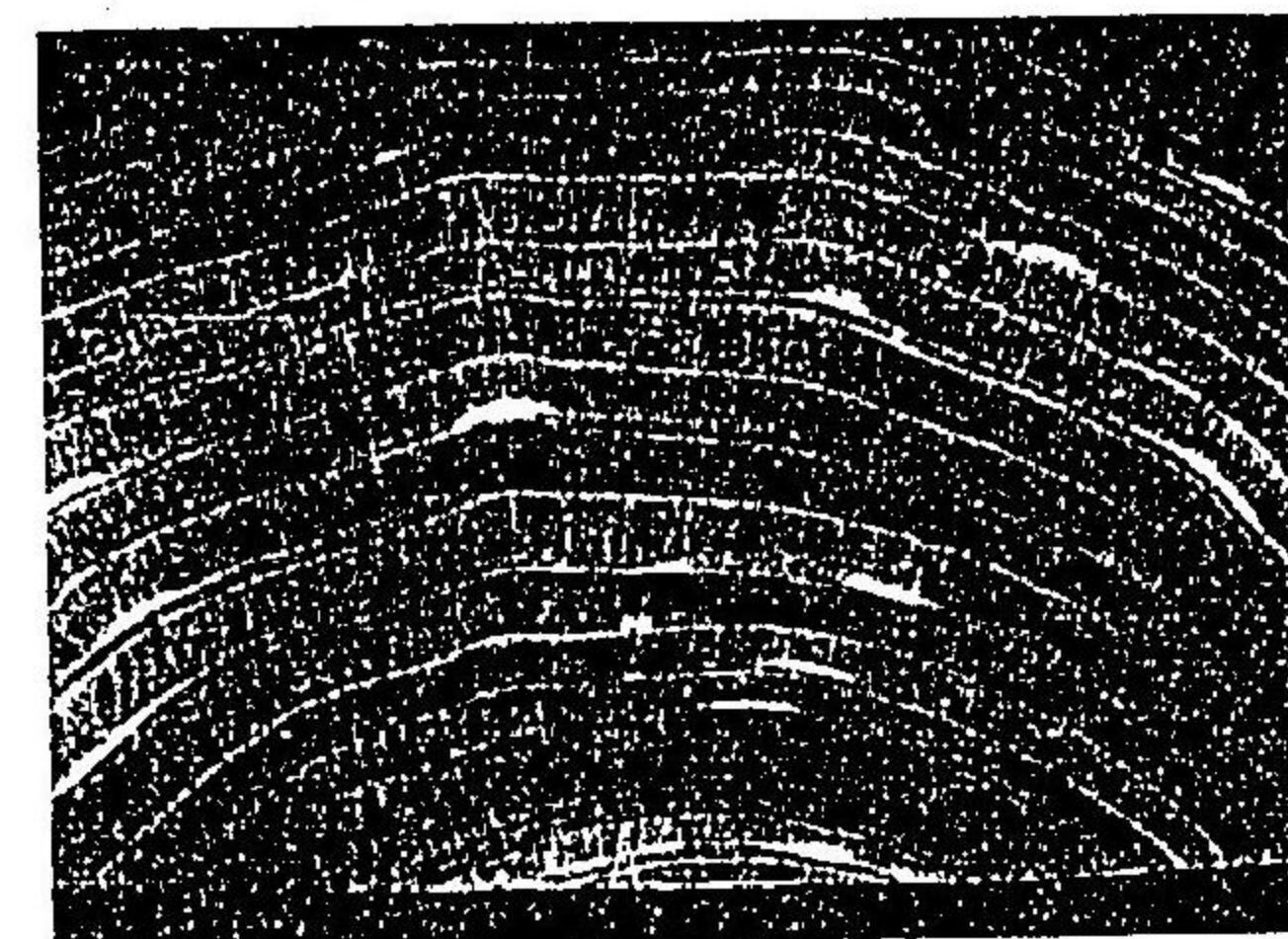
圖一十七第
だ さ あ



圖十七第
ぶ う よ り



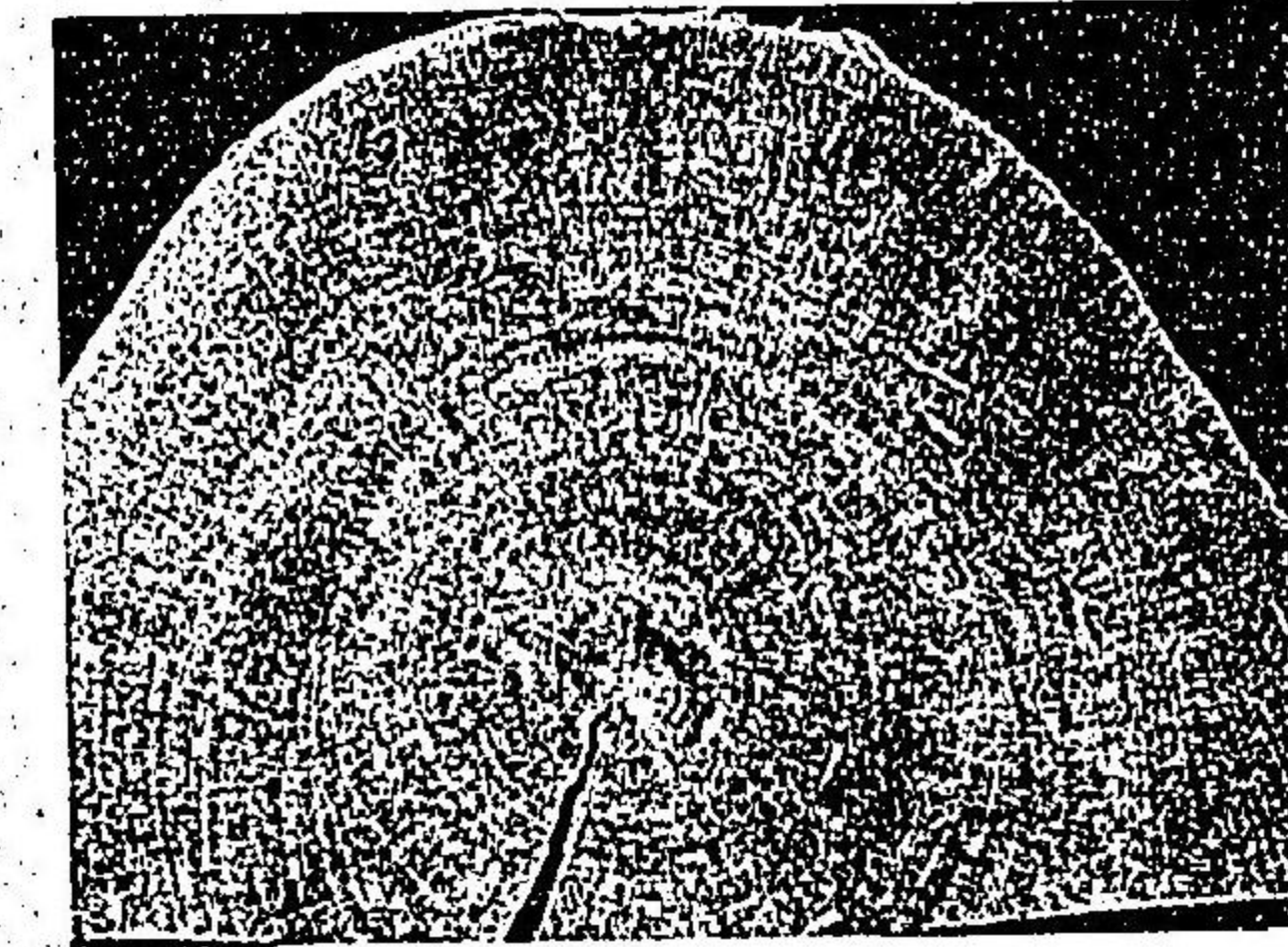
圖八十七第
ぎ な や る さ



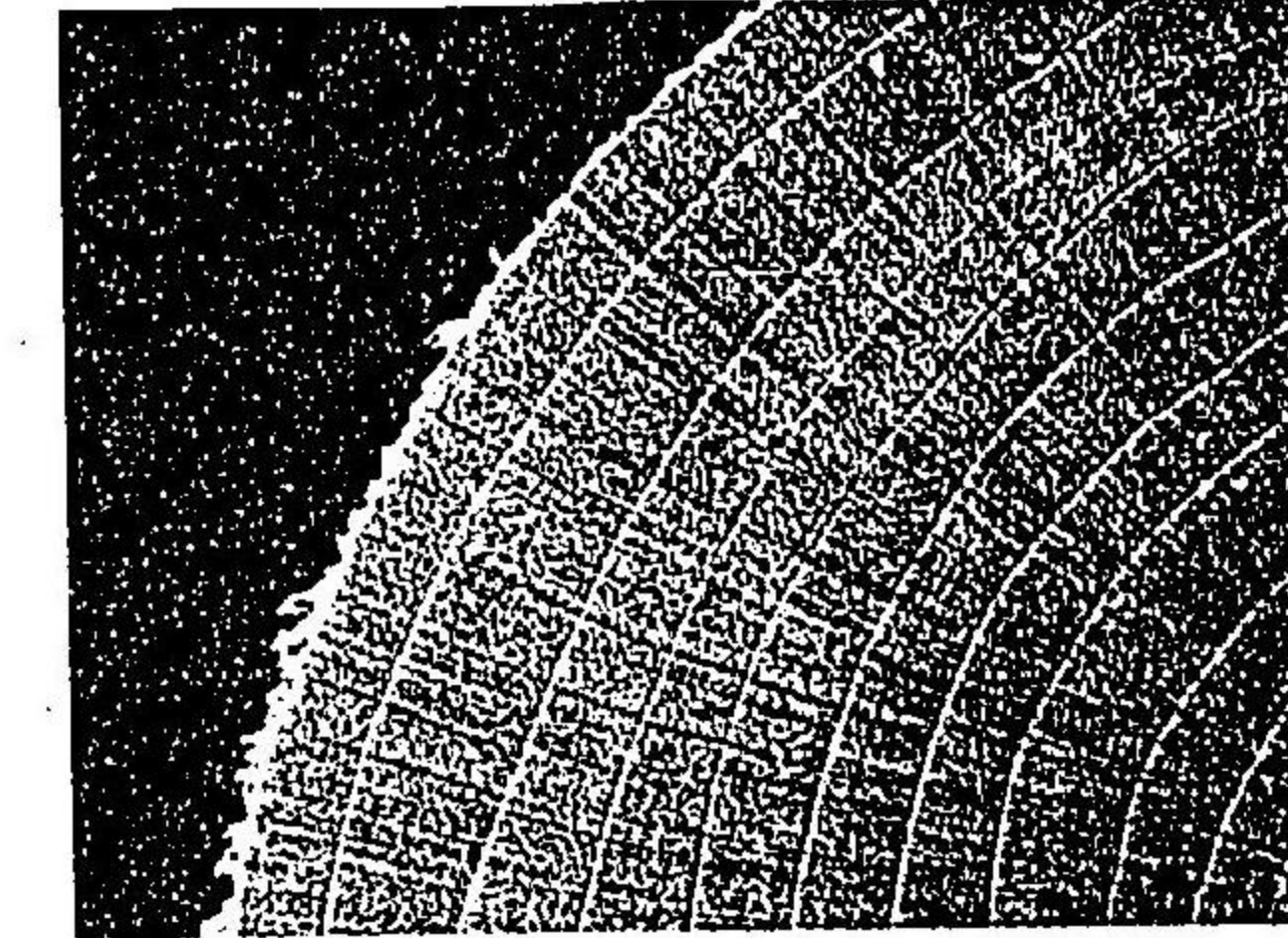
圖七十七第
ろ で



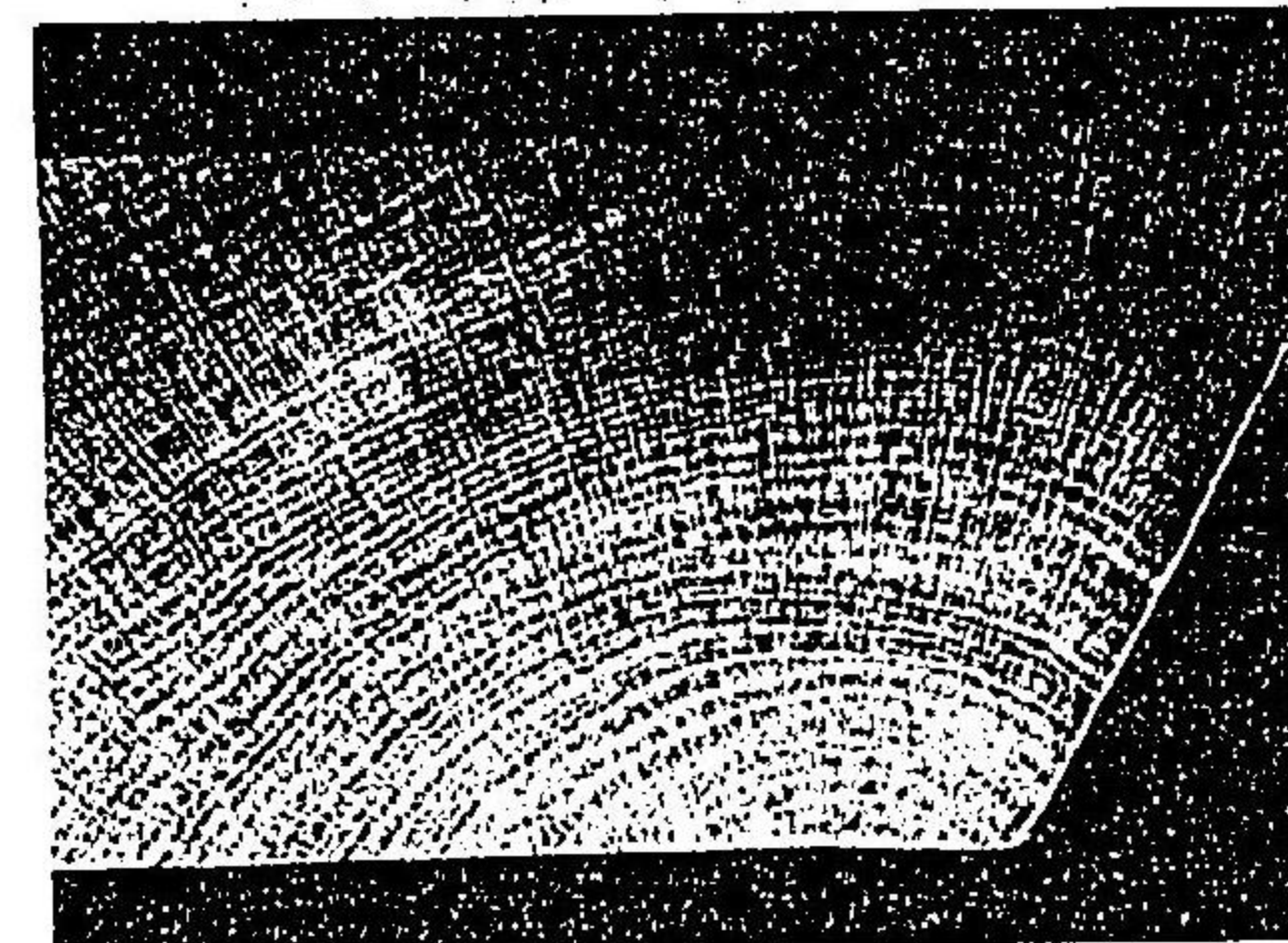
圖六十七第
げ つ ら し



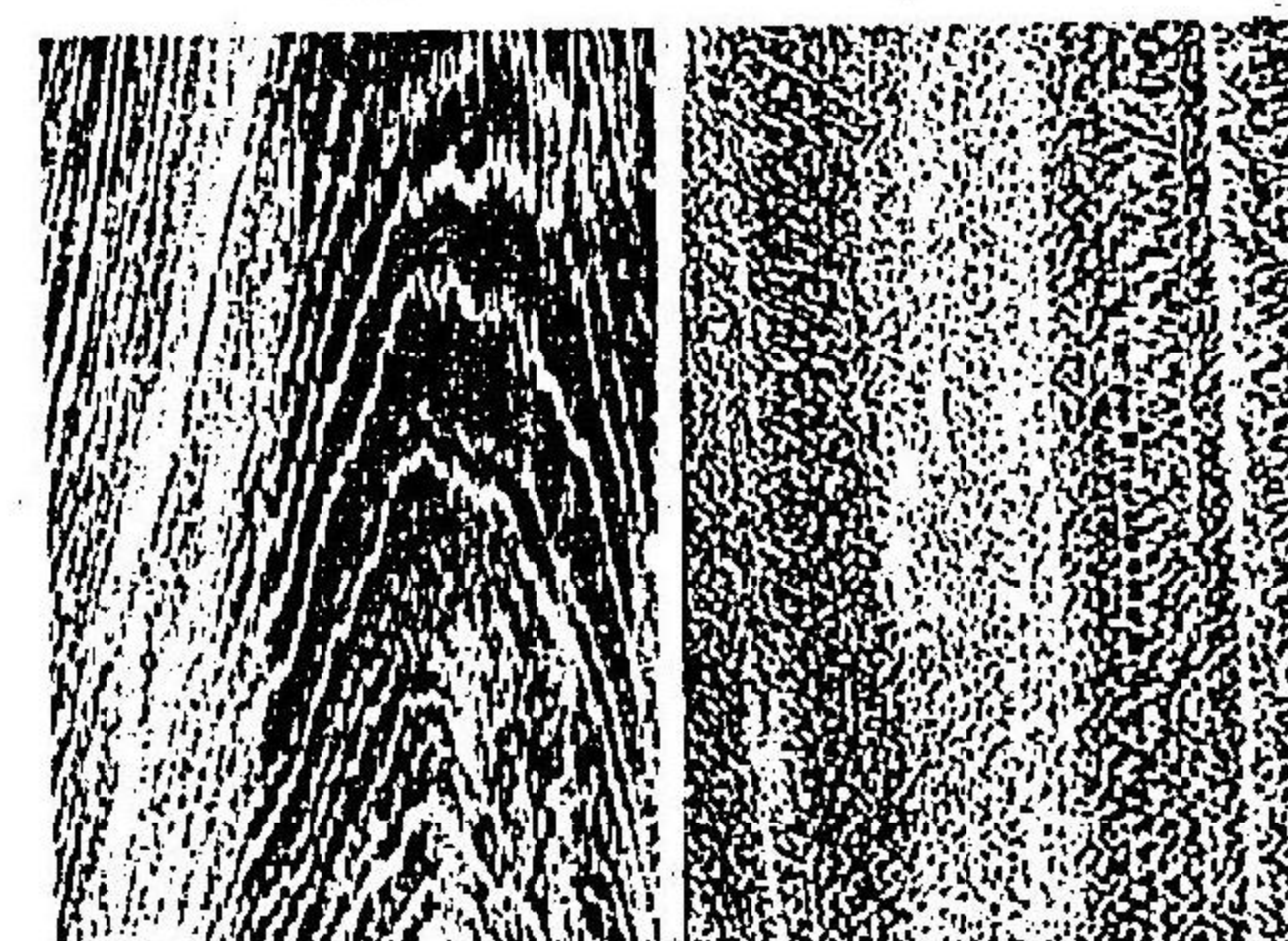
圖五十七第
ぼん か ら し



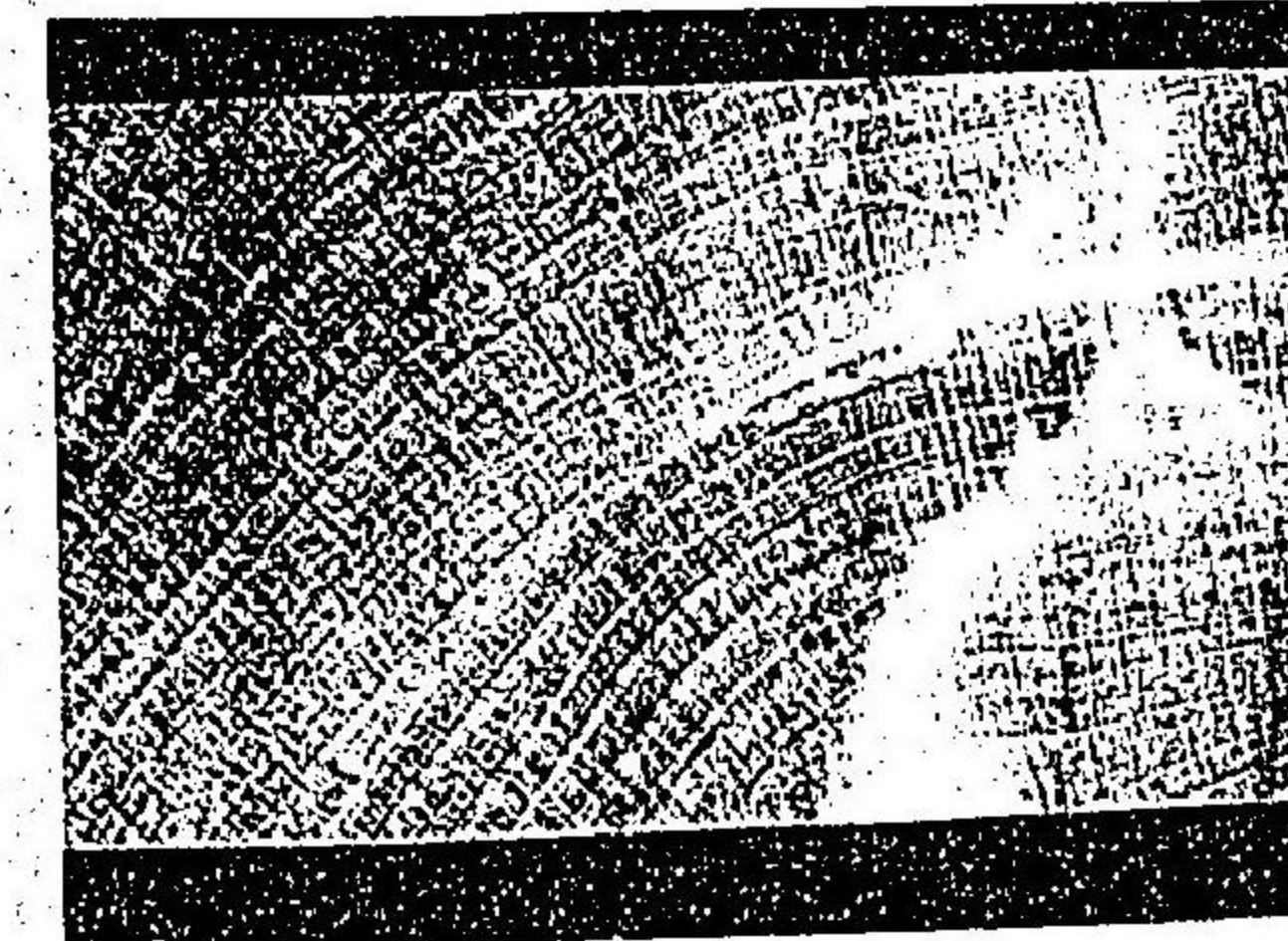
圖三十八第
き か さ ひ



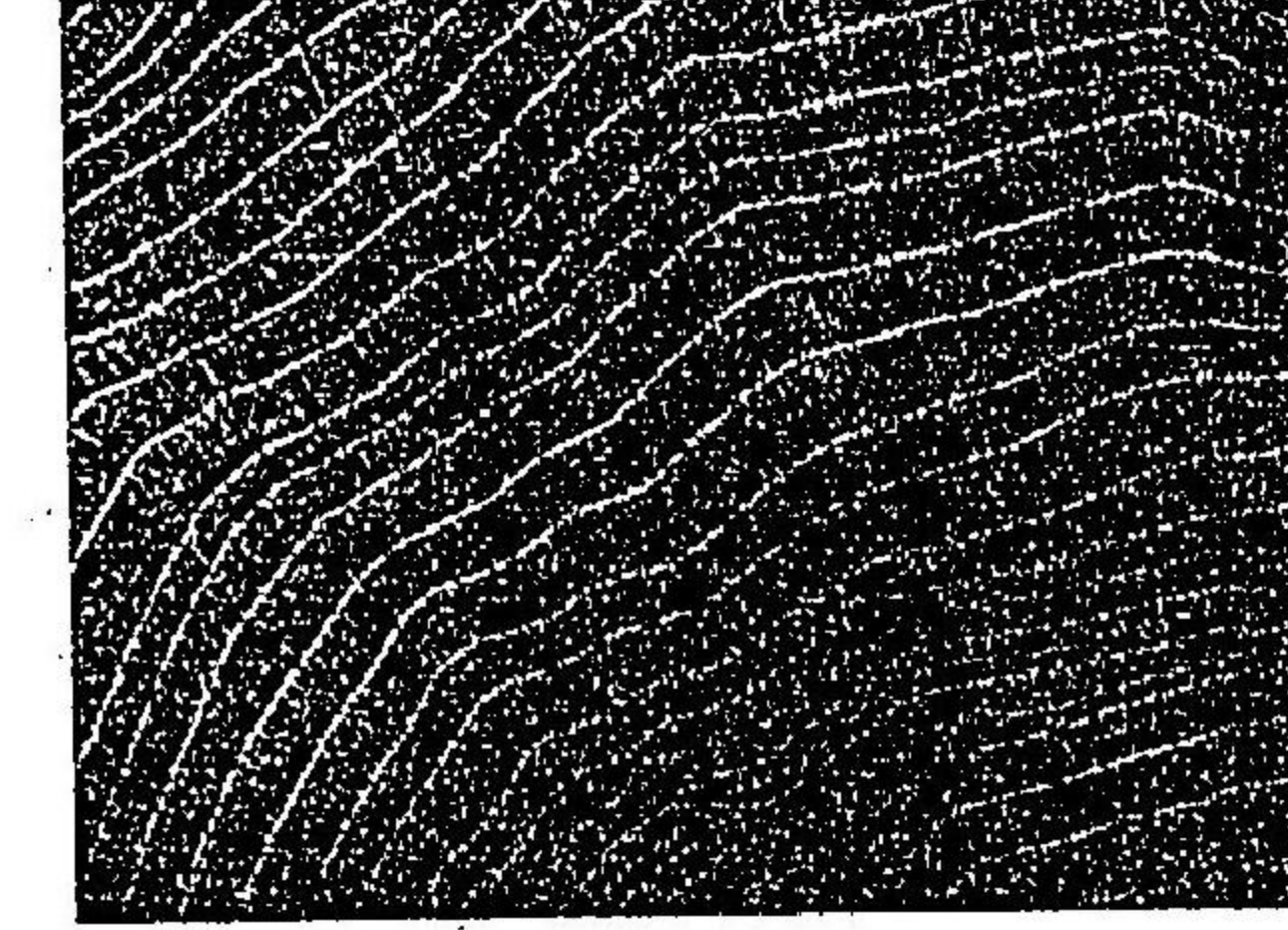
圖二十八第 圖一十八第
全 全



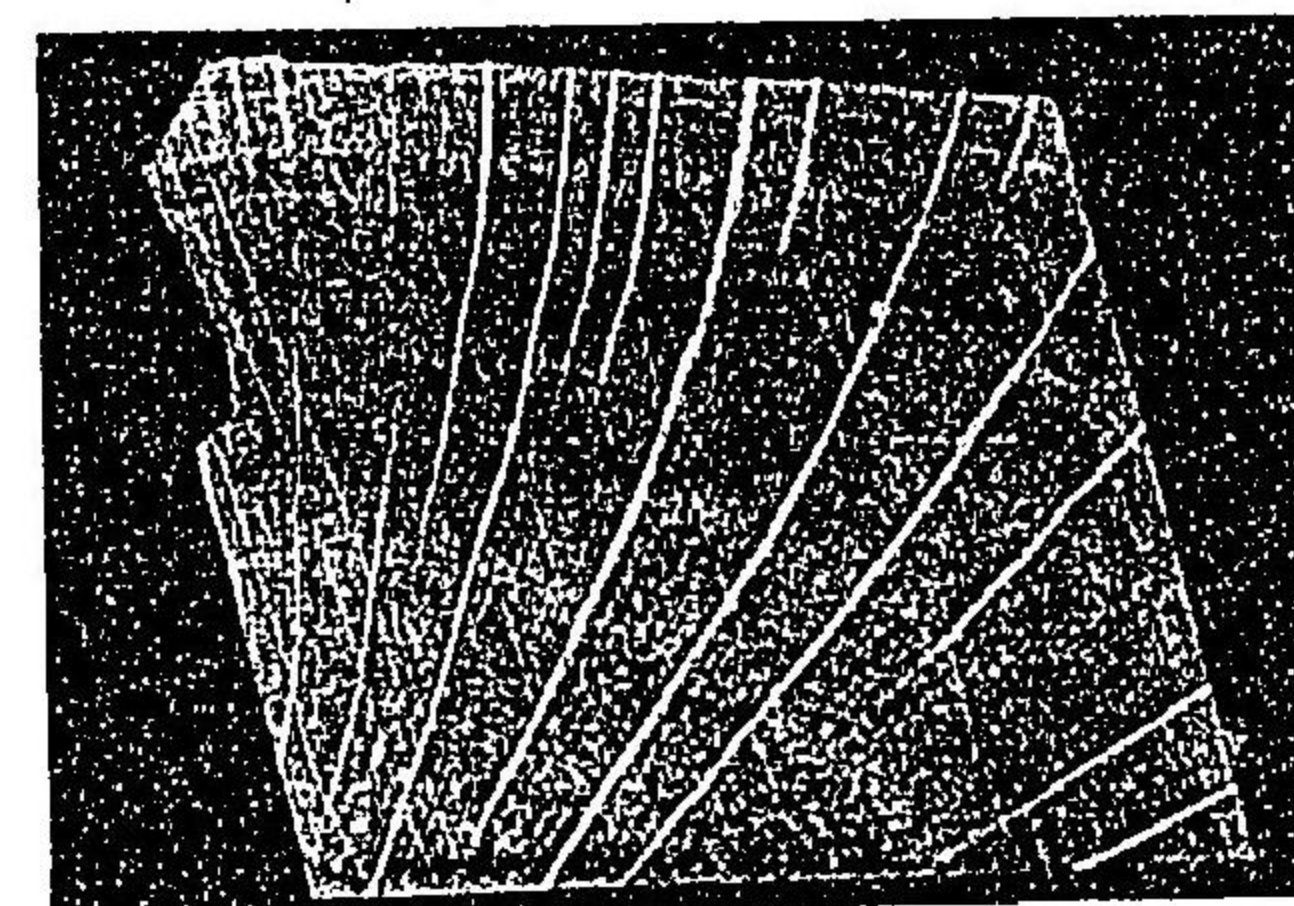
圖十八第
す い



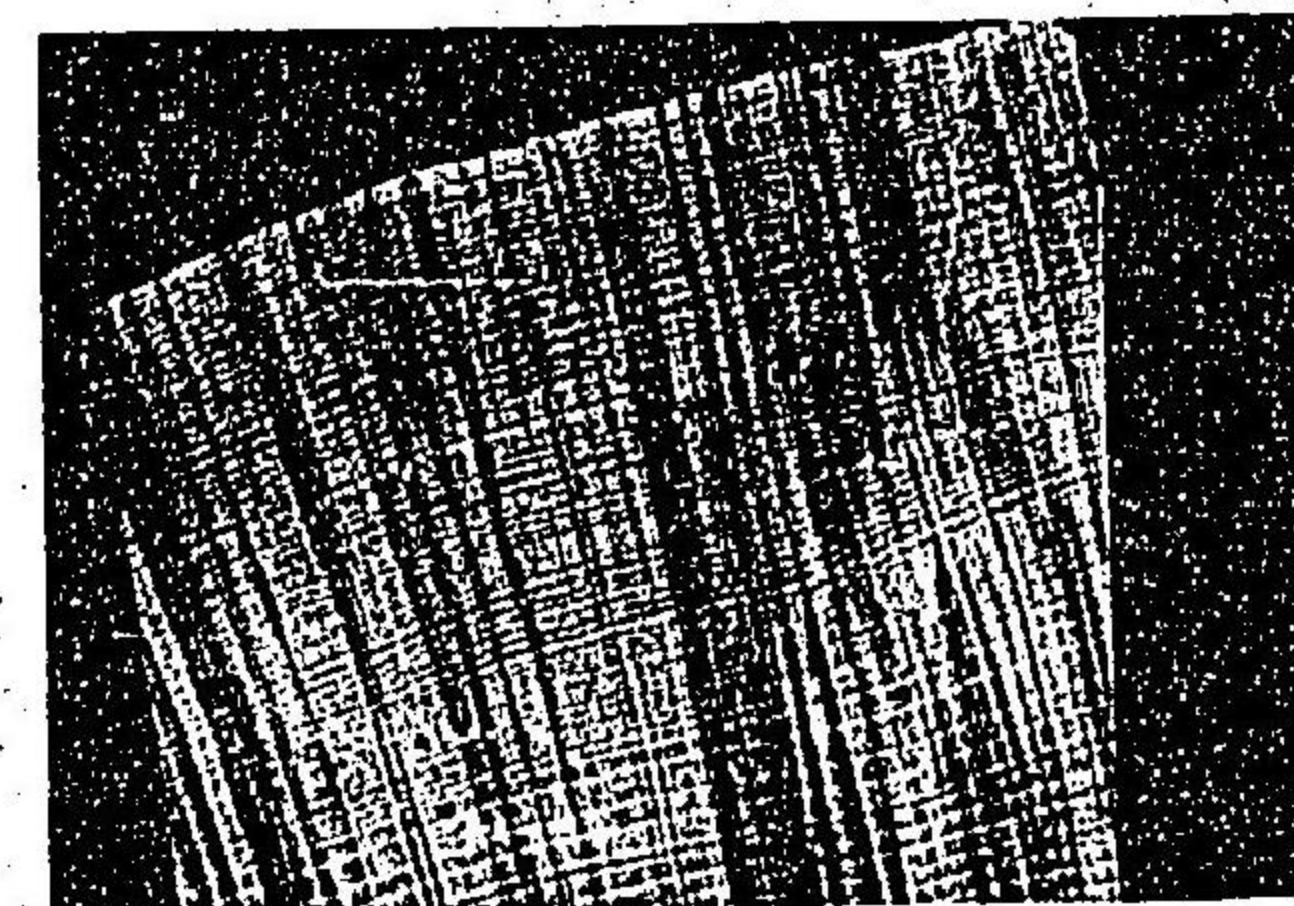
圖九十七第
らがさあばほね及らがさあ



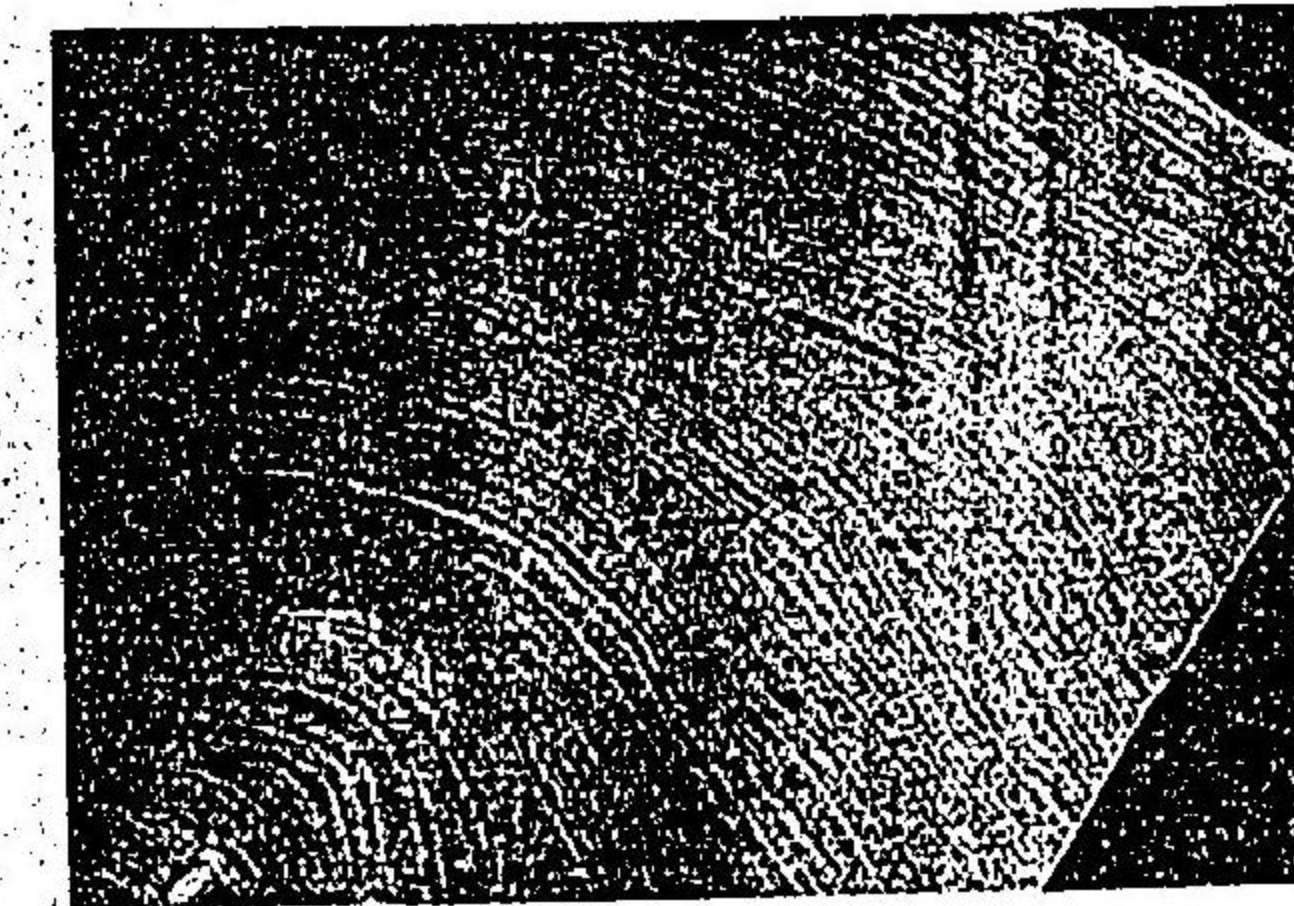
圖七十八第
し が か あ



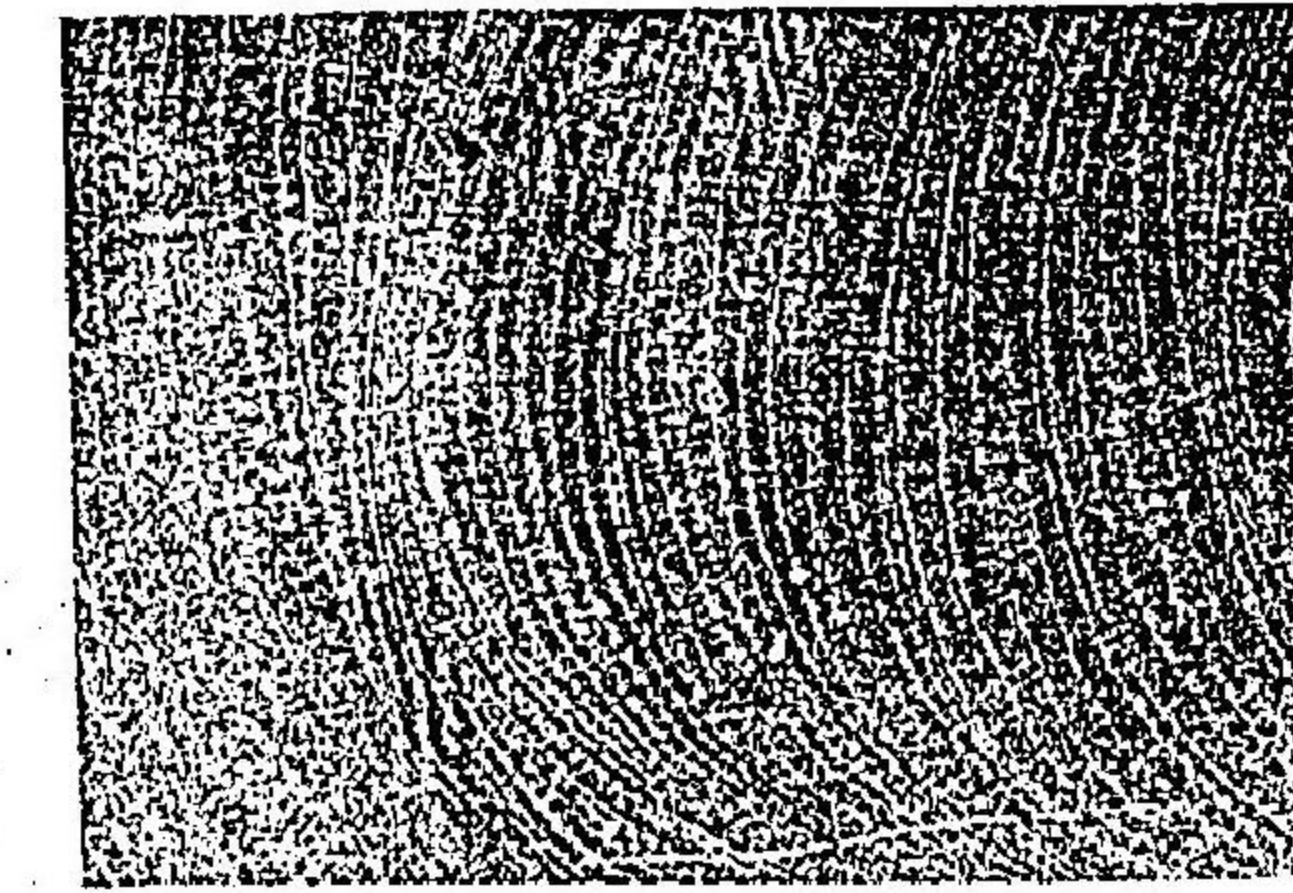
圖六十八第
ち と



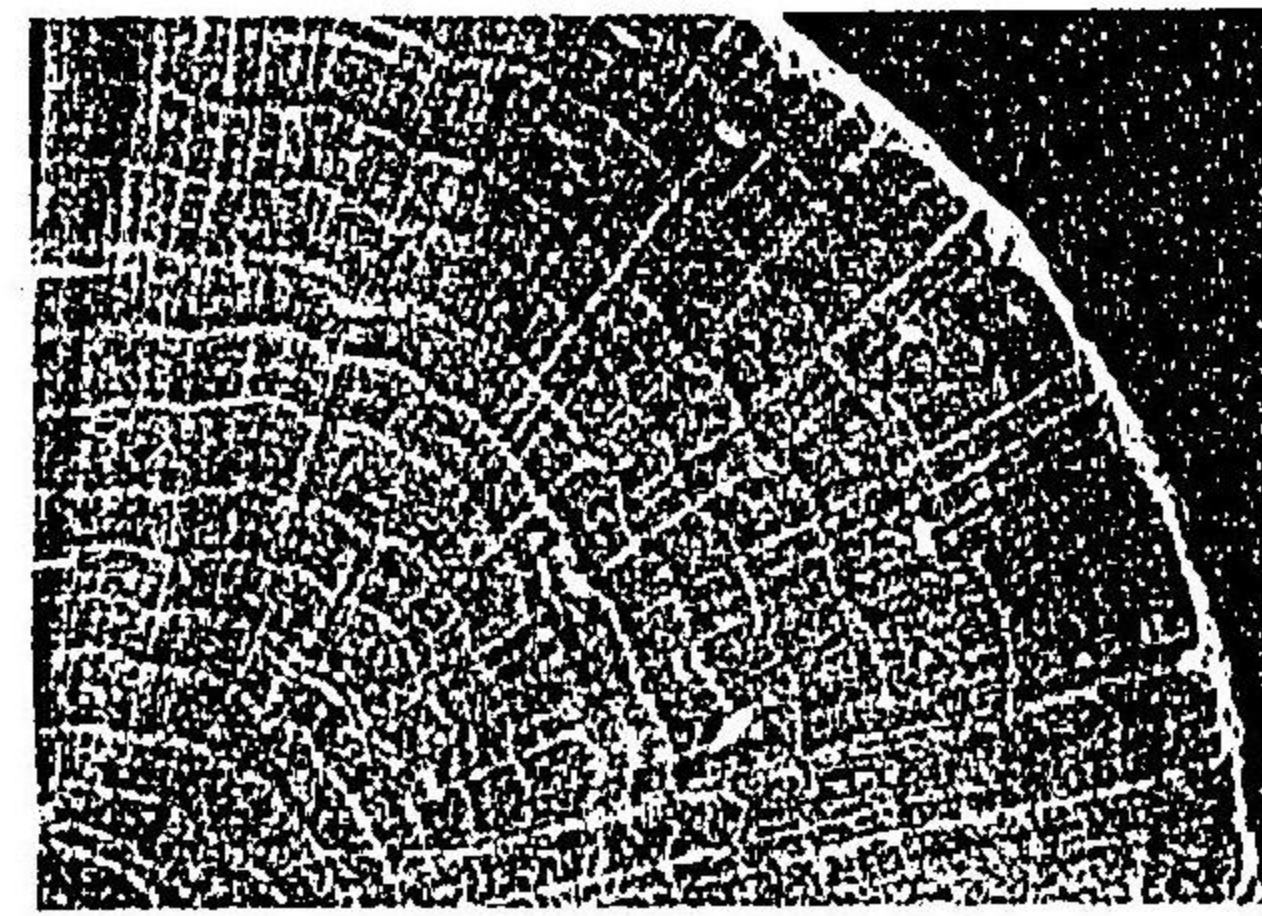
圖五十八第
げ つ



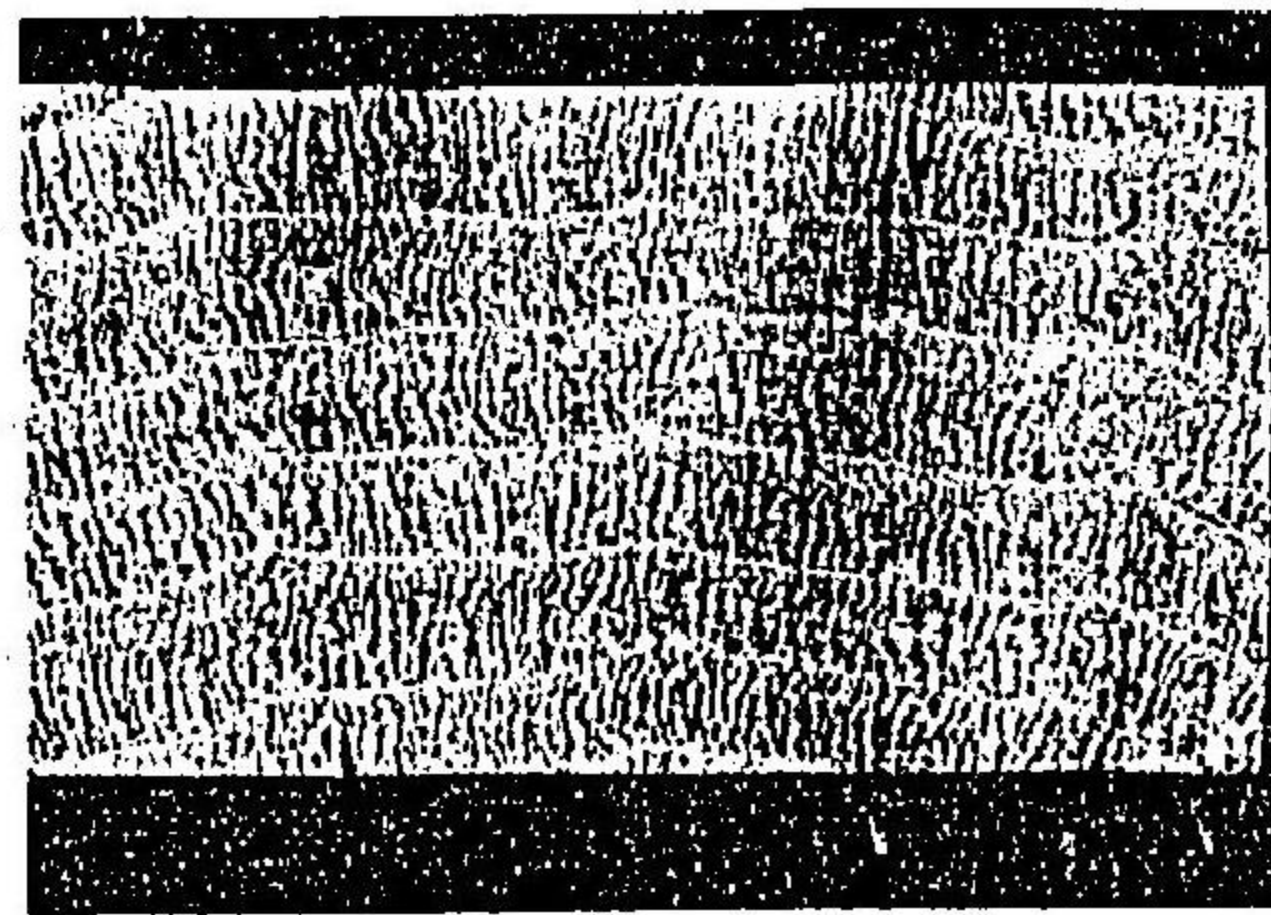
圖四十八第
み ゆ ま



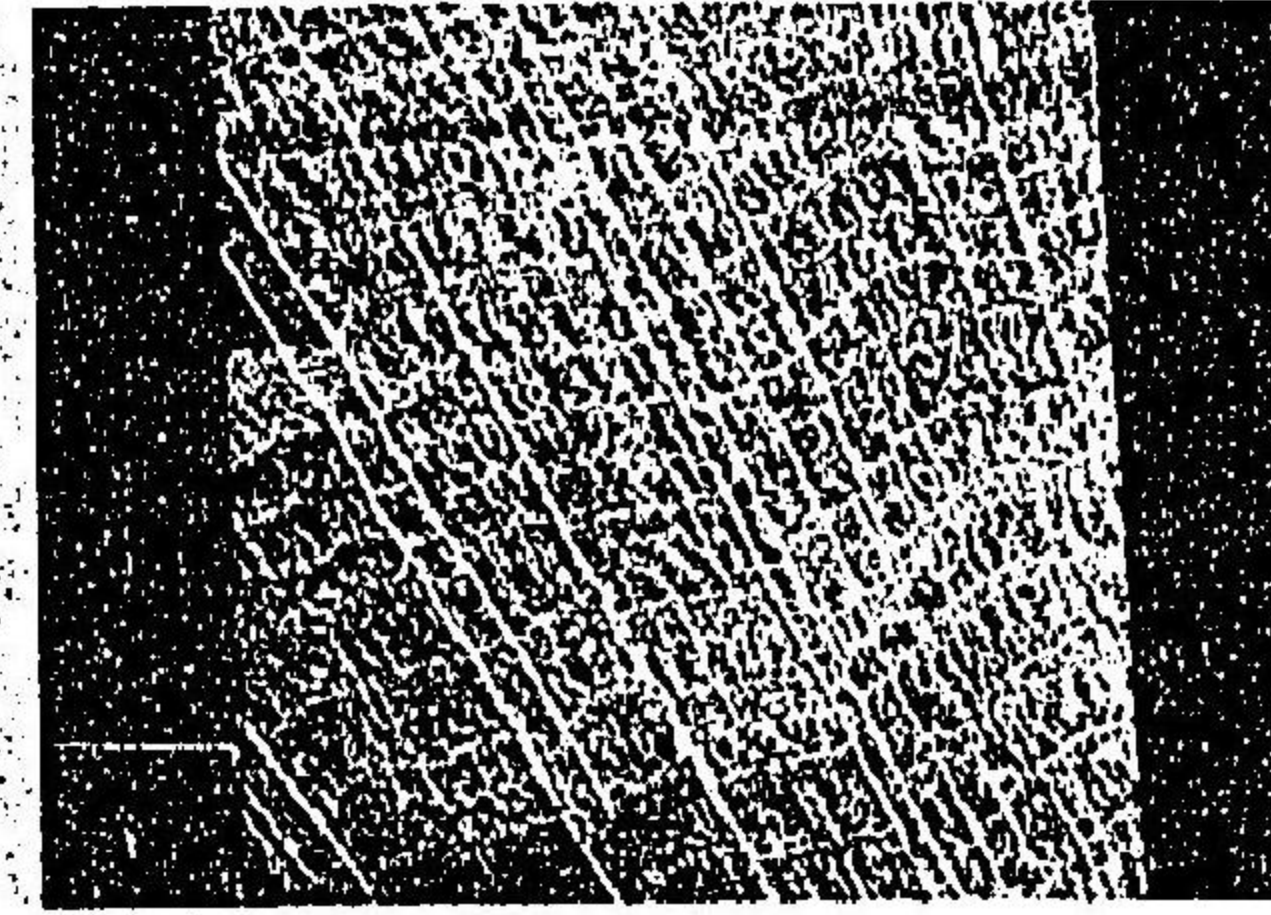
圖一十九第
でしかあ



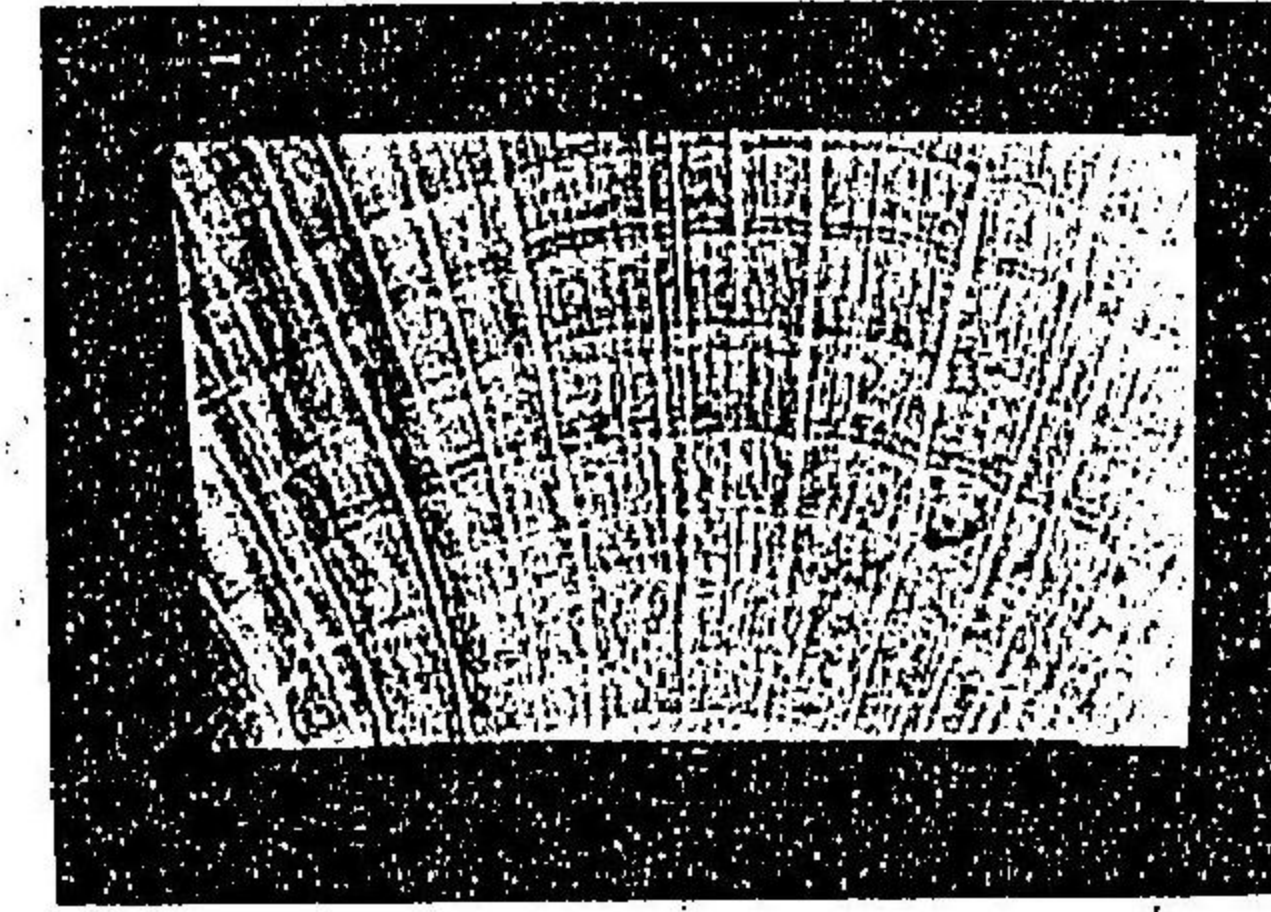
圖十九第
全



圖九十八第
ひし



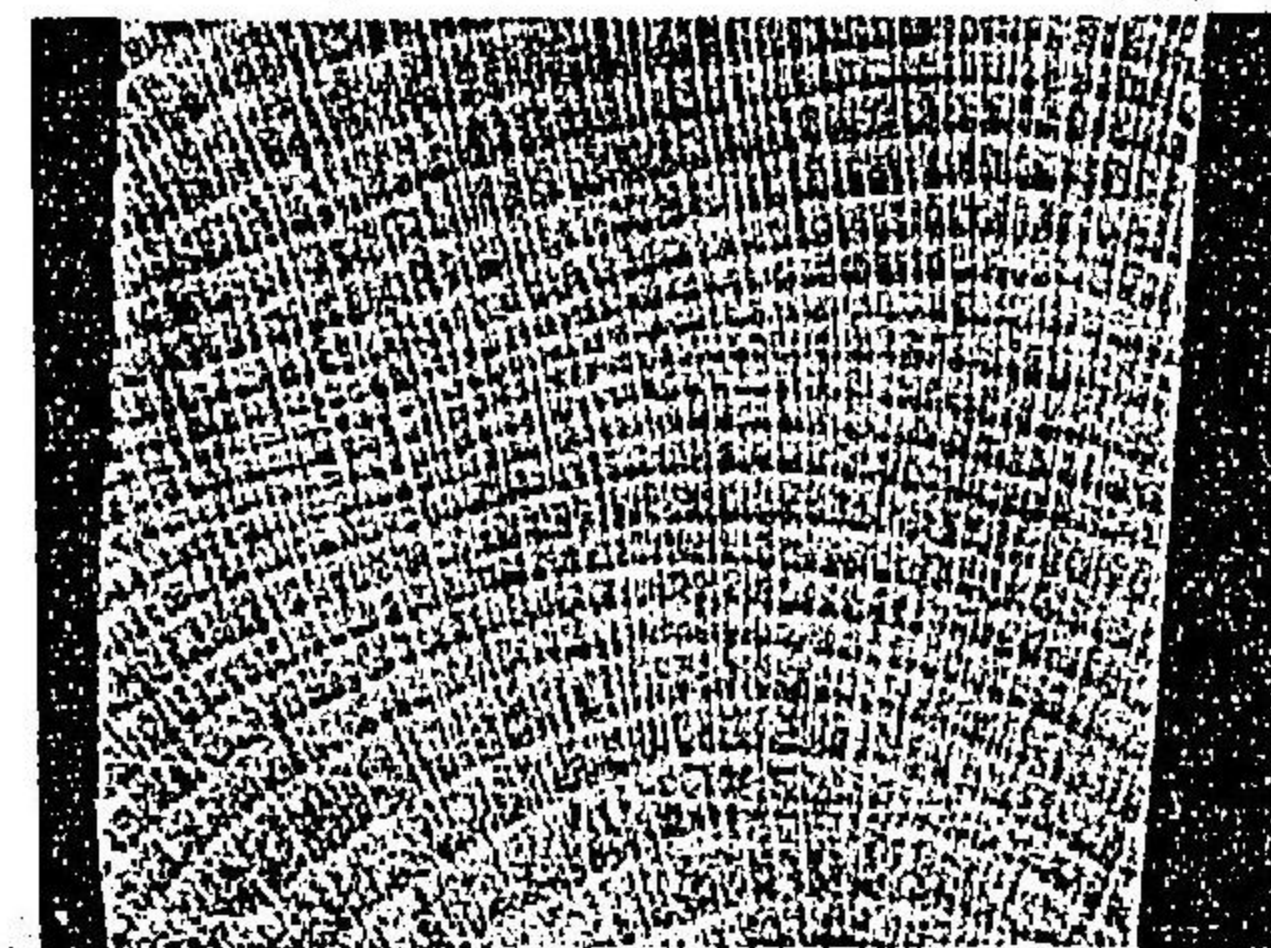
圖八十八第
しがらし



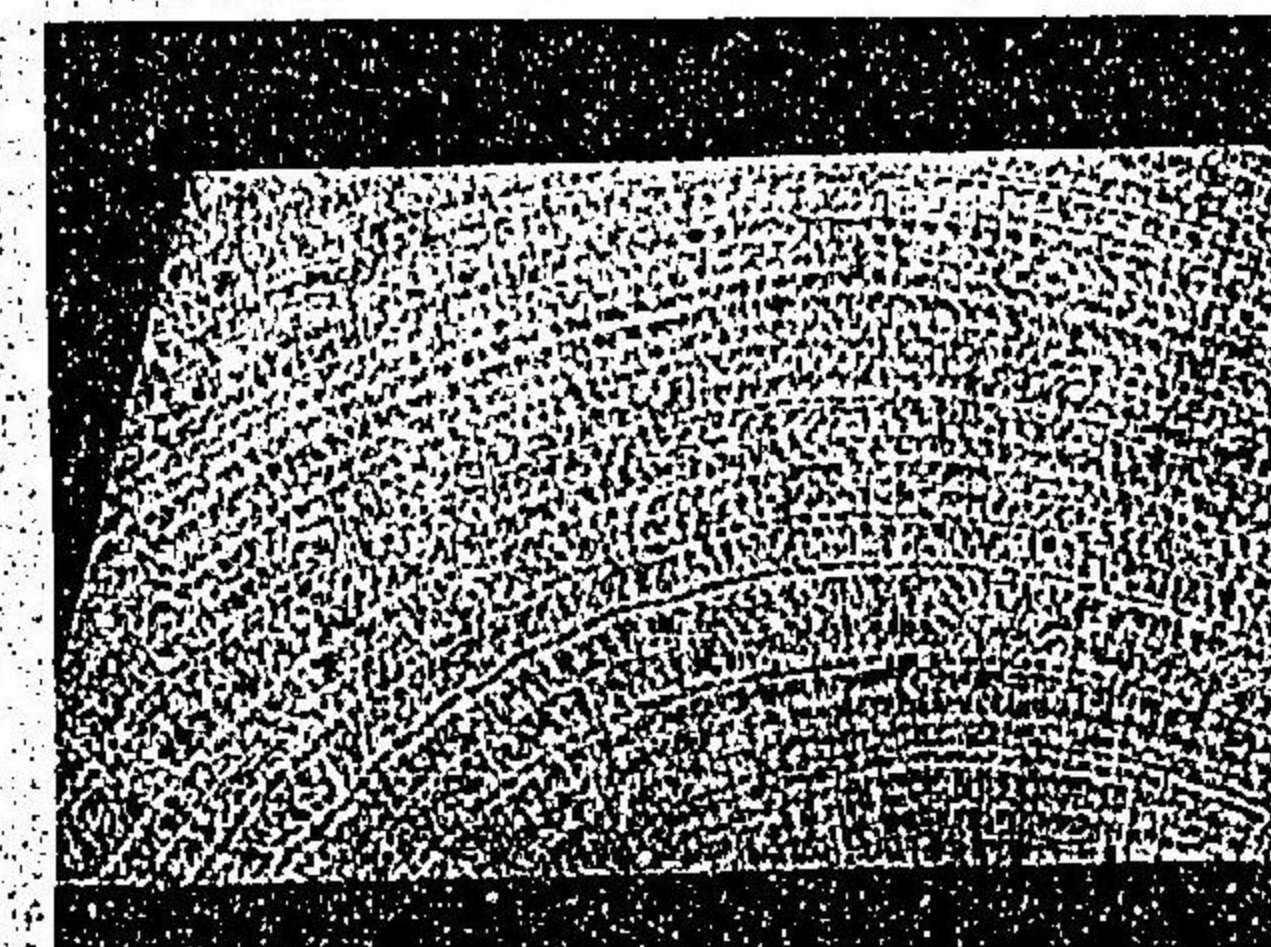
圖五十九第
んぢんやち



圖四十九第
まるぐまや



圖三十九第
ぎらひひ



圖二十九第
ばしはさ



圖九十九第
きのんは



圖八十九第
全



圖七十九第
らなほれ



圖六十九第
めなか



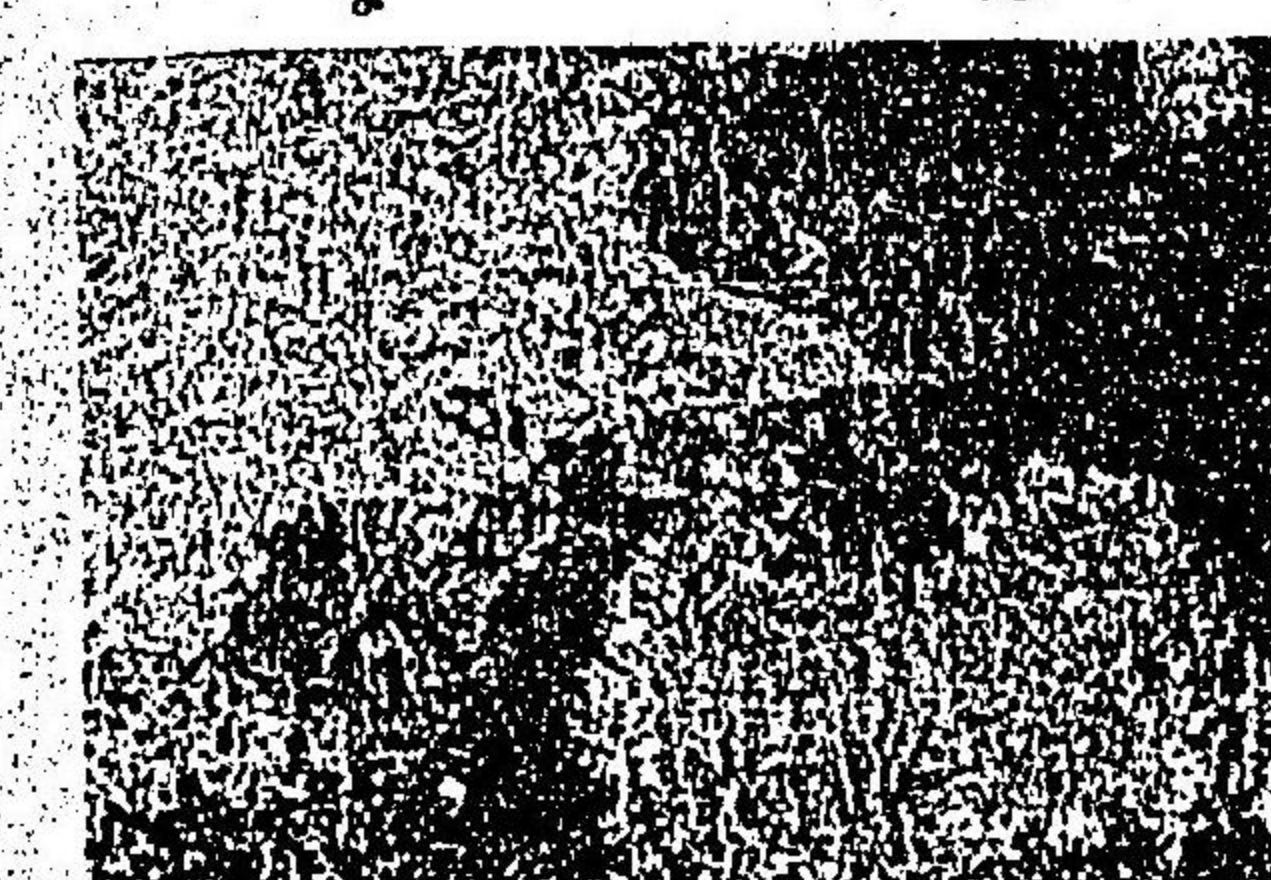
圖三百第
でかやたい



圖二百第
なぶぬい



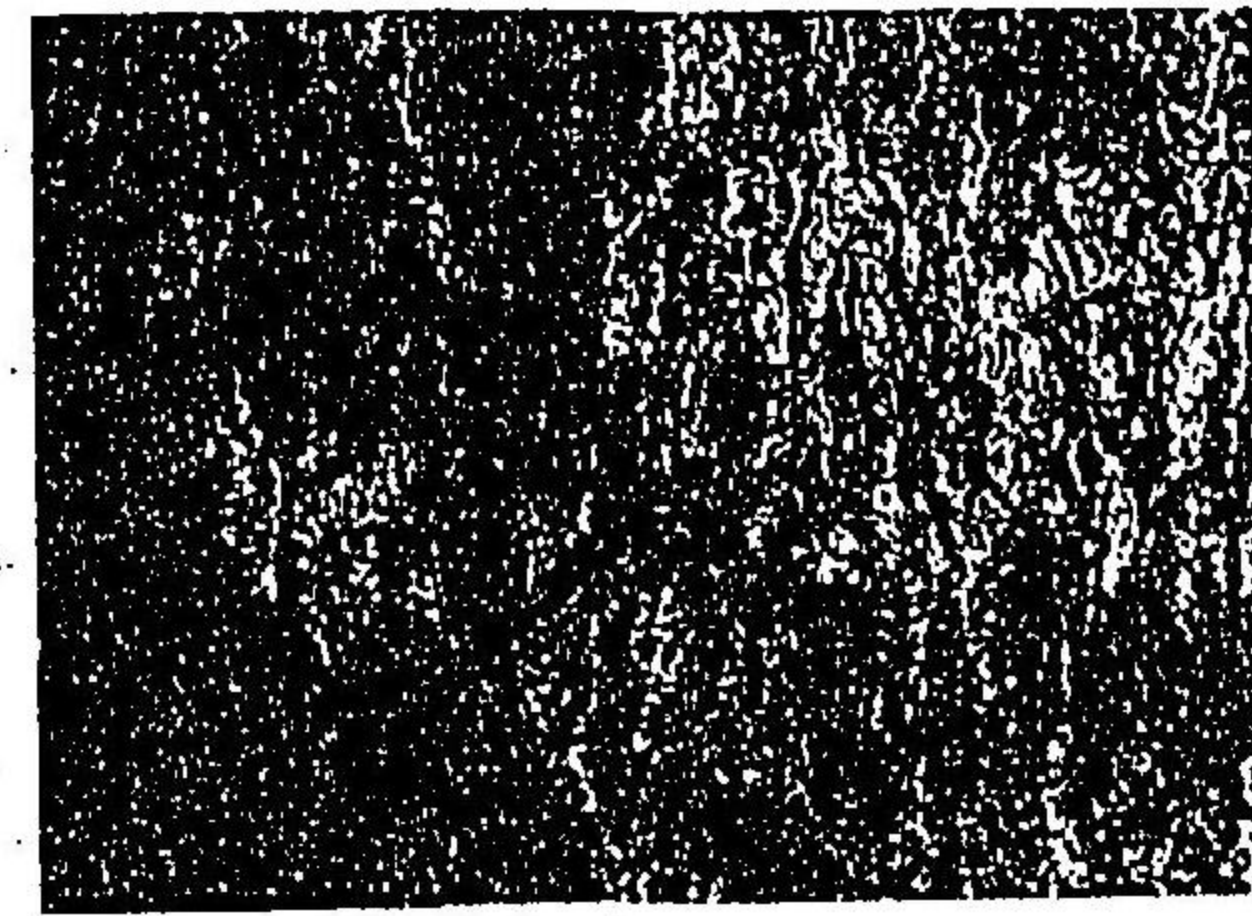
圖一百第
なぶ



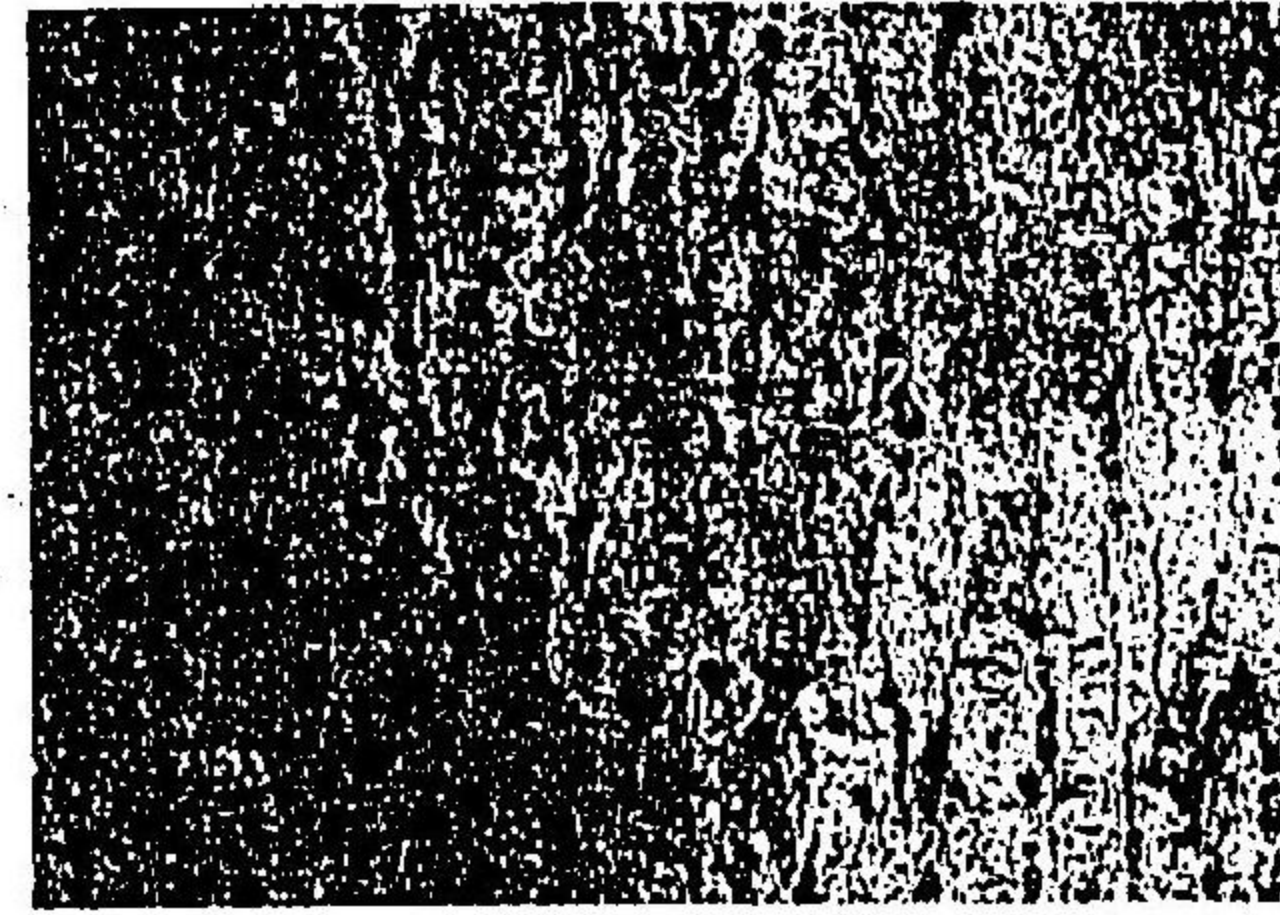
圖百第
きのんはまや



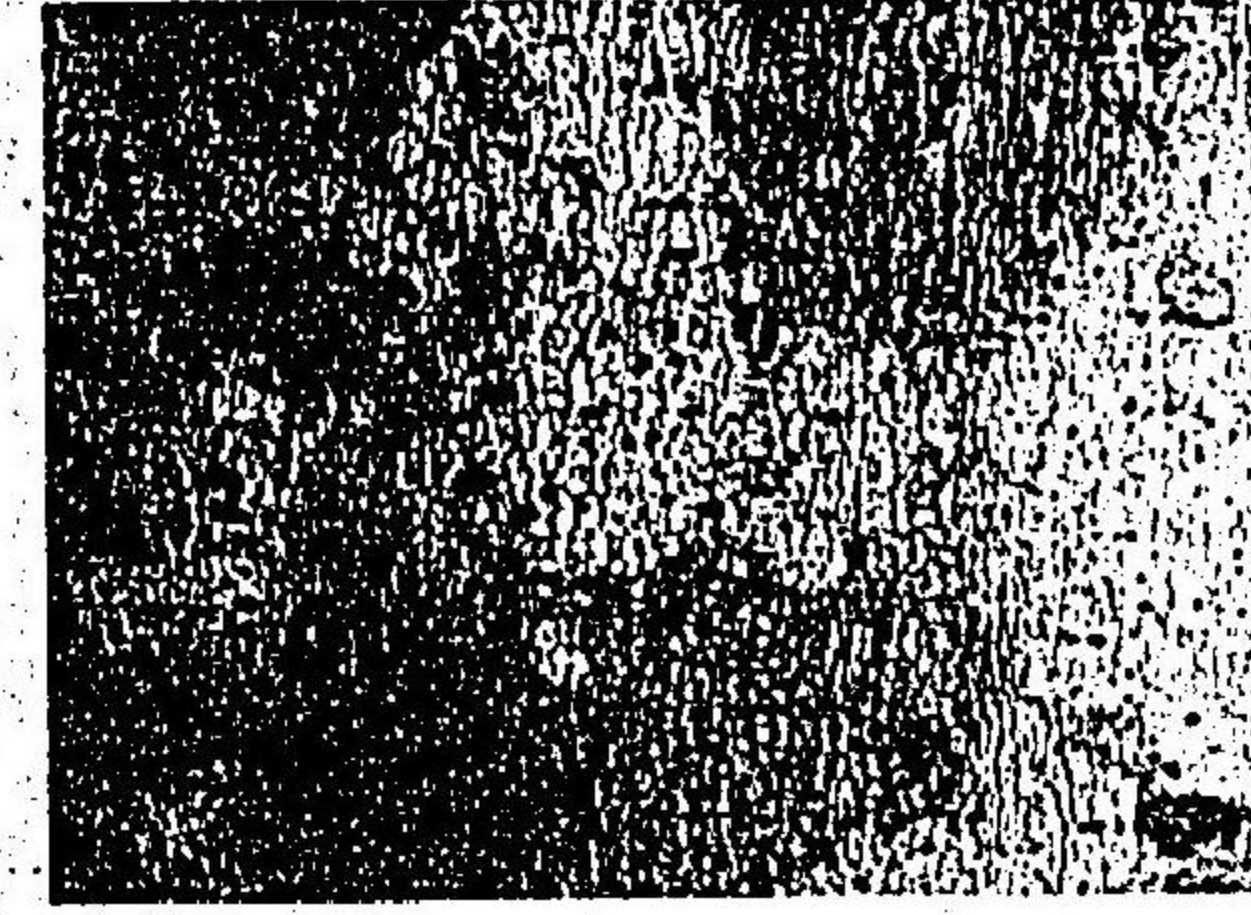
圖七百第
きのやじうやち



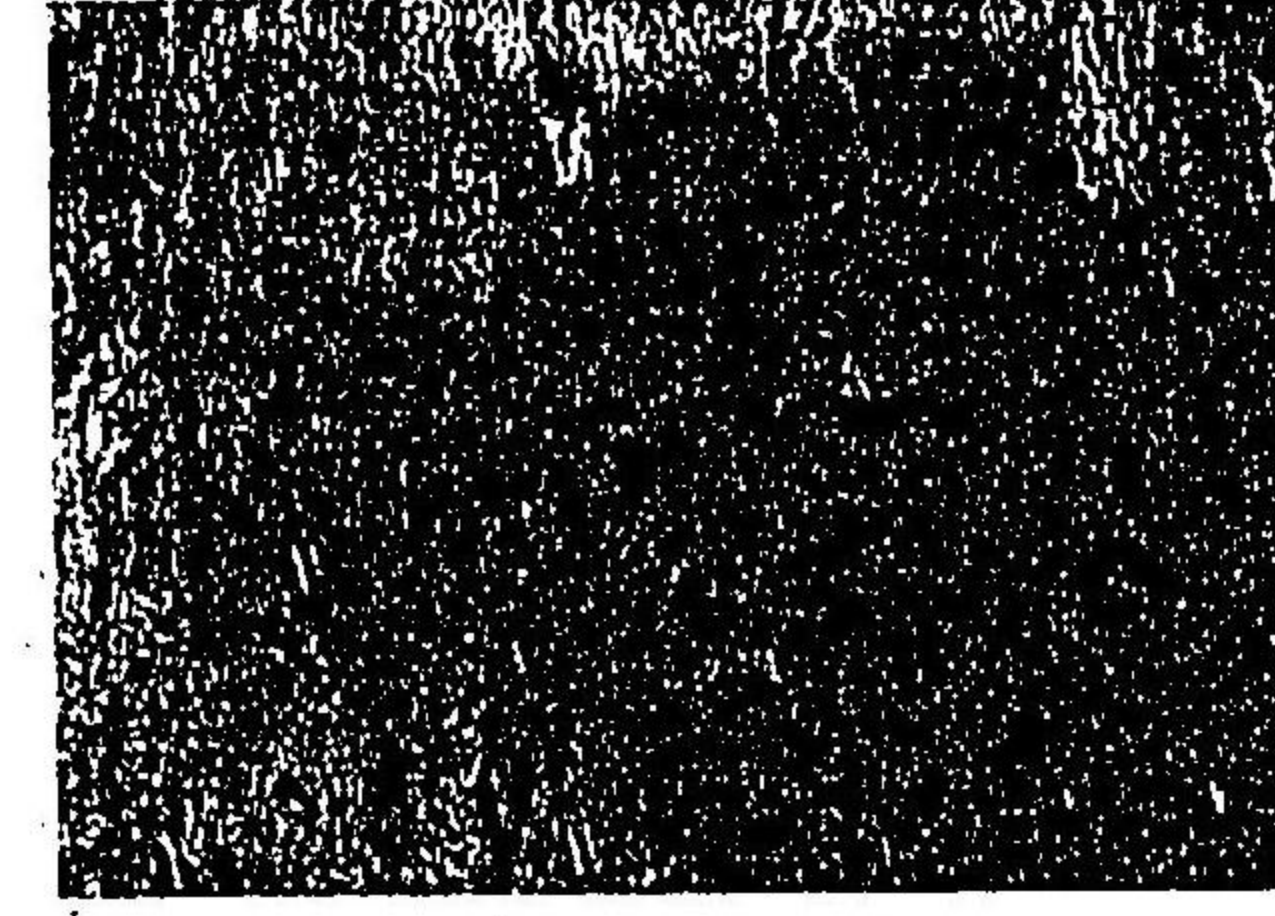
圖六百第
きのりごち



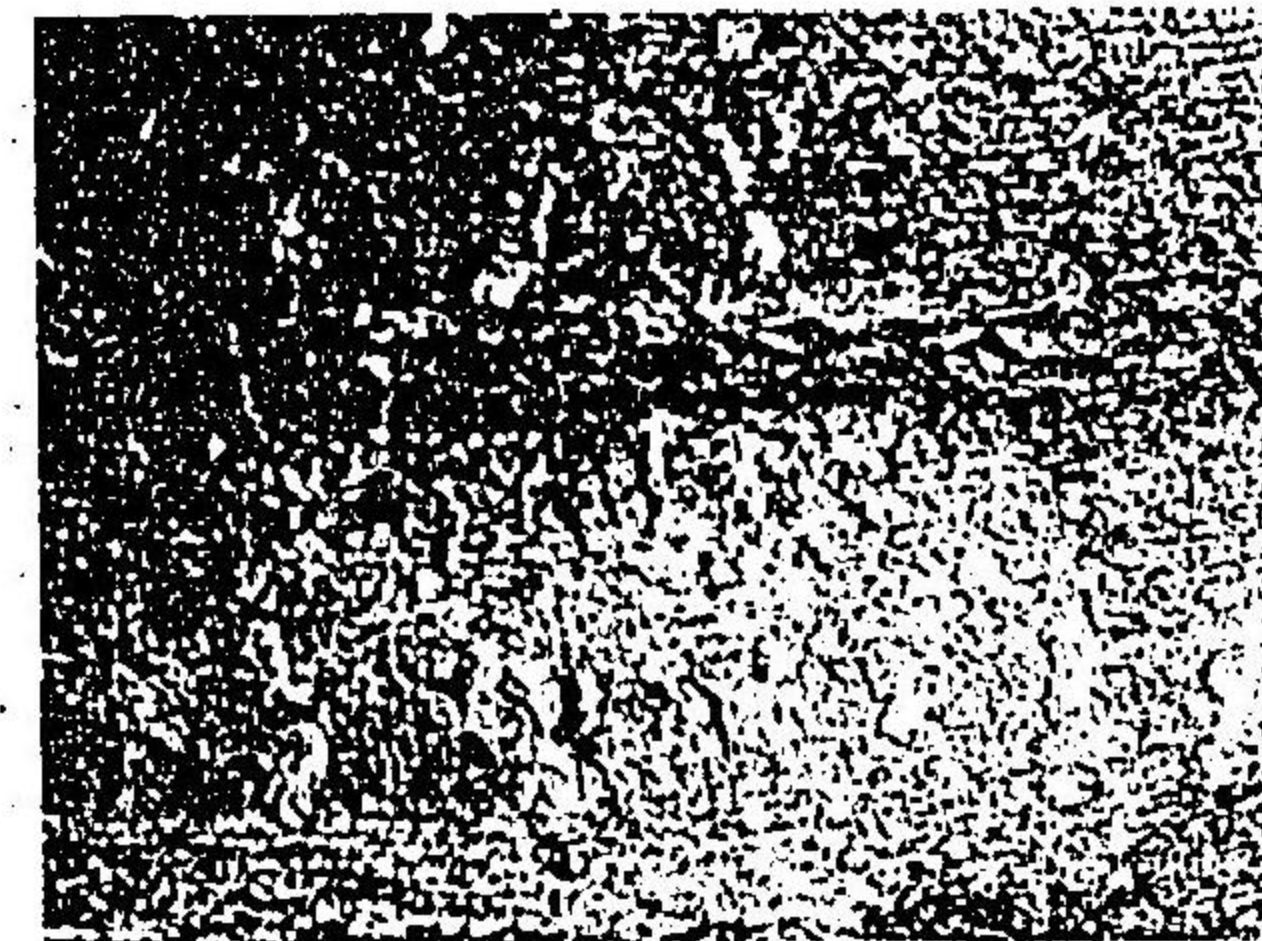
圖五百第
でへかちか



圖四百第
ちみもまや



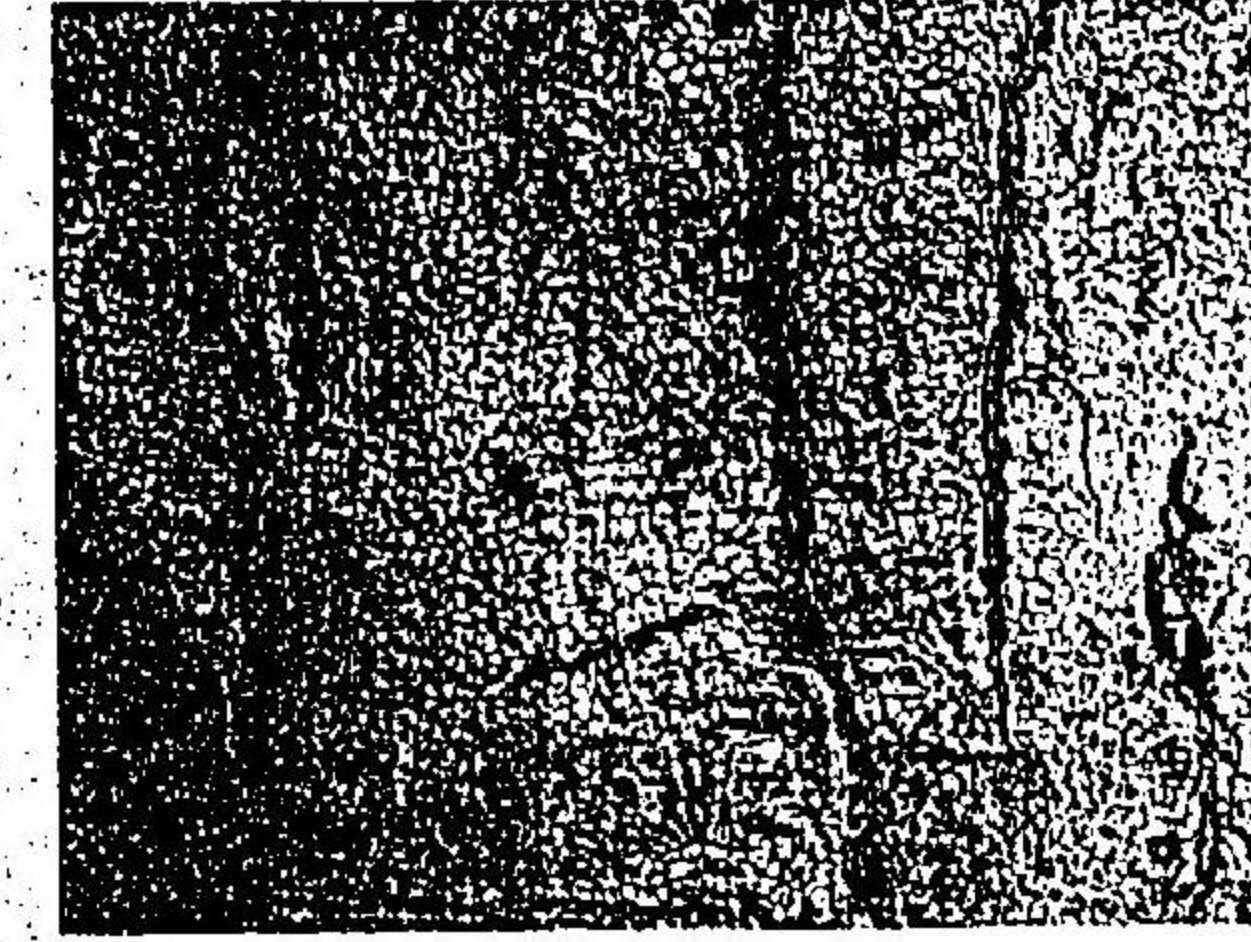
圖一百第
らくざのしよ及らくざまや



圖十百第
でへかばるま



圖九百第
でへかはちうは



圖八百第
でへかりう



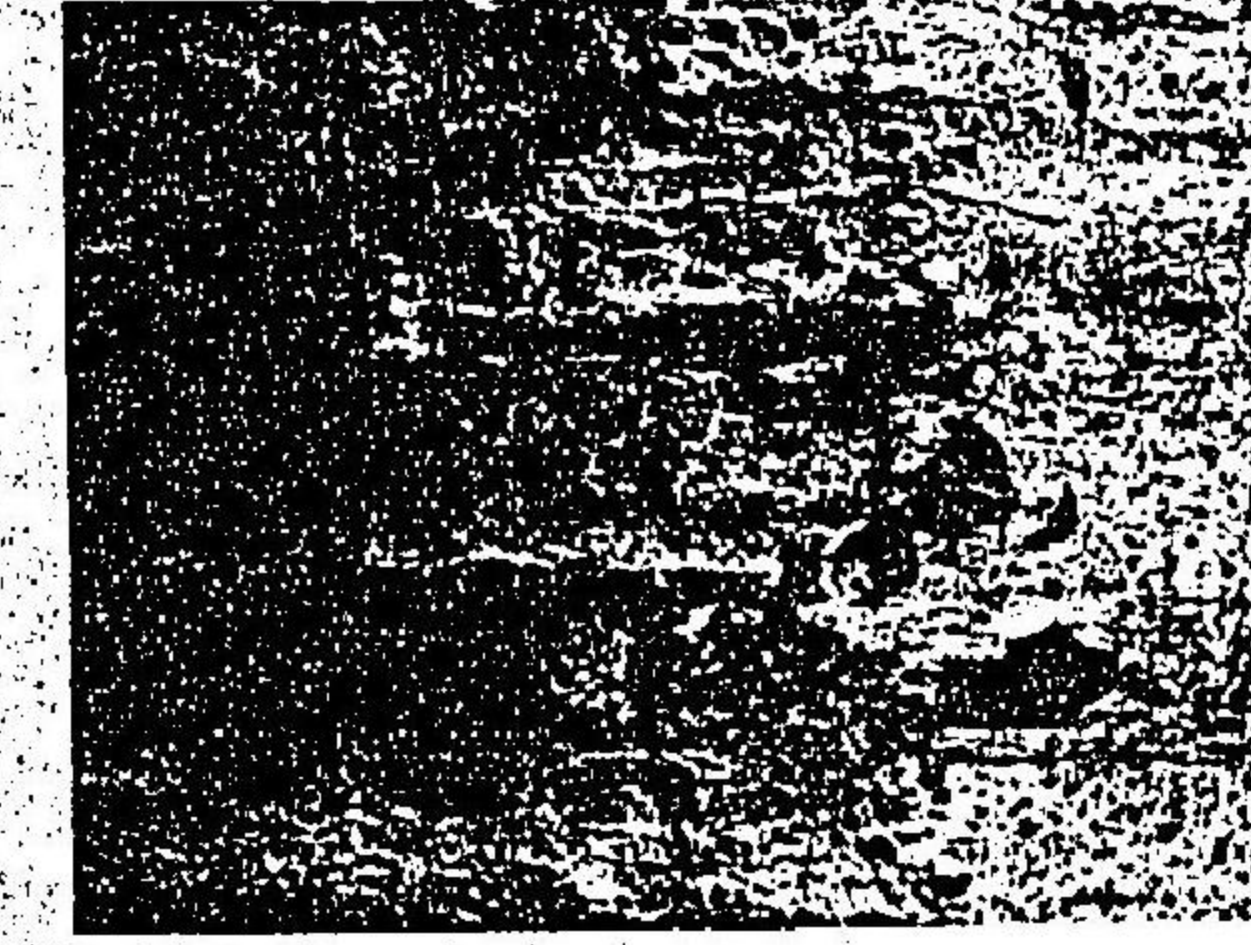
圖五十百第
くぼんうくは



圖四十百第
きのごね



圖三十百第
らくざぬい



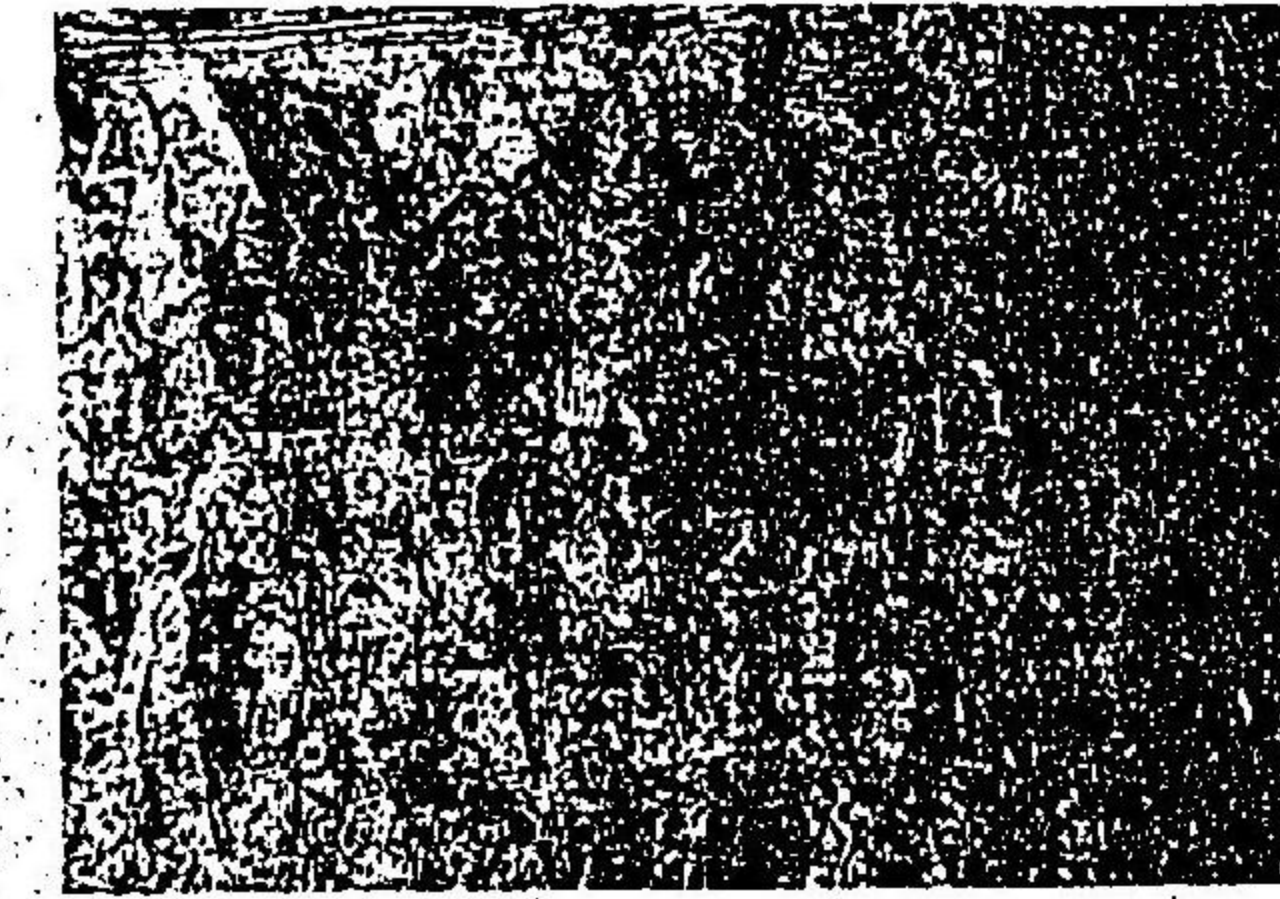
圖二十百第
らくざすみわう



圖九十百第
たるさ



圖八十百第
ばしむた



圖七十百第
しぶこ



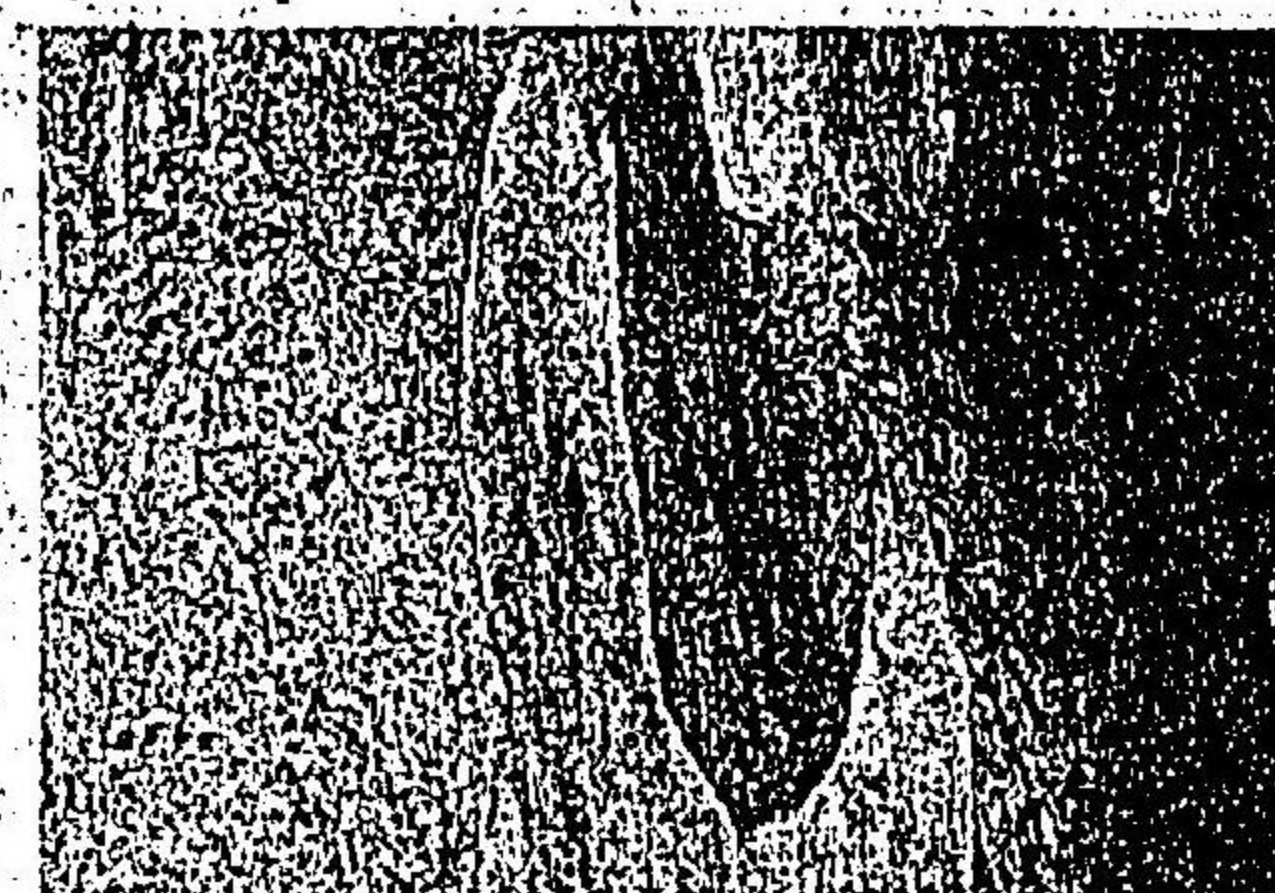
圖六十百第
きのほほ



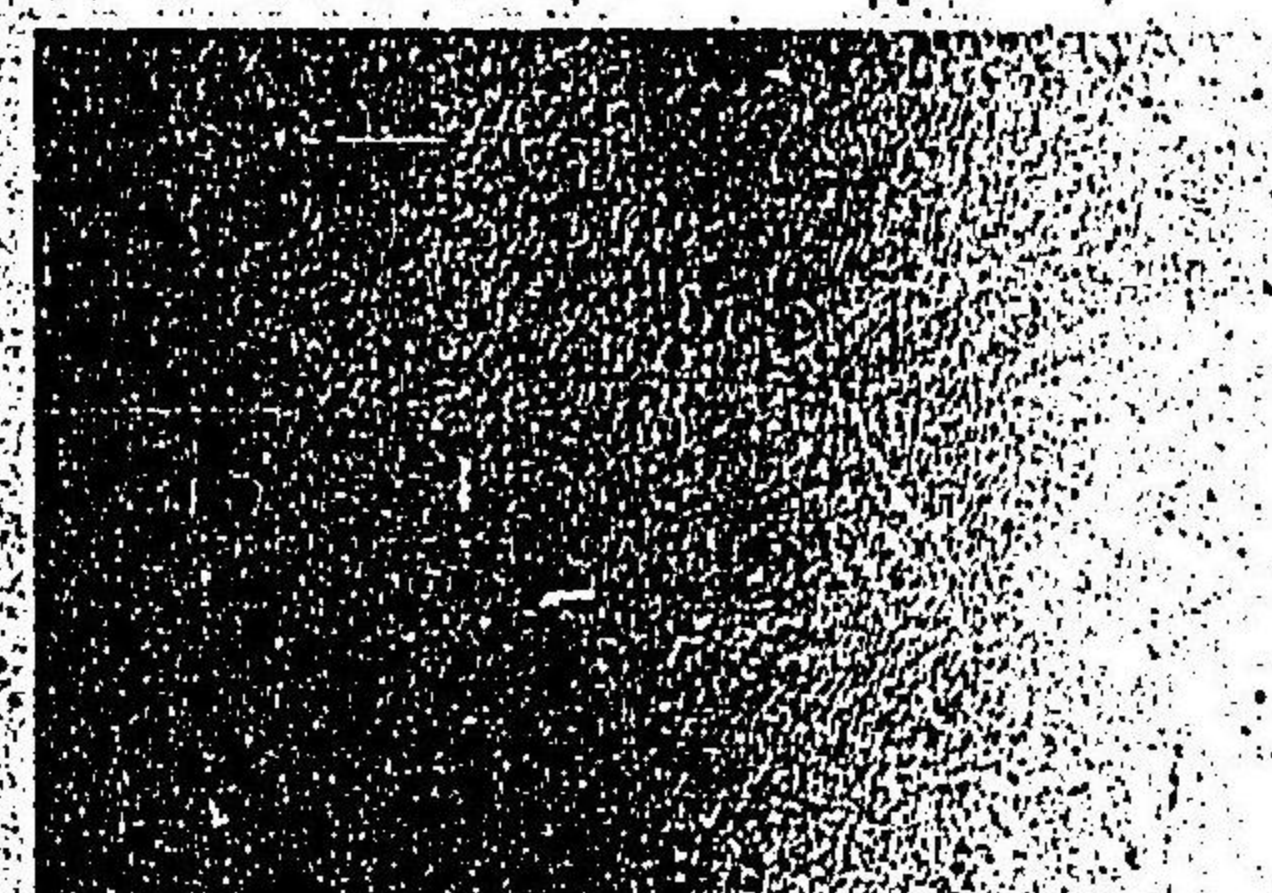
圖三十二百第
んりわく



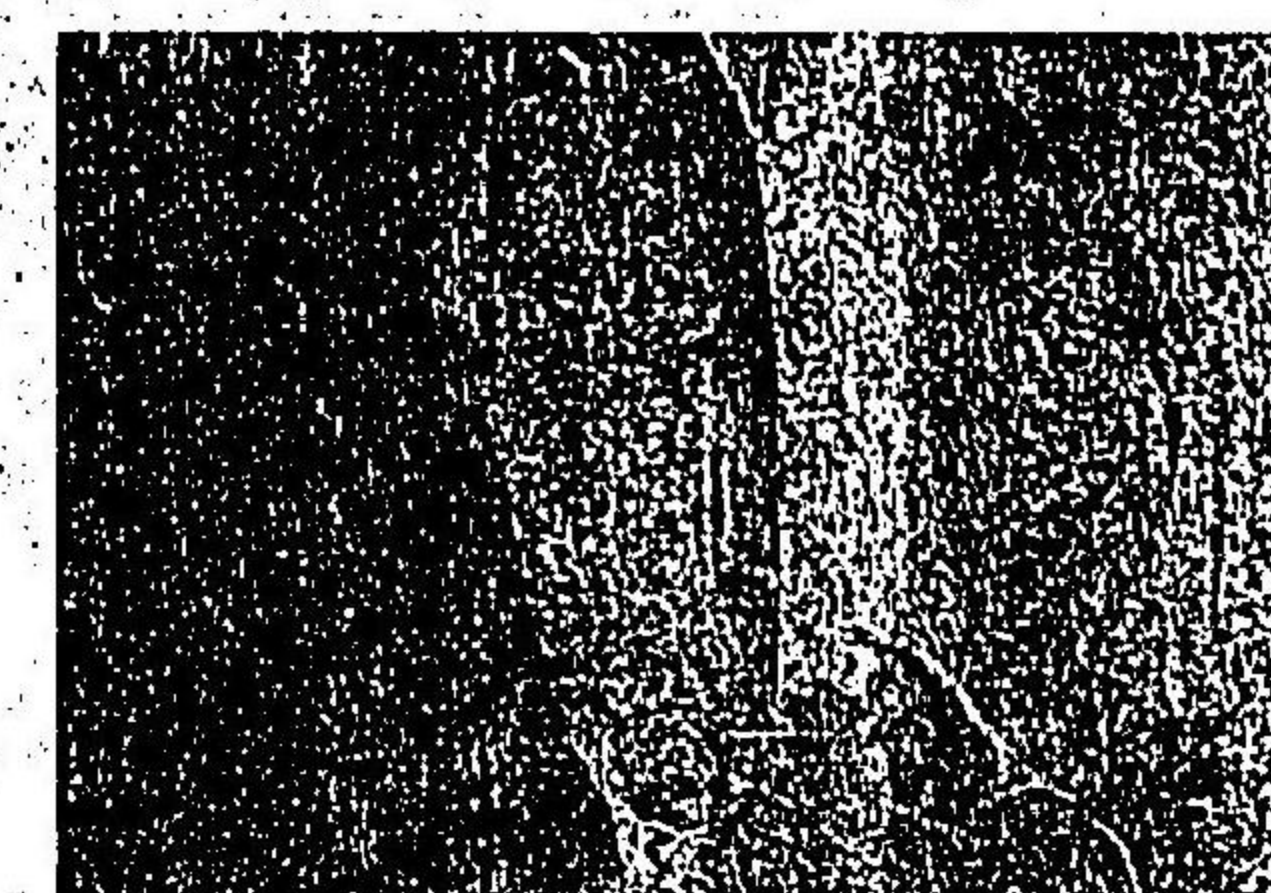
圖二十二百第
かんぎさ



圖一十二百第
等ばつ



圖十二百第
きぼつつな



圖七十二百第
ばんからじ



圖六十二百第
ばんかうぢ及れれのね



圖五十二百第
ぎなくやし



圖四十二百第
みしをしが



圖一十三百第
みず



圖十三百第
らがさあばほね及らがさあ



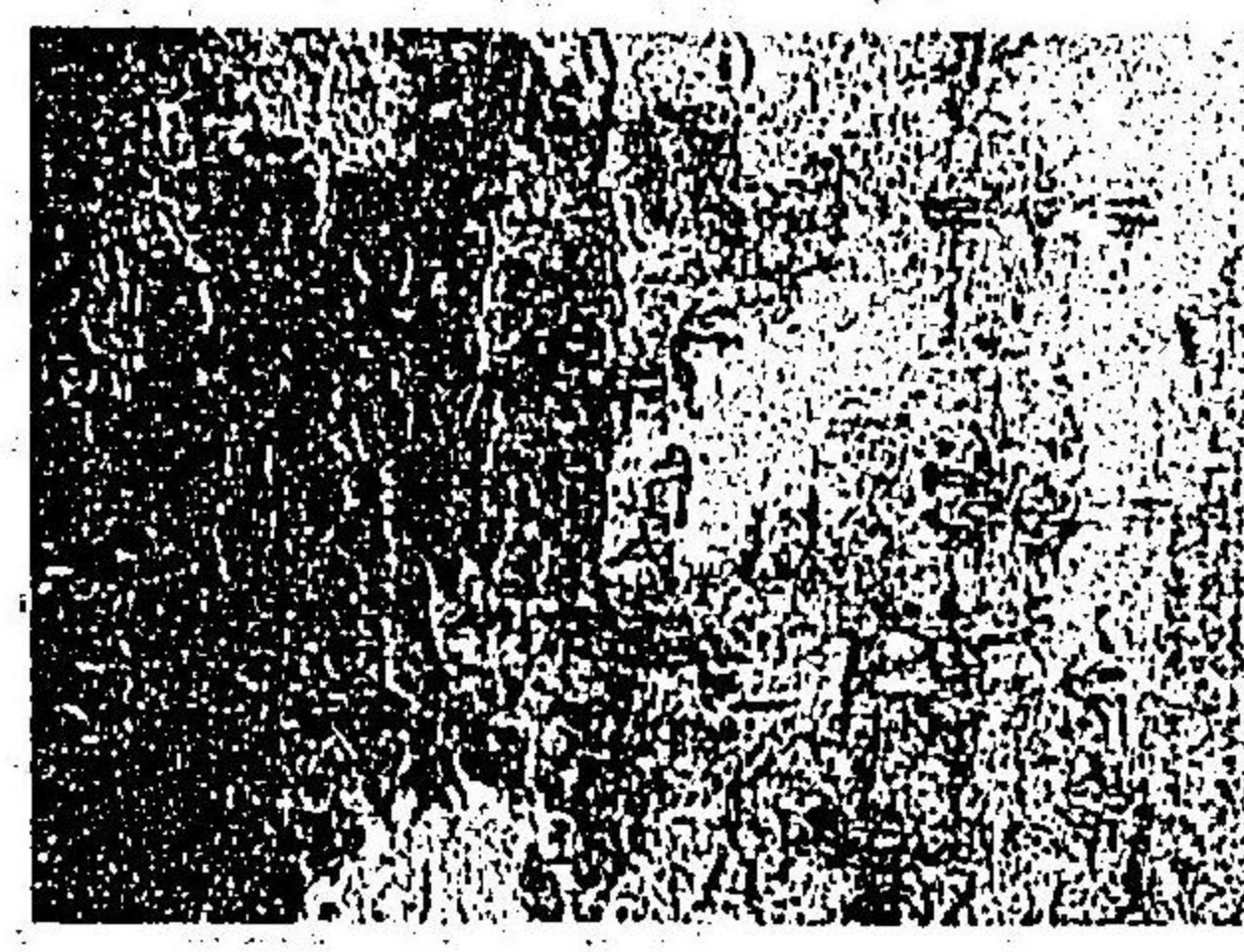
圖九十二百第
ろで



圖八十二百第
しらなまや



圖五十三百第
どまがな



圖四十三百第
なばりつ



圖三十三百第
みゆま



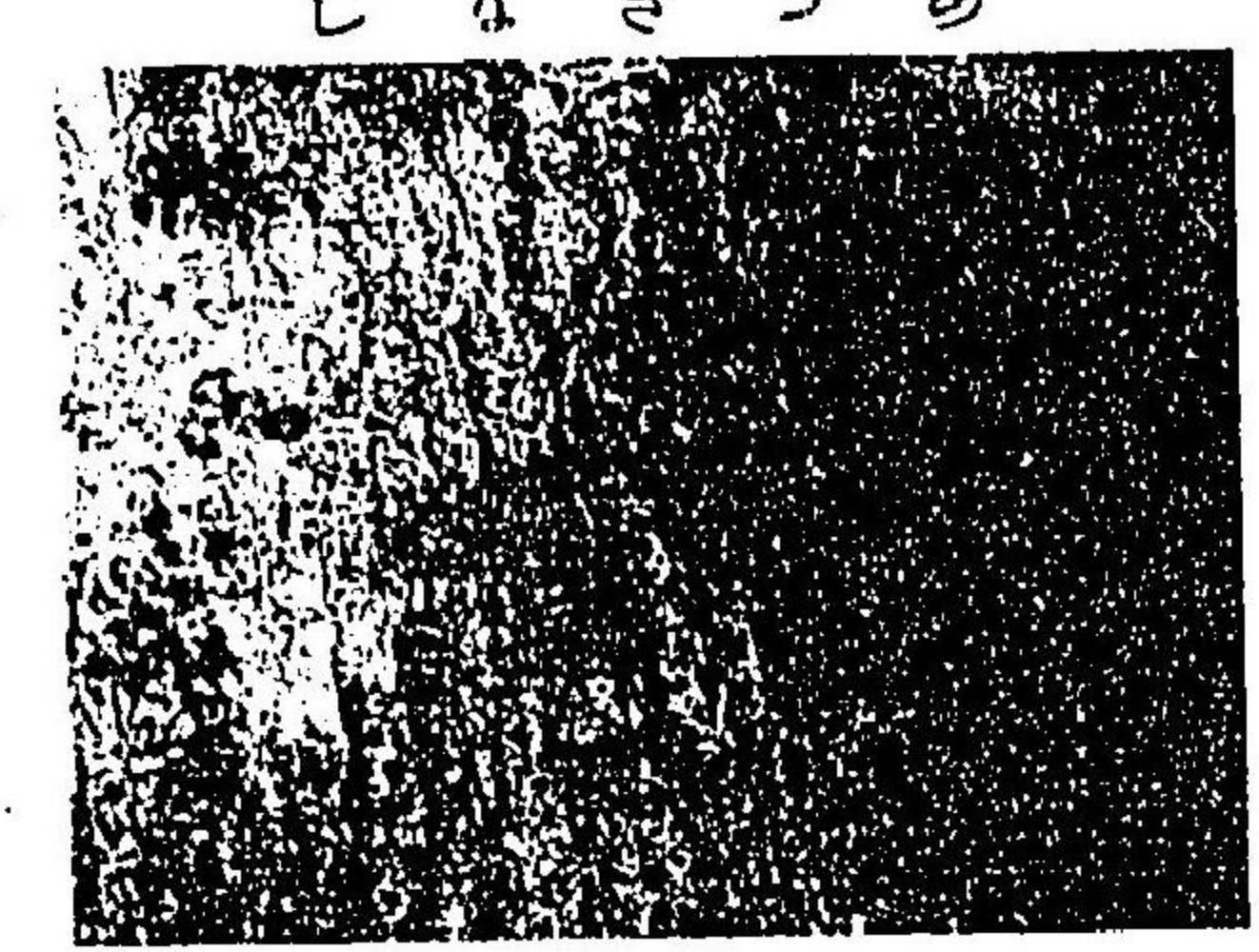
圖二十三百第
しなこ



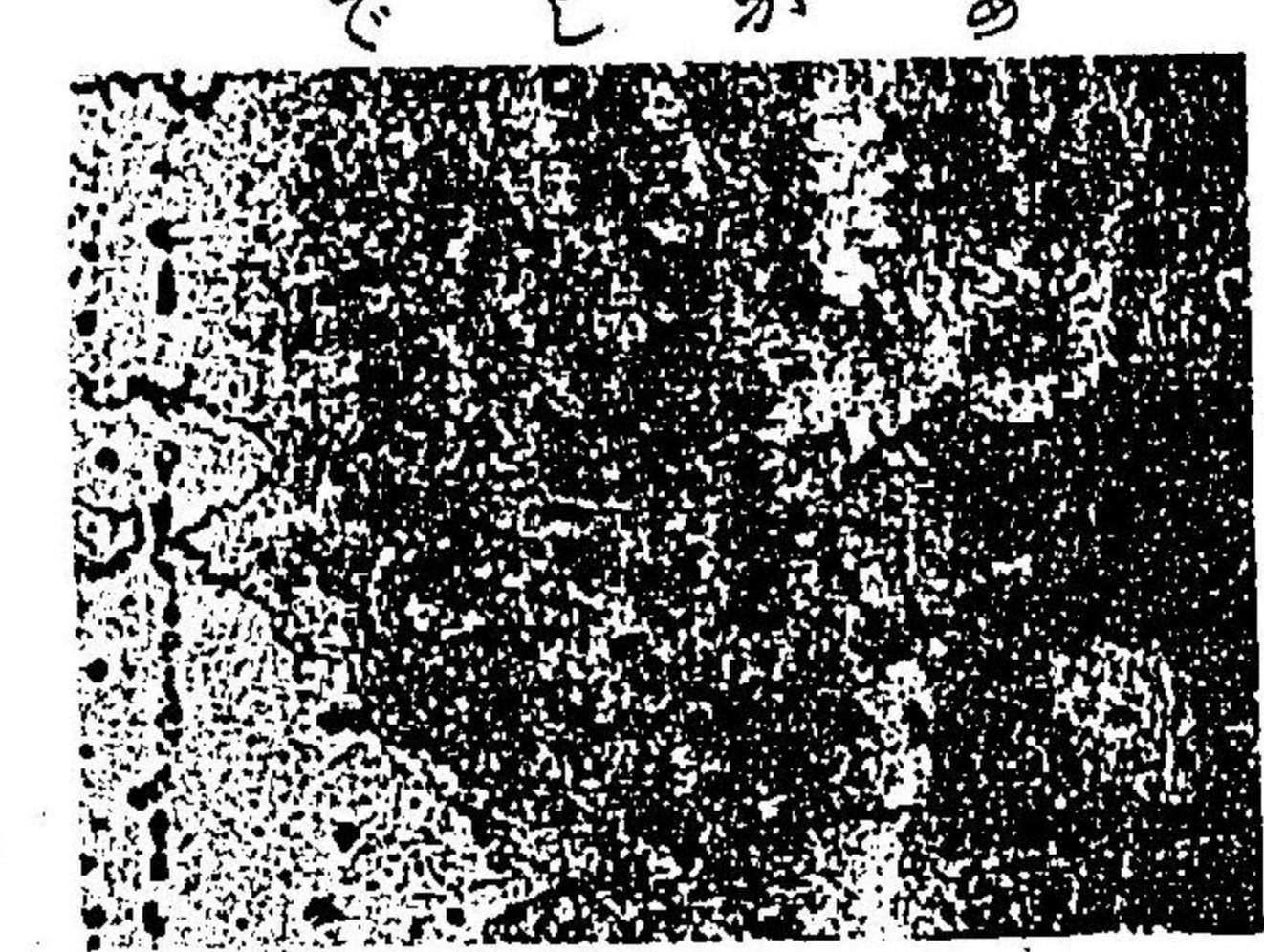
圖七十三百第
ひ し



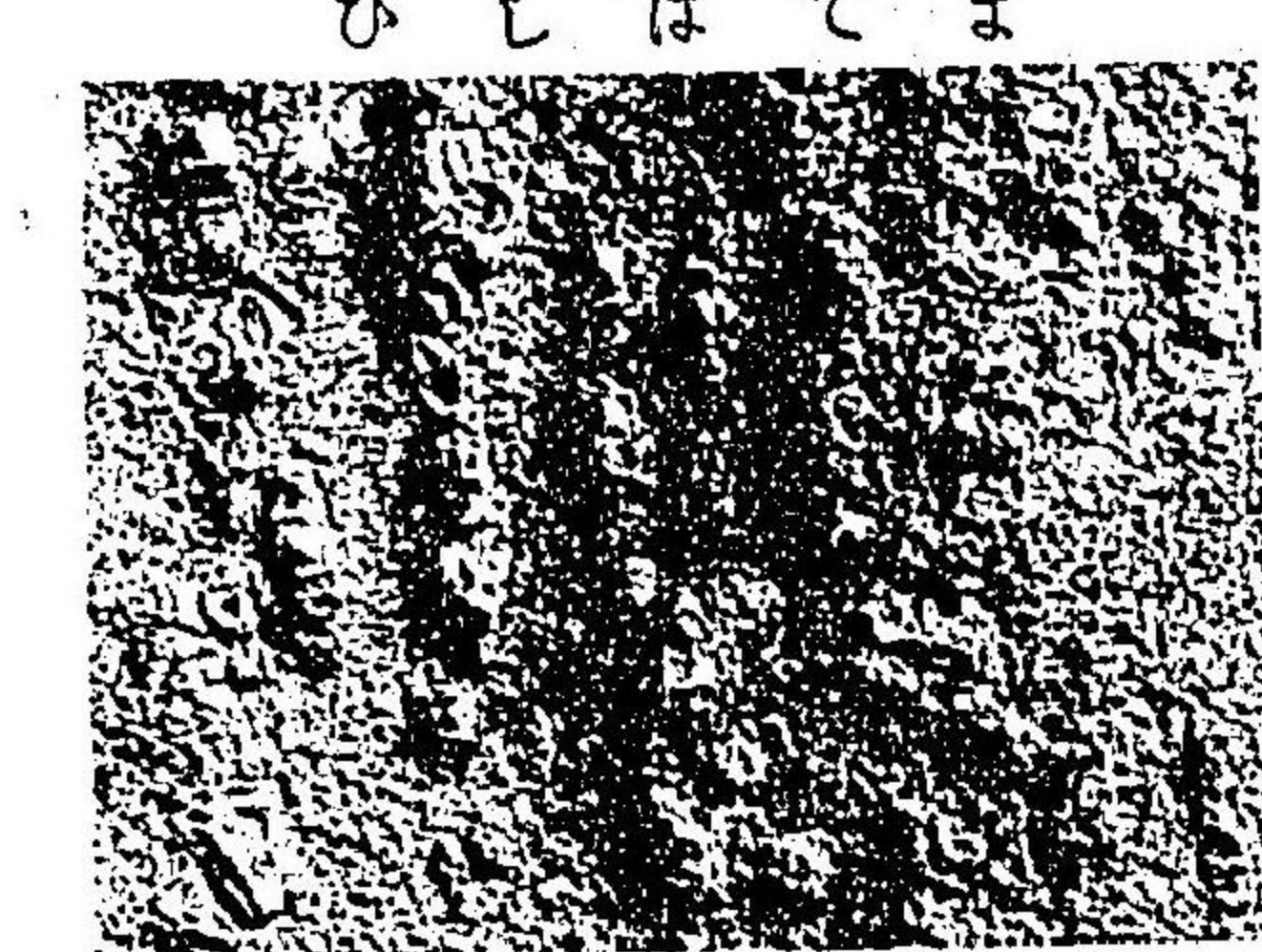
圖六十三百第
し な き つ め



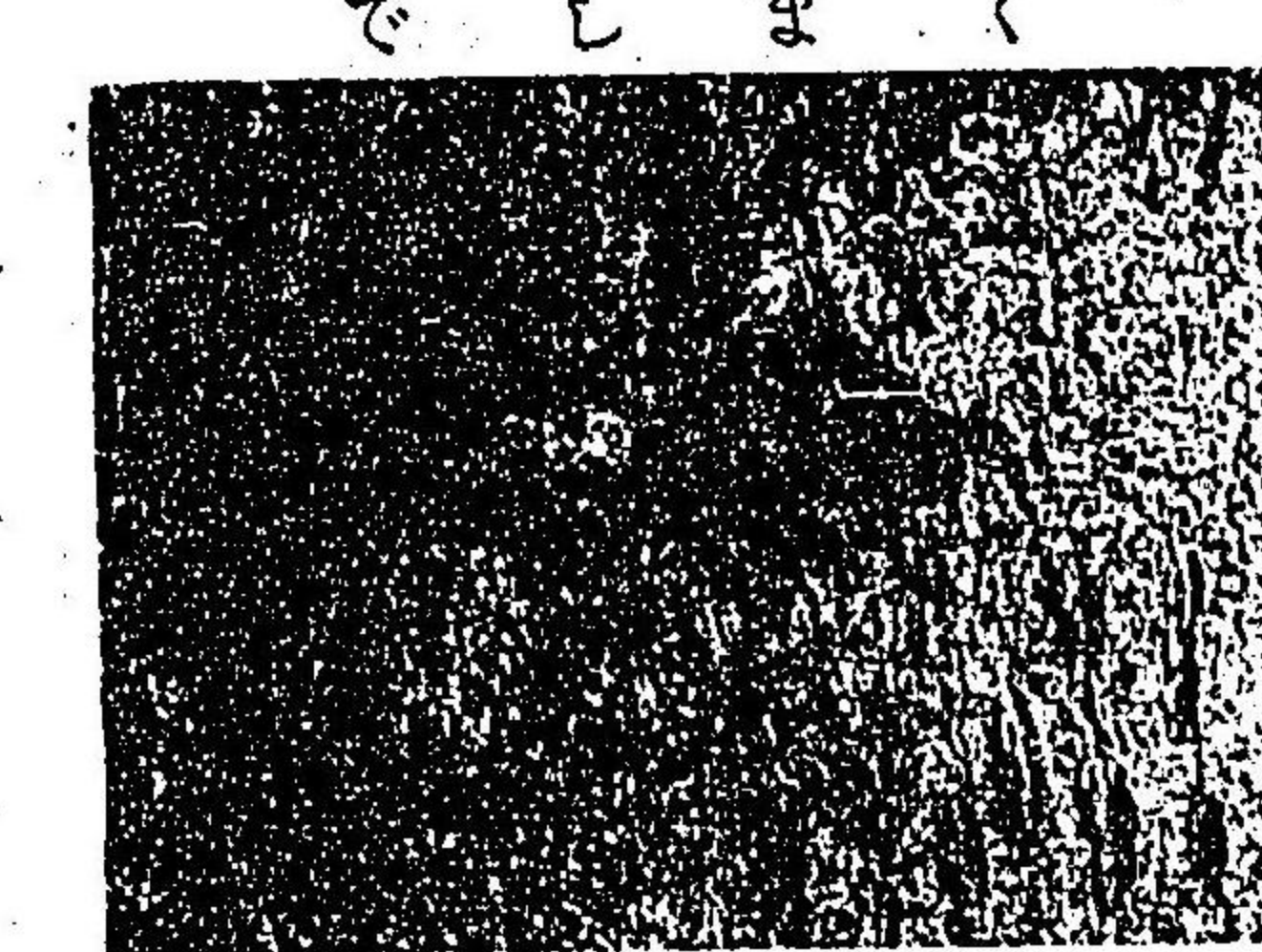
圖九十三百第
で し か め



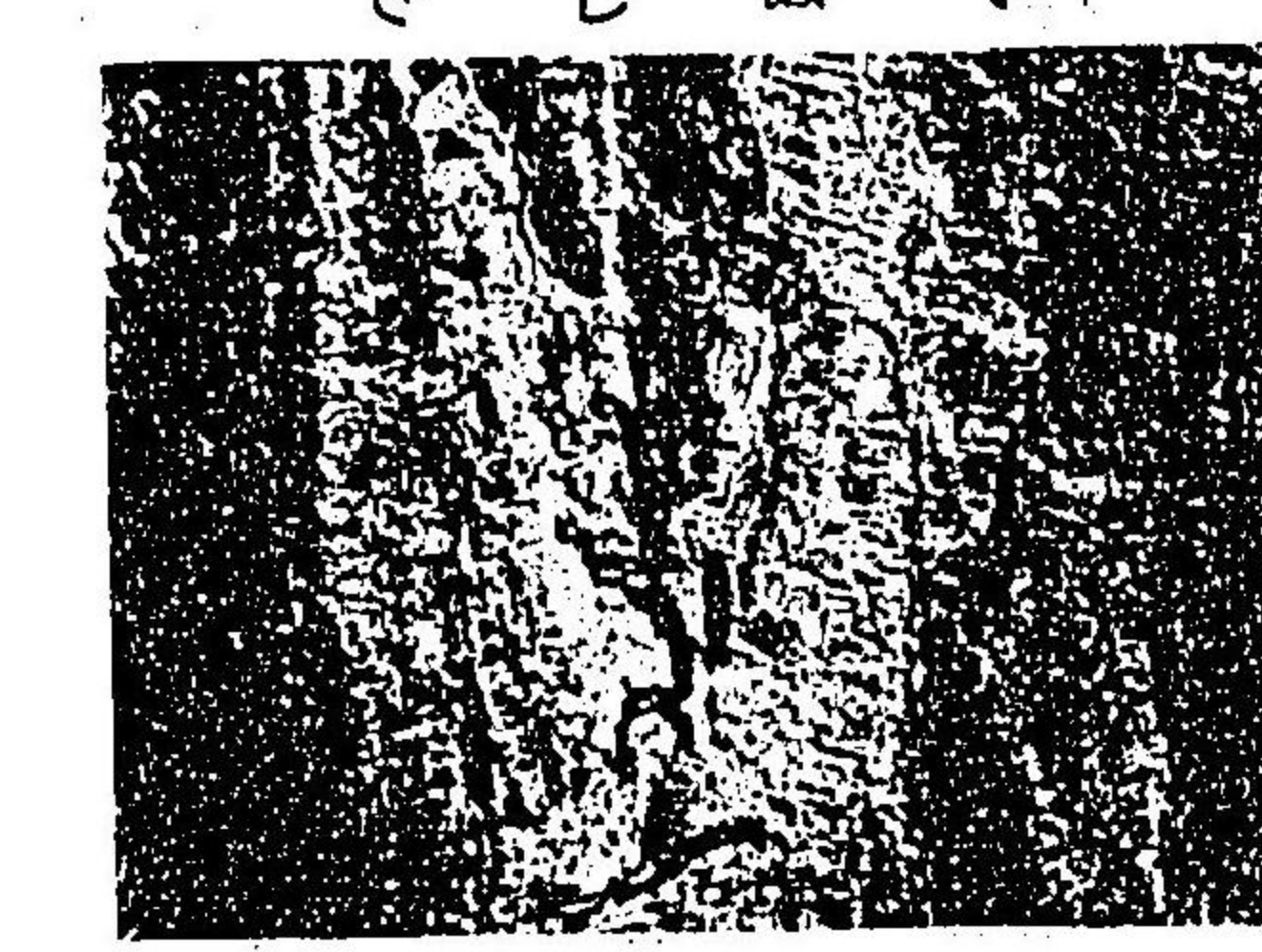
圖八十三百第
ひ し ぼ て ま



圖一十四百第
で し ま く



圖十四百第
で し ぬ い



圖二十四百第
は し は さ



術語略解

此解素ヨリ識者ノ爲メニ編セルニアラズ只初學者ヲシテ此書ノ内容ヲ了得セシムルノ階梯タラシメント期セリ夫レ我邦學術ノ幼稚ナル未ダ斯學ニ於テ一定ノ術語ナク却テ予輩後進者ヲシテ新ニ西歐ノ術語ヲ譯出セシムルニ至ル思フニ此一小冊子ノ裡予ノ曲譯ニヨリテ難解ヲ醸セル所蓋シ尠カラザルベシ然レモ斯ノ如キハ予別ニ術語ノ和獨對譯語彙ヲ附シテ之ニ備ヘタルヲ以テ研究者ハ直チニ原語ニ溯テ可ナリ何ゾ敢テ此略解ニ俟ツヲ要センヤ

譯者 述

(一) 何種ノ植物ナリトモ之ヲ顯微鏡下ニ檢ズルキハ細微ナル個體ノ集合セルモノナルヲ知ルベシ此各個體ヲ細胞(Zell)ト稱シ此各細胞ハ其周圍ニ細胞壁膜(Zellwand)ヲ有シ内ニ細胞内容(Zellinhalt)ヲ充實ス生活セル細胞ハ細胞内容トシテ必ズ原形質ノ存スルアリ

(二) 細胞壁膜ハ纖維素(Cellulose)ヨリ成リ甚ダ薄キモノニシテ老フルニ從ヒ物理的及ビ化學的ニ變化ス物理的變化トハ擴大生長ヲナスコト及ビ厚サノ増大ヲナスコトヲ云フモノニシテ化學的變化トハ木質化スルコト(Lignification)栓質化スルコト(Suberisation)粘液化

スルコト (Verschleimung) 等ヲ云フモノニシテ木質化スルトハ壁膜ニ木質 (Xylogen) ト稱スル物質ヲ堆積シテ壁膜ヲシテ弾力性アリテ膨脹性ナク堅緻ニシテ而モ其分子間ニ猶能ク水ヲ導キ得ルモノトナラシムルコトヲ云フ栓質化スルトハ栓質 (Suberin) ト稱スル物質ヲ堆積スルコトニシテ壁膜ヲシテ水液及ビ蒸發氣ヲ透サシラシム粘液化スルトハ壁膜タル纖維素ガ粘液狀ニ變ズルコトナリトス此等ノ化學的變化ハ其植物體ノ必要ト否トニヨリテ或ハ起リ或ハ起ラザルコトアリ

(三) 此等ノ細胞ハ集合シテ層狀列狀又ハ纖維狀等ヲナス之ヲ組織 (Gewebe) ト云フ此組織更ニ相連結シテ組織系 (Gewebesystem) ヲ形成シ生理的效用ヲ致スモノトス

(四) 組織ノ種類ニハ種々アリ此書中屢々見ル所ノ柔軟組織 (Parenchyma) ハ其一種ニシテ又之ヲ區平組織ト譯スルコトアリ此組織ハ壁膜ノ較々薄キ區平ナル細胞ノ集成セルトコロナリ又柔軟組織線 (Parenchymalinien) トハ此組織ノ連合シテ肉眼的ニ線狀ヲ呈スルモノヲ云ヘルナリ

(五) 樹木即チ木本植物ハ之ヲ三部分ニ考フルヲ得ベシ即チ一地下ニアル部分即チ根株 (Wurzelschokk) 二地上ニ直立セル部分即チ樹幹 (Baumschafte) 三樹幹ノ上ニアリテ四方ニ分枝錯雜セル部分即チ樹冠 (Krone) 是ナリ此樹幹ノ直立スル方向ヲ樹軸ノ方向 (axiale Richtung) ト云ヒ此方向ニ樹幹ノ中心ヲ通シテ樹軸 (Achse) ト稱スル線ノ存在スルコトヲ假

想スルナリ而シテ樹軸ニ垂直ナル平面ヲ以テ樹幹ヲ截斷スルキハ其斷面ヲ橫斷面 (Querschnitt) ト稱ス普通ニ小口又ハ木口ト稱スル面即チ是ナリ又樹軸ニ並行スル平面ヲ以テ樹幹ヲ截斷スルキハ其斷面ヲ縱斷面 (Längsschnitt) ト稱ス此ノ縱斷面ニハ二様ノ區別アリ一ハ樹軸ヲ含メル平面ニテ截斷セル場合ニシテ之ヲ柱目 (Radialschnitt) ト云フ二ハ其截斷面ガ樹軸ヲ含ムコトナキ場合ニシテ之ヲ板目 (Tangentialschnitt) ト云フ枝ニアツテハ其走レル方向ニ樹軸ノ存在ヲ考ヘ其斷面ノ名稱ハ右ニ準ズベシ

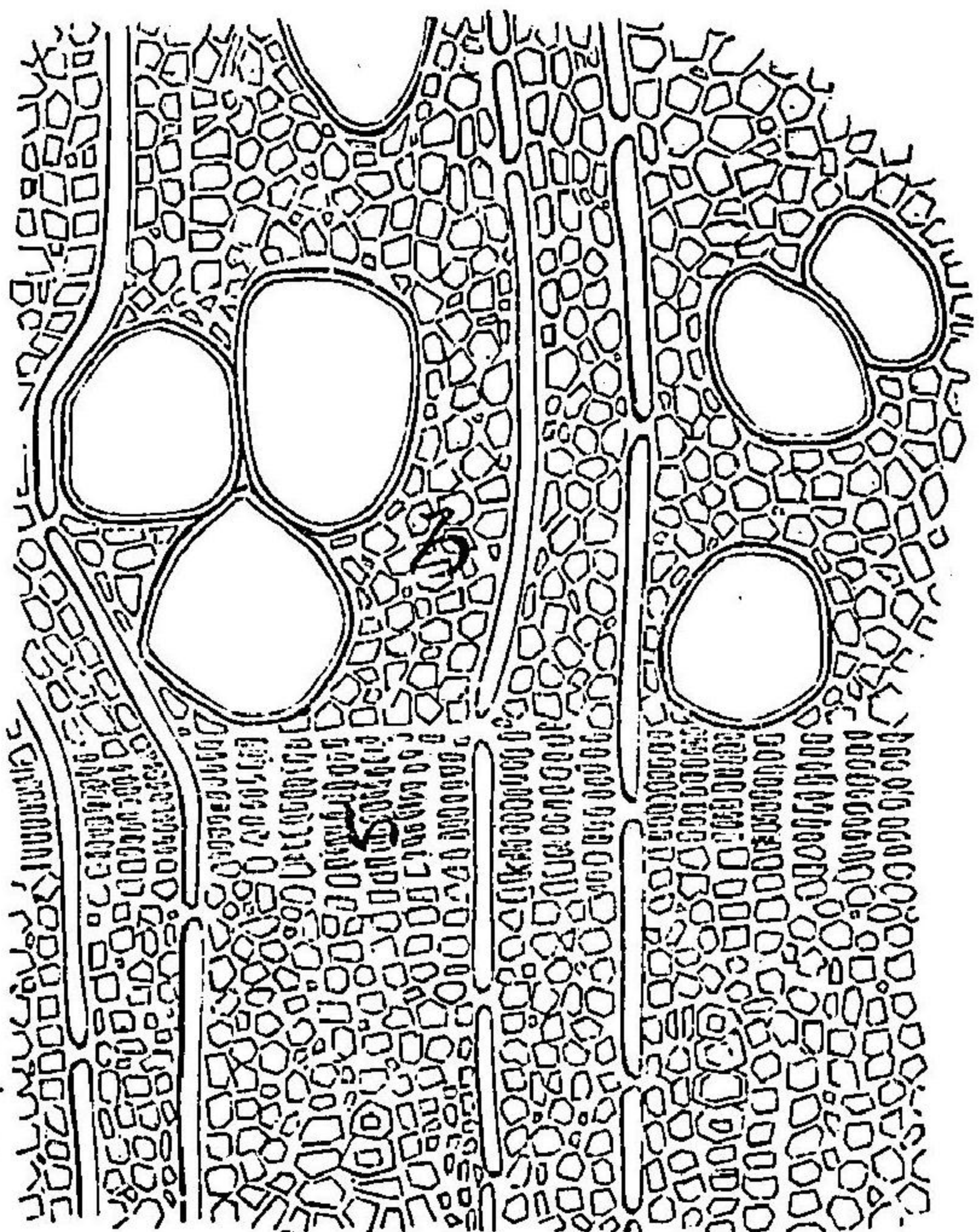
以下予ハ潤葉樹類ニ付テノミ之ヲ述ベシ

(六) 樹幹ノ橫斷面ヲ見ルキハ數多ノ同心圈ヲ認ムベク其最モ外部ノ一圈ハ内部ノ諸圈ト全ク形態ヲ異ニシ且ツ其間ニ較々軟ナル一層ヲ存スルヲ見ルベシ此層以外ヲ總稱シテ樹皮 (Rinde) ト稱シ以テ内ヲ材 (Holz) ト稱ス此樹皮ト材トノ間ニ肉眼ヲ以テ見得ザル組織アリ之ヲ形成組織ト云フ此組織ニ屬スル細胞ハ柔軟ニシテ増殖性ニ富ミ其作用ニヨリテ内ニ材ヲツクリ外ニ樹皮ヲツクルモノナリトス故ニ材ハ樹軸ヲ遠ザカルニ從テ幼稚ニシテ樹軸ニ近キホド老熟ス之ニ反シテ樹皮ハ外方ノ方内方ヨリモ古シ

(七) 老ナル樹幹ノ橫斷面ヲ見ルキハ内部ノ老成セル部分ト外部ノ幼稚ナル部分ト其

色ヲ異ニスルコトアリ其内部ニ屬スルモノヲ心材又ハ赤木質(Kernholz)ト稱シ外部ニ屬スルモノヲ邊材又ハ白木質(Shnholz)ト云フ假令バあかガシヲ見ルキハ邊材ハ鮮褐色心材ハ暗紅褐色ナルガ如キ是ナリ此邊材ハ生理上水液運輸ノ用ヲナスモノニシテ心材ハ專ラ樹體ヲ安固ニ支持センガ爲メニ堅固ナリ元來此心材邊材ノ區別ハ其色及含蓄セル水量ノ差異ニヨリテ命名サレタルモノナルガ樹種ニヨリテハ色ニ於テ些ノ差異ナク只内部ノ材ガ水分ヲ含ムコト少ナキカ或ハ全ク乾燥セルコトアリ斯ノ如キ時ハ林學上心材ノ名稱ノ代リニ熟材(Rotholz)ナル名稱ヲ與フルコトアリ又樹種ニヨリテハ邊材ノミ存シテ此等ノ區別ナキコトモアリ

(八) 材ニ屬スル同心圈ハ形成組織ノ作用ニヨリテ毎年一圈宛ヲ増加スルモノナリ故ニ此各圈ヲ年輪(Jahresring)ト云フ而シテ此書ニ屢々現ハル、所ノ年輪ノ外境(Aussenring)トハ年輪内ニ於テ樹軸ニ遠キ部分ヲ云フモノニシテ内境(Innenring)トハ樹軸ニ近キ部分ヲ云フモノナリ是ヲ以テ一年輪ノ外境ハ次ノ年輪ノ内境ト相接シ其間ニ年輪ノ境界(Jahresgrenze)ヲ存スト云フベシ而シテ年輪ノ斯ク判然ト見ユル理由ハ材ヲ構成スル細胞ガ春期ニ生成サレタルモノト秋期ニ生成サレタルモノト其大サヲ異ニシ前者ハ後者ヨリモ細胞大ナルガ故ニ年輪ノ内境ニ近キ部分ヨリモ外境ニ近キ部分ノ方



材ノ断面ノ部一ノ面斷横ノ材ノ材春
示ヲト材秋ト材春
ス示ろ春材

堅緻トナレル爲メナリトス前者ヲ春材(Frühholz)ト云ヒ後者ヲ秋材(Spätholz)稱ス此兩材ハ年輪ノ通りニ圈狀ヲナスガ故ニ其圈ニ春材圈(Frühjahreszone)及ヒ秋材圈(Herbstzone)ノ名アリ

(九) 材ヲ構成セル主ナル器官ハ要スルニ導管木

纖維及ヒ木細胞ノ三者ナリ導管(Gefäße)ハ又之ヲ木管ト稱シ根ヨリ木ノ尖端マデ連續セル管ニシテ數多ノ細胞相合體シテ管狀トナリ其隔壁ノ消滅シ去レルモノナリトス此導管ノ腔内ニハ既ニ細胞内容ヲ失ヒテ空虛トナルモ(生時ハ水液ヲ充タスナリ)時トシテハ又一種ノ分泌物ヲ以テ填充サル、コトアリ導管ノ太サハ種々アリテ横斷面上肉眼ヲ以テ孔狀ニ認メ得ルモノアリ又殆ンド見得ザルホド小ナルモノナリ其太サノ

標準ハ本文緒言ノ中ニアルヲ以テ爰ニ略ス木纖維(Holzfasern)ハ材ノ主ナル部分ヲ構成スルモノニシテ長キ細胞ニシテ紡錘狀ヲナシ其兩端尖レリ其長サニ耗ニ達スルコトアリト云フ此壁膜ハ多少増厚シ時トシテハ非常ニ厚クナリテ内腔甚ダ小サキコトアリ其内腔ニハ原形質ヲ缺キ其壁膜ニハ膜紋アリ此木纖維ノ多ク存スル材ハ即チ強硬ナリトス木細胞(Holzzellen)又 Holzparenchym)ハ木纖維ヨリモ壁膜薄クシテ其内ニ原形質及ビ澱粉ヲ含ム此木細胞ハ集マリテ主トシテ導管ノ近傍ニ位置スルモ屢々秋材中ニ線狀ヲナシテ走レルコトアリ(四)ニモ述ベタル柔軟組織線ノ如キ是ナリ

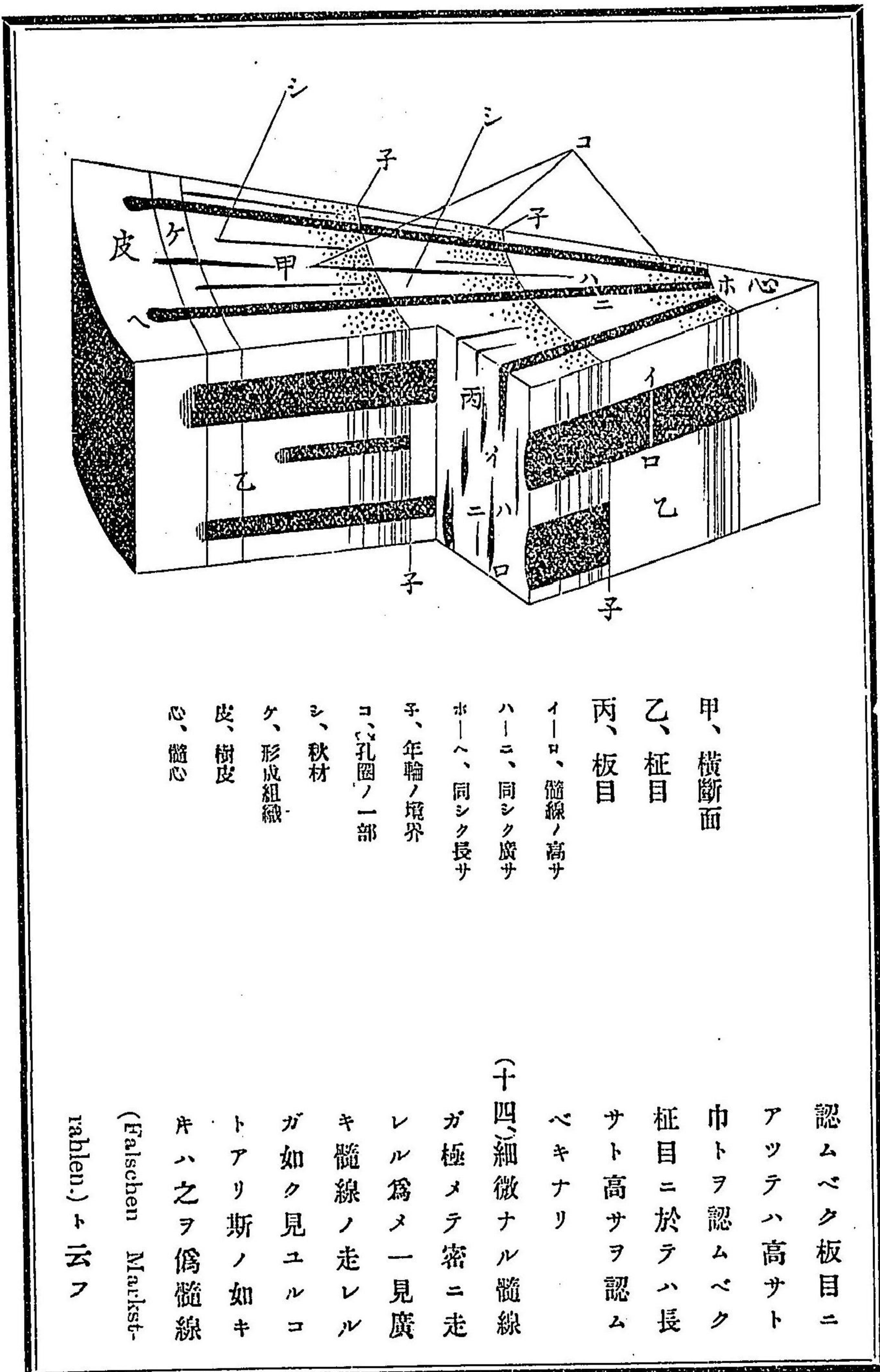
(十) 以上數種ノ器官組織相連合シテ材ヲ構成スレドモ生長其他種々ナル原因ノ爲メニ組織間又ハ細胞間ニ空隙ヲ生ジ管狀ヲナセルコトアリ之ヲ細胞管(Zellgange)ト云フ時トシテハ肉眼ニテ見得ベキホド大ナル孔ヲ現ズルコトアリ

(十一) 横断面上ニ於ケル導管ノ配置ハ樹種ニヨリテ差アリ其孔狀ニ見ユル等大ノ導管ノ並列スルトキハ之ヲ孔列(Porenreihe)ト稱ス孔列ノ列線ガ年輪ニ伴フテ連續シテ走リ從テ圈狀ヲナスコトアリけやき等ニ見ユルガ如シ斯ノ如キ圈ヲ孔圈(Porenkreis)ト云フ而シテ孔圈ヲ存スル材種ヲ環孔材(Ringporige Holz)ト云フコトハ本文ノ第一類ニ説明サレタル如クナリ又導管ガ孔圈ヲナサズシテ平等均一ニ配布サル、モノアリかきノ如

キ之ヲ見ルハスノ如キ材ヲ散孔材(Zerstreuungporige Holz)ト云フ

(十二) 此書中屢々周圍的又ハ周圍線狀(Peripherisch)ナル語ヲ用ヒタリ此語ノ意味スル所ハ周圍線ニ並行セル有様ヲ指スモノニシテ周圍ニト云フ義ニアラズト知ルベシ又時トシテハ周圍線ヲナセルガ如クニト解スルモ可ナルベシ而シテ周圍線自身ハ之ヲ定ムルコト困難ナルモ問題タル線ニ近ク存スル年輪ノ境界ヲ以テ之ニ充ツレバ大ナル誤ヲ來ササルベシ

(十三) 横断面上ニ於テ材ノ中心ニ當レル所ニ軟カキ一部分アルヲ見ルベシ(時トシテハ孔トナレリ)之ヲ髓心(Mark)ト云フにはどこノ如キハ頗ル大ナル髓心アリ此髓心ト樹皮トノ間ニ走レル帶アリテ輻射的方向ニ走リ多クハ眞直ナルモ時トシテハ又屈曲スルコトアリ此帶ヲ名ツケテ髓線(Markstrahlen)ト云フ髓線ハ又髓心ニ達セザルモノアリ之レ後年ノ成材ノ際出來タルモノトス髓線ハ之ヲ柱目ニ見ル時ハ巾廣キ多少光澤アル帶ノ横走スルヲ見ルベク板目ニ於テハ紡錘狀ノ紋様トシテ之ヲ見ルナリ今其記載ヲナサントスルニハ圖上ニ示セルガ如クスベシ即チ輻矢ノ方向ニ計レルモノヲ長サトシ之ニ直角ニ計レルヲ巾即チ廣サトシ板目ニ於テ見ル所ヲ左右ニ計ルヲ同シク巾又ハ廣サトシ柱目ニ於テ縦ニ計レルヲ高サトス故ニ横断面ニアツテハ長サト巾トヲ



甲、横断面
 乙、柱目
 丙、板目
 子、年輪ノ境界
 心、髓心

八
 認ムベク板目ニ
 アツテハ高サト
 巾トヲ認ムベク
 柱目ニ於テハ長
 サト高サヲ認ム
 ベキナリ
 (十四) 細微ナル髓線
 ガ極メテ密ニ走
 レル爲メ一見廣
 キ髓線ノ走レル
 ガ如ク見ユルコ
 トアリスノ如キ
 キハ之ヲ偽髓線
 (Falschen Markst-
 rahlen)ト云フ

(十五) 樹皮ハ形成組織ノ作用ニヨリ漸次増厚スルヲ以テ遂ニ外皮(Periderm)ト木皮(Borke)
 トラ造成ス外皮トハ栓質細胞ヨリ成レル組織ノ層列セルモノニシテ樹皮ノ外部ニ起
 リ通常薄キモノナルモあへまきノ如キハ甚ダ厚クナレリ木皮トハ初メハ外皮組織ナ
 ルモ漸次栓質ノ新組織ヲ累積シ遂ニ其外部ノ組織ハ養料ノ欠乏ヲ來タシテ爲メニ割
 目(Risse)ヲ生シ遂ニ枯落スルニ至ルモノヲ云フ木皮ノ形態ニ種々アリ鱗狀ヲナセル
 モノ盤狀ヲナセルモノ又ハあせびニ於ケルガ如ク樹幹ヲ圍繞セル小環狀ノモノ等ヲ
 ナシテ落ツルナリ
 (十六) 櫻ナドニ屢々見ル如ク外皮ノ上ニ粗慥ナル小凸起ノ點在スルヲ見ルコト尠カラズ
 此小凸起ヲ稱シテ皮孔(Lenticellen)ト云フ此皮孔ハ樹體ノ細胞間隙ト連絡シ水蒸氣及
 ビ瓦斯體ノ出入口タルヲ葉ニ於ケル氣孔ノ如シ
 (十七) あへまき等ニ於ケルガ如ク栓質ノ甚厚クシテ材ニ包圍スルコト甲殼ガ蟹ノ體ヲ包
 メルガ如キコトアリスノ如キキハ之ヲ栓質殼(Korkkrusten)ト云フ又あかしでナドニ於ケ
 ルガ如ク樹皮ニ縦ニ走レル木癭狀ノ隆起物及ビ皺ヲ存シ樹幹ノ横断面ノ周圍凸凹不
 規則ナル場合ニハ之ヲ緊背狀(Spannrückig)ヲナスト云フナリ
 (十八) 凡テ本書ニ載セタル色ノ記載ニ付テハ紅白黄黝褐青ヲ單色トシ類似セル物名ヲ

掲ゲテ形容セルモノハ莖青灰黝鐵銹褐等トス而ノ凡テノ色ニ色ノ字ヲ附シタリ是レ
 混同ヲ免カレンガ爲メトス複色ニ就テハ後ニ來レル色ヲ主トシ上ニ來レルヲ客トス
 例令バ黃黝色トアルハ黝色ニ黃色ヲ加味セルナリ又帶黃黝色トアル時ハ淡黃色ヲ加
 味セルナリ凡テ帶ノ字ハ次ニ來レル一色ヲ支配シ鮮、汚、暗、美、淡、深等ノ語ハ其下ニ記セ
 ル色全體ヲ支配スルナリ

索引

(数字は番號ヲ示ス)

シ之部

シムシム	(<i>Idesia polycarpa</i> Maxim.)	百八	
シシ	(<i>Ligustrum Iboia</i> Sieb.)	二十五	
シシ	(<i>Quercus gilva</i> Bl.)	百八十一	
シシ	(<i>Ilex crenata</i> Thunb.)	六十七	
シシ	(<i>Fagus japonica</i> Maxim.)	六十三	百三十六
シシ	(<i>Robinia pseudacacia</i> L.)	二十三	
シシ	(<i>Prunus Baergeriana</i> Miq.)	九十二	百十三
シシ	(<i>Zanthoxylum schinifolium</i> S. et Z.)	百十二	
シシ	(<i>Carpinus yedoensis</i> Maxim.)	百九十二	百四十
シシ	(<i>Cladrastis amurensis</i> B. et H. var. <i>floribunda</i> Maxim.)	三十七	
シシ	(<i>Ficus erecta</i> Thunb.)	百十八	

本文

圖

ㄱ ㄴ ㄷ (Acer pictum Thunb. var. Mono Maxim.) 七十六 五十六、五十一、
 ㄴ ㄷ (Distylium racemosum S. et Z.) 百五十八 八十二、八十一、

ㄷ' 之部

ㄷ' ㄴ ㄷ (Malchus Thunbergii S. et Z. var. japonica Yatabe.) 百十七
 ㄷ' ㄴ ㄷ (Acanthopanax richifolium S. et Z.) 三十三 二十
 ㄷ' ㄴ ㄷ (Ulmus campestris Sm. var. laevis Planch) 三十四 二十一
 ㄷ' ㄴ ㄷ ㄴ (Acer japonicum Thunb.) 八十四 百五十四、
 ㄷ' ㄴ ㄷ ㄴ (Styrax obassia S. et Z.) 百七 百十五
 ㄷ' ㄴ ㄷ ㄴ (Diervilla grandiflora S. et Z.) 百五十九
 ㄷ' ㄴ ㄷ ㄴ (Corylus heterophylla Fisch.) 百九十五
 ㄷ' ㄴ ㄷ (Rhus succedanea L.) 八
 ㄷ' ㄴ ㄷ ㄴ (Hernandia peltata Meisn.) 百二
 ㄷ' ㄴ ㄷ (Alnus japonica S. et Z.) 五十五 九十三、九二

ㄴ' 之部

ㄴ' ㄴ ㄷ (Samhuus racemosa L.) 九十六
 ㄴ' ㄴ ㄷ (Pierasma guassoides Fenn.) 十一 十

ㄷ' 之部

ㄷ' ㄴ ㄷ (Magnolia hypoleuca S. et Z.) 百九 百六十五
 ㄷ' ㄴ ㄷ (Tilia Niqueliana Maxim.) 八十六

ㄴ' 之部

ㄴ' ㄴ ㄷ (Pittosporum Tobira Ait.) 百九十八
 ㄴ' ㄴ ㄷ (Asoculus turbinata Bl.) 百七十九 八十六
 ㄴ' ㄴ ㄷ ㄴ (Fraxinus Bungeana D. G. var. Pabnervis Wg.) 二十四 十五

ㄷ' 之部

ㄷ' ㄴ ㄷ ㄴ (Acer carpinifolium S. et Z.) 七十九 百六

ちぢうじぢの 栞(Acer nikoense Maxim.) 八十、 百七
ちぢんぢん (Cedrela chinensis Juss.) 一、 九一、 九五
ちぢぢぢぢぢ 栞(Betula globispica Shirai.) 百四十四、 七、 二十四、 百二十六、 六、 六

り、之部

りぢがひ (Nephelema Longana Camb.) 百三十九、
りぢぢぢ 栞(Clethra barbinervis S. et Z.) 百三十、 七十、

ぬ、之部

ぬるぢ (Rhus semiala Murr.) 十、 九

ぎ、之部

ぎぢぐるぢ (Juglans Sieboldiana Maxim.) 百、 五十八、
ぎぢぢぢぢぢぢ 栞(Halesia hispida B. et H.) 百五十六、 七、 三十九、

ぢぢぢぢぢの 栞(Viburnum furcatum Bl.) 百三十八、
ぢぢぢぢ 栞(Quercus grosseserrata Bl.) 五十二、 九十九、 十八、
ぎがたぢの 栞(Michelia compyosa Maxim.) 九十五、
ぎのをぢ (Betula Bhojapattra Wall. var. typica Rgl.) 百四十四、 七、 二十四、 六、
ぎひぢぢ (Ulmus montana Sm. var. laciniata Prantl.) 三十五、

か、之部

かはらぢん の 栞(Alnus glutinosa Willd.) 五十八、
かぢかぢく 栞(Acer purpurascens Fr. et Sav.) 七十八、 百五、
かぢの 栞(Broussonetia papyrifera Vent.) 十二、
かぢぢ (Cercidiphyllum japonicum S. et Z.) 百十六、 六十七、
かぢぢぢ 栞(Ficus retusa L. var. nitida Miq.) 百五、 六十一、
かなぢ (Spondias sp.?) 二、 九、 十六、
かなくぢ (Tindera umbellata Thunb.) 百二十五、
かなめぢ 栞(Photinia glabra Thunb.) 百六十二、 百三十八、

からたま (Citrus trifoliata L.)	百四十二	四十九
からちんねん (Zanthoxylum ailanthoides S. et Z.)	七十五	
かうご (Broussonetia Kasinoki Sieb.)	十三	
かくれみの (Dendropanax japonicum Seem.)	十八	
がまぢみ (Viburnum dilatatum Thunb.)	百三十八	
かぢ (Diospyros Kaki L. f.)	九十八	五十七
かぢぢ (Quercus dentata Thunb.)	五十	二十八
かしをぢみ (Lyonia ovalifolia Don.)	百三十二	百二十四
かんぼく (Viburnum Opulus L.)	百五十七	
よ、之部		
よぐさみねはら (Betula ulmifolia S. et Z.)	百四十五	
よじのちく (Prunus pseudo-Cerasus Lindl. var. Sieboldi Maxim.)	九十	百五十六

た、之部

たらちん (Ilex latifolia Thunb.)	六十八	
たぢぢ (Magnolia salicifolia Maxim.)	百十一	百十八
たぢのぢ (Machilus Thunbergii S. et Z.)	百四	
たんごうぢ (Lindera obtusiloba Bl.)	百二十四	
ろ、之部		
ろぢぢ (Ilex pedunculosa Miq.)	七十	
し、之部		
しぢぢ (Thea japonica Nois.)	百二十八	六十九
しぢぢぢ (Erionymus oxyphylla Miq.)	百七十	百三十四
しつぢぢぢ (Quercus sessilifolia Bl.)	百八十七	
しぢぢ (Buxus sempervirens L.)	百七十二	八十五

ぬ、之部

ぬむの 栲(Albizia Jubihissin Hoiv.) 三三
ぬずみぶす(Ligustrum japonicum Thunb.) 百三十六

な之部

なじくせ栲(Stewartia pseudo-Camellia Maxim.) 百十四
なじくみ(Elaeagnus macrophylla Thunb.) 十四
なじゆ栲(Zizyphus vulgaris Lam. var. inermis Bge.) 百四十一
なしか栲(Pinus acutiparia Gaertn. var. japonica Maxim.) 百七十五
なご(Pinus sinensis Lindl.) 百六十七

む之部

むへらぶ(Sapiindus Mukurosi Gaertn.) 四十七
むへの栲(Aphananthe aspera Planch.) 四十六
むへち(Hibiscus syriacus L.) 百九十

り之部

りせ栲か(Quercus phyllireoides A. Gr.) 百八十四
りせみりちへ(Prunus Grayana Maxim.) 九十一
りしかくせ(Acer rufinerve S. et Z.) 八十二
りせ(Rhus vernicifera D. C.) 七
りひ栲(Dentzia scabra Thunb.) 九十七
りさむらか(Quercus myrsinaefolia Bl.) 百八十三
りさむらかへせ(Betula corylifolia Regel et Max.) 百四十六
りさむら(Pirus aria Ehrh. var. kaunaensis Wall.) 百七十八
り栲(Prunus Munne S. et Z.) 十五
りこり(Pourthiaca villosa Dene.) 百三十五

の之部

のしの栲(Hydrangea paniculata Sieb.) 百六十
のせの栲(Platycaarya strobilacea S. et Z.) 五十三

く之部

- くろくろく (Ilex rotunda Thunb.) 六十八
- くろくろく (Lindera sericea Bl.) 百二十三
- くろくろく (Castanea vulgaris Lam. var. japonica D. C.) 五十四
- くろくろく (Quercus serrata Thunb.) 四十八
- くろくろく (Cydonia sinensis Tourin.) 百三十一
- くろくろく (Carpinus japonica Bl.) 百九十三
- くろくろく (Clerodendron tricotomum Thunb.) 四十五
- くろくろく (Cinnamomum Camphora Nees.) 百三

か之部

- かたかた (Fraxinus mandshurica Rupr.) 二十一
- かたかた (Cinnamomum pedunculatum Nees.) 百二十一
- かたかた (Alnus firma S. et Z.) 百十五

八 百三十三

五十六 百三十三

六十六 四十二、四十一

百五十二 百二十八

七

四十二

二百 九十四

九十 百五十六

六十五

七十七 百四

百二十六 六十八

か之部

- かたかた (Acer distylium S. et Z.) 八十五
- かたかた (Betula alba L. var. Communitis Rgl.) 百四十九

あゝ じ じ じ じ (Pasania glabra Oerst.)	百八十九	百三十八
あろ ぢ (Euonymus japonica Thunb.)	百七十一	—
あぢ ぢ (Euonymus europaea L. var. Hamiliana Maxim.)	百六十九	百八十四、三
あぢ ぢ ぢ (Diospyros Lotus L.)	九十九	—
あぢ ぢ ぢ ぢ (Prunus incisa Thunb.)	九十四	—
あぢ ぢ ぢ ぢ (Hamamelis japonica S. et Z.)	百七十四	—

け'之部

けぢ ぢ (Zelkova acuminata Pl.)	三十二	十九
けぢ ぢ ぢ (Hovenia dulcis Thunb.)	五	五

ふ'之部

ふぢ ぢ (Fagus sylvatica L. var. Sieboldi Maxim.)	六十二	百三十五
ふぢ ぢ ぢ ぢ (Euphelaea polandra S. et Z.)	六十四	三十七、三十八
ふぢ ぢ ぢ (Sophora platycarpa Maxim.)	三十九	二十三

こ'之部

こぢ ぢ ぢ ぢ ぢ (Acer Sieboldianum Miq. var. microphyllum Max.)	八十四	百五十四
こぢ ぢ ぢ ぢ (Actinodaphne lanceifolia Meisn.)	百二十	—
こぢ ぢ ぢ (Quercus glandulifera Bl.)	五十一	二十九
こぢ ぢ ぢ (Pirus Galleryana Dene.)	百六十八	百三十二
こゝ ぢ ぢ (Orixa japonica Thunb.)	百九十九	—
こぢ ぢ ぢ (Magnolia Kobus DC.)	百七	百十七
こゝ ぢ ぢ ぢ (Acanthopanax sciadophylloides Fr. et Sav.)	十七	十二
こゝ ぢ ぢ ぢ (Euscaphis japonica Pax.)	七十一	—

こ'之部

こぢ ぢ (Populus balsamifera L. var. suaveolens Loud.)	百五十三	百七十七、九
---	------	--------

あ'之部

梅之葉 (Meliosma myriantha S. et Z.)	七十二	四十四、四十五
梅之實 (Quercus variabilis Bl.)	四十九	
梅之花 (Ilex macrospora Miq.)	六十九	
梅之葉 (Aucuba japonica Thunb.)	六十一	
梅之實 (Stereosia plataniifolia L.)	二十八	
梅之葉 (Quercus acuta Thunb.)	百八十	八十七
梅之葉 (Betula alba L. var. cordifolia Rgl.)	百五十	
梅之葉 (Salix Uribainiana v. Seemann.)	百五十五	
梅之花 (Alnifolius japonicus Muel. Arg.)	二十六	十六
梅之花 (Carpinus laxiflora Bl.)	百九十一	百九十一、九
梅之花 (Pinus Miyabei Sargent.)	百七十六	百三十六
梅之花 (Quercus glauca Thunb.)	百八十五	
梅之花 (Lindera praecox Bl.)	百二十二	
梅之花 (Aleurites cordata Muel. Arg.)	二十七	
梅之花 (Halesia corymbosa B. et H.)	百五十六	百七十九

梅之花 (Ostrya japonica Sargent.)	百四十	七十三、七十二
梅之花 (Acer argutum Maxim.)	八十一	
梅之花 (Ulmus parvifolia Jacq.)	三十六	二十二
梅之花 (Andromeda japonica Thunb.)	百六十五	

之部

之 (Betula Maximowicziana Rgl.)	百四十七	
之 (Gleditschia japonica Miq.)	四十一	
之 (Pterocarya rhoifolia S. et Z.)	百一	五十九
之 (Cornus ignorata C. Koch.)	八十八	
之 (Carpinus cordata Bl.)	百九十四	百二十九、三
之 (Stewartia monadelphica S. et Z.)	百十三	百六十六
之 (Salix Caprea L.)	百五十四	七十八
之 (Junya ochracea Szysz.)	百六十三	八十三
之 (Ithaea Sasangua Nois.)	百二十九	百二十二

せんじく (Viburnum odoratissimum Ker.) 百三十七
せんせふ (Zanthoxylum piperitum DC.) 百十二

せ、之部

せんぞ (Phellodendron amurense Rupr.) 四十 二十四
せん (Paulownia tomentosa H. Bn.) 四十四 二十五
せんりふ (Panax japonica Ege.) 三十一
せんらん (Catalpa Kaempferi S. et Z.) 二十二 十四

ゆ、之部

ゆとりせ (Daphniphyllum macropodum Miq.) 百七十三

め、之部

めりかく (Acer crataegifolium S. et Z.) 八十三
め (Berberis Thunbergii D. C.) 三十 十八

めいごく (Prunus Cerasoides Maxim.) 九十三

み、之部

みつぼん (Rhododendron dilatatum Miq.) 百三十四
みつぼう (Staphylea Bumalda S. et Z.) 八十九
みつねた (Edgeworthia chrysantha Lindl.) 十九
みつね (Cotinus macrophylla Wall.) 八十七 五十五
みつね (Betula grossa S. et Z.) 百四十六
みねね (Alnus viridis DC. var. sibirica Rgl.) 五十七
みやね (Pirus Tschonoski Maxim.) 百七十七

じ、之部

じろた (Litsea glauca Sieb.) 百十九
じろつ (Synplocos erataegoides Ham. var. pallida Fr. et Sav.) 百五十二
じろふ (Lindera triloba Bl.) 百二十四

じほじ (Fraxinus Sieboldiana Bl.)	二十七	十三
じりろろ (Quercus thalassica Hec.)	百八十六	
じほのち (Tilia cordata Mill. var. japonica Miq.)	八十六	
じあかじ (Quercus Vibrayana Fr. et Sav.)	百八十二	八十八
じあかじ (Betula alba L. var. vulgaris DC.)	百四十八	
じあかじ (Rhododendron Alektsichii S. et Z.)	百三十三	百二十五
じあかじ (Morus indica L.)	七十三	四十七
じあかじ (Milkium Anisatum L.)	百六十四	
じあかじ (Pasania cuspidata Oerst.)	百八十八	八十九、九十、 百三十七
じあかじ (Alnus glandulosa Desf.)	四十三	
多之部		
多のち (Styrax japonica S. et Z.)	百六	六十二、六十三、 六十四、百十四
多のち (Celtis sinensis Pers.)	二十九	十七
多のち (Sophora japonica L.)	三十八	

ひ之部

ひのち (Pithecolobium japonicum Lindl.)	百六十一	
ひのち (Myrsine capitellata Wall.)	六十	
ひのち (Lagerstroemia indica L.)	百四十三	
ひのち (Eurya japonica Thunb.)	百六十三	
ひのち (Osmanthus Aquifolium B. et H.)	百九十六	九十三

ゆ之部

ゆのち (Ilex integra Thunb.)	六十八	四十三
ゆのち (Aralia Sieboldi Miq.)	五十九	三十四
ゆのち (Fernstroemia japonica Thunb.)	百二十七	六十九
ゆのち (Osmanthus fragrans Lour.)	百九十七	
ゆのち (Prunus persica S. et Z. var. vulgaris Max.)	十六	

獨和對譯語彙

Achse.	樹軸
Aussengrenze.	外境
Axiale Richtung.	樹軸ノ方向
Baum,	樹木
Baumschaft.	樹幹
Borke.	木皮
Cambium.	形成組織
Cellulose.	纖維素
Falsehen Markstrahlen.	偽髓線
Frühholz.	春材
Frühjahreszone. } Frühlingszone. }	春材圈
Furchen.	皺
Gattung.	屬
Gefässe.	導管
Gefässreihe.	導管列
Gewebe.	組織
Gewebesystem.	組織系
Herbstholzzone. } Herbstzone. }	秋材圈
Holz.	材, 木材
Holzbildung.	木材構成

獨和對譯語彙

せ、之部

せんだん (Melia japonica Don.)

四

四

す、之部

すみ (Pirus Toringo Sieb.)

百六十六

百三十一

すも (Prunus communis Huds.)

十六

Parenchyma.	柔軟組織
Parenchymalinien.	柔軟組織線
Periderm.	外皮
Peripherisch.	周圍的, 周圍線狀
Porenkreis.	孔圈
Porenreihen.	孔列
Pusteln.	疹
Querschnitt.	橫斷面
Radiale Gefässlinie.	輻射導管線
Radiale Richtung.	輻射的方向
Radialschnitt.	徑目
Reifholz.	熟材
Rinde.	樹皮
Ringelborke.	小環狀木皮
Ringporige Hölzer.	環孔材
Risse.	割目
Schuppenborke.	鱗狀木皮
Secundäre.	後生ノ
Spannrückig.	緊背狀
Spätholz.	秋材
Splintholz.	邊材
Stacheln.	刺
Steinzellnestern.	石細胞巢
Suberin.	栓質

Holzfasern.	木纖維
Holzparenchym.	木細胞
Holzschicht.	材層
Holztheile.	材部
Holzzellen.	木細胞
Homologen.	均一
Innengrenze.	內境
Jahresring. } Jahrringe. }	年輪
Jahrringsgrenze.	年輪ノ境界
Kamphorsubstanz.	樟腦質
Kernholz.	心材
Kork.	栓質
Korkkrusten.	栓質殼
Krone.	樹冠
Längsschnitt.	縱斷面
Laubhölzer.	闊葉樹
Lauf.	徑路
Lenticellen.	皮孔
Lignification.	木質化スルコ
Lupe.	單顯微鏡
Mark.	髓心
Markstrahlen.	髓線
Nadelhölzer.	針葉樹

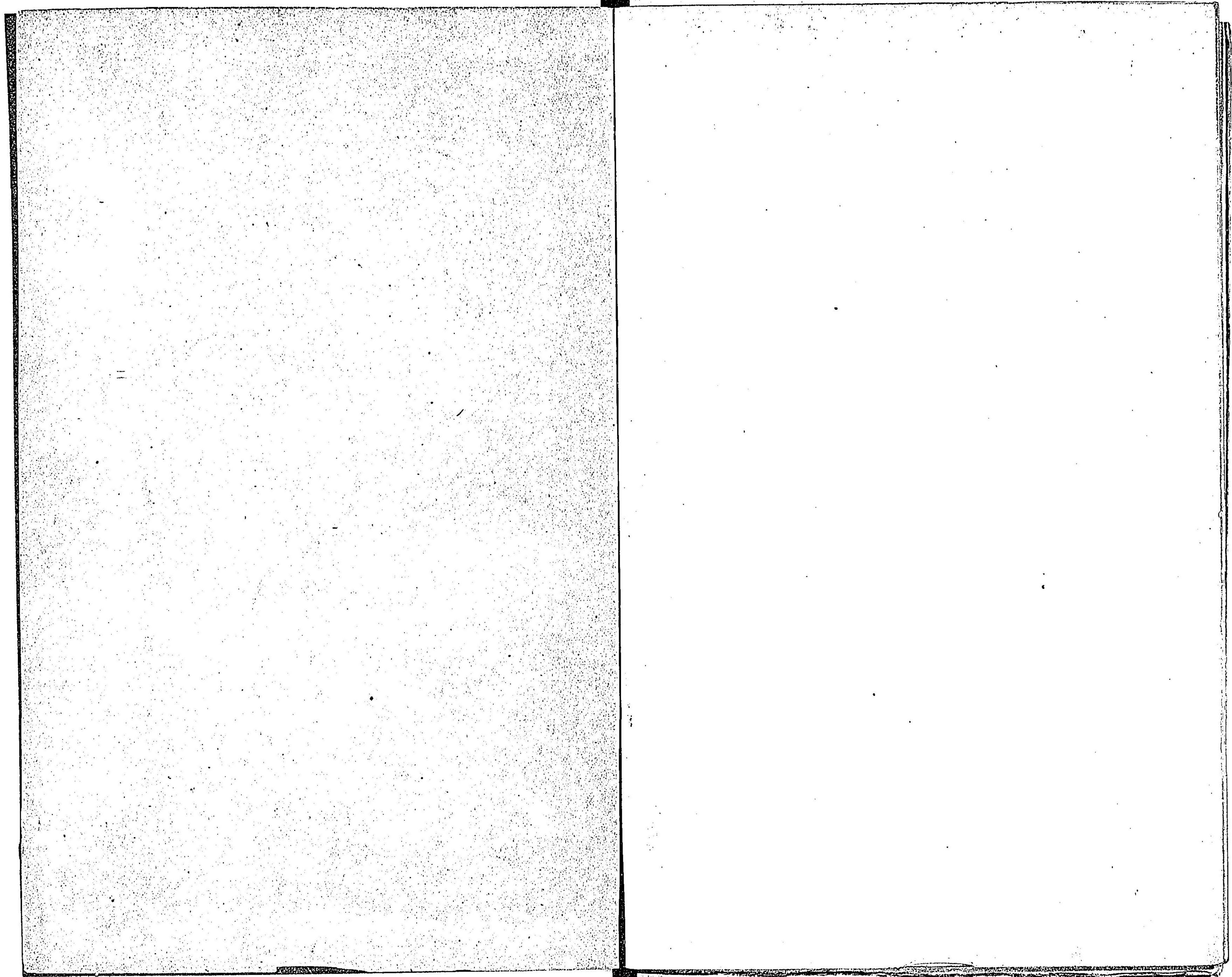
10/36

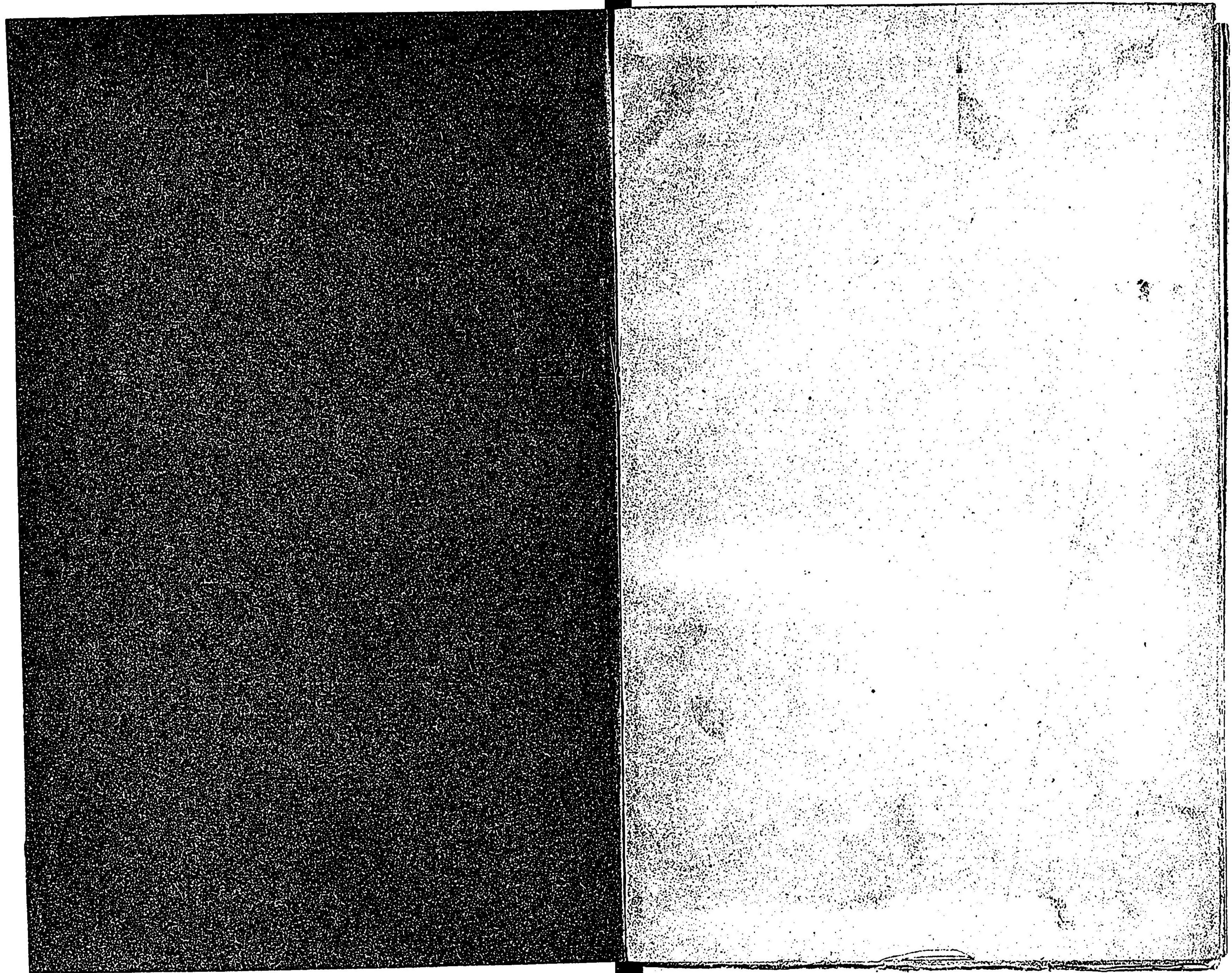
Suberisation.	栓質化スルヲ
Tafelborke.	盤狀木皮
Tangentialschnitt.	板目
Unterscheidungsmerkmale.	識別特徴
Verkernung.	心材化スルヲ
Verschleimung.	粘液化スルヲ
Wurzelstock.	根株
Xylogen.	木質
Zell.	細胞
Zellgänge.	細胞管
Zellinhalt.	細胞内容
Zellwand.	細胞壁膜
Zerstreutporige Hölzer.	散孔材

明治三十四年十二月十二日印刷
 明治三十四年十二月十四日發行

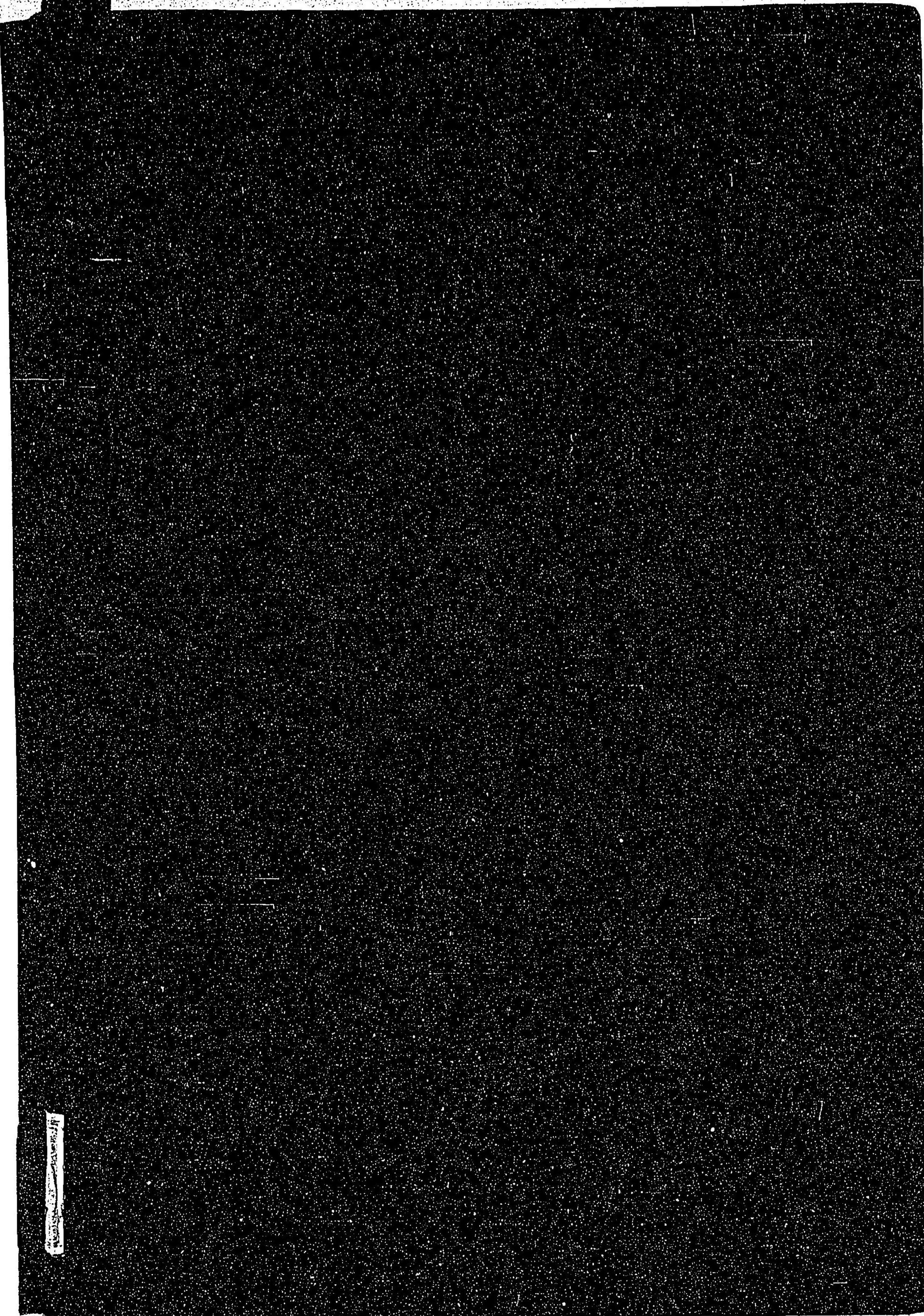
定價金壹圓五拾錢

著作者 林學博士 河合 鋪太郎
 發行者 東京市赤坂區溜池町一番地 大日本山林會
 代表者 東京市麻布區宮町村一番地 福井 正吉
 印刷者 東京市日本橋區兜町二番地 東京印刷株式會社 天野 勝彦
 印刷所 東京市日本橋區兜町二番地 東京印刷株式會社





83
147





065363-000-4

83-147

本邦産重要潤葉樹木材識別法

河合 鈺太郎 / 著

M34.12

CCE-0212



